

**蓮田市市民意識調査  
報告書**

**平成 28 年 12 月  
蓮 田 市**



---

---

# 目次

---

---

## 調査の目的等

調査の目的 .....	2
調査の方法 .....	2
この報告書の見方 .....	2

## 調査概要

住みごちについて .....	5
暮らしをとりまく身近な環境について .....	5
蓮田市のイメージやまちの魅力について .....	5
これからのまちづくりについて .....	6
市政への市民参加や関わり方について .....	6
防災対策について .....	7
市の広報（シティセールス）について .....	8

## 調査結果

住みごちについてうかがいます。 .....	11
暮らしをとりまく身近な環境についてうかがいます。 .....	20
蓮田市のイメージやまちの魅力についてうかがいます。 .....	52
これからのまちづくりについてうかがいます。 .....	60
市政への市民参加や関わり方についてうかがいます。 .....	72
防災対策についてうかがいます。 .....	97
市の広報（シティセールス）についてうかがいます。 .....	115
調査を統計的に整理するため、あなたのことについてうかがいます。 ...	121

## 自由意見



# 調査の目的等

## 調査の目的

蓮田市では現在、平成 30 年度から 10 年間のまちづくりの指針となる「蓮田市第 5 次総合振興計画」の策定を進めています。本調査は、計画を策定する上での基礎資料として活用し、市政に反映させていくために実施したものです。

## 調査の方法

- 調査地域：蓮田市全域
- 調査対象：市内にお住まいの 18 歳以上の方 4,000 人
- 抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出
- 調査期間：平成 28 年 8 月 30 日～9 月 12 日
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 配布・回収状況：

配布数	回収数	回収率
4,000 票	1459 票	36.5%

## この報告書の見方

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数第 2 位以下を四捨五入し、小数第 1 位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100%にならないことがあります。また、複数回答（2 つ以上選ぶ問）の設問では、全ての割合の合計が 100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は、回答者が皆無であることを表します。
- 性別・年齢別集計の結果、項目の順位が全体集計と変わることがあります。
- グラフ及び文章中で、選択肢を一部省略しています。
- 満足度を問う設問では、「満足である」に+2 点、「まあ満足」に+1 点、「やや不満」に-1 点、「不満である」に-2 点、「わからない」に 0 点の得点を付け回答構成から加重平均による評価点を算出しています。

《計算式》

$$\frac{\text{「満足」} \times 2 + \text{「まあ満足」} \times 1 + \text{「やや不満」} \times -1 + \text{「不満」} \times -2 + \text{「わからない」} \times 0}{\text{回答総数から無回答を除いた数}}$$

- 一部の設問で、経年変化をみるために、前回調査(平成 17 年)の数値を掲載しています。
- 地区別では、29 の地域を 6 つの地区に分けて集計しています。（詳しくは、124 頁を参照してください。）

# 調查概要



## 住みごころについて

### 問1 住みよさ意識

約半数が数年前と比較して「変わらない」と感じている。

### 問2 定住意向

市民の約4割は「同じ場所にずっと住みたい」と思っている。

定住理由は「家や土地があるから」が7割超を占めている。

転居理由は「市に将来性・発展性がないから」が約3割と比較的高いが、前回調査（平成17年）からは7ポイント程下がっている。

転居希望する地域は「蓮田市周辺の県内」が多くなっている。

## 暮らしをとりまく身近な環境について

### 問3～問14 行政施策の満足度

行政施策全体で「地元商店街の整備」や「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」など産業振興分野で満足度が低くなっている。

「健康診断や健康相談などの保健サービス」、「駅周辺の市街地の整備」、「文化会館や公民館など文化施設の整備」などの施策で評価が高くなっている。

「駅周辺の市街地の整備」は、要望としても高くなっている。

## 蓮田市のイメージやまちの魅力について

### 問15 蓮田市のイメージ

「ゆったりしたまち」とイメージを持っている市民が多くなっている。

### 問16 蓮田市のまちの魅力

「元荒川、黒浜沼、桜並木などの豊かな水と緑」・「災害の少ない暮らしやすい土地柄」・「都心に近く便利な交通アクセス」がまちの魅力だと感じている市民が多くなっている。

## これからのまちづくりについて

### 問 17 市の行動力を高めるのに重要なこと

約 4 割の市民が「市民がもっとまちづくりに関心を持ち、理解を深める」ことが重要だと感じている。

### 問 18 将来像を表すキーワード

「安心・安全」・「自然・環境」が将来像にふさわしいキーワードとした回答が多く寄せられている。

### 問 19 重点的に取り組むべき施策

重点取り組み施策は 6 割超が「保健・福祉・医療の充実」としている。

### 問 20 子育てしやすいまちへの効果的な取組

約半数が「多様な保育サービスの充実」と「学費や保育料などの助成」が効果があると回答している。

## 市政への市民参加や関わり方について

### 問 21 近所付き合いの程度

「顔をあわせたときに、あいさつをする」程度の近所付き合いをしている市民が多い。

### 問 21 近所付き合いや地域活動の必要性

「必要だと思う」「どちらかといえば必要」合わせて 9 割近くが必要と考えている。近所付き合いが希薄なほど、必要と考える割合が低くなっている。

### 問 23 地域活動の参加度

6 割以上の市民が地域活動への参加経験がある。  
近所付き合いが親密な程、地域活動への参加割合が高くなっている。

### 問 24 市政情報の入手の手段

8 割以上が「広報はすだ」から市政情報を得ている。

### 問 25 意見・要望の伝達方法

市への意見や要望は「担当部署へ電話する」や「市役所の窓口に行く」と回答している。

### 問 26 市政への参加意欲

市政への参加意欲を持っている市民は約 6 割いる。

## 問 27 市民生活に関わるサービスと負担のあり方

サービスの必要性については、「ごみの収集」や「救急活動」、「健康診断や予防接種」がなくてはならないとする回答が多くなっている。

サービスの実行主体については、「ごみの収集」や「救急活動」、「健康診断や予防接種」など、なくてはならないものは行政主体で行い、「商店街の活性化支援」や「農業後継者の確保・育成」などは行政、住民・NPO・民間企業両方で行うとする回答が多くなっている。

サービス費用の負担については、「救急活動」や「防災活動」などは、行政（税金）が負担し、「商店街の活性化支援」や「保育園の運営」などは行政（税金）、利用者の両方で負担するという回答が多くなっている。

## 防災対策について

### 問 28 居住地域の安全性

居住地域が『安全』だと思っている市民は6割を超えている。

### 問 29 災害への備えに必要なこと

約6割が災害への備えには「食料・飲料水の備蓄」や「避難所施設の整備・充実」が必要と回答している。

### 問 30 避難場所の認知度

約7割の市民は避難場所の位置を知っている。

### 問 31 災害に備え行っている準備

災害に備え「非常用の食料や飲料水の用意」や「避難場所の確認」を行っている。

### 問 32 地域防災対策の担い先

約8割の市民が、地域防災対策は「行政」が担うべきと考えている。

### 問 33 家族に手助けが必要な人がいる場合の避難

「近くの避難所へ避難する」と「自宅に支障が無ければ避難はしない」に回答が分かれている。

### 問 34 手助けが必要な人への避難時の協力

手助けが必要な人へは「大丈夫ですか」などの声かけや「避難の手助け」などの協力ができそうだと考えている市民が多くなっている。

### 問 35 ペットの避難

ペットと一緒に避難すると考えている市民が多くなっている。

## 市の広報（シティセールス）について

### 問 36 市の PR のために充実させたらよい情報

広報はすだや市のホームページ、ツイッターなどで充実させたらよい情報は「高齢者支援情報」が最も多くなっている。

### 問 37 蓮田ブランドにふさわしい地域資源

「梨」などの特産品、「蓮田サービスエリア」などの交通の利便性、「自然災害が少ない」などの自然・環境に関わる回答が多くなっている。

### 問 38 市の PR のために必要なイベント

市の PR のために必要なイベントは「蓮田サービスエリアを活用したイベント」が最多となっている。

# 調查結果



## 住みごちについてうかがいます。

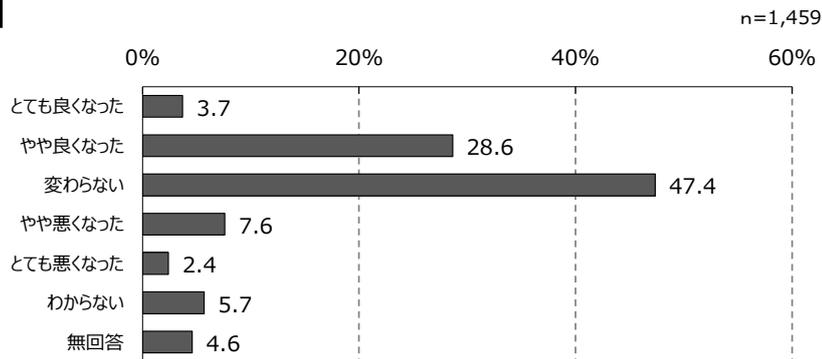
### 問1 蓮田市の生活環境は、数年前と比較して、どのようになったと感じますか。

「変わらない」が47.4%で最も多く、次いで「やや良くなった」が28.6%、「やや悪くなった」が7.6%となっています。

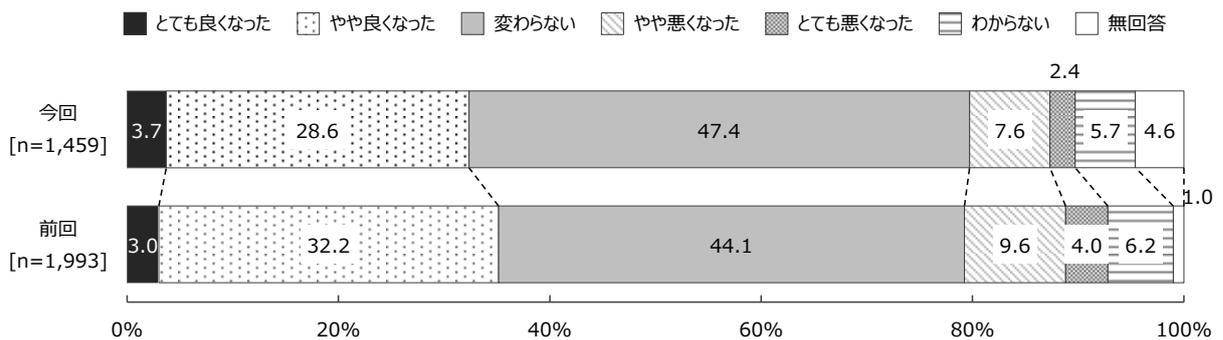
前回調査と比較すると、「とても良くなった」と「やや良くなった」を合わせた“良くなった”が2.9ポイント減少し、「やや悪くなった」と「悪くなった」を合わせた“悪くなった”が3.6ポイント減少した一方、「変わらない」が3.3ポイントの増加となっています。

#### 生活環境の変化

##### 【全体】



##### 【前回比較】

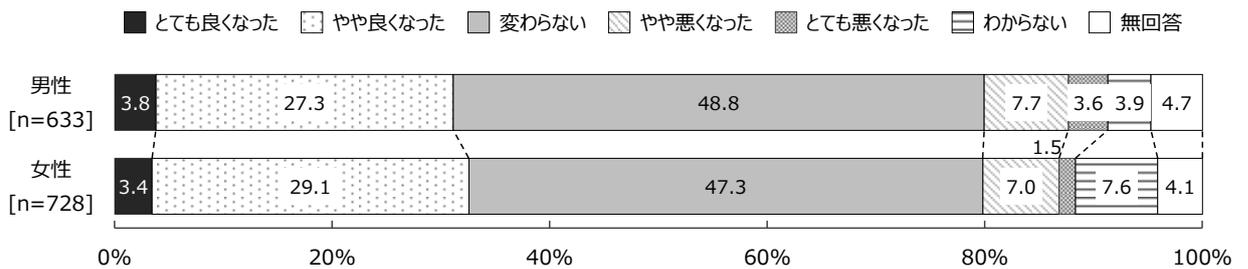


生活環境の変化を性別で見ると、「とても良くなった」と「やや良くなった」を合わせた“良くなった”と回答した割合は女性が高くなっています。

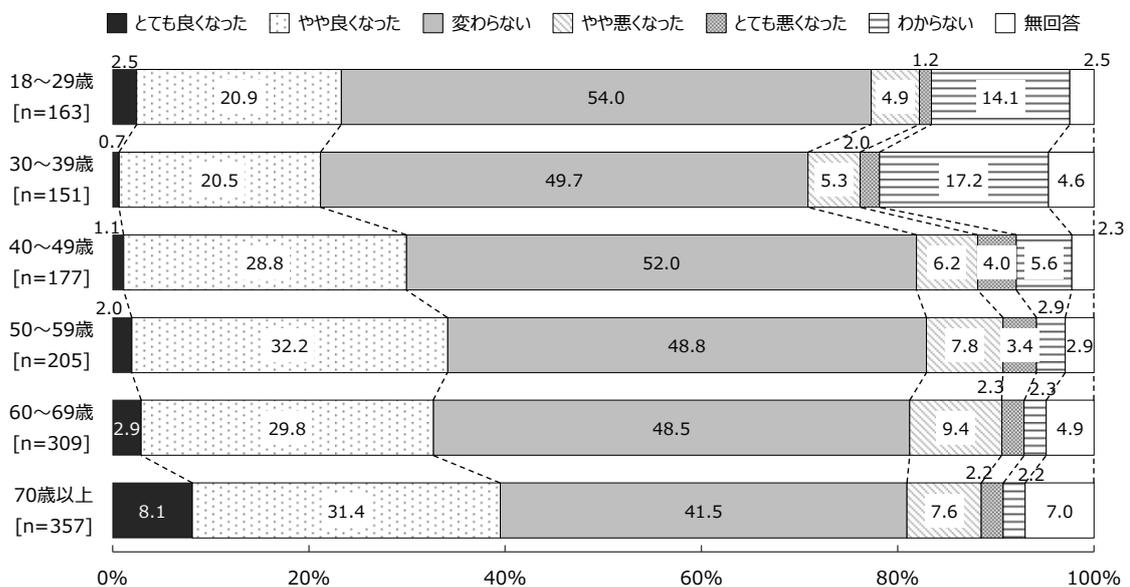
年齢別では、「とても良くなった」と「やや良くなった」を合わせた“良くなった”と回答した割合は多少の上下はありますが、おおむね年代が上がるにつれ高くなる傾向にあります。また、「やや悪くなった」と「悪くなった」を合わせた“悪くなった”と回答した割合も「70歳以上」で低くなりますが、60歳代までは年代が上がるとともに高くなっています。

## 生活環境の変化

### 【性別】



### 【年齢別】



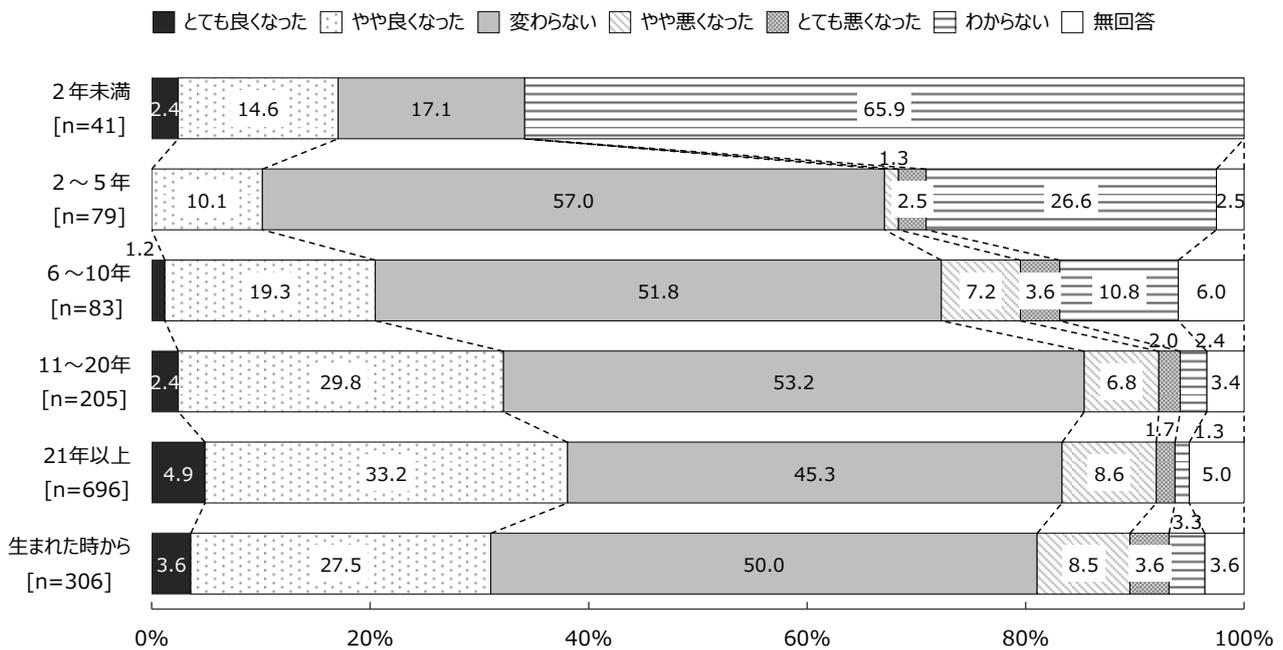
生活環境の変化を居住年数別で見ると、11年以上住んでいる方の“良くなった”と回答した割合は3割を超えており、特に、居住年数が『21年以上』の方は38.1%と最も多くなっています。

地区別では、“良くなった”と回答した割合は『平野地区』の21.7%のほかは3割を超えていません。

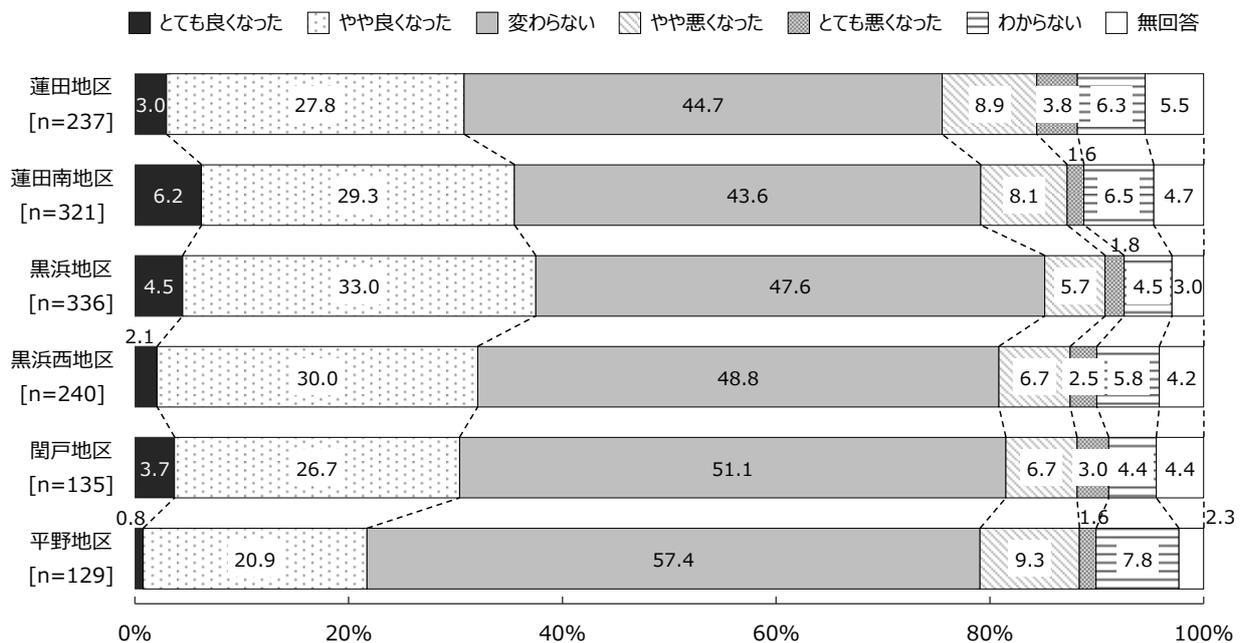
“良くなった”とする割合が37.5%で最も高い『黒浜地区』は“悪くなった”とする割合が7.5%と最も低くなっています。

## 生活環境の変化

### 【居住年数別】



### 【地区別】



## 問2 あなたは、これからも蓮田市に住み続けたいと思いますか。

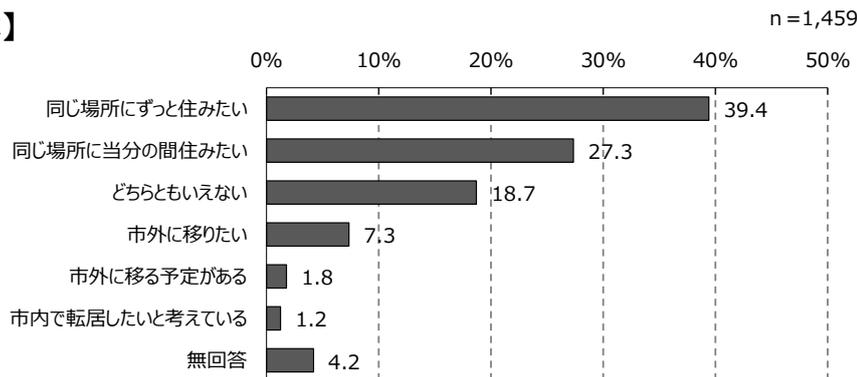
「同じ場所にずっと住みたい」が39.4%で最も多く、次いで「同じ場所に当分の間住みたい」が27.3%、「どちらともいえない」が18.7%となっています。

前回調査と比較すると、「市外に移りたい」が4.1ポイント、「市外に移る予定がある」が1ポイントそれぞれ減少している一方、「どちらともいえない」が1.2ポイント増加しています。

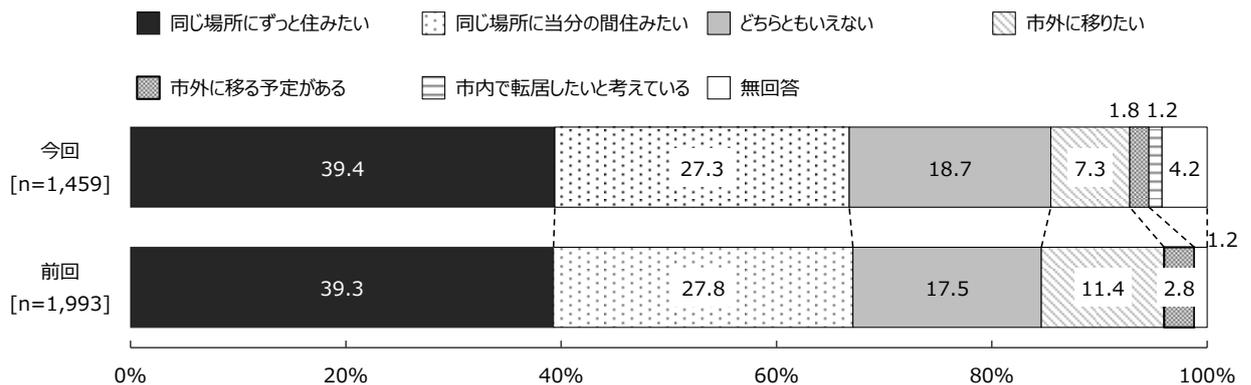
「同じ場所にずっと住みたい」と「同じ場所に当分の間住みたい」を合わせた“住み続けたい”と回答した割合はほぼ変わらず、0.4ポイントの減少となっています。

### 定住の意向

#### 【全体】



#### 【前回比較】

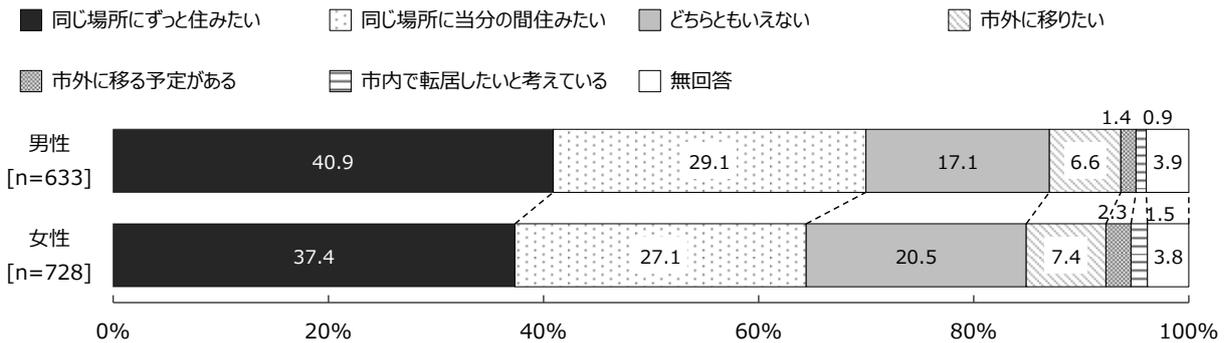


定住の意向を性別で見ると、「同じ場所にずっと住みたい」と「同じ場所に当分の間住みたい」を合わせた“住み続けたい”と回答した割合は、男女ともに高いですが、『男性』が 5.5 ポイント高く 7 割となっています。

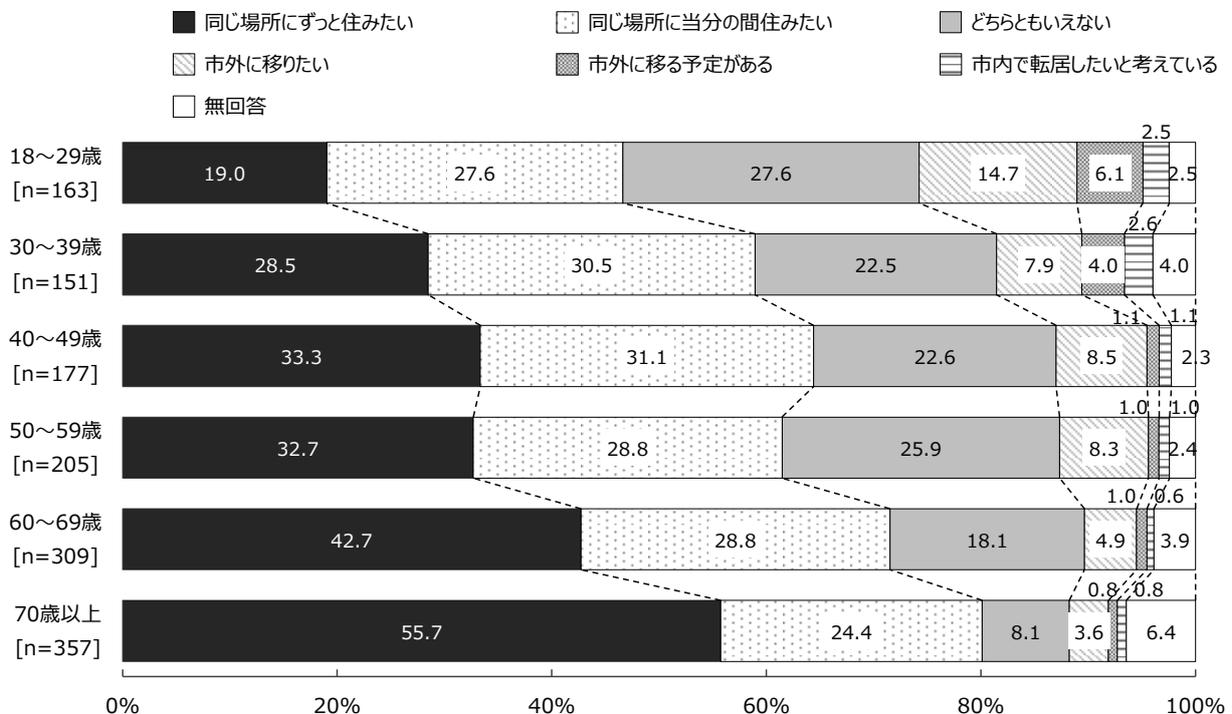
年齢別では、おおむね年代が上がるにつれ“住み続けたい”とする定住の意向が高く、転居の意向が低くなっています。

## 定住の意向

### 【性別】



### 【年齢別】



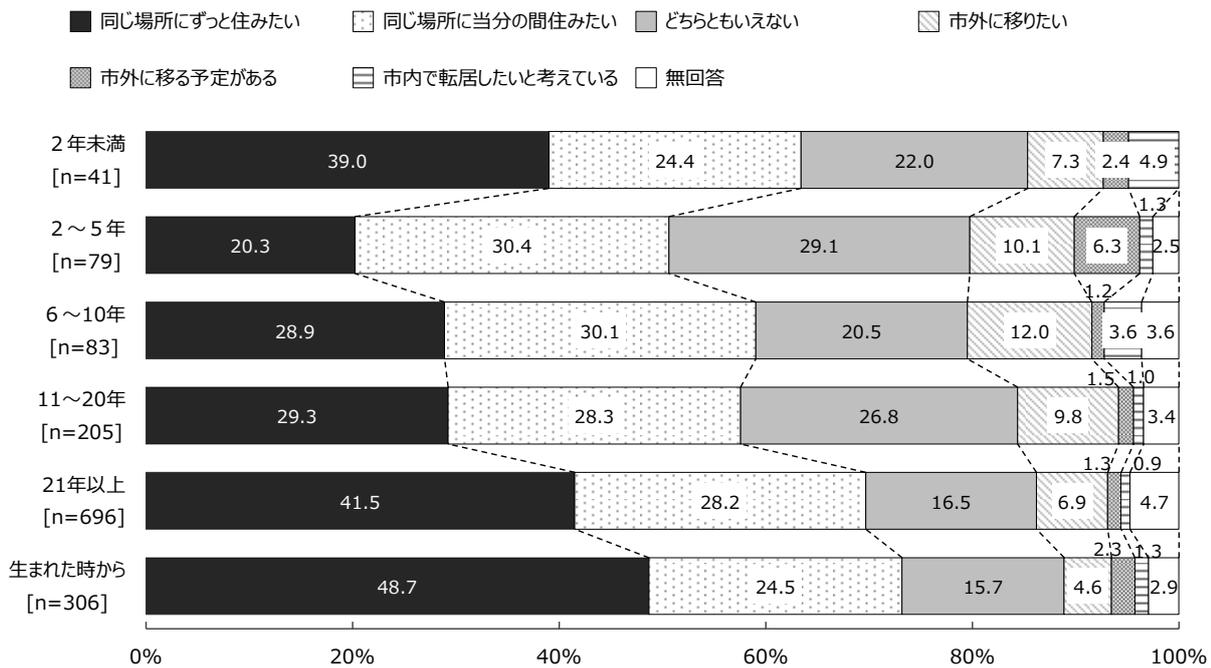
定住の意向を居住年数別でみると、『2～5年』で“住み続けたい”との回答が50.7%と少なく「市外に移りたい」「市外に移る予定がある」を合わせた“市外に移りたい”の転居の意向が16.4%と高くなっています。

地区別では、“住み続けたい”と回答した割合は『蓮田地区』で71.7%と最も高くなっています。

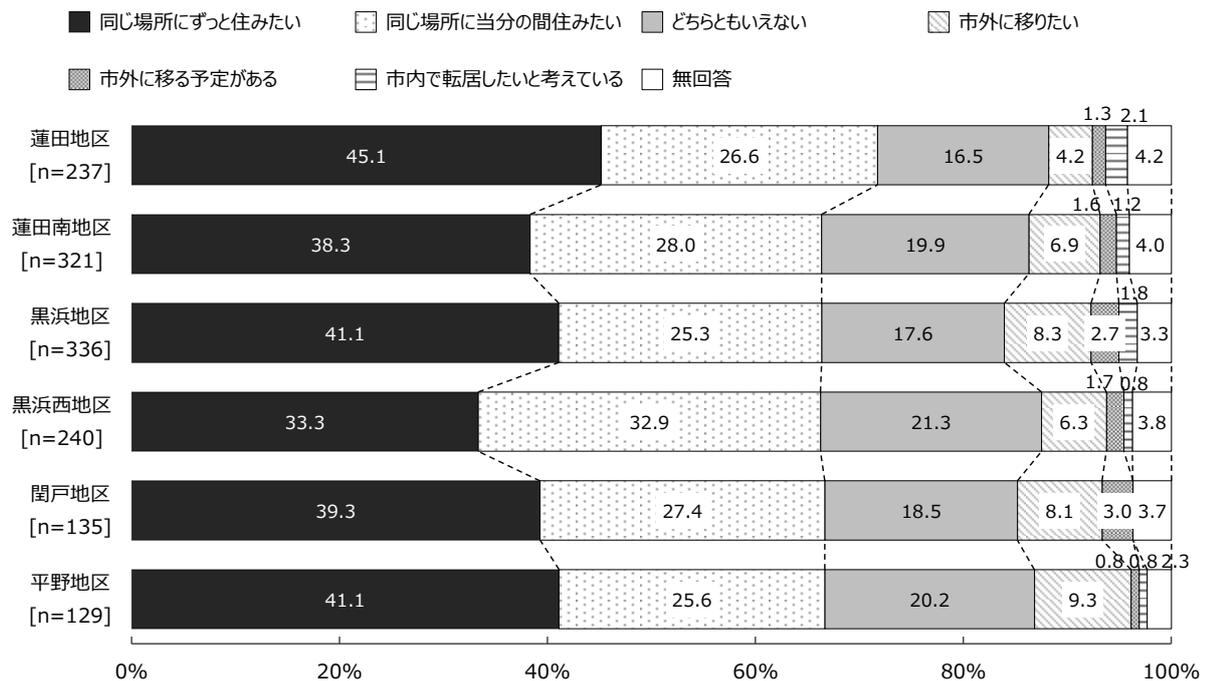
一方、“市外に移りたい”という転居の意向が高いのは、『閩戸地区』の11.1%、『黒浜地区』の11.0%、『平野地区』の10.1%となっています。

## 定住の意向

### 【居住年数別】



### 【地区別】



【問2で『1. 同じ場所にずっと住みたい』『2. 同じ場所に当分の間住みたい』とお答えの方にかがいます。】

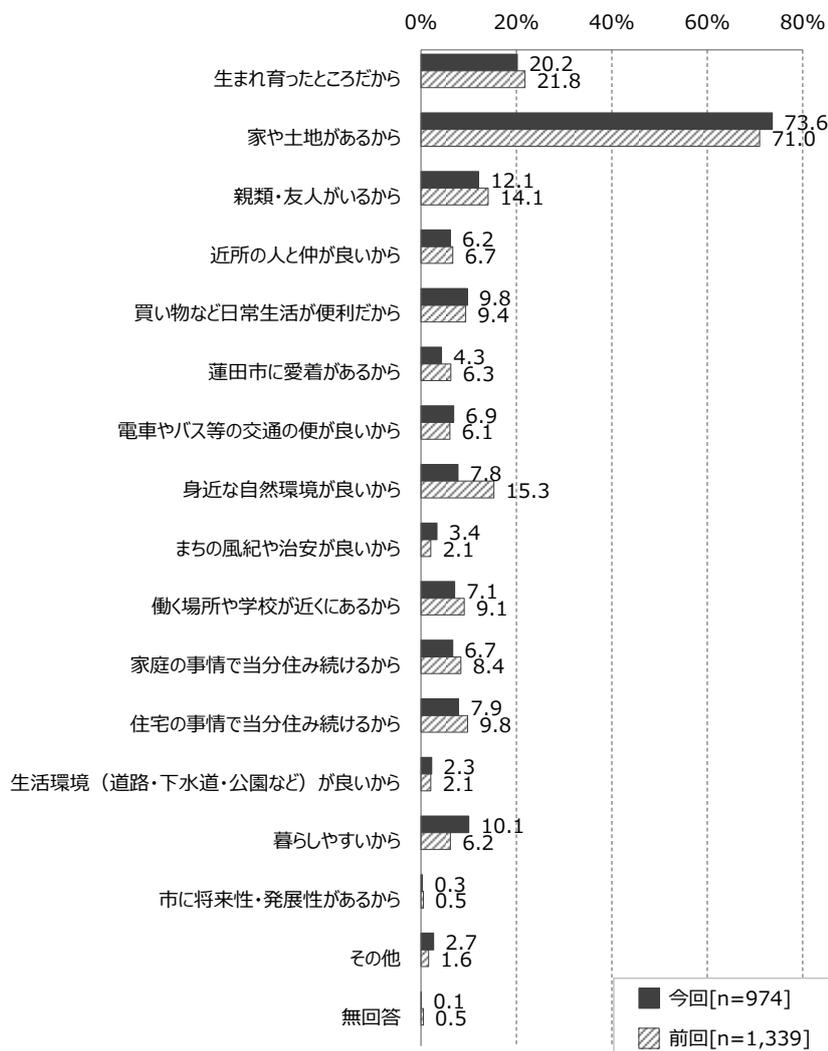
### 問2-1 住み続けたいと思う主な理由は何ですか。(複数回答)

「家や土地があるから」が73.6%で最も多く、次いで「生まれ育ったところだから」が20.2%、「親類・友人がいるから」が12.1%となっています。

前回調査との比較でも回答の割合は、おおむね同じ傾向となっていますが、「身近な自然環境が良いから」との回答は約半数である7.5ポイントの低下となっています。

#### 定住理由

##### 【全体・前回比較】



【問2で『4. 市外に移りたい』『5. 市外に移る予定がある』『6. 市内で転居したいと考えている』とお答えの方にうかがいます。】

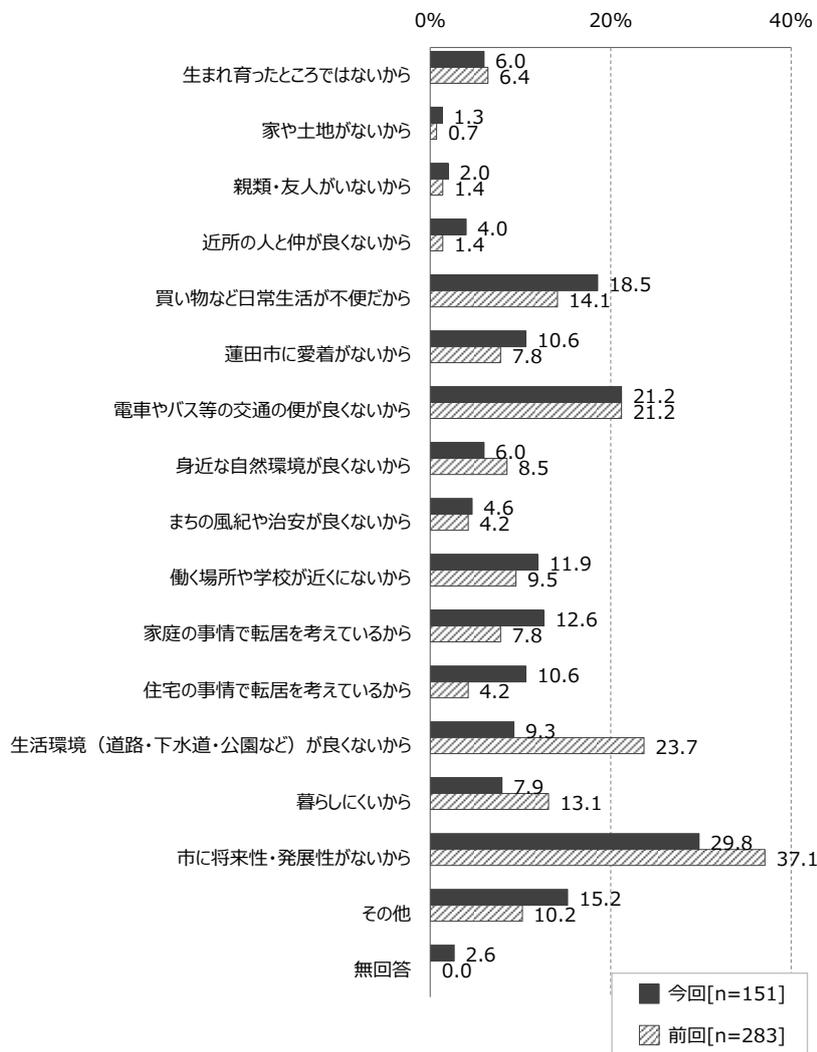
**問2-2 転居したいと思う主な理由は何ですか。(複数回答)**

「市に将来性・発展性がないから」が29.8%で最も多く、次いで「電車やバス等の交通の便が良くないから」が21.2%、「買い物など日常生活が不便だから」が18.5%となっています。

前回調査と比較すると、「市に将来性・発展性がないから」や「生活環境（道路・下水道・公園など）が良くないから」、「暮らしにくいから」の回答が減少しているのに対し、「住宅の事情で転居を考えているから」や「家庭の事情で転居を考えているから」の回答が増加しています。

**転居意向理由**

**【全体・前回比較】**



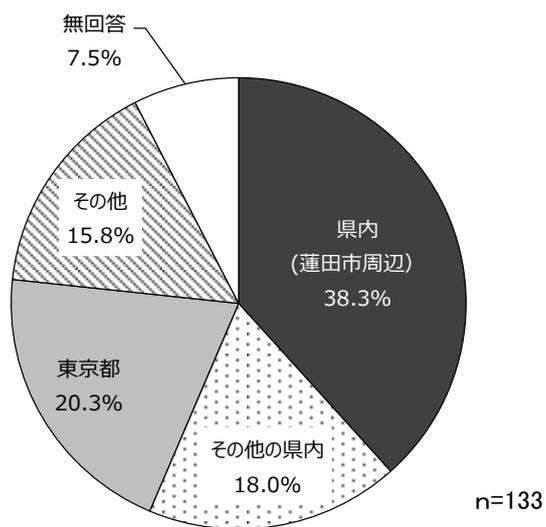
【問2で『4. 市外に移りたい』『5. 市外に移る予定がある』とお答えの方にうかがいます。】

**問2-3 市外へ移りたいと思う場所はどこのお考えですか。**

「県内（蓮田市周辺）（さいたま市・上尾市・伊奈町・桶川市・久喜市・白岡市）」が38.3%で最も多く、次いで「東京都」が20.3%、「その他の県内」が18.0%となっています。

**転居希望地域**

**【全体】**



## 暮らしをとりまく身近な環境についてうかがいます。

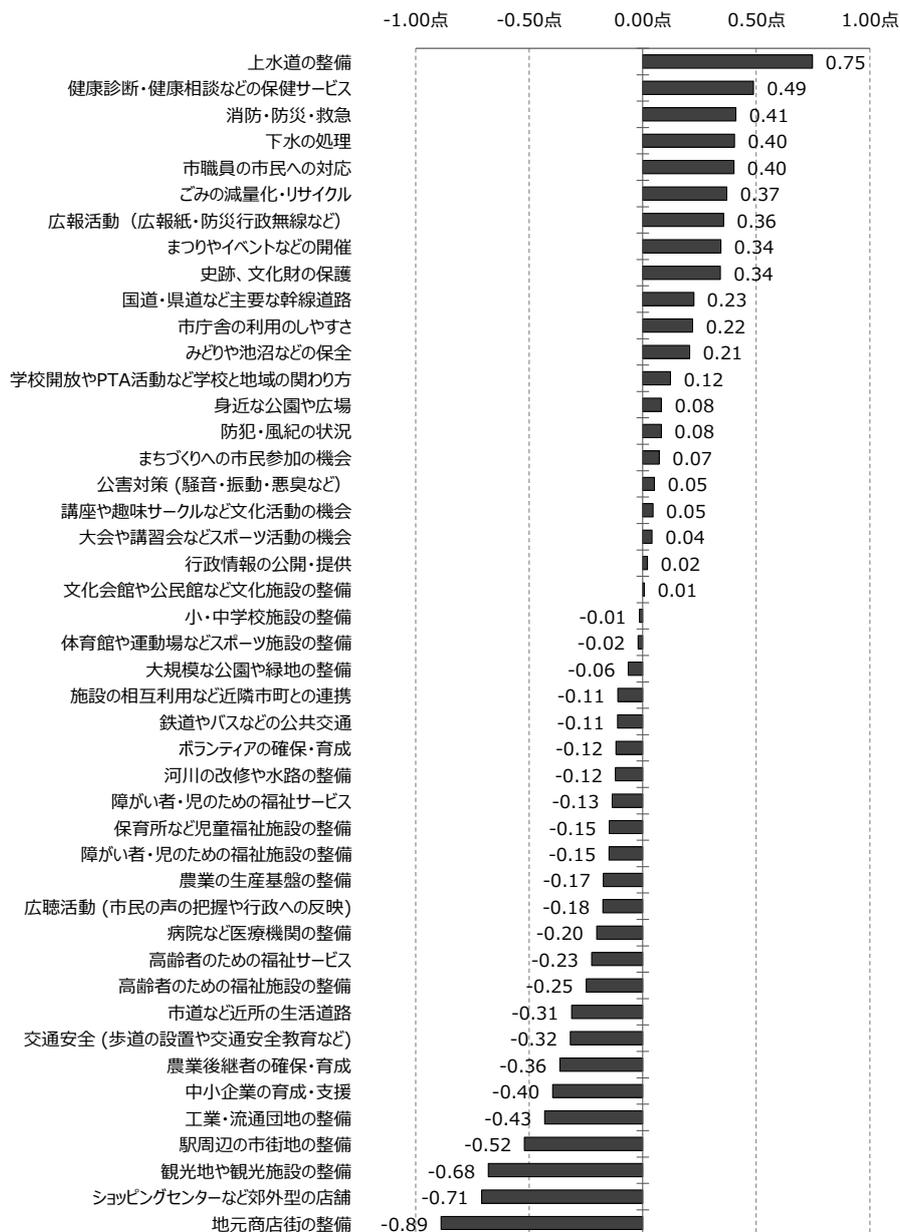
45の行政施策のうち満足度が高い施策は順に、「上水道の整備」、「健康診断・健康相談などの保健サービス」、「消防・防災・救急」などで、主に『生活環境の状況』の施策があげられています。

一方、不満度が高い施策は「地元商店街の整備」や「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」などで、『産業振興』の施策が多くなっています。

### 行政施策の満足度

【全体・加重平均】

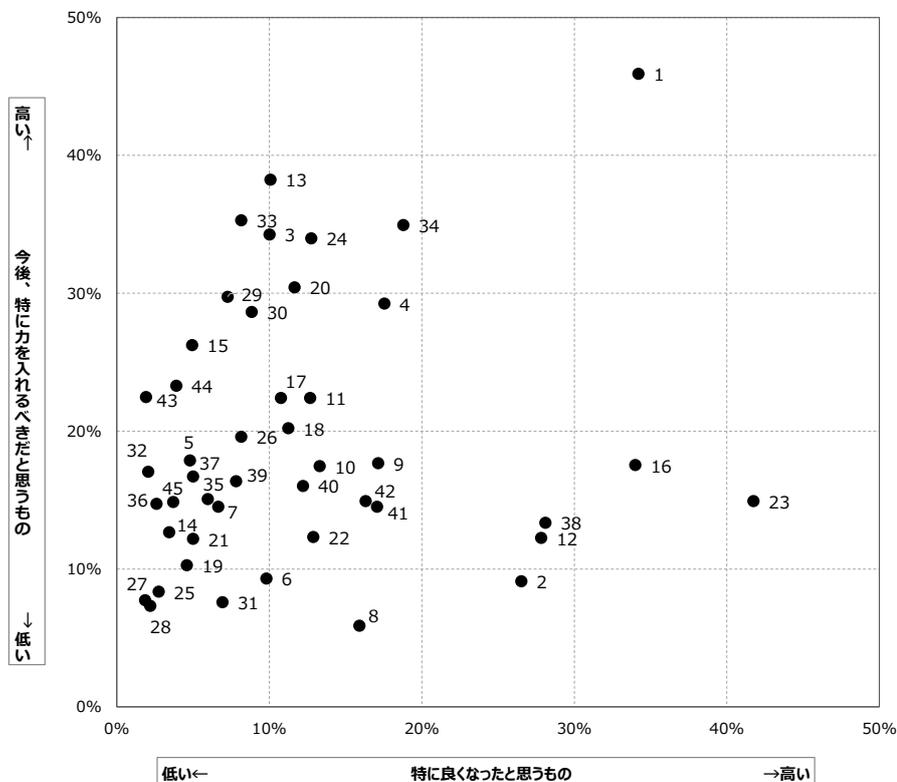
n=1,459



施策全体では、「駅周辺の市街地の整備」が評価及び要望ともに高くなっています。

## 行政施策の評価と要望

### 【全体】



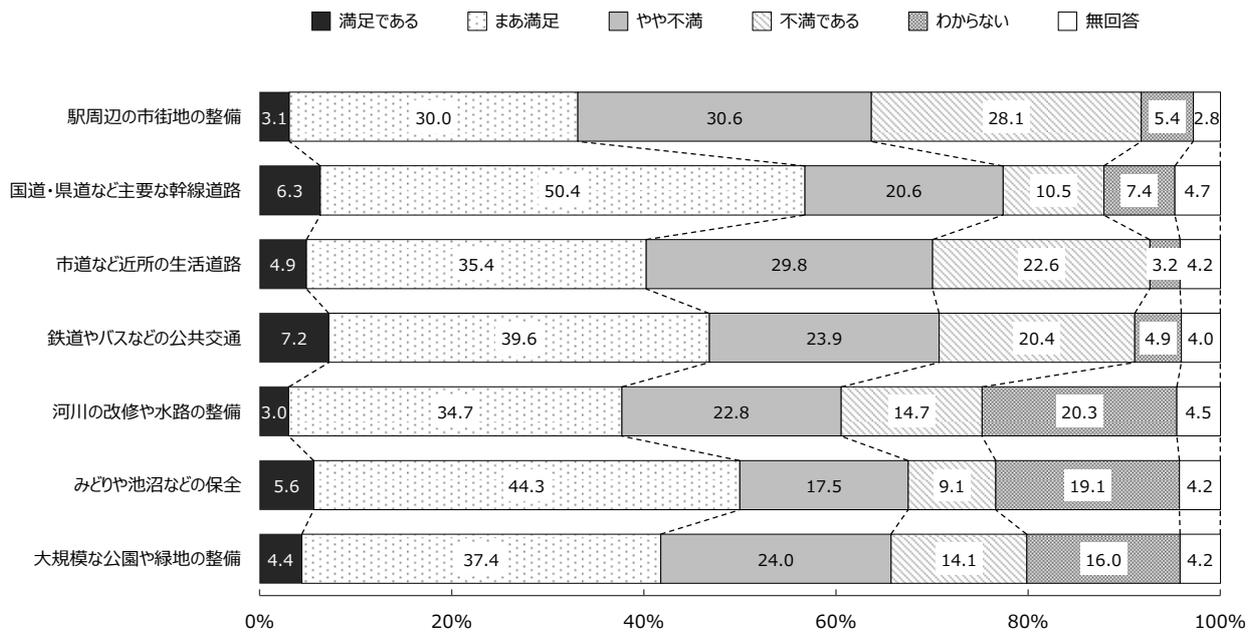
分野	NO.	施策	分野	NO.	施策
都市基盤の状況	1	駅周辺の市街地の整備	保健 福祉 医療サービス	23	健康診断・健康相談などの保健サービス
	2	国道・県道など主要な幹線道路		24	病院など医療機関の整備
	3	市道など近所の生活道路		25	ボランティアの確保・育成
	4	鉄道やバスなどの公共交通		26	保育所など児童福祉施設の整備
	5	河川の改修や水路の整備		27	障がい者・児のための福祉施設の整備
	6	みどりや池沼などの保全		28	障がい者・児のための福祉サービス
	7	大規模な公園や緑地の整備		29	高齢者のための福祉施設の整備
生活環境の状況	8	上水道の整備	30	高齢者のための福祉サービス	
	9	下水の処理	産業振興	31	農業の生産基盤の整備
	10	身近な公園や広場		32	農業後継者の確保・育成
	11	消防・防災・救急		33	地元商店街の整備
	12	ごみの減量化・リサイクル		34	ショッピングセンターなど郊外型の店舗
	13	交通安全（歩道の設置や交通安全教育など）		35	工業・流通団地の整備
	14	公害対策（騒音・振動・悪臭など）		36	中小企業の育成・支援
	15	防犯・風紀の状況		37	観光地や観光施設の整備
教育文化行政	16	文化会館や公民館など文化施設の整備		コミュニティづくり	38
	17	講座や趣味サークルなど文化活動の機会	39		まちづくりへの市民参加の機会
	18	体育館や運動場などスポーツ施設の整備	40		市庁舎の利用のしやすさ
	19	大会や講習会などスポーツ活動の機会	41		市職員の市民への対応
	20	小・中学校施設の整備	42		広報活動（広報紙・防災行政無線など）
	21	学校開放や PTA 活動など学校と地域の関わり方	43		広聴活動（市民の声の把握や行政への反映）
	22	史跡、文化財の保護	44		施設の相互利用など近隣市町との連携
			45		行政情報の公開・提供

### 問3 蓮田市の都市基盤の状況についてどのように感じていますか。

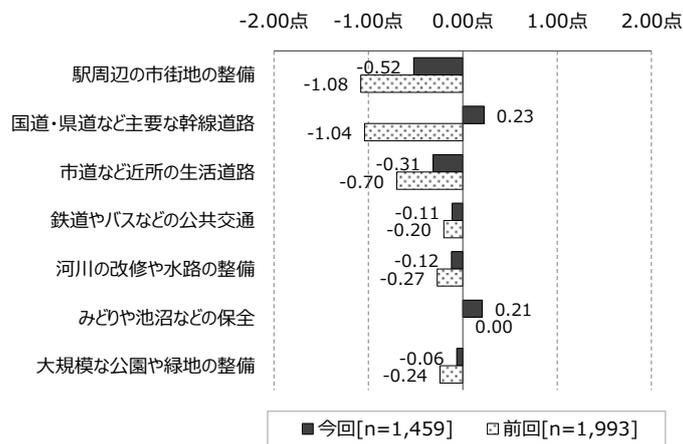
都市基盤の状況の施策で「満足である」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高いのは、『国道・県道など主要な幹線道路』や『みどりや池沼などの保全』で、前回調査との比較でも、満足度はマイナスや0.00点からプラスになっています。

#### 都市基盤の状況

##### 【満足度】



##### 【満足度（前回比較・加重平均点）】



**問4 都市基盤の状況の項目で、ここ数年でA. 特に良くなったと思うもの、また、B. 今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。（複数回答）**

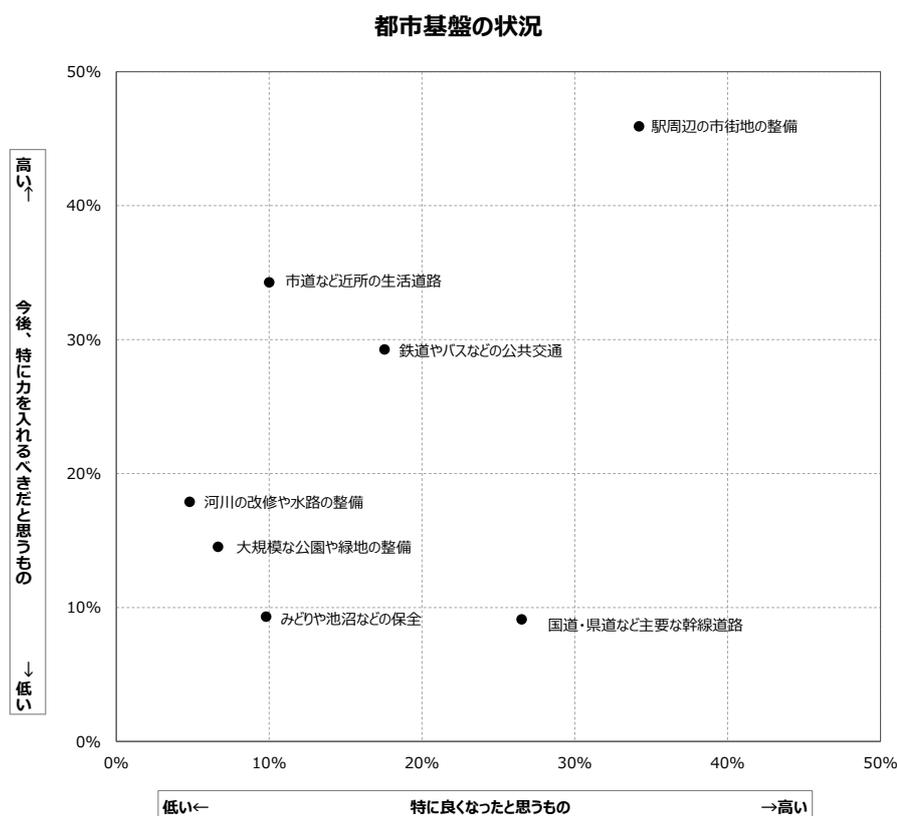
■ 評価

「駅周辺の市街地の整備」が34.2%で最も高く、次いで「国道・県道など主要な幹線道路」が26.5%、「鉄道やバスなどの公共交通」が17.5%となっています。

■ 要望

「駅周辺の市街地の整備」が45.9%で最も高く、次いで「市道など近所の生活道路」が34.3%、「鉄道やバスなどの公共交通」が29.3%となっています。

**都市基盤の状況の評価と要望**



施策	評価	要望
駅周辺の市街地の整備	34.2%	45.9%
国道・県道など主要な幹線道路	26.5%	9.1%
市道など近所の生活道路	10.0%	34.3%
鉄道やバスなどの公共交通	17.5%	29.3%
河川の改修や水路の整備	4.8%	17.9%
みどりや池沼などの保全	9.8%	9.3%
大規模な公園や緑地の整備	6.6%	14.5%

評価について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「国道・県道など主要な幹線道路」が26.5%で前回より15.9ポイント増加している一方、「大規模な公園や緑地の整備」は6.6%で前回より9.8ポイント減少しています。

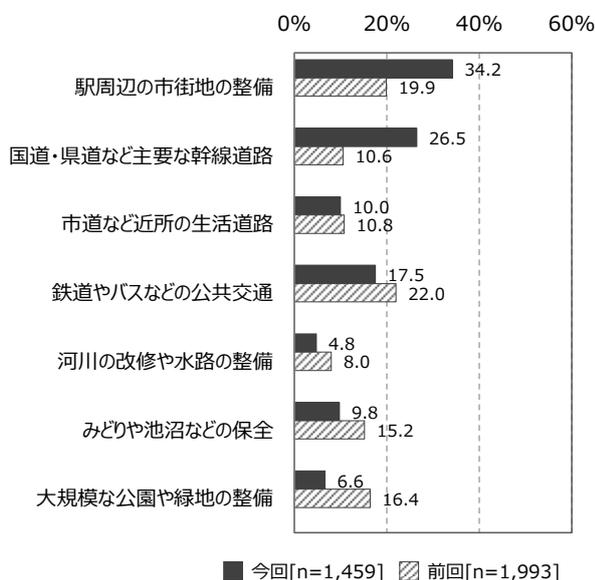
要望について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「鉄道やバスなどの公共交通」が29.3%で前回より7.9ポイント増加している一方、「国道・県道など主要な幹線道路」が9.1%と前回より26.9ポイント減少しています。

## 都市基盤の状況の評価と要望

### 【前回比較】

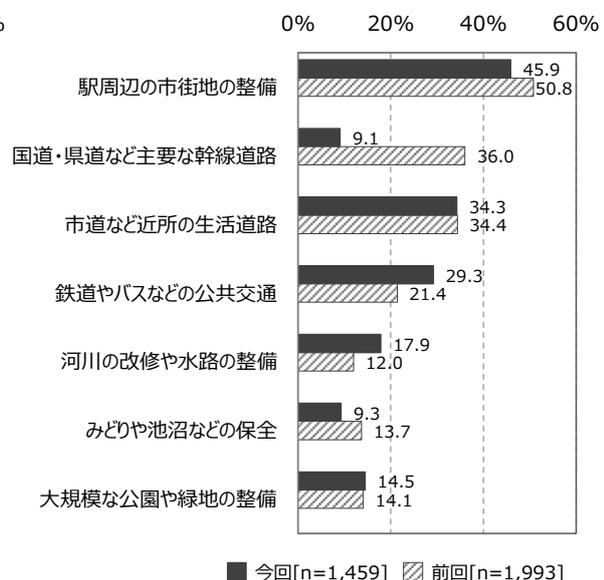
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について年齢別にみると、「駅周辺の市街地の整備」施策の20歳代以下が44.8%で最も高くなっています。

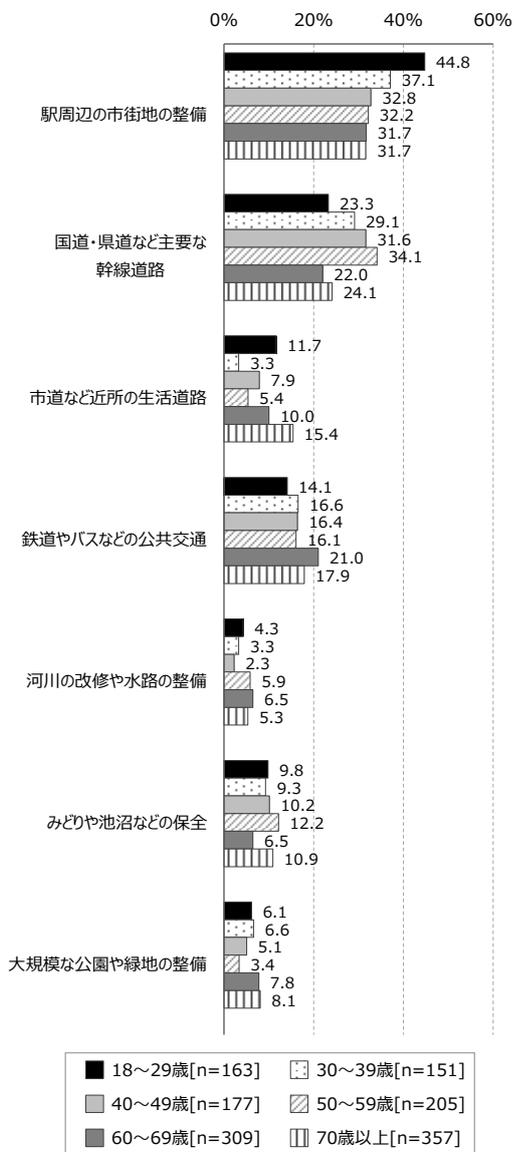
要望については、「駅周辺の市街地の整備」施策の60歳代が50.8%で最も高くなっています。

## 都市基盤の状況の評価と要望

### 【年齢別】

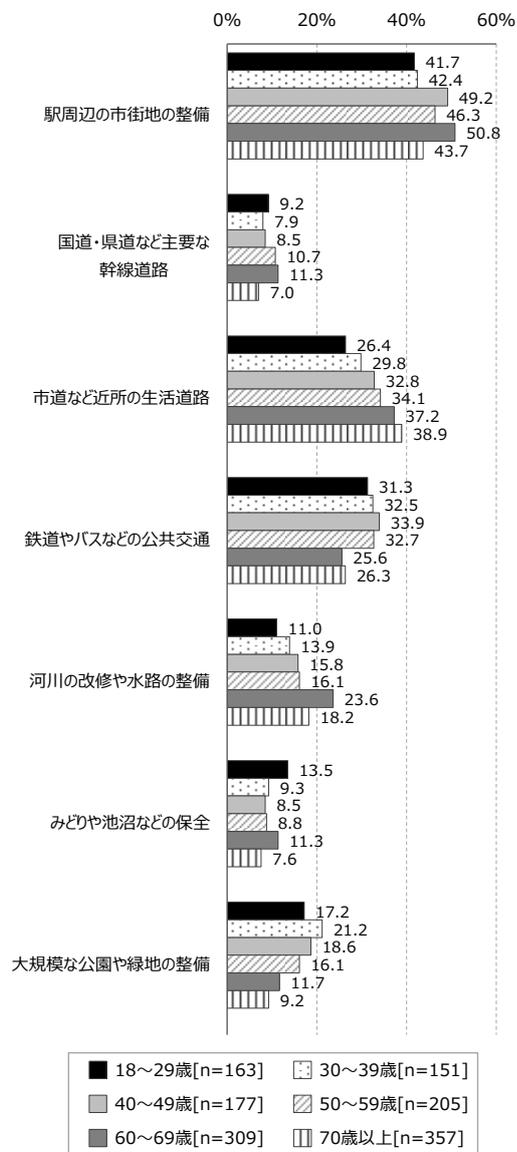
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について地区別にみると、「駅周辺の市街地の整備」施策の平野地区が45.0%で最も高くなっています。

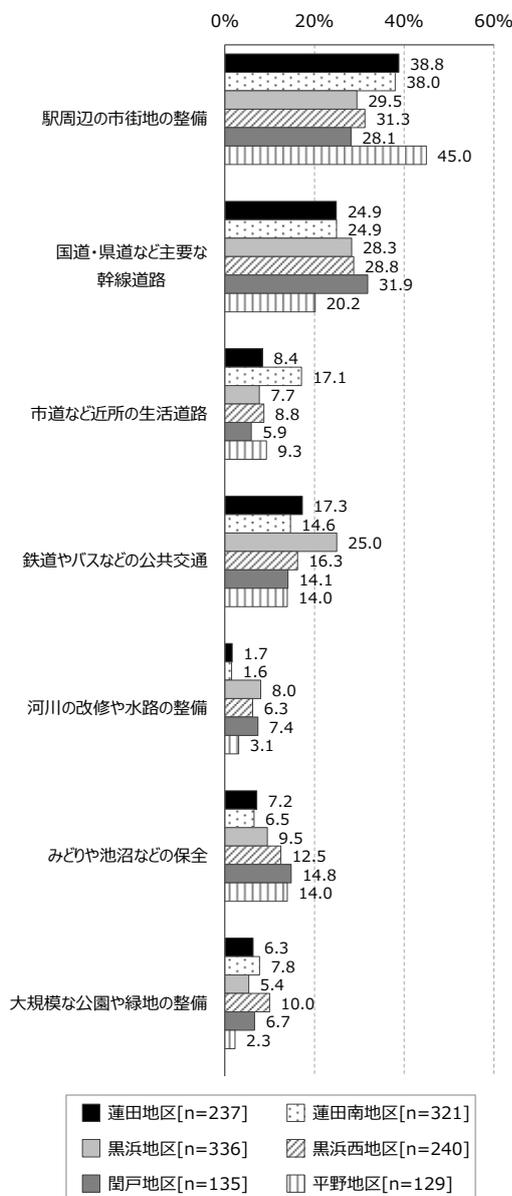
要望については、「駅周辺の市街地の整備」施策の蓮田地区が56.5%で最も高くなっています。

## 都市基盤の状況の評価と要望

### 【地区別】

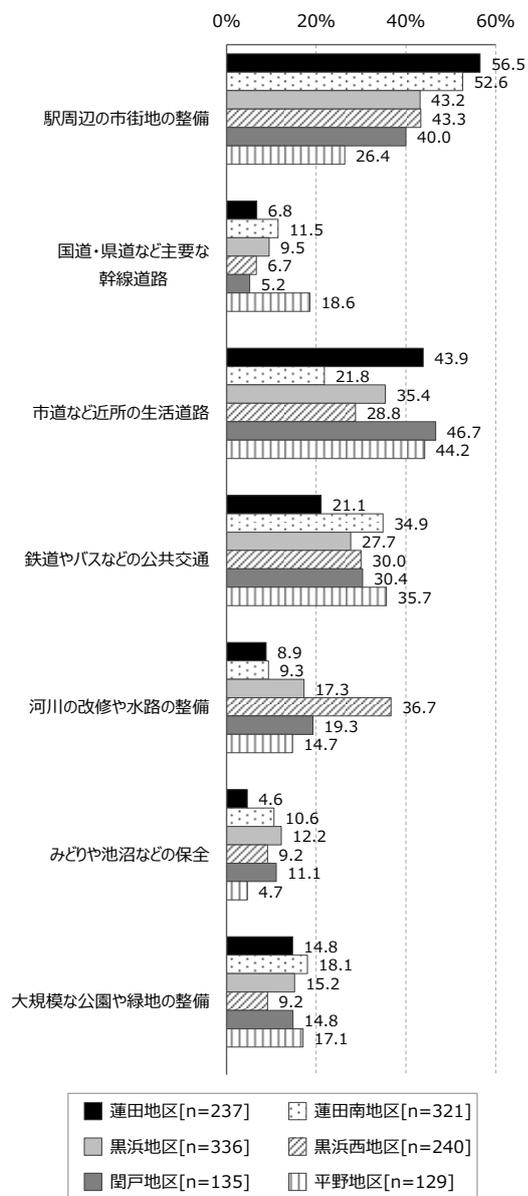
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



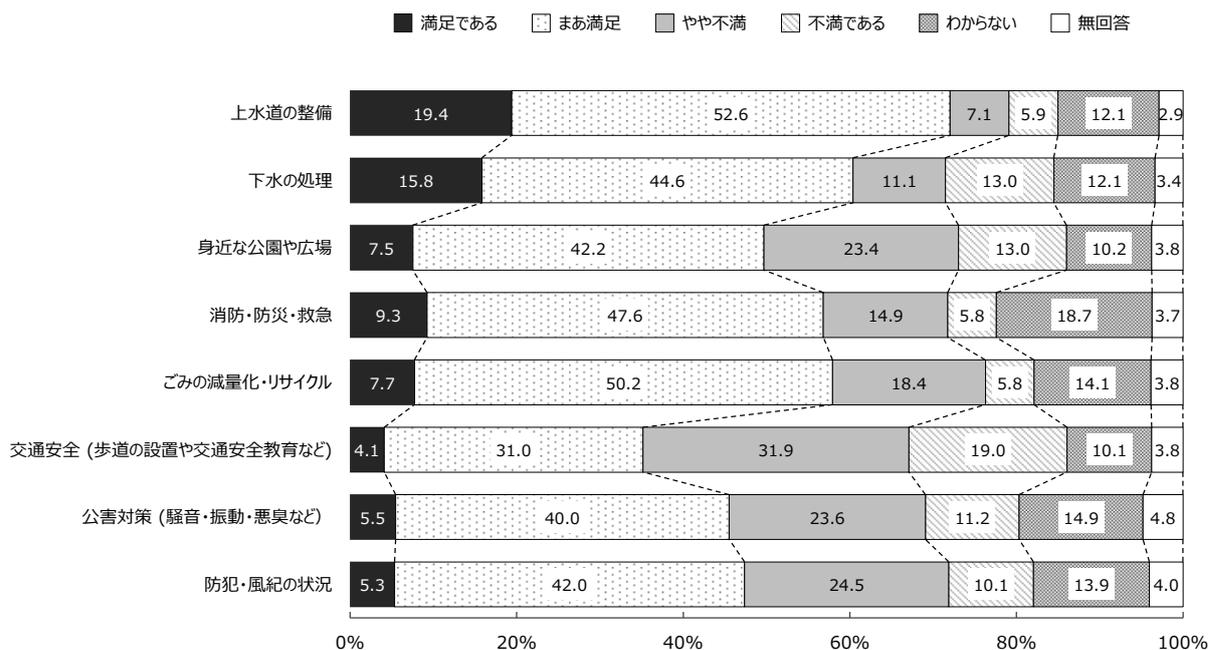
## 問5 蓮田市の生活環境の状況についてどのように感じていますか。

生活環境の状況の施策で「満足である」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高いのは、『上水道の整備』や『下水の処理』となっています。

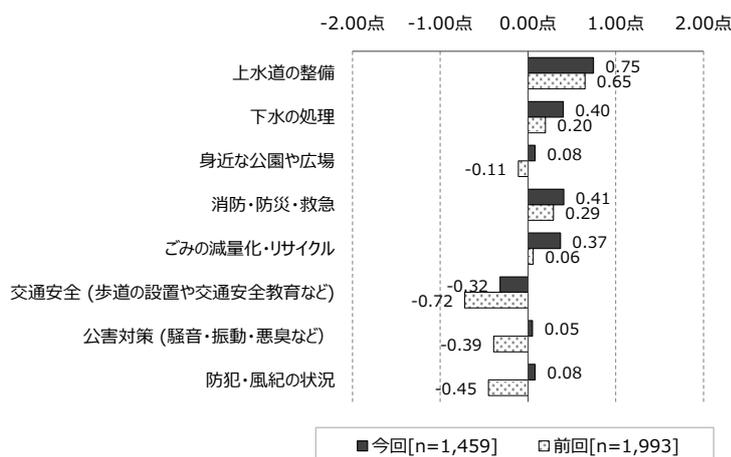
前回調査との比較では、「防犯・風紀の状況」が0.53ポイント増加しています。減少している施策はありません。

### 生活環境の状況

#### 【満足度】



#### 【満足度（前回比較・加重平均点）】



問6 生活環境の状況の項目の中で、ここ数年でA. 特に良くなったと思うもの、また、B. 今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。(複数回答)

■評価

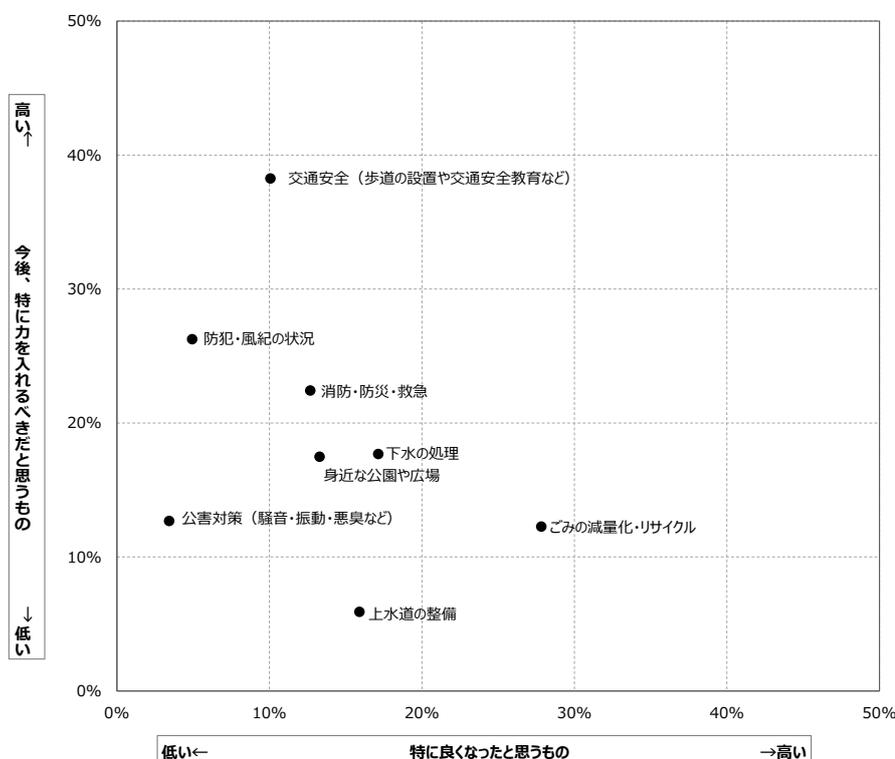
「ごみの減量化・リサイクル」が27.8%で最も高く、次いで「下水の処理」が17.1%、「上水道の整備」が15.9%となっています。

■要望

「交通安全（歩道の設置や交通安全教育など）」が38.2%で最も高く、次いで「防犯・風紀の状況」が26.3%、「消防・防災・救急」が22.4%となっています。

生活環境の状況の評価と要望

生活環境の状況



施策	評価	要望
上水道の整備	15.9%	5.9%
下水の処理	17.1%	17.7%
身近な公園や広場	13.3%	17.5%
消防・防災・救急	12.7%	22.4%
ごみの減量化・リサイクル	27.8%	12.3%
交通安全 (歩道の設置や交通安全教育など)	10.1%	38.2%
公害対策 (騒音・振動・悪臭など)	3.4%	12.7%
防犯・風紀の状況	4.9%	26.3%

評価について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「交通安全（歩道の設置や交通安全教育など）」が10.1%で前回より5.4ポイント増加している一方、「下水の処理」は17.1%で前回より14.0ポイント減少しています。

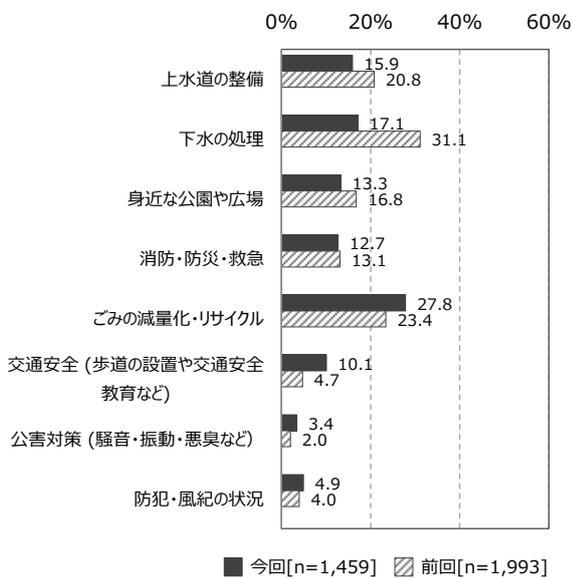
要望について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「消防・防災・救急」が22.4%で前回より5.9ポイント増加している一方、「防犯・風紀の状況」が26.3%と前回より16.8ポイント減少しています。

## 生活環境の状況の評価と要望

### 【前回比較】

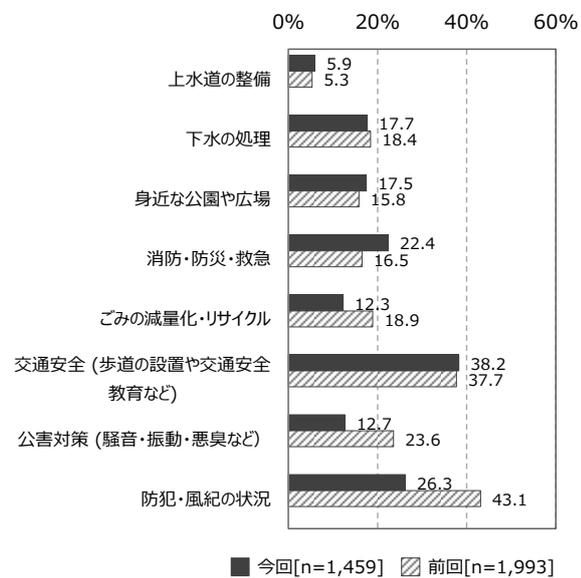
#### 評価

(A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

(B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について年齢別にみると、「ごみの減量化・リサイクル」施策の60歳代が34.3%で最も高くなっています。

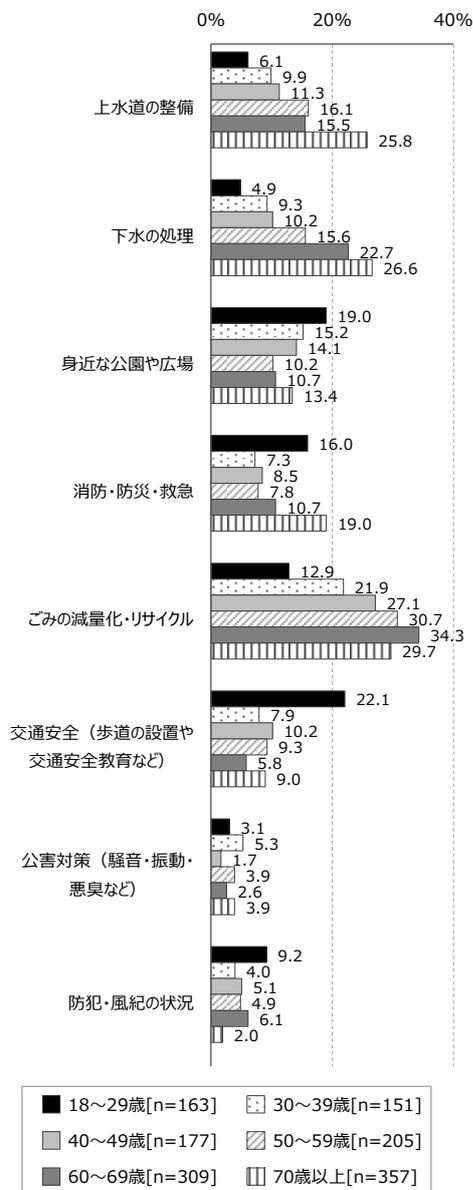
要望については、「交通安全（歩道の設置や交通安全教育など）」施策の60歳代が42.7%で最も高くなっています。

## 生活環境の状況の評価と要望

### 【年齢別】

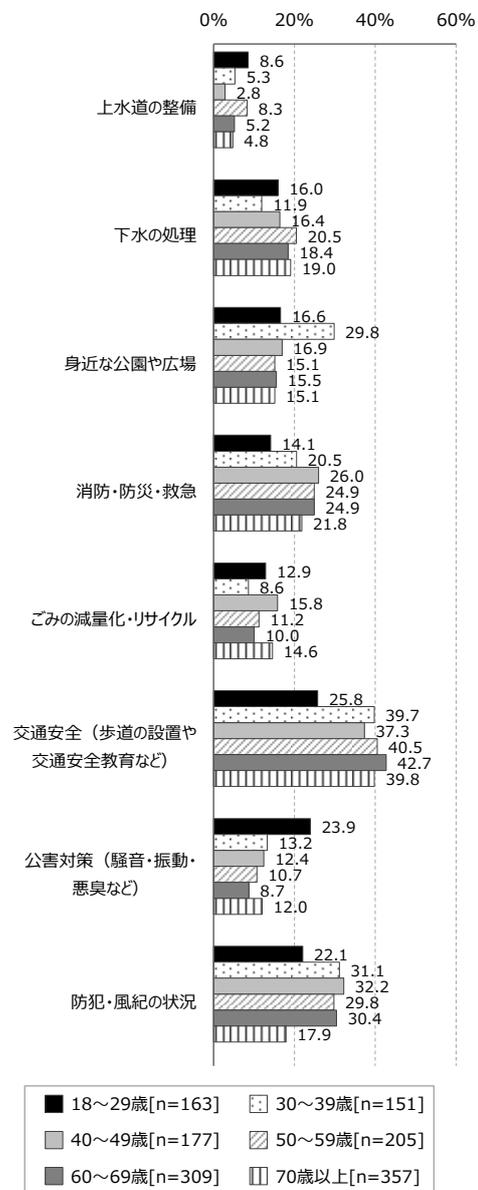
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について地区別にみると、「ごみの減量化・リサイクル」施策の閏戸地区が40.7%で最も高くなっています。

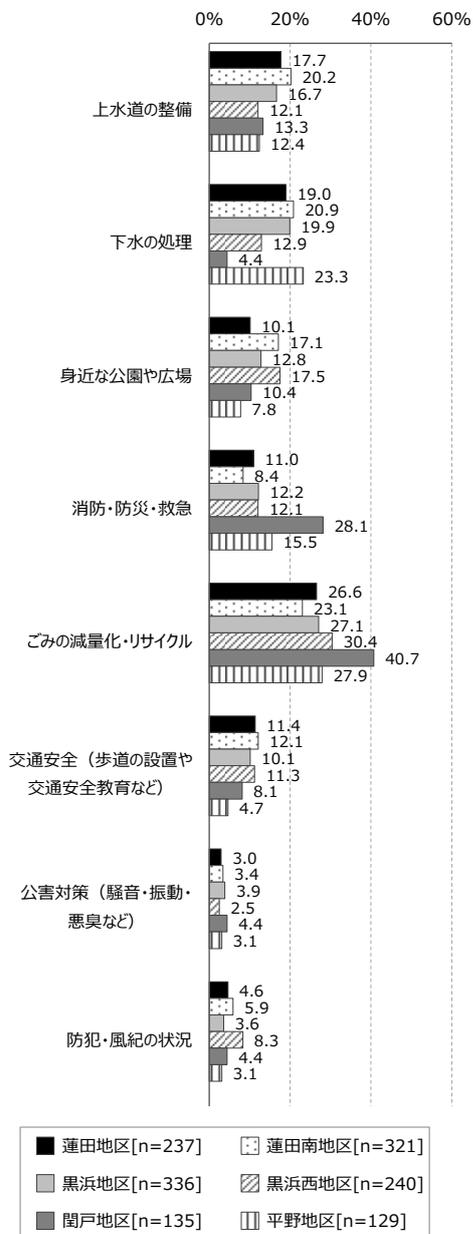
要望については、「下水の処理」施策の閏戸地区が54.1%で最も高くなっています。

## 生活環境の状況の評価と要望

### 【地区別】

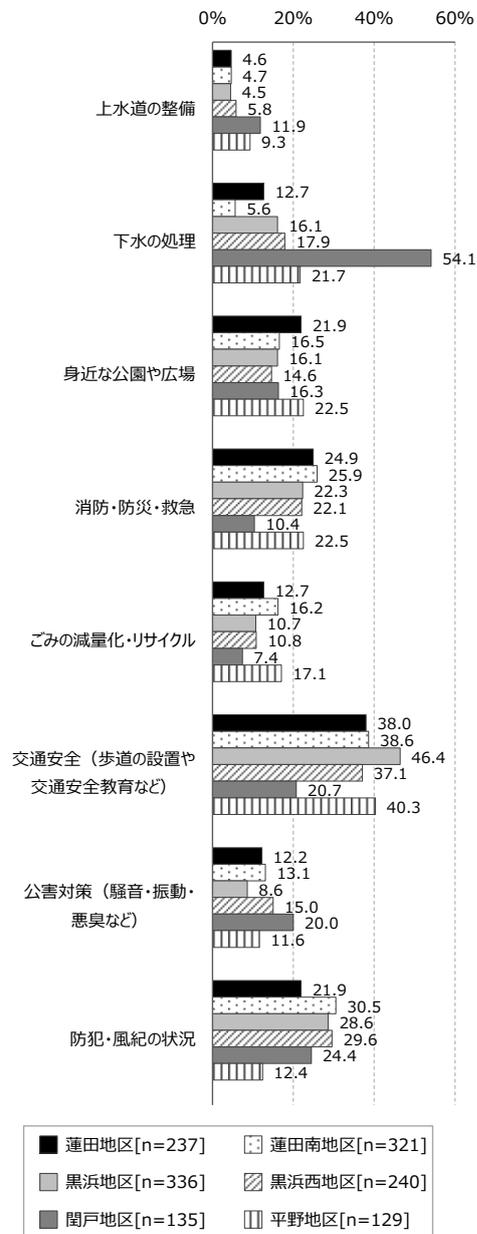
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



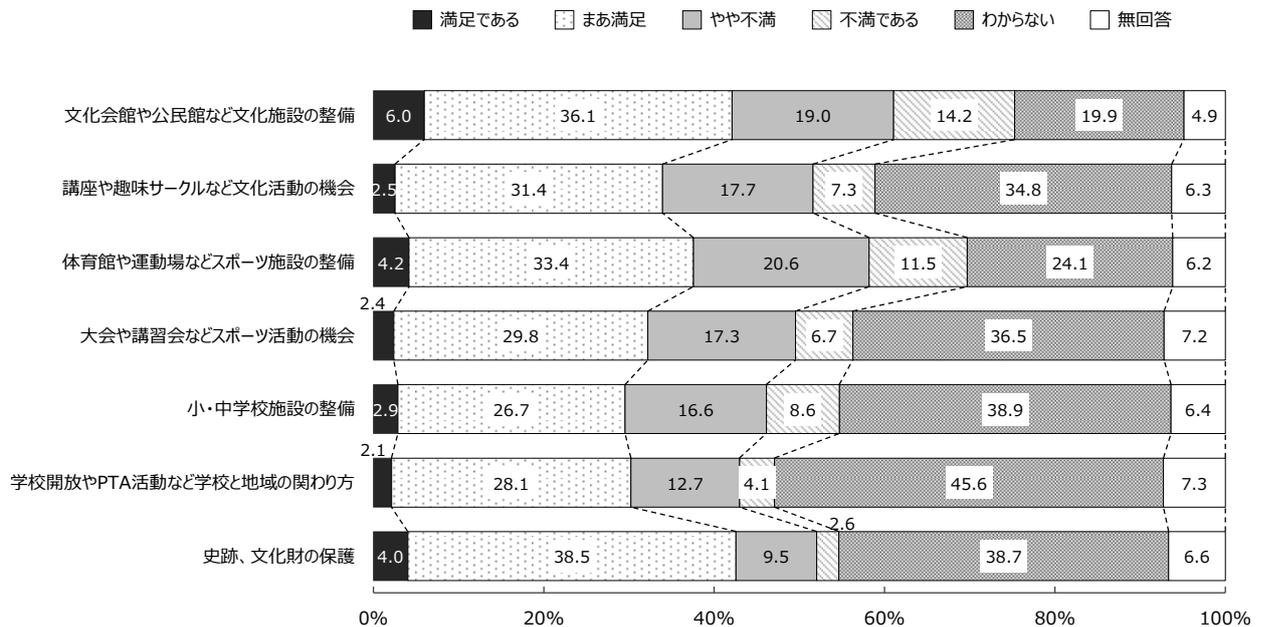
## 問7 蓮田市の教育・文化行政についてどのように感じていますか。

教育・文化行政の施策で「満足である」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高いのは、『史跡、文化財の保護』や『文化会館や公民館など文化施設の整備』で、いずれも4割を超えています。

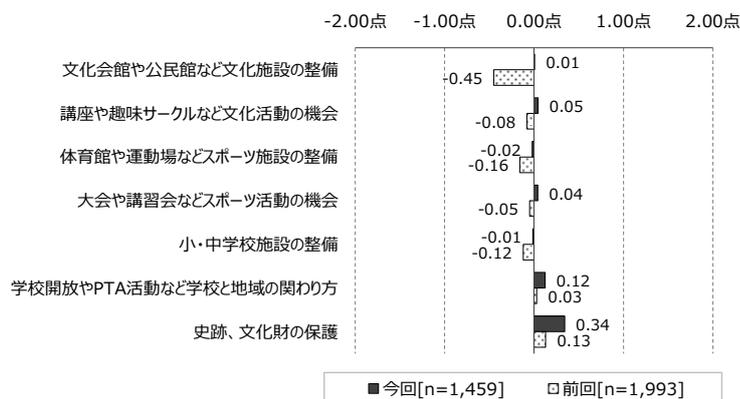
前回調査との比較では、『文化会館や公民館など文化施設の整備』は0.46ポイントと大きく増加しプラスになっています。

### 教育・文化行政

#### 【満足度】



#### 【満足度（前回比較・加重平均点）】



問8 教育・文化行政の項目の中で、ここ数年でA. 特に良くなったと思うもの、また、B. 今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。(複数回答)

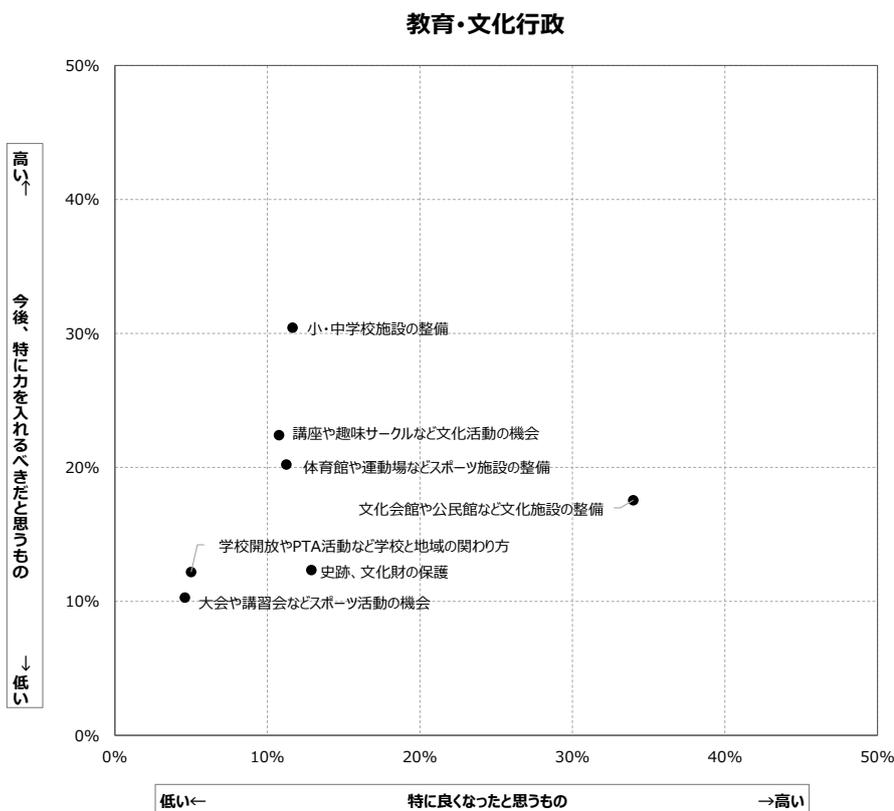
■ 評価

「文化会館や公民館など文化施設の整備」が34.0%で最も高く、次いで「史跡、文化財の保護」が12.9%、「小・中学校施設の整備」が11.7%となっています。

■ 要望

「小・中学校施設の整備」が30.4%で最も高く、次いで「講座や趣味サークルなど文化活動の機会」が22.4%、「体育館や運動場などスポーツ施設の整備」が20.2%となっています。

教育・文化行政の評価と要望



施策	評価	要望
文化会館や公民館など文化施設の整備	34.0%	17.5%
講座や趣味サークルなど文化活動の機会	10.8%	22.4%
体育館や運動場などスポーツ施設の整備	11.2%	20.2%
大会や講習会などスポーツ活動の機会	4.6%	10.3%
小・中学校施設の整備	11.7%	30.4%
学校開放やPTA活動など学校と地域の関わり方	5.0%	12.2%
史跡、文化財の保護	12.9%	12.3%

評価について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「文化会館や公民館など文化施設の整備」が34.0%で前回より17.7ポイント増加している一方、「体育館や運動場などスポーツ施設の整備」は11.2%で前回より9.1ポイント減少しています。

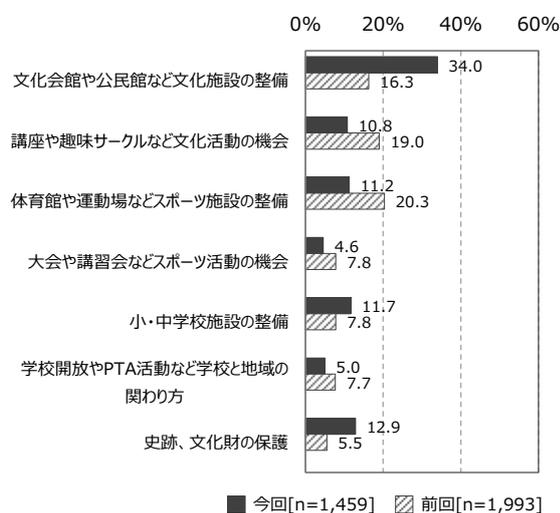
要望について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「小・中学校施設の整備」が30.4%で前回より5.6ポイント増加している一方、「文化会館や公民館など文化施設の整備」が17.5%で前回より19.1ポイント減少しています。

## 教育・文化行政の評価と要望

### 【前回比較】

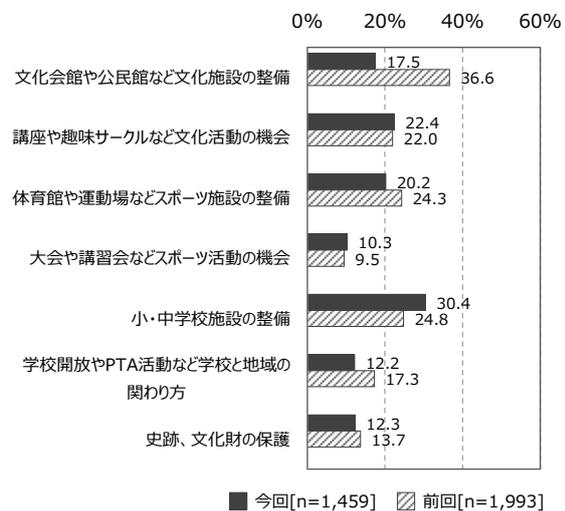
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について年齢別にみると、「文化会館や公民館など文化施設の整備」施策の70歳以上が40.6%で最も高くなっています。

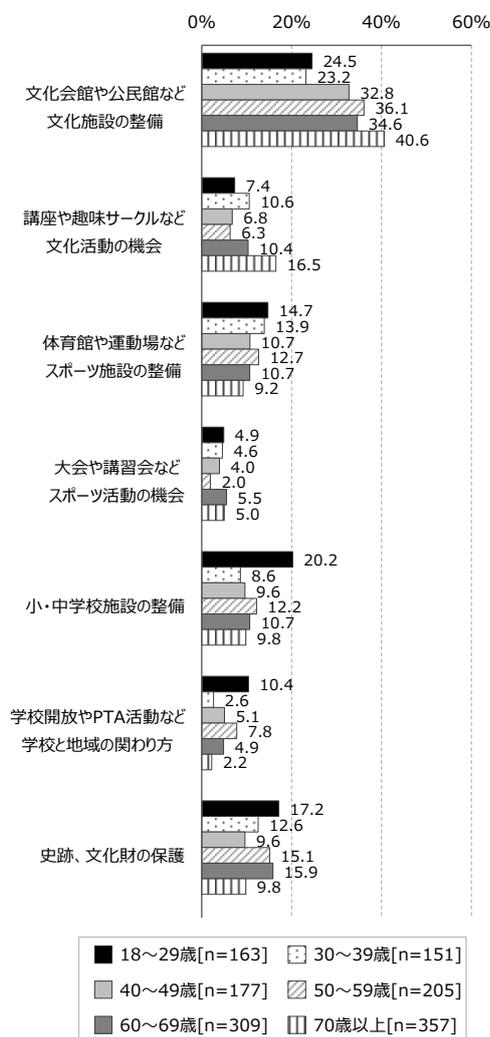
要望については、「小・中学校施設の整備」施策の30歳代が43.7%で最も高くなっています。

## 教育・文化行政の評価と要望

### 【年齢別】

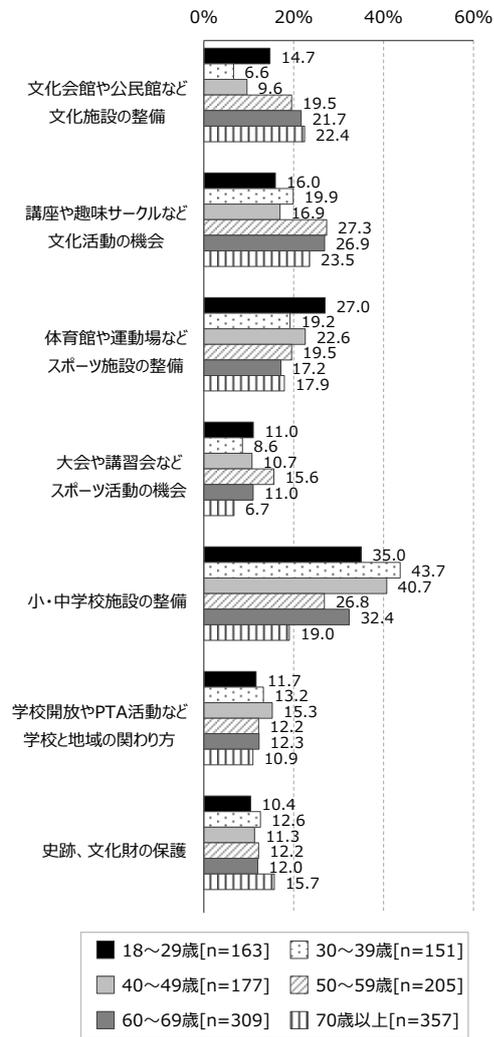
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について地区別にみると、「文化会館や公民館など文化施設の整備」施策の平野地区が42.6%で最も高くなっています。

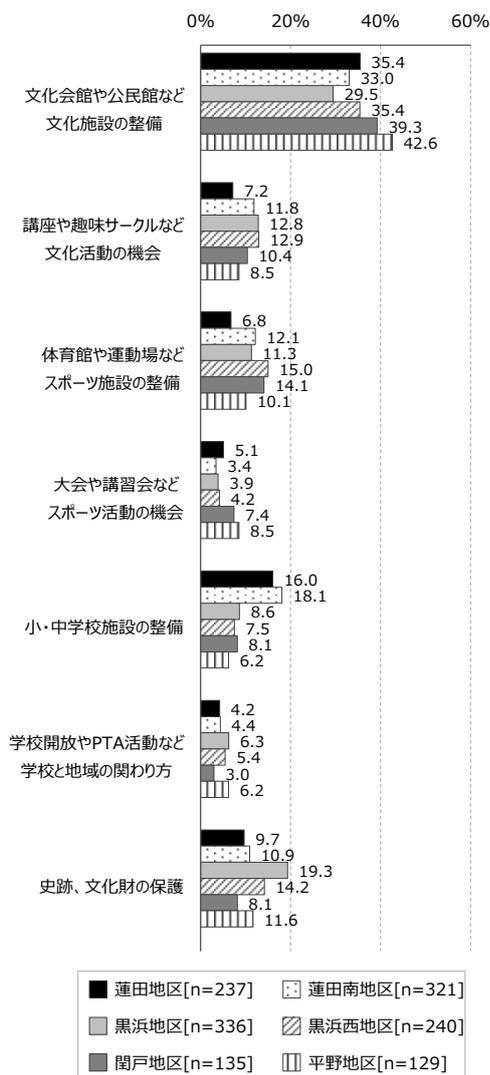
要望については、「小・中学校施設の整備」施策の平野地区が36.4%で最も高くなっています。

## 教育・文化行政の評価と要望

### 【地区別】

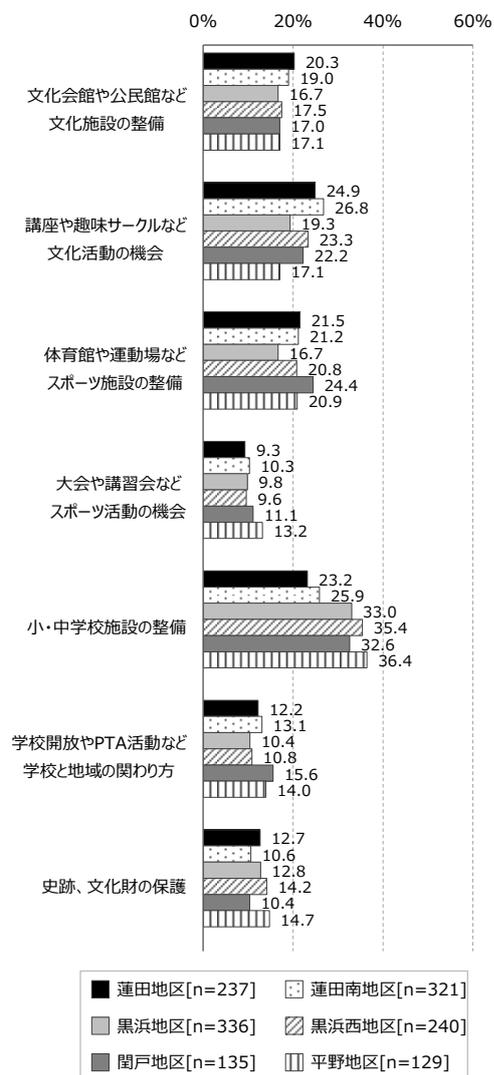
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)

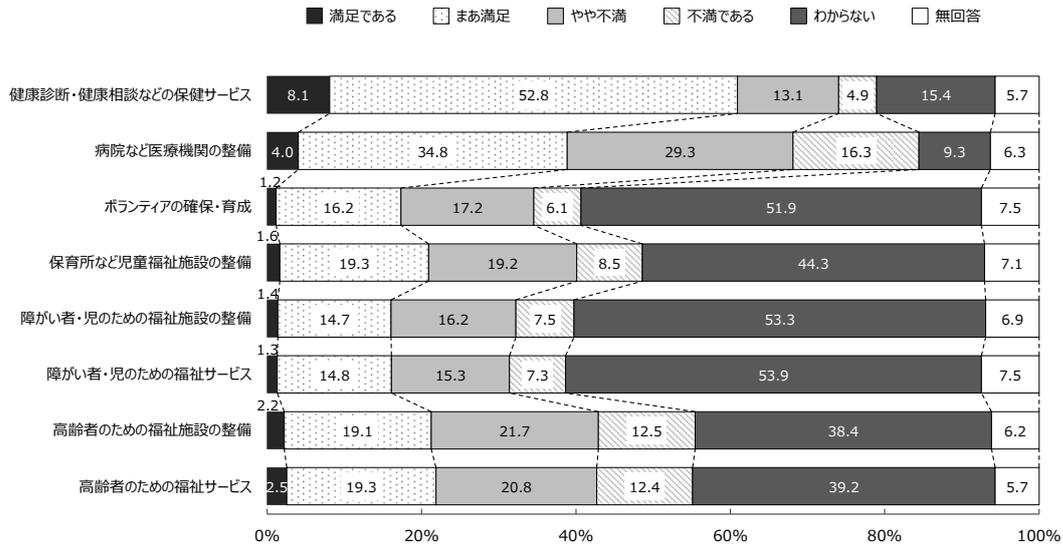


## 問9 蓮田市の保健・福祉・医療サービスについてどのように感じていますか。

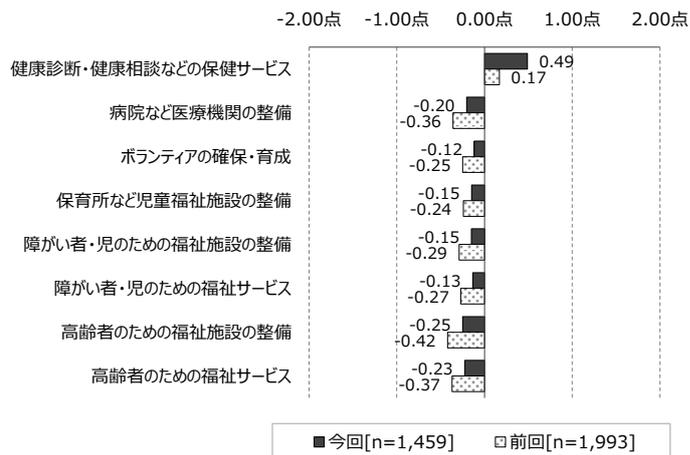
生活環境の状況の施策で「満足である」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高いのは『健康診断・健康相談などの保健サービス』で6割を超えています。また、前回調査との比較でも、0.32ポイント増加し、0.49点となっています。

### 保健・福祉・医療サービス

#### 【満足度】



#### 【満足度（前回比較・加重平均点）】



問 10 保健・福祉・医療サービスの項目の中で、ここ数年でA. 特に良くなったと思うもの、また、B. 今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。  
(複数回答)

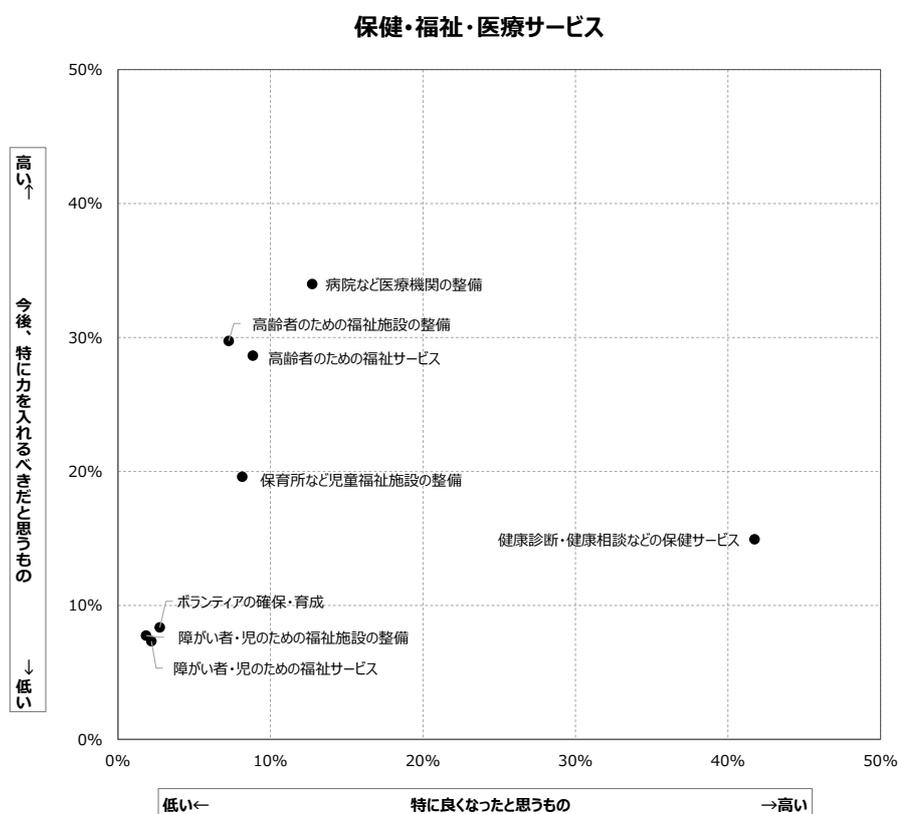
■ 評価

「健康診断・健康相談などの保健サービス」が41.7%で最も高く、次いで「病院など医療機関の整備」が12.7%、「高齢者のための福祉サービス」が8.8%となっています。

■ 要望

「病院など医療機関の整備」が34.0%で最も高く、次いで「高齢者のための福祉施設の整備」が29.7%、「高齢者のための福祉サービス」が28.6%となっています。

**保健・福祉・医療サービスの評価と要望**



施策	評価	要望
健康診断・健康相談などの保健サービス	41.7%	14.9%
病院など医療機関の整備	12.7%	34.0%
ボランティアの確保・育成	2.7%	8.4%
保育所など児童福祉施設の整備	8.2%	19.6%
障がい者・児のための福祉施設の整備	1.9%	7.7%
障がい者・児のための福祉サービス	2.2%	7.3%
高齢者のための福祉施設の整備	7.3%	29.7%
高齢者のための福祉サービス	8.8%	28.6%

評価について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「健康診断・健康相談などの保健サービス」が41.7%で前回より18.2ポイント増加している一方、「病院など医療機関の整備」は12.7%で前回より6.1ポイント減少しています。

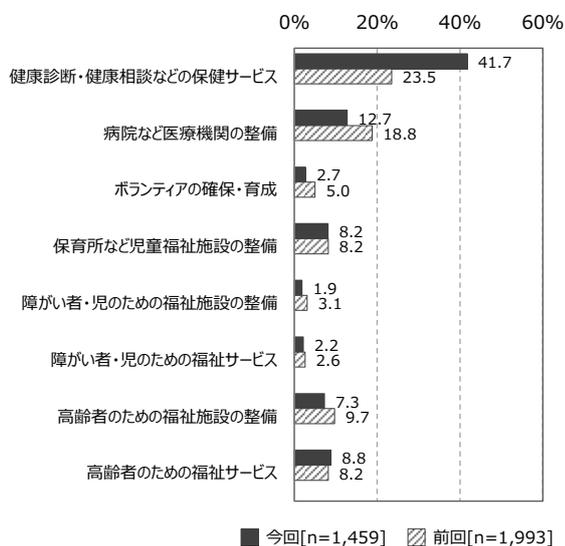
要望について、前回調査と比較し増加が大きい施策はありませんが、「高齢者のための福祉サービス」が28.6%で前回より5.0ポイント減少しています。

## 保健・福祉・医療サービスの評価と要望

### 【前回比較】

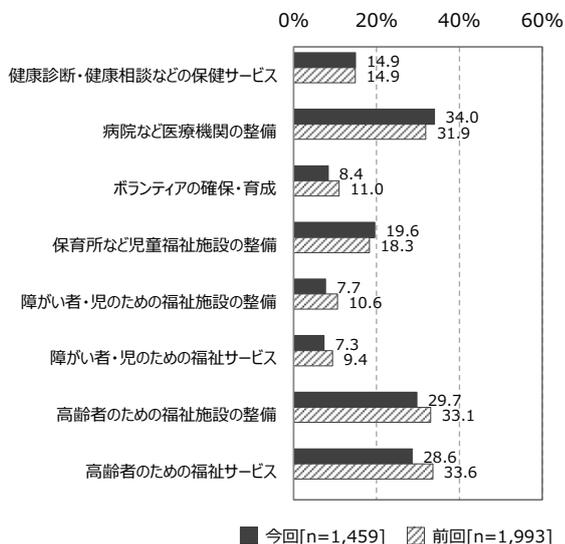
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について年齢別にみると、「健康診断・健康相談などの保健サービス」施策の70歳以上が52.7%で最も高く、次いで60歳代の49.5%となっています。

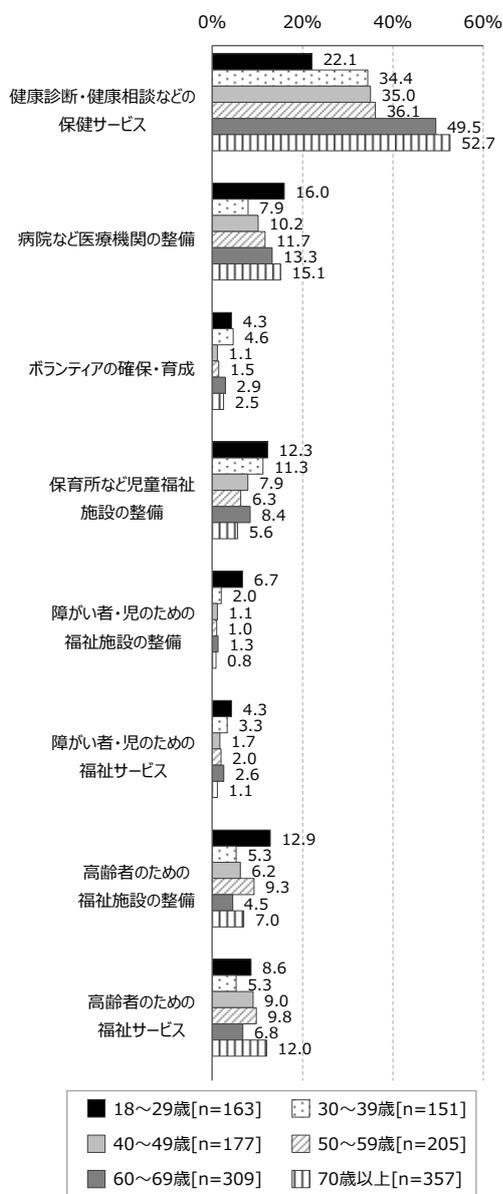
要望については、「病院など医療機関の整備」施策の50歳代が40.5%で最も高くなっています。

## 保健・福祉・医療サービスの評価と要望

### 【年齢別】

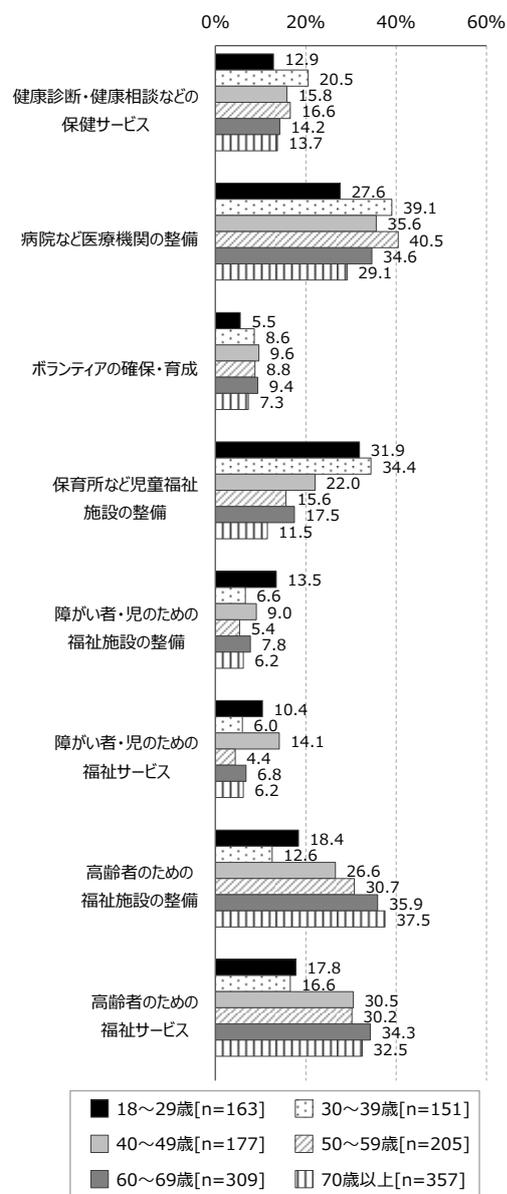
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について地区別にみると、いずれの地区も「健康診断・健康相談などの保健サービス」施策が高くなっています。

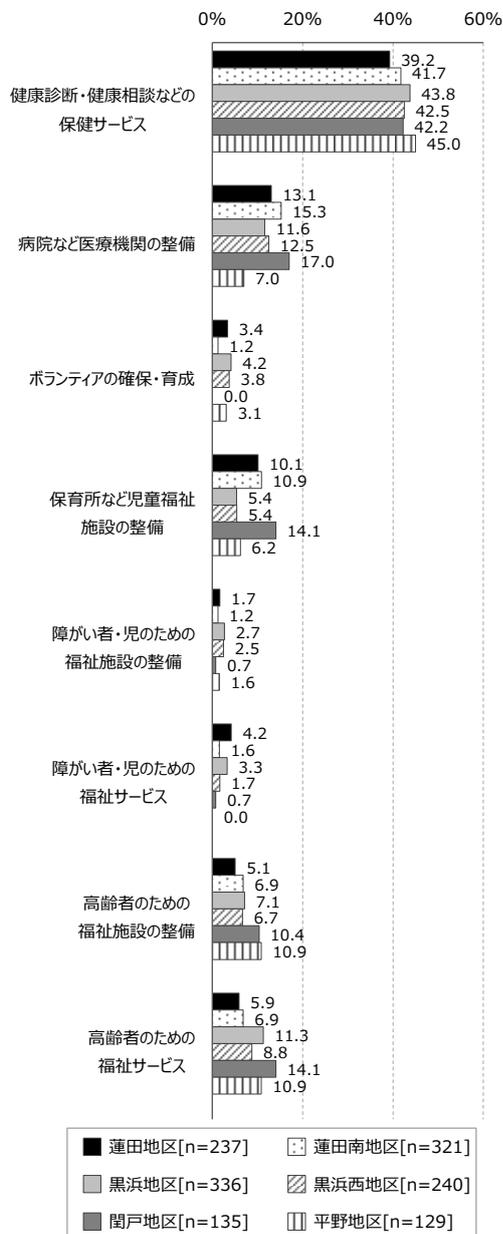
要望については、「病院など医療機関の整備」や「高齢者のための福祉施設の整備」、「高齢者のための福祉サービス」の施策が高くなっています。

## 保健・福祉・医療サービスの評価と要望

### 【地区別】

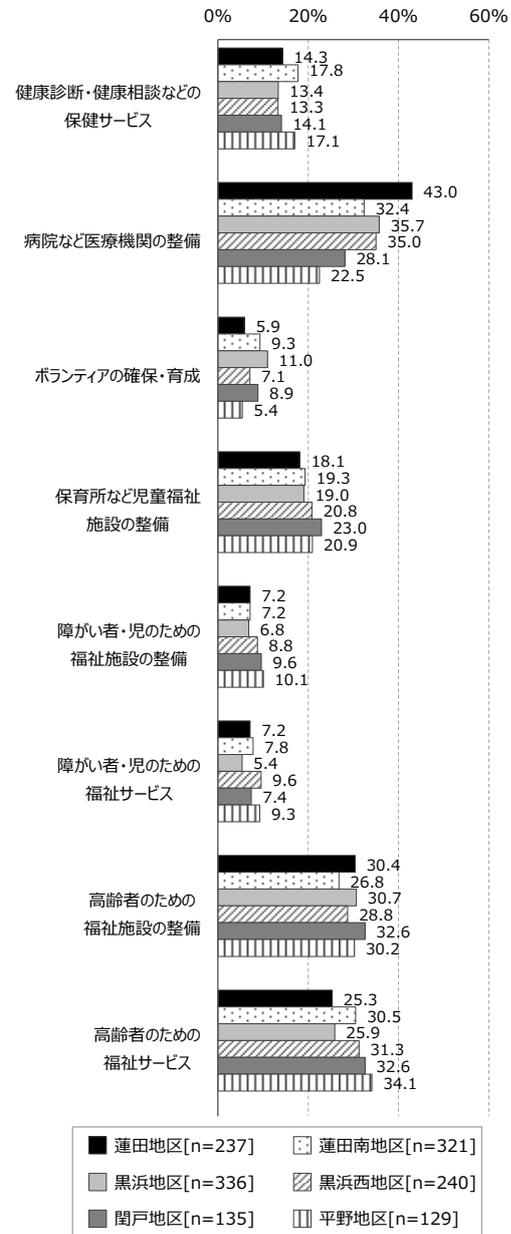
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



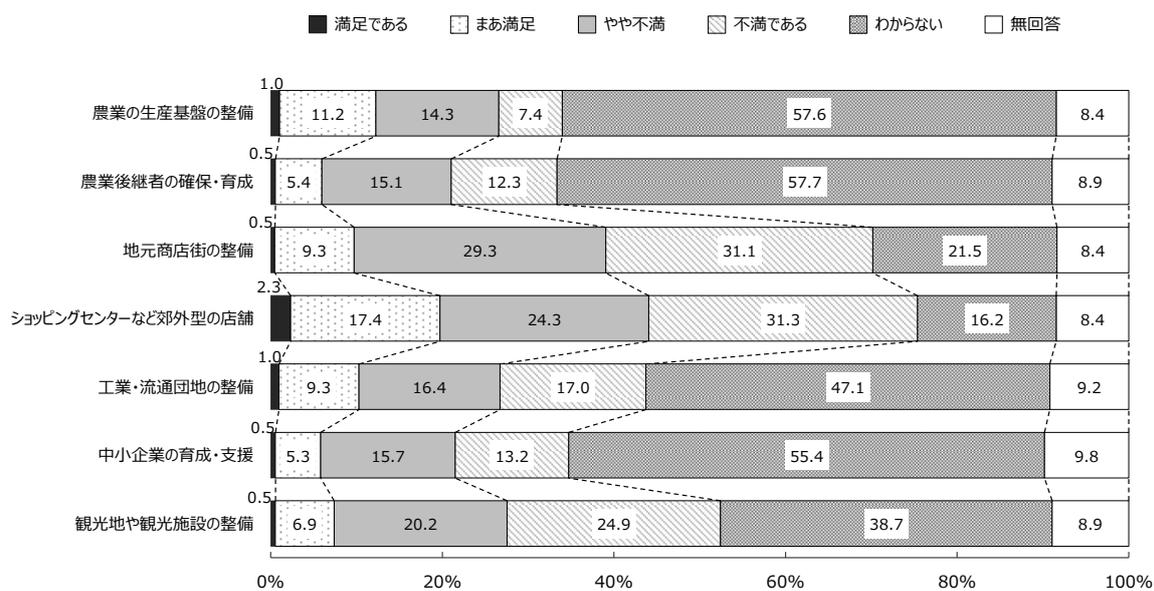
## 問 11 蓮田市の産業振興についてどのように感じていますか。

産業振興の施策で「満足である」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合はいずれも2割以下となっている一方、「やや不満」と「不満である」を合わせた“不満”は『地元商店街の整備』で60.4%、『ショッピングセンターなど郊外型の店舗』で55.6%となっています。

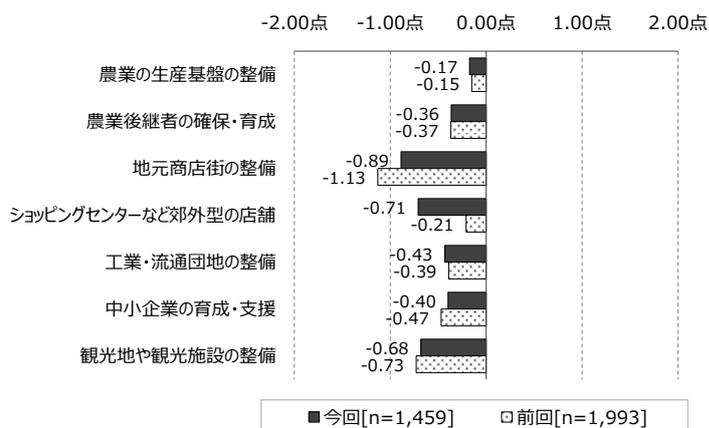
前回調査と比較して、『ショッピングセンターなど郊外型の店舗』は0.50ポイント減少し-0.71点となっています。

### 産業振興

#### 【満足度】



#### 【満足度（前回比較・加重平均点）】



問 12 産業振興の項目の中で、ここ数年でA. 特に良くなったと思うもの、また、B. 今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。(複数回答)

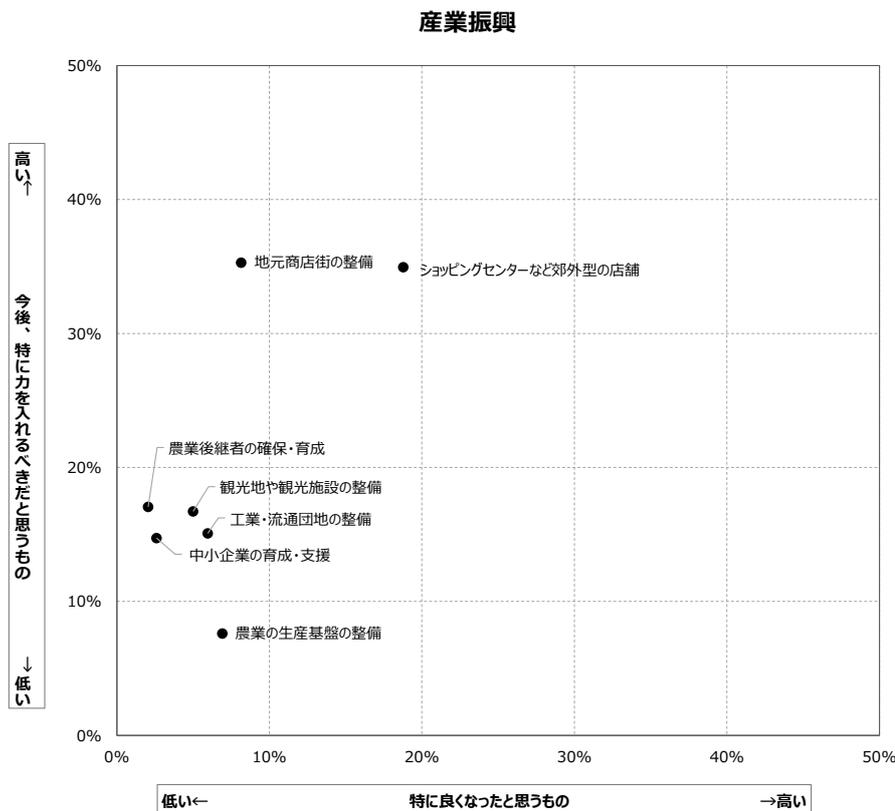
■ 評価

「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」が18.8%で最も高く、次いで「地元商店街の整備」が8.2%、「農業の生産基盤の整備」が6.9%となっています。

■ 要望

「地元商店街の整備」が35.3%で最も高く、次いで「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」が35.0%、「農業後継者の確保・育成」が17.1%となっています。

**産業振興の評価と要望**



施策	評価	要望
農業の生産基盤の整備	6.9%	7.6%
農業後継者の確保・育成	2.1%	17.1%
地元商店街の整備	8.2%	35.3%
ショッピングセンターなど郊外型の店舗	18.8%	35.0%
工業・流通団地の整備	6.0%	15.1%
中小企業の育成・支援	2.6%	14.7%
観光地や観光施設の整備	5.0%	16.7%

評価について、前回調査と比較すると、「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」が18.8%で前回より18.0ポイントの減少となっています。

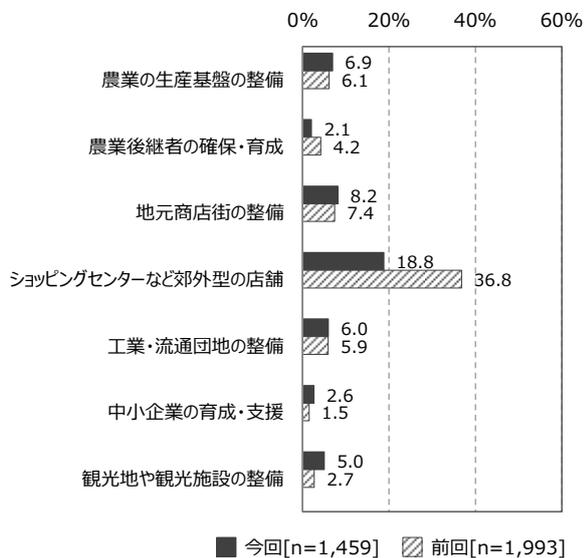
要望について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」が35.0%で前回より8.4ポイント増加している一方、「地元商店街の整備」は35.3%と前回より11.4ポイント減少しています。

## 産業振興の評価と要望

### 【前回比較】

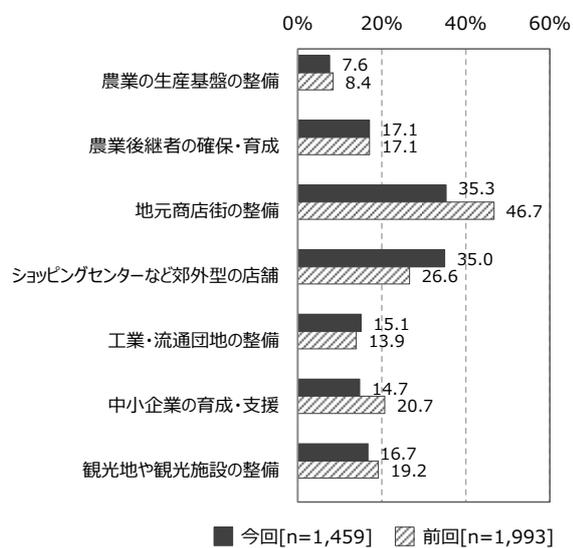
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について年齢別にみると、「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」施策の50歳代が21.5%で最も高くなっています。

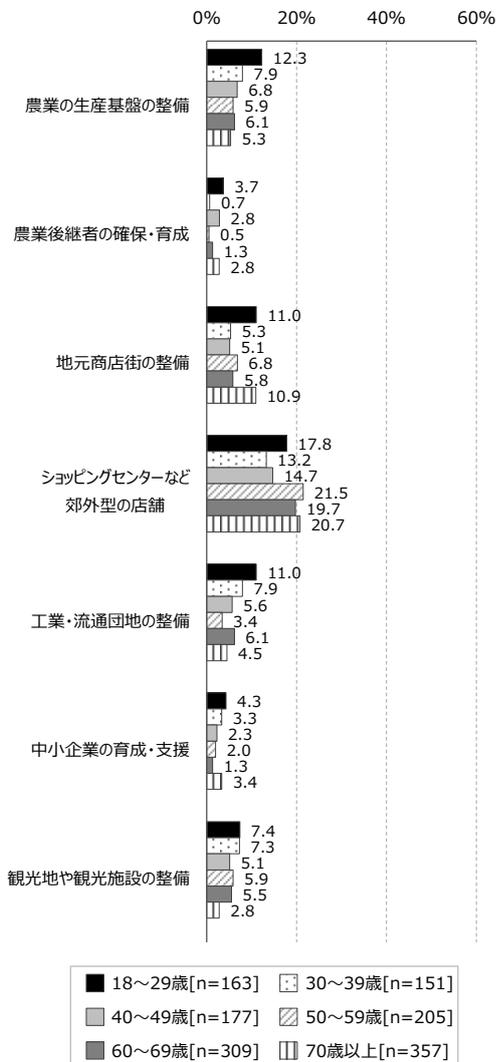
要望については、「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」や「地元商店街の整備」施策が高く、中でも「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」施策の20歳代以下が49.1%で最も高くなっています。

## 産業振興の評価と要望

### 【年齢別】

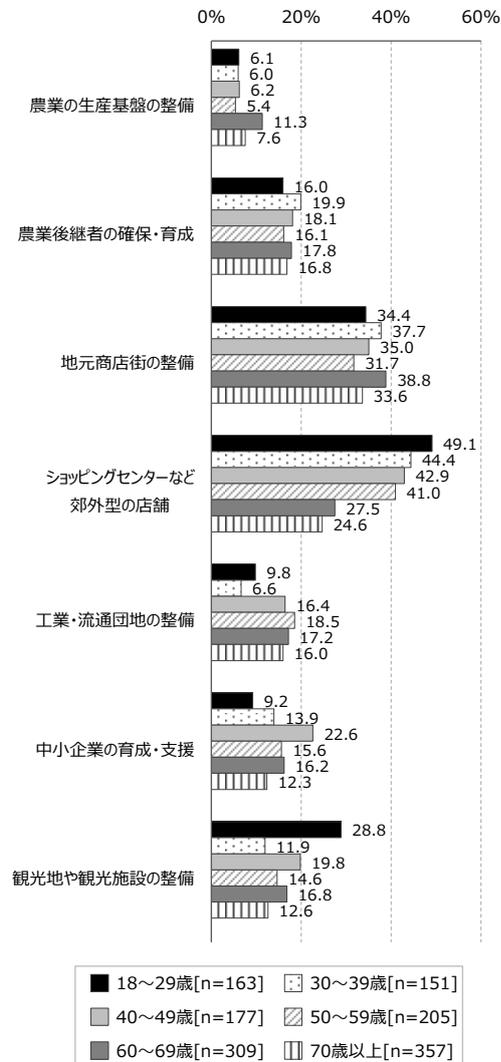
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について地区別にみると、「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」施策の蓮田南地区が24.6%で最も高くなっています。

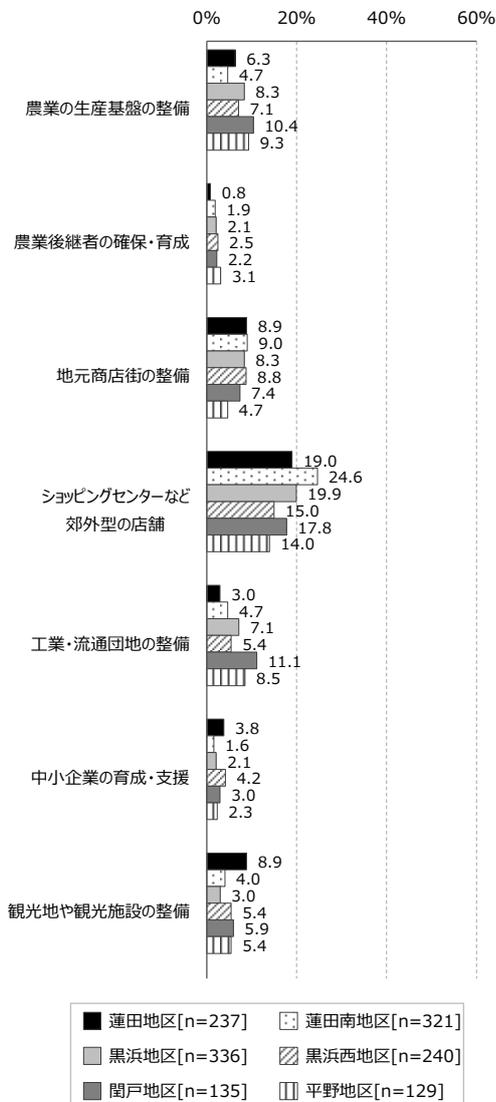
要望については、年齢別と同様にいずれの地区も「ショッピングセンターなど郊外型の店舗」や「地元商店街の整備」施策が高く、中でも「地元商店街の整備」施策の蓮田地区が44.3%で最も高くなっています。

## 産業振興の評価と要望

### 【地区別】

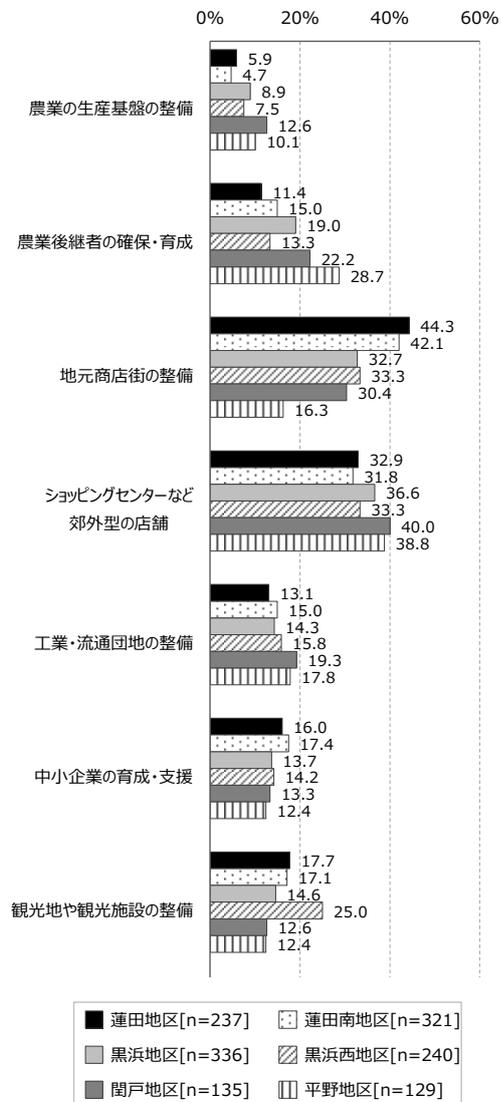
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



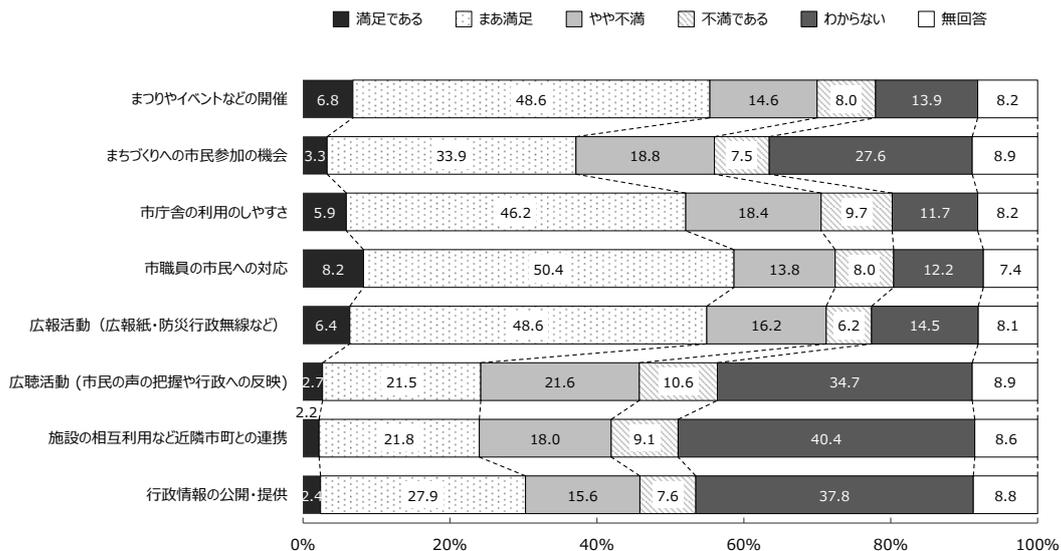
### 問 13 蓮田市のコミュニティづくりや広報・広聴活動についてどのように感じていますか。

コミュニティ・広報・広聴の施策で「満足である」と「まあ満足」を合わせた“満足”の割合が高いのは、『市職員の市民への対応』や『まつりやイベントなどの開催』となっています。

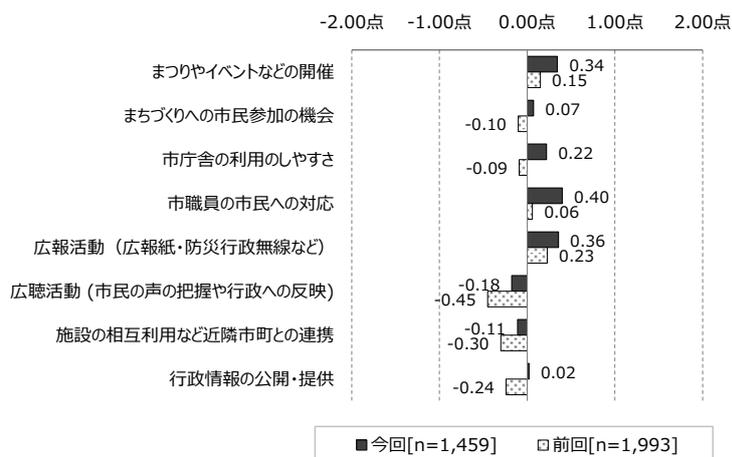
前回調査との比較でも、「市職員の市民への対応」は 0.34 ポイント増加し 0.40 点、次いで「市庁舎の利用のしやすさ」は 0.31 ポイント増加し 0.22 点と満足度はプラスになっています。

#### コミュニティ・広報・広聴

##### 【満足度】



##### 【満足度（前回比較・加重平均点）】



問 14 コミュニティ・広報・広聴の項目の中で、ここ数年でA. 特に良くなったと思うもの、また、B. 今後、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。  
(複数回答)

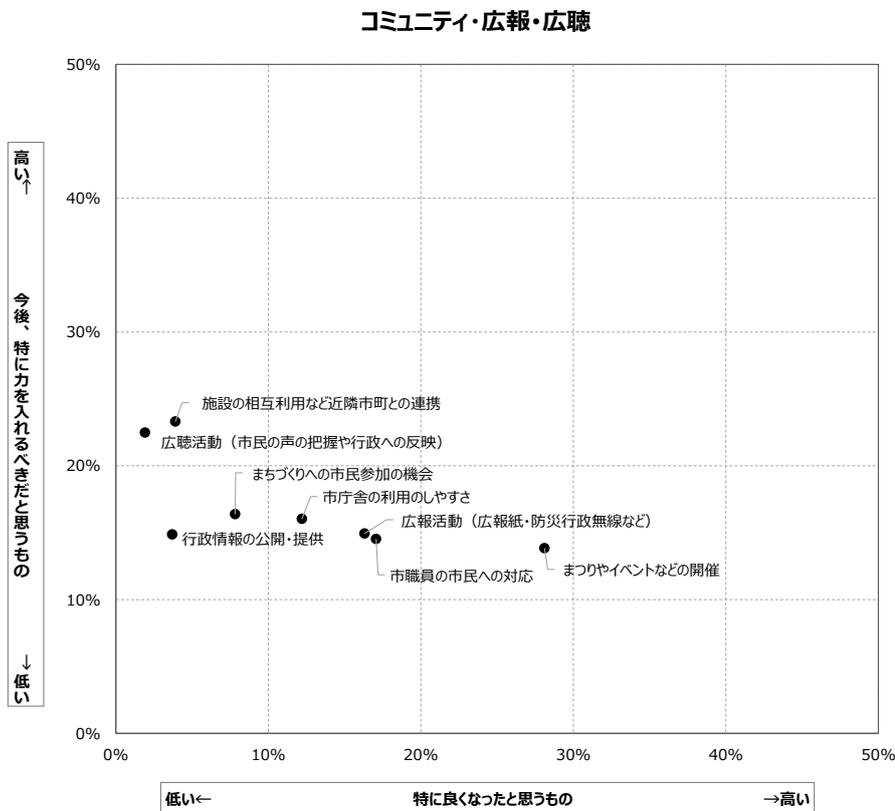
■ 評価

「まつりやイベントなどの開催」が 28.1%で最も高く、次いで「市職員の市民への対応」が 17.1%、「広報活動（広報紙・防災行政無線など）」が 16.3%となっています。

■ 要望

「施設の相互利用など近隣市町との連携」が 23.3%で最も高く、次いで「広聴活動（市民の声の把握や行政への反映）」が 22.5%、「まちづくりへの市民参加の機会」が 16.4%となっています。

**コミュニティ・広報・広聴の評価と要望**



施策	評価	要望
まつりやイベントなどの開催	28.1%	13.8%
まちづくりへの市民参加の機会	7.8%	16.4%
市庁舎の利用のしやすさ	12.2%	16.0%
市職員の市民への対応	17.1%	14.5%
広報活動（広報紙・防災行政無線など）	16.3%	14.9%
広聴活動（市民の声の把握や行政への反映）	1.9%	22.5%
施設の相互利用など近隣市町との連携	3.9%	23.3%
行政情報の公開・提供	3.7%	14.9%

評価について、前回調査と比較し増減が大きい施策をみると、「まつりやイベントなどの開催」が28.1%で前回より8.5ポイント増加している一方、「まちづくりへの市民参加の機会」は7.8%と前回より6.6ポイント減少しています。

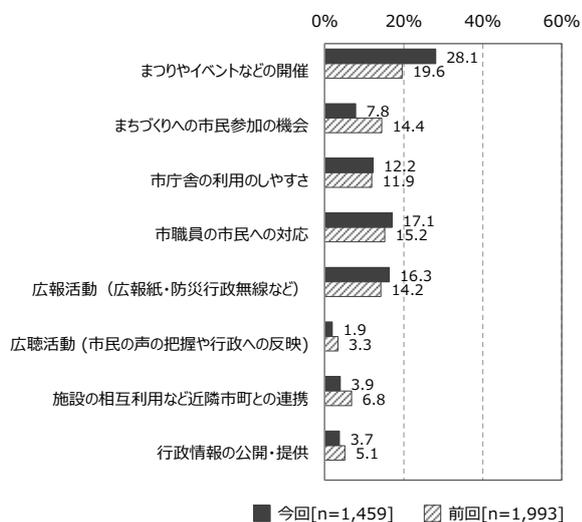
要望については、「市職員の市民への対応」が14.5%で前回より8.3ポイント、「行政情報の公開・提供」が14.9%で前回より7.7ポイントそれぞれ減少しています。

## コミュニティ・広報・広聴の評価と要望

### 【前回評価】

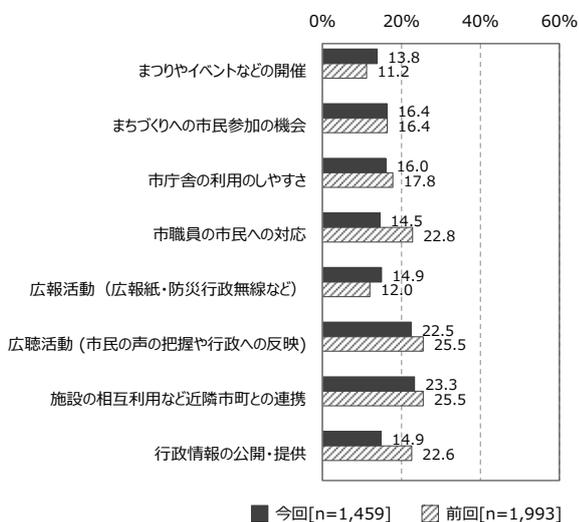
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について年齢別にみると、各年代で「まつりやイベントなどの開催」施策が高いですが、中でも、30歳代が37.1%で最も高くなっています。

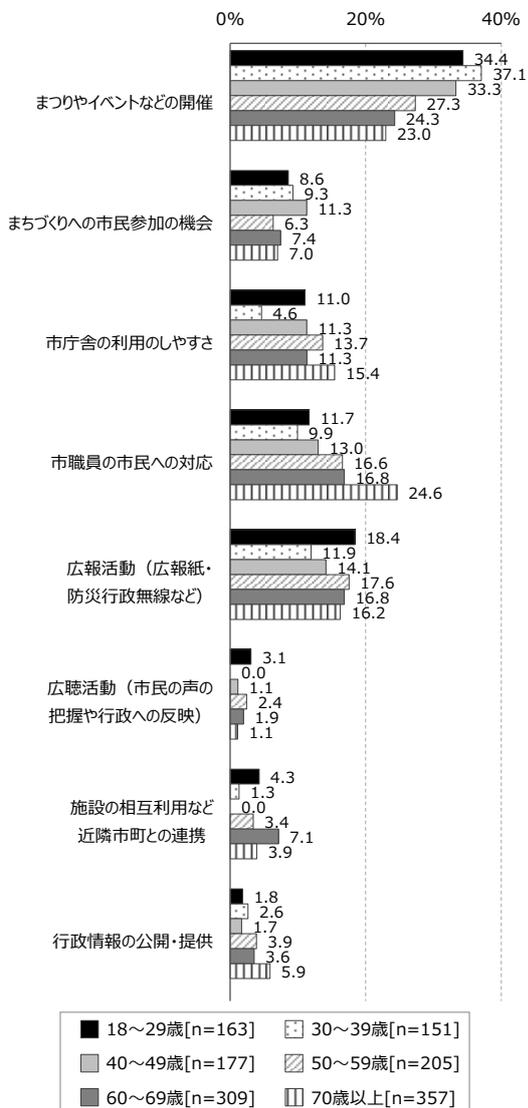
要望については、「施設の相互利用など近隣市町との連携」施策の40歳代が33.9%で最も高くなっています。

## コミュニティ・広報・広聴の評価と要望

### 【年齢別】

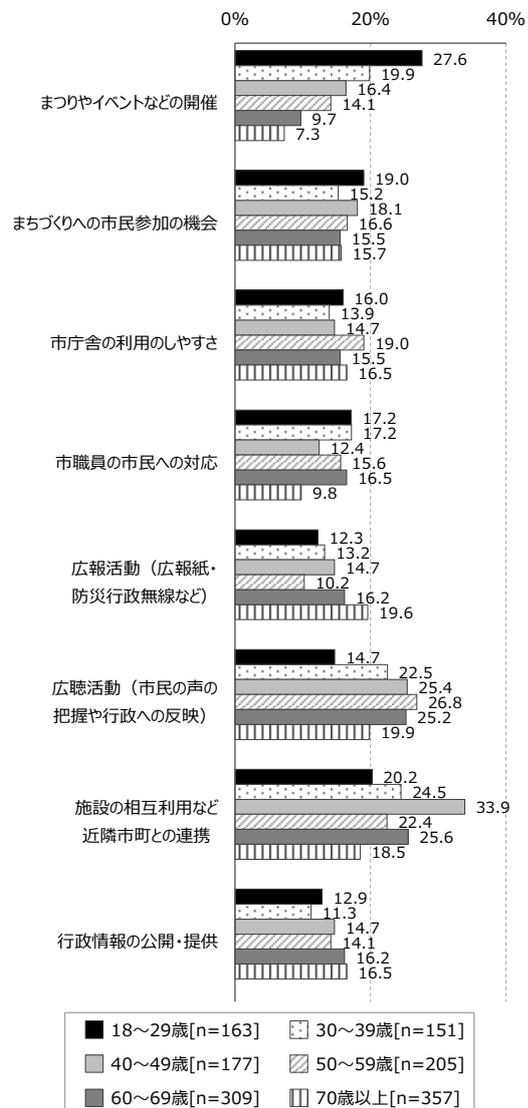
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



評価について地区別にみると、「まつりやイベントなどの開催」施策の蓮田地区が32.5%で最も高くなっています。

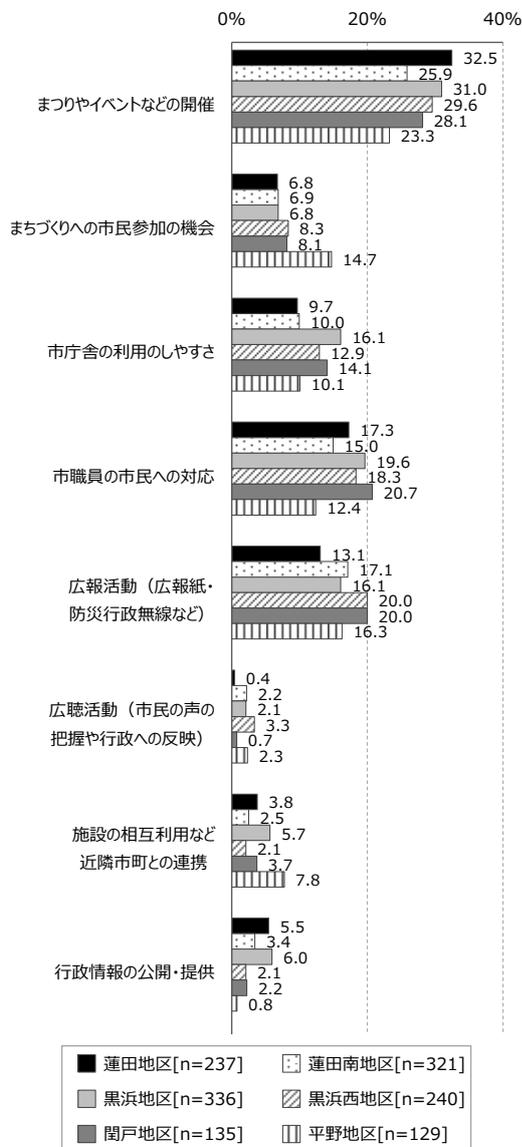
要望については、「広聴活動（市民の声の把握や行政への反映）」施策の平野地区が30.2%で最も高くなっています。

## コミュニティ・広報・広聴の評価と要望

### 【地区別】

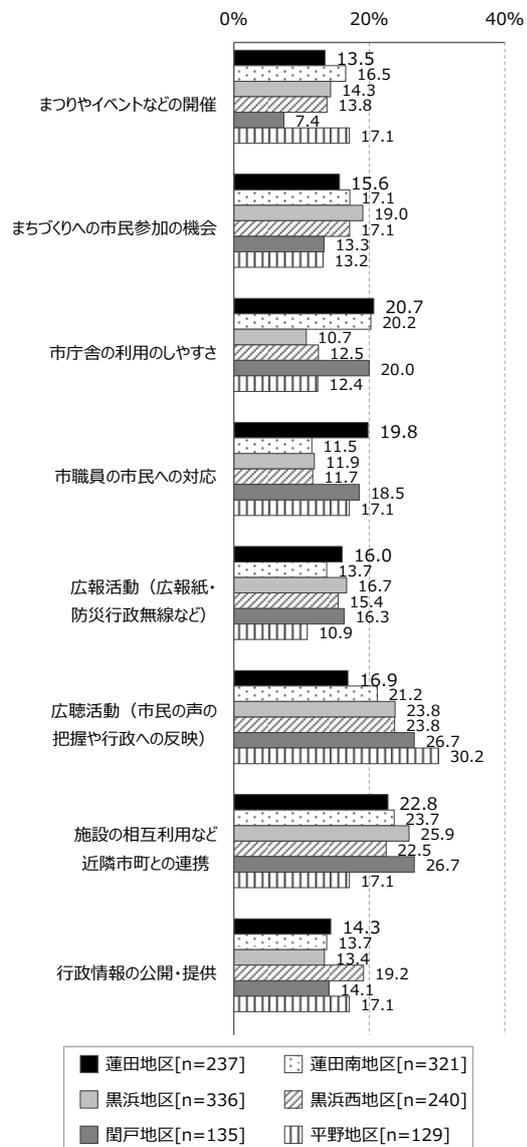
#### 評価

##### (A. 特に良くなったと思うもの)



#### 要望

##### (B. 今後、特に力を入れるべきだと思うもの)



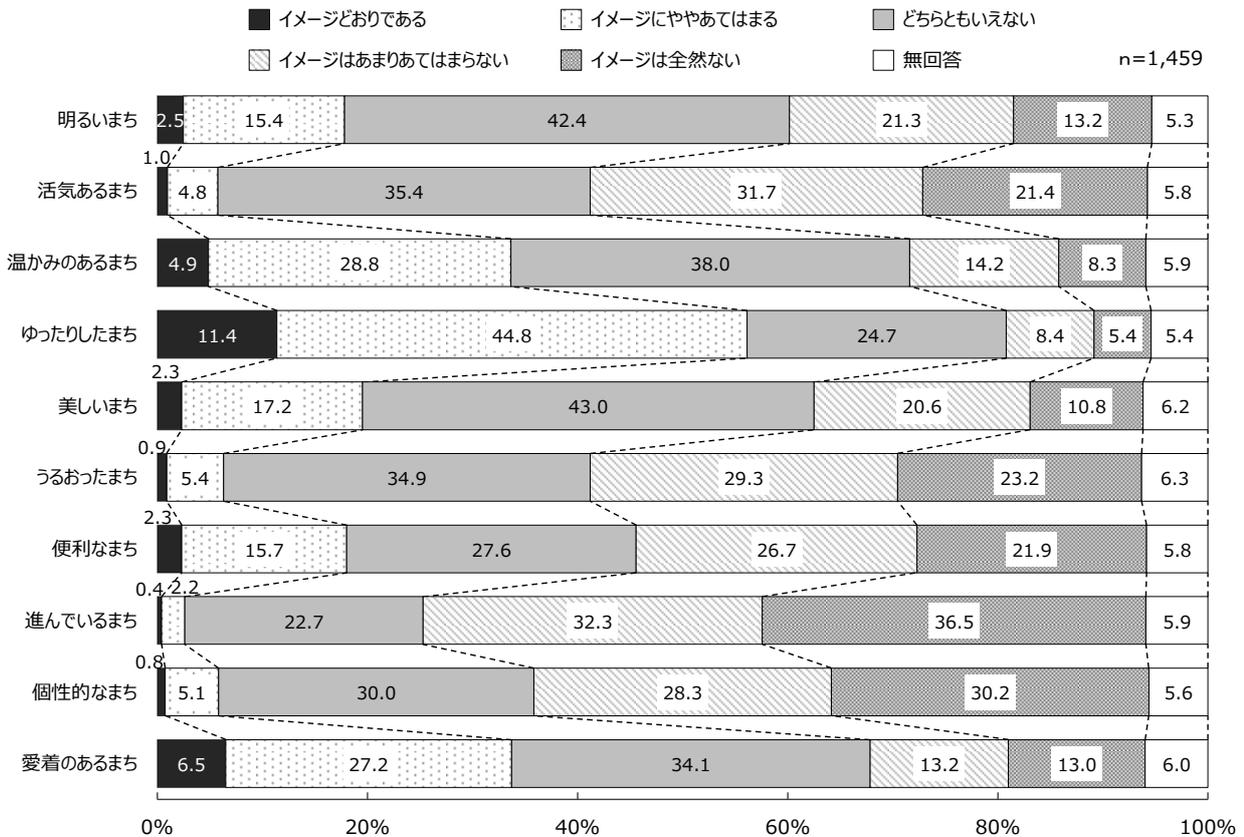
蓮田市のイメージやまちの魅力についてうかがいます。

問 15 蓮田市に対してどのようなまちのイメージを思い浮かべますか。

まちのイメージについては、「ゆったりしたまち」が最も多く『イメージどおりである』、『イメージにややあてはまる』を合わせると 56.2%となっています。一方で「進んでいるまち」や「個性的なまち」についてのイメージは少なくなっています。

まちのイメージ

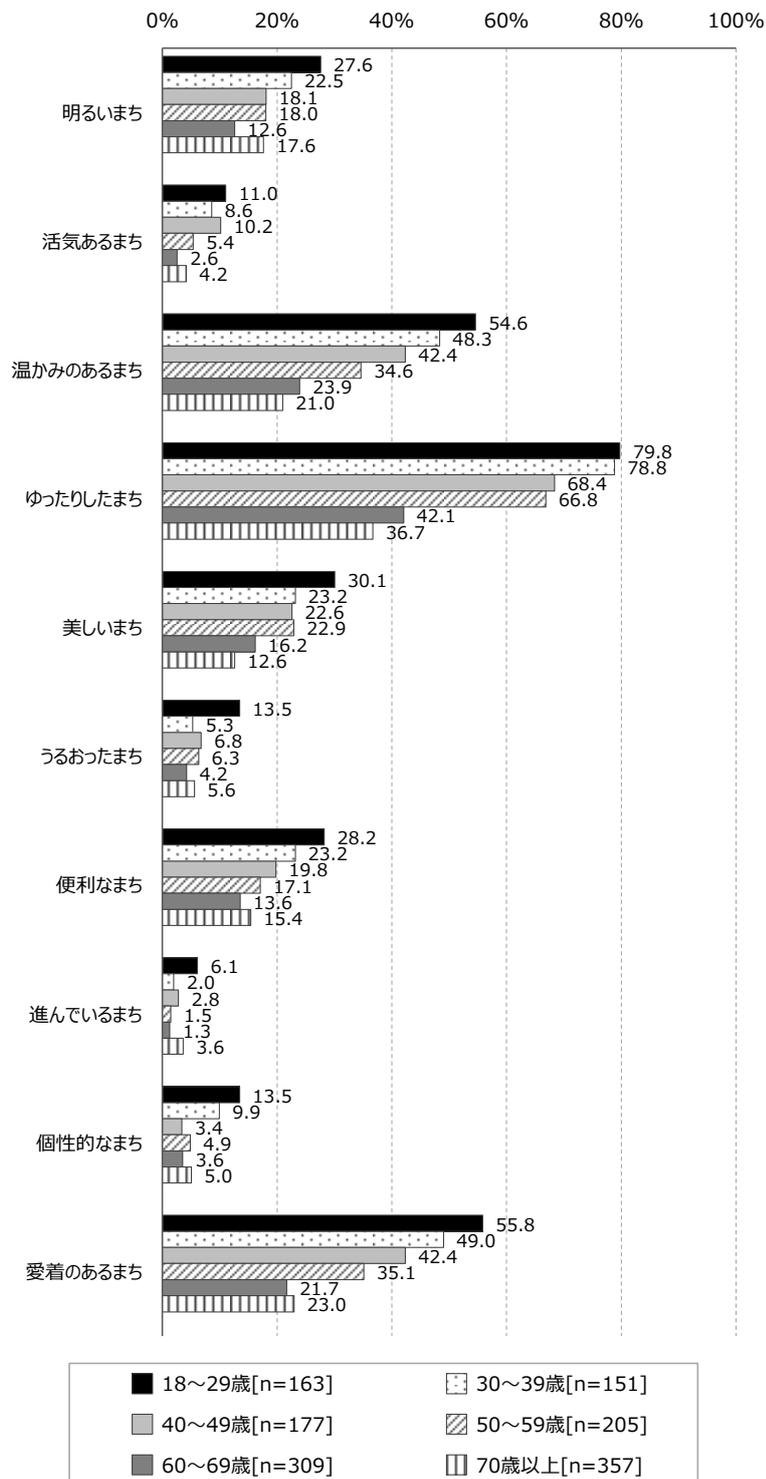
【全体】



まちのイメージを年齢別にみると、すべての年代において「ゆったりしたまち」が最も多くなっています。

## まちのイメージ

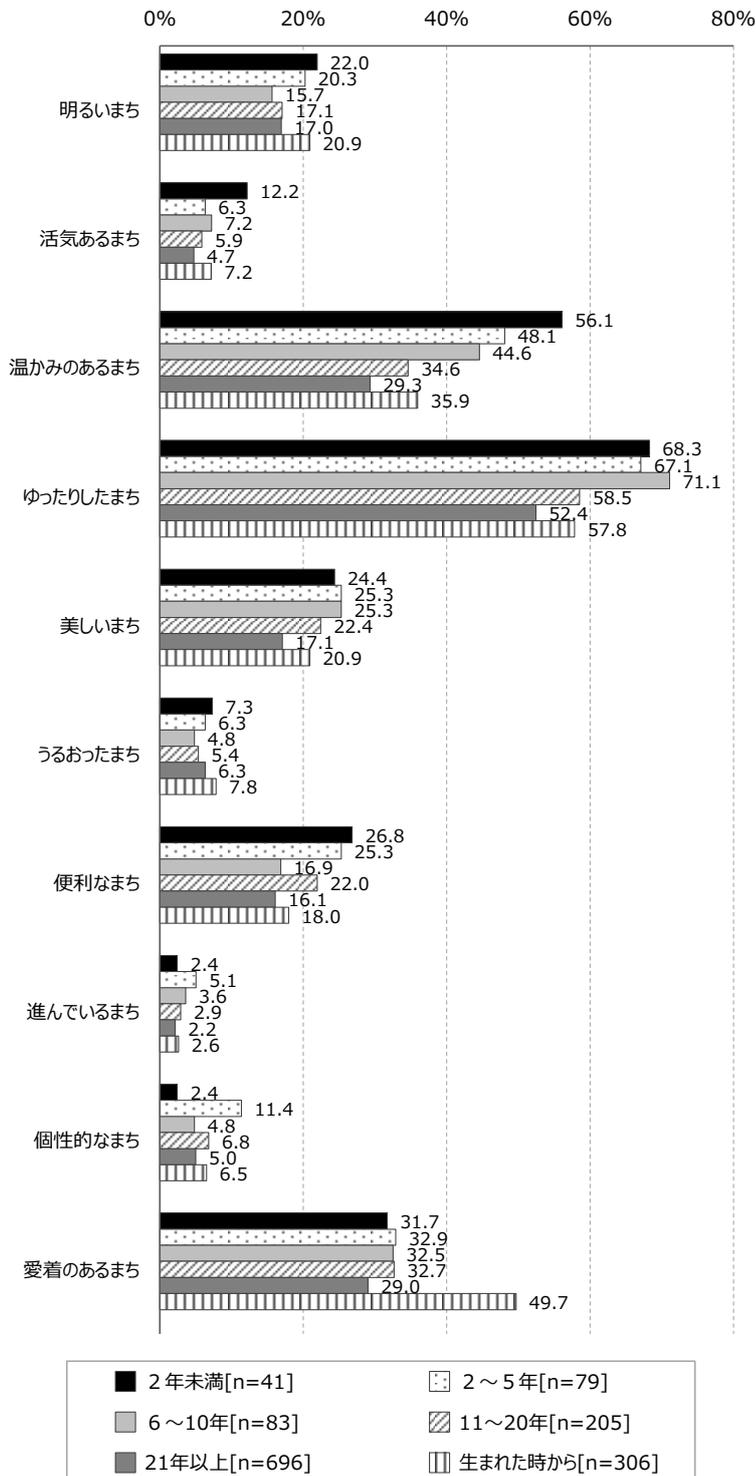
### 【年齢別】



まちのイメージを居住年数別にみると、すべての層において「ゆったりしたまち」が最も多くなっています。一方で居住年数2年未満の層については、「温かみのあるまち」56.1%や「便利なまち」26.8%、「明るいまち」22.0%などのイメージがほかの層と比較して多くなっています。

## まちのイメージ

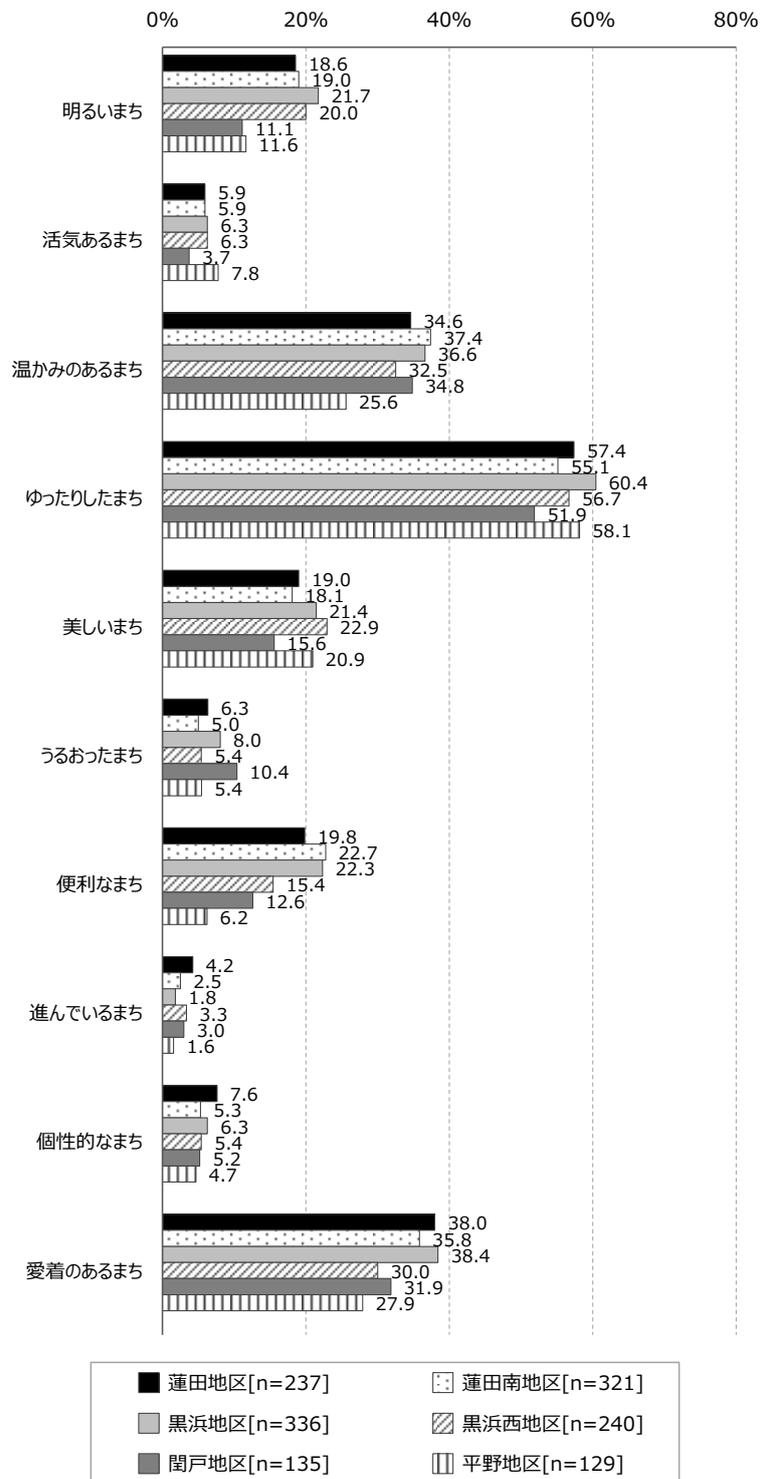
### 【居住年数別】



まちのイメージを地区別にみると、すべての地区で「ゆったりしたまち」が最も多くなっています。

## まちのイメージ

### 【地区別】

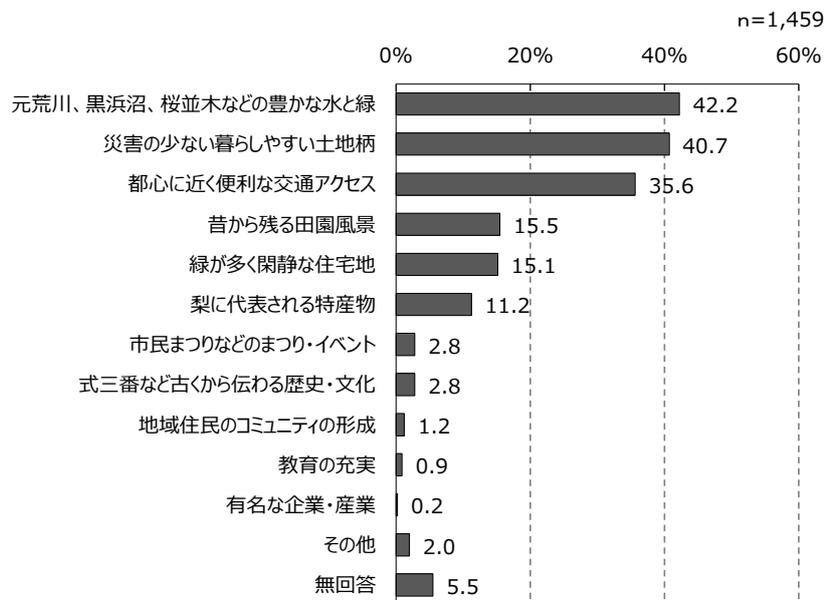


## 問 16 あなたは、蓮田市のまちの魅力は何と感じますか。(複数回答)

「元荒川、黒浜沼、桜並木などの豊かな水と緑」が42.2%で最も多く、次いで「災害の少ない暮らしやすい土地柄」が40.7%、「都心に近く便利な交通アクセス」が35.6%となっています。

### 蓮田市の魅力

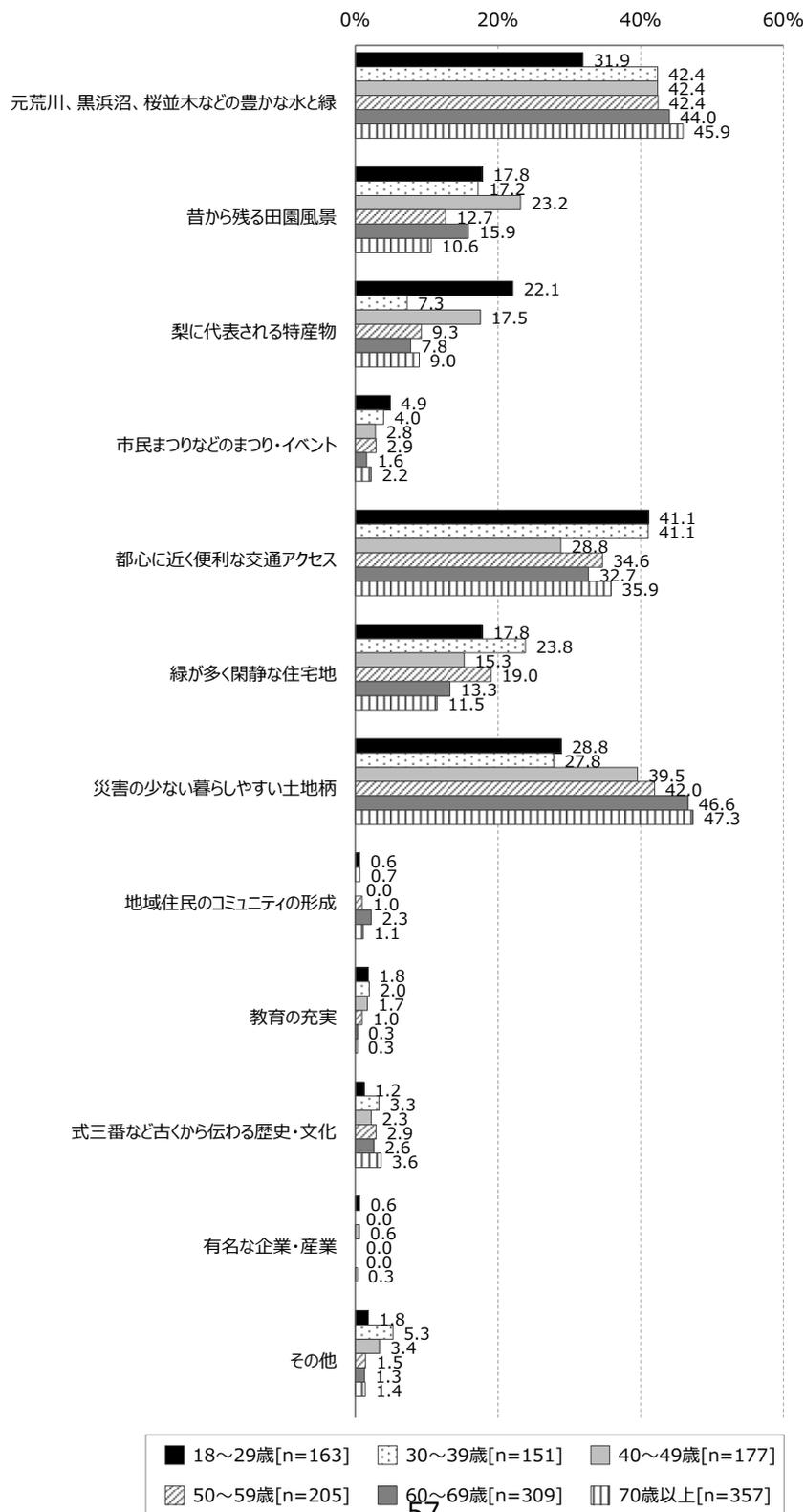
#### 【全体】



年齢別で見ると、40歳代以上のほぼ4割は「災害の少ない暮らしやすい土地柄」と「元荒川、黒浜沼、桜並木などの豊かな水と緑」を蓮田市の魅力としてあげています。一方で20歳代以下と30歳代では「都心に近く便利な交通アクセス」を重視する傾向がみられます。

## 蓮田市の魅力

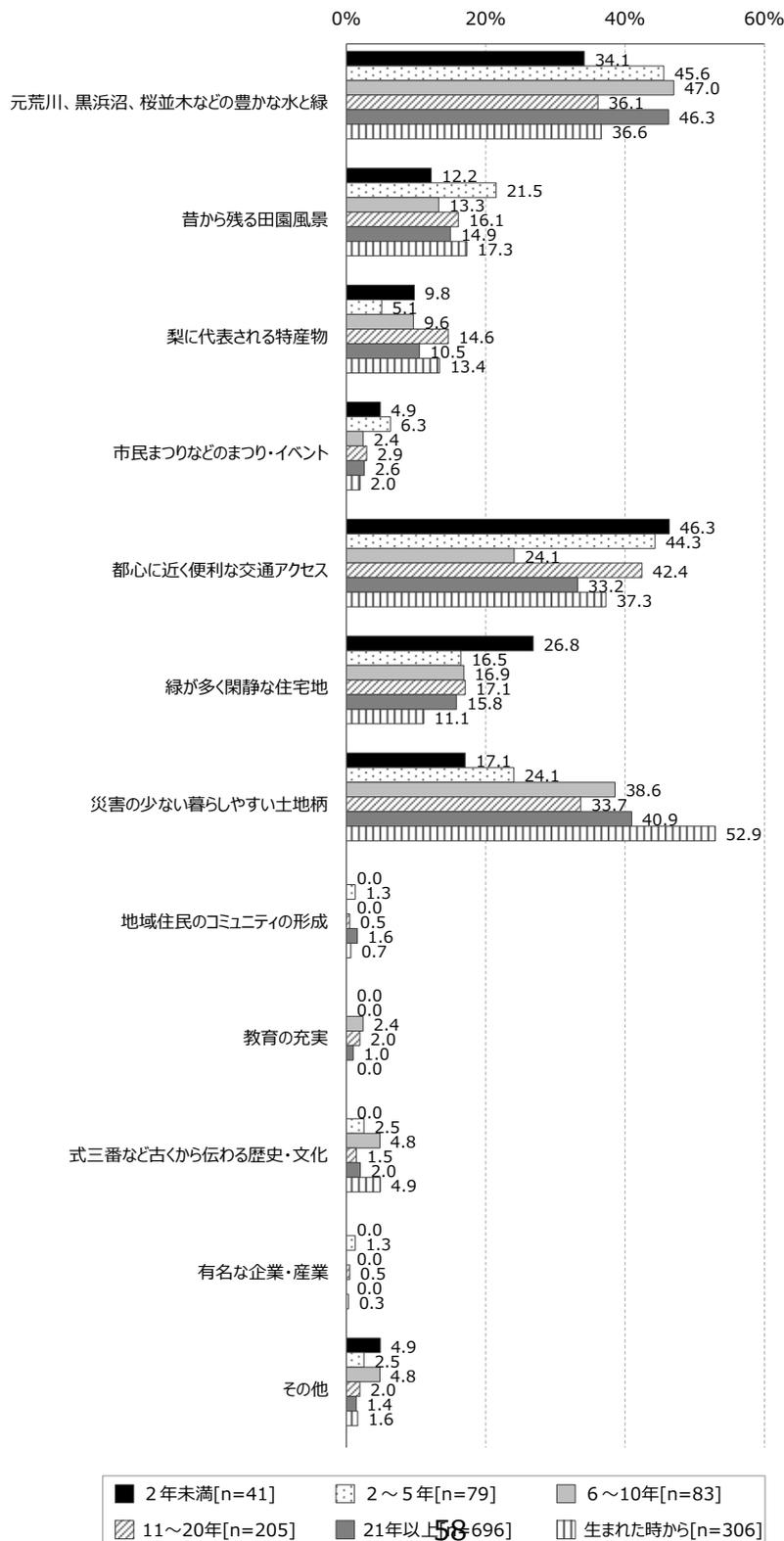
### 【年齢別】



蓮田市の魅力について居住年数別で見ると、ほぼすべての層が「元荒川、黒浜沼、桜並木などの豊かな水と緑」、「都心に近く便利な交通アクセス」、「災害の少ない暮らしやすい土地柄」をあげています。しかし、「災害の少ない暮らしやすい土地柄」については、最も高い『生まれた時から』の52.9%と最も低い『2年未満』の17.1%では35.8ポイントの差があり、居住年数によって認識に違いが出ています。

## 蓮田市の魅力

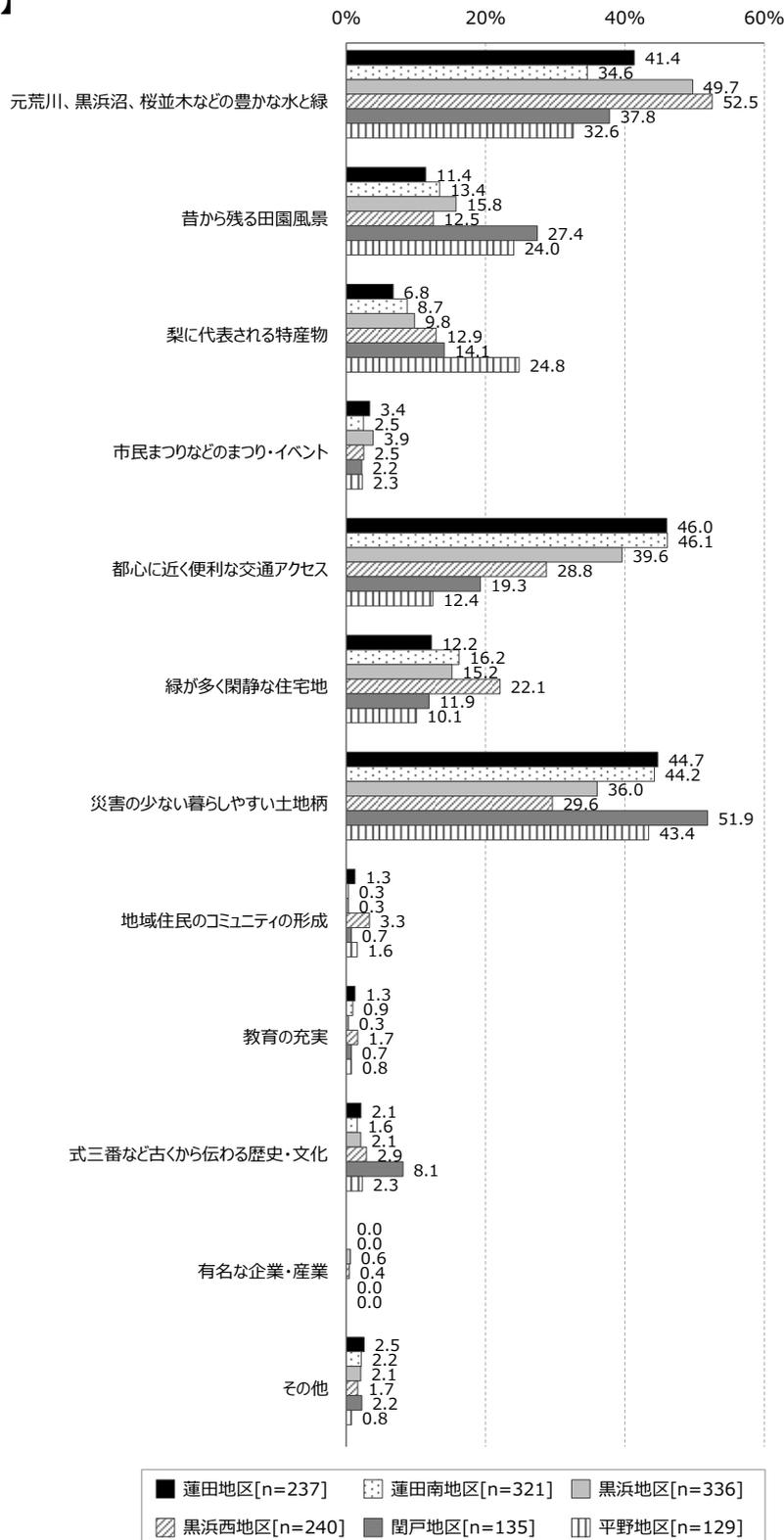
### 【居住年数別】



地区別でみると、いずれの地区からも「元荒川、黒浜沼、桜並木などの豊かな水と緑」と「災害の少ない暮らしやすい土地柄」が蓮田市の魅力としてあげられています。しかし、「都心に近く便利な交通アクセス」については、最も高い『蓮田南地区』の46.1%と最も低い『平野地区』の12.4%では、33.7ポイントの差があり、居住地区によって認識に違いが出ています。

## 蓮田市の魅力

### 【地区別】



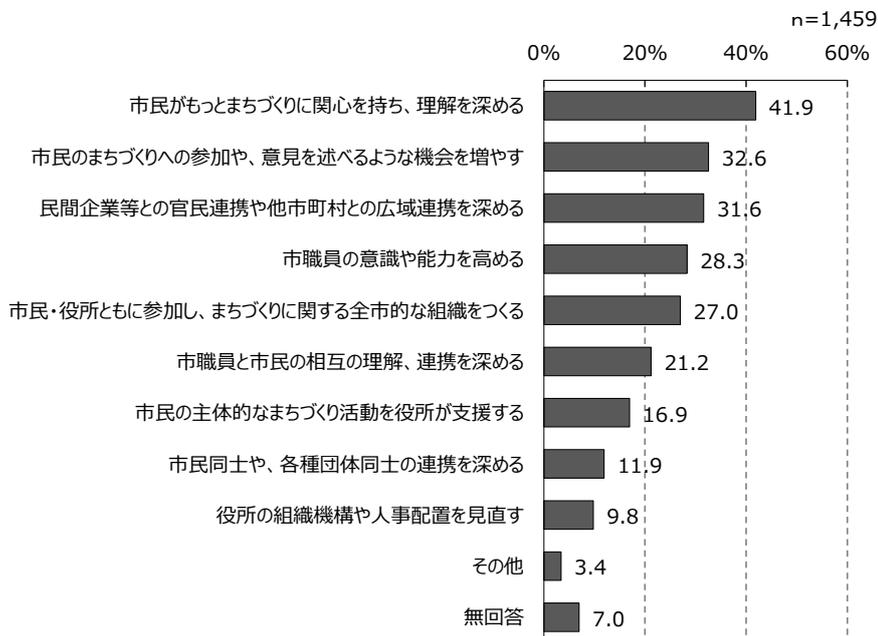
## これからのまちづくりについてうかがいます。

### 問 17 国や県に依存するだけでなく、市独自の力を発揮し行動力を高めるにはどのようなことが重要だと思いますか。(複数回答)

「市民がもっとまちづくりに関心を持ち、理解を深める」が41.9%で最も多く、次いで「市民のまちづくりへの参加や、意見を述べるような機会を増やす」が32.6%、「民間企業等との官民連携や他市町村との広域連携を深める」が31.6%となっています。

#### 市の行動力を高めるために重要なこと

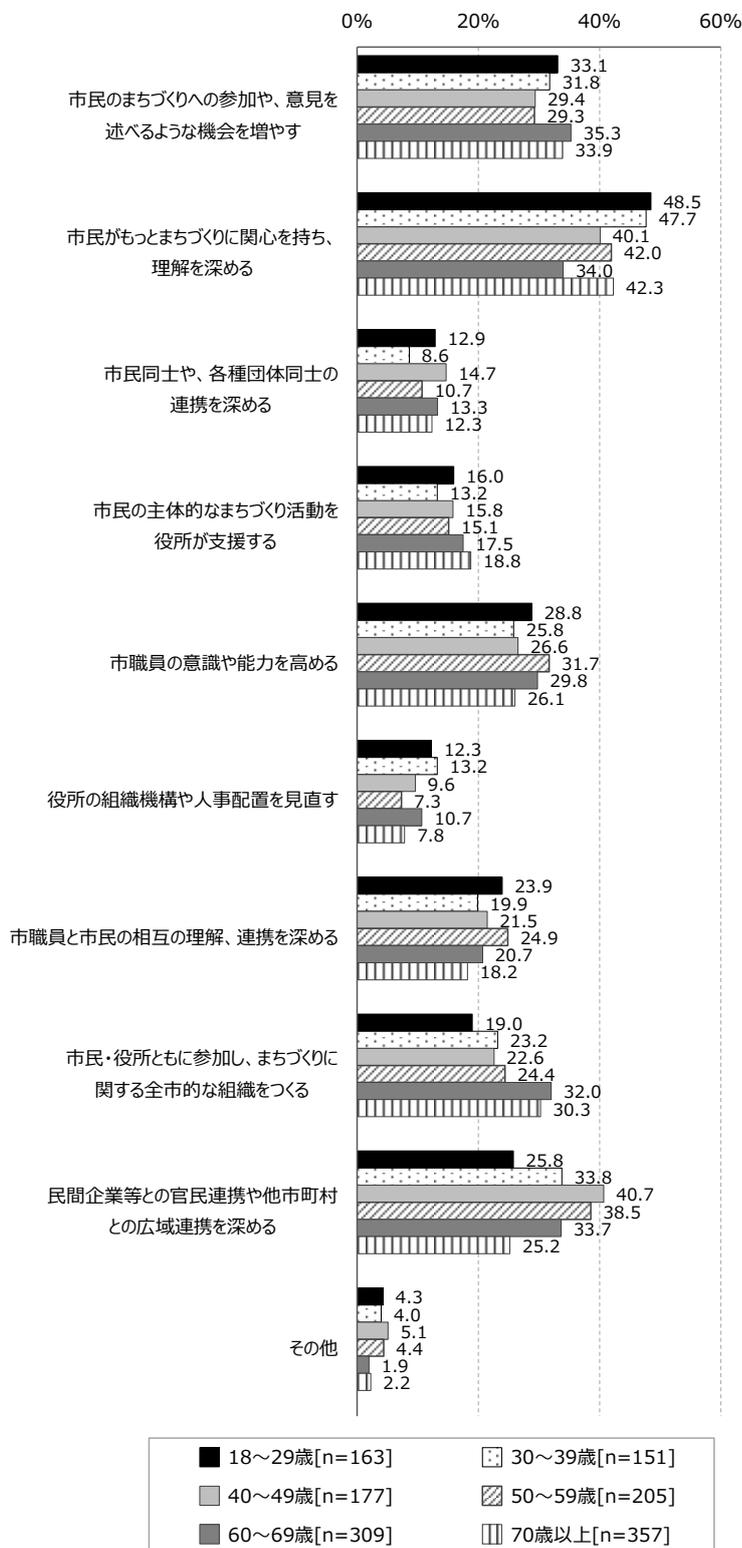
##### 【全体】



市の行動力を高めるために重要なことを年齢別でみると、20歳代以下の「市民がもっとまちづくりに関心を持ち、理解を深める」が48.5%と最も多くなっています。

## 市の行動力を高めるために重要なこと

### 【年齢別】



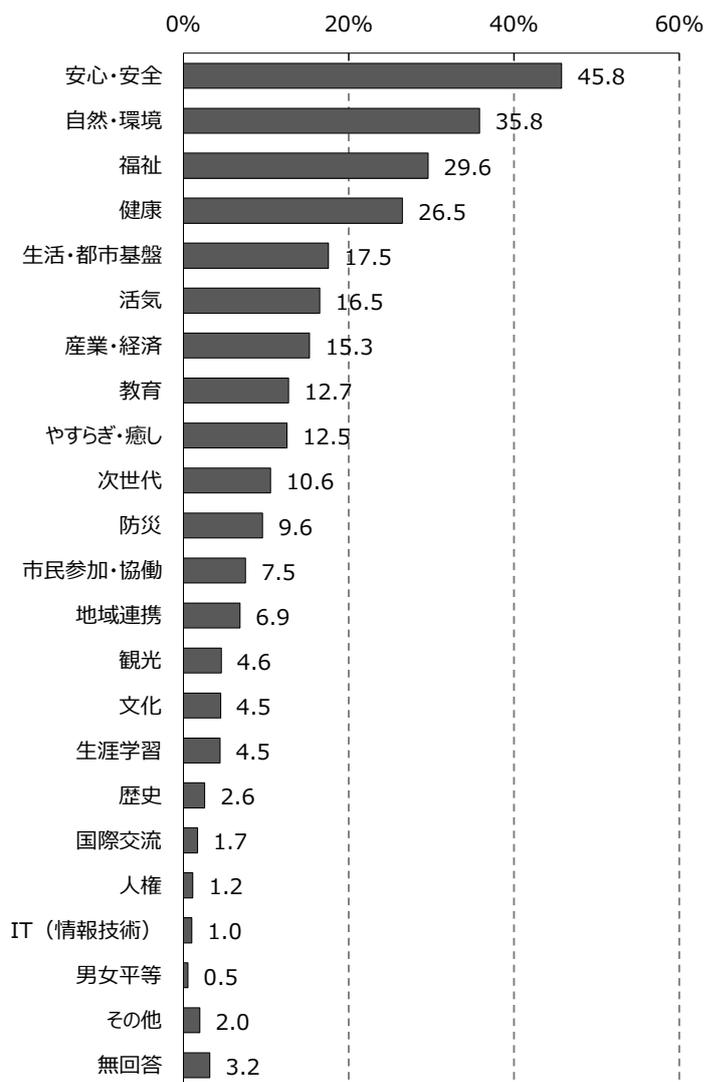
問 18 蓮田市が目指すまちづくりの将来像を表すキーワードとして、ふさわしいと思うものを選んでください。(複数回答)

「安心・安全」が45.8%で最も多く、次いで「自然・環境」が35.8%、「福祉」が29.6%となっています。

将来像を表すキーワード

【全体】

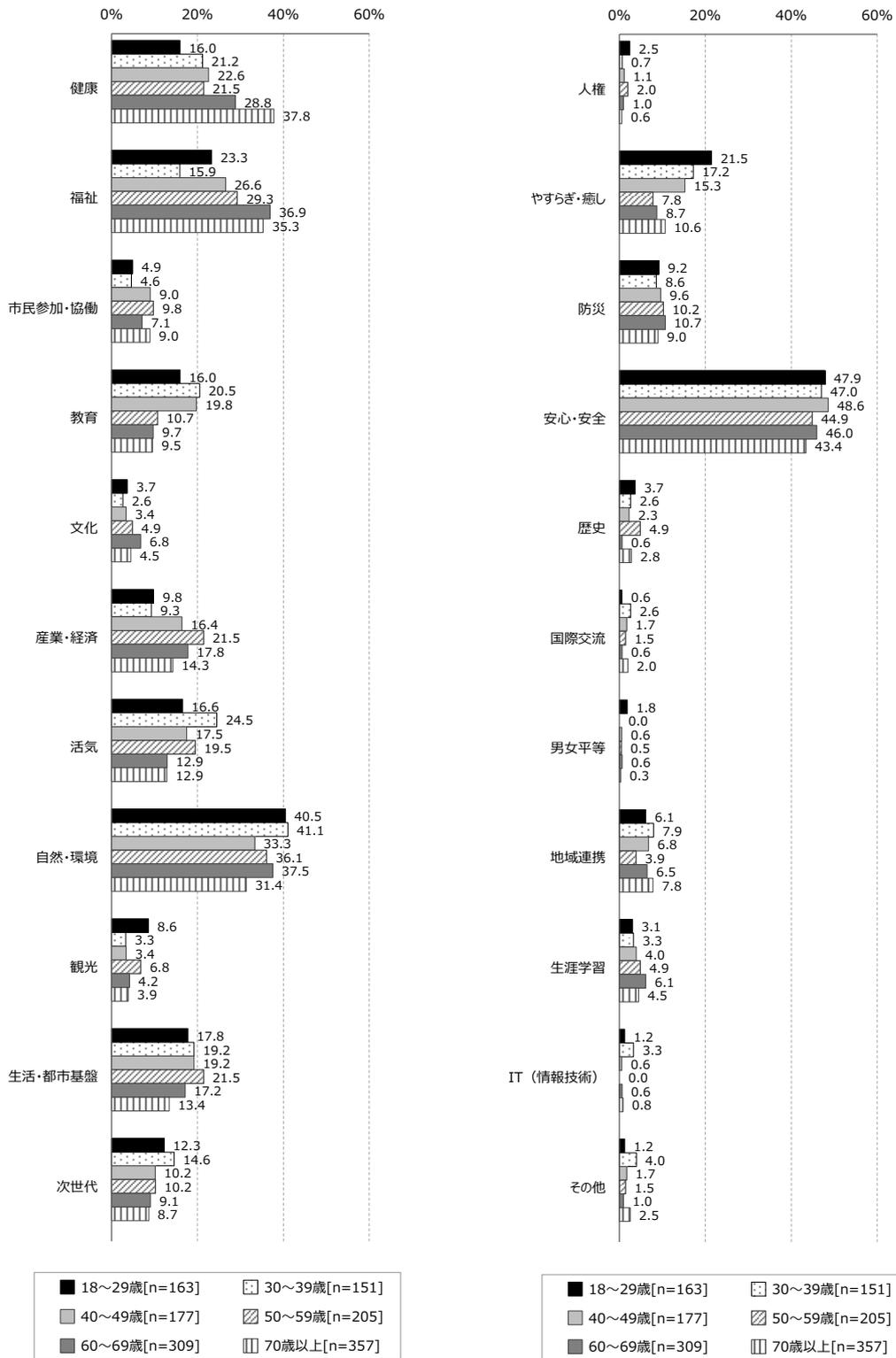
n=1,459



年齢別でみると、すべての年代で「安心・安全」が将来像を表すキーワードとしてあげられています。特に40歳代が48.6%と最も多くなっています。

## 将来像を表すキーワード

### 【年齢別】



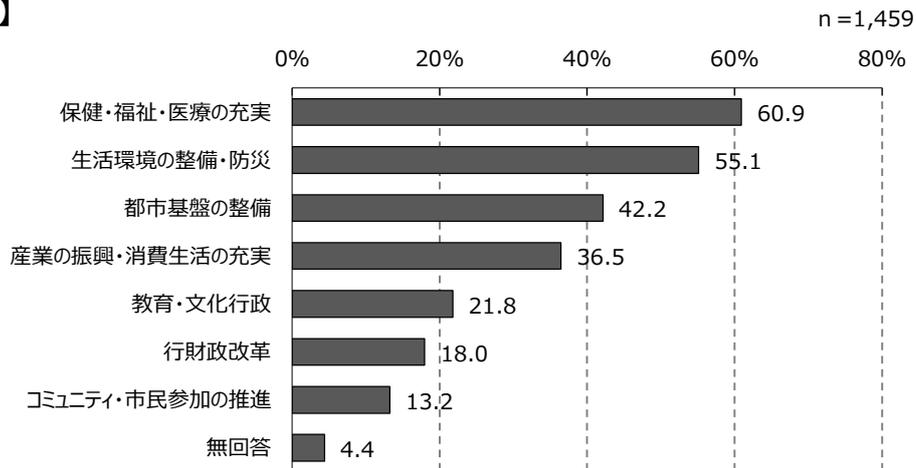
## 問 19 蓮田市が今後、重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。(複数回答)

「保健・福祉・医療の充実」が60.9%で最も多く、次いで「生活環境の整備・防災」が55.1%、「都市基盤の整備」が42.2%となっています。

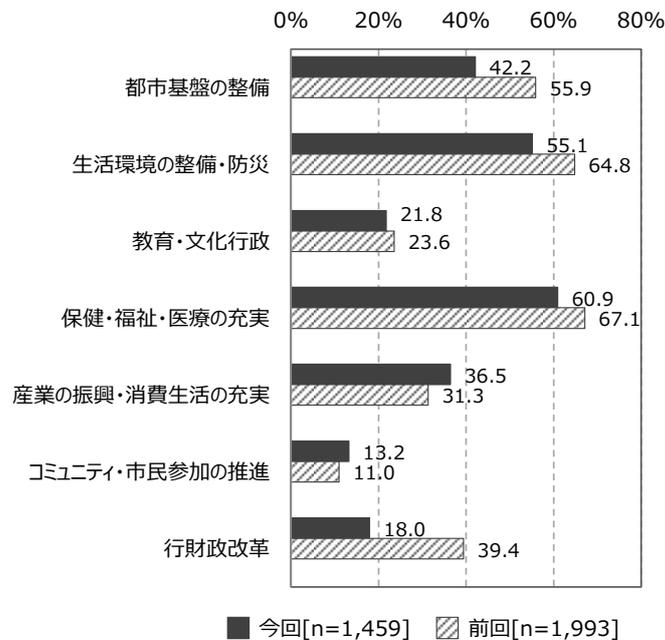
前回調査と比較すると、「行財政改革」が21.4ポイント、「都市基盤の整備」が13.7ポイント、「生活環境の整備・防災」が9.7ポイント減少している一方、「産業の振興・消費生活の充実」が5.2ポイント、「コミュニティ・市民参加の推進」が2.2ポイント増加しています。

### 重点的に取り組むべき施策

#### 【全体】



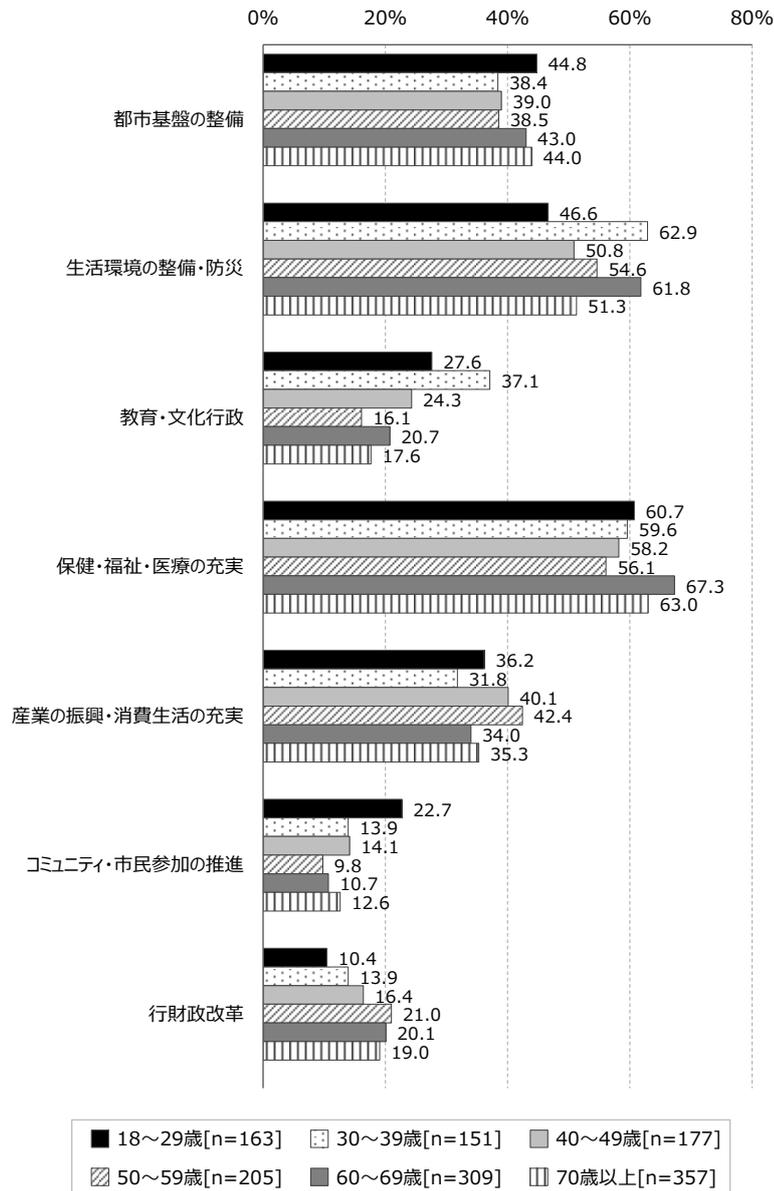
#### 【前回比較】



重点的に取り組むべき施策を年齢別で見ると、60歳代の「保健・福祉・医療の充実」が67.3%で最も多くなっています。

## 重点的に取り組むべき施策

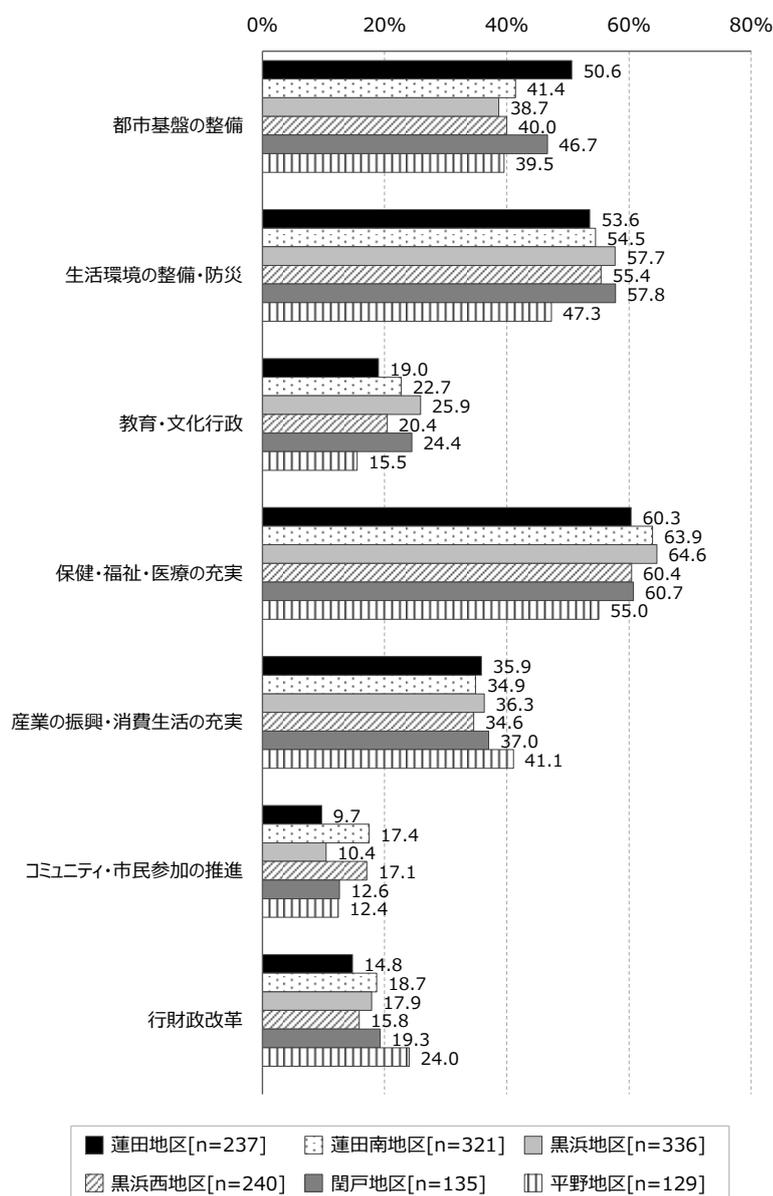
### 【年齢別】



重点的に取り組むべき施策を地区別で見ると、黒浜地区の「保健・福祉・医療の充実」が64.6%で最も多くなっています。

## 重点的に取り組むべき施策

### 【地区別】



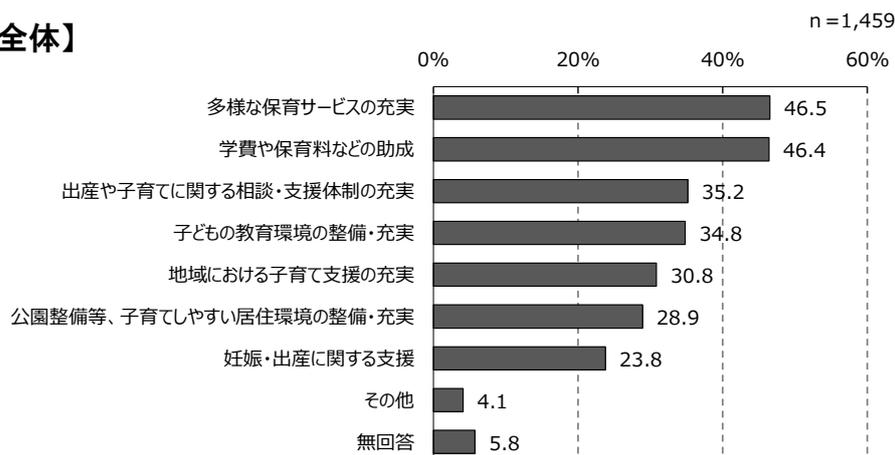
## 問 20 子どもを産み育てる意欲を高め、安心して子育てしやすいまちにするために、あなたが特に効果があると思うものは何ですか。(複数回答)

「多様な保育サービスの充実」が46.5%で最も多く、次いで「学費や保育料などの助成」が46.4%、「出産や子育てに関する相談・支援体制の充実」が35.2%となっています。

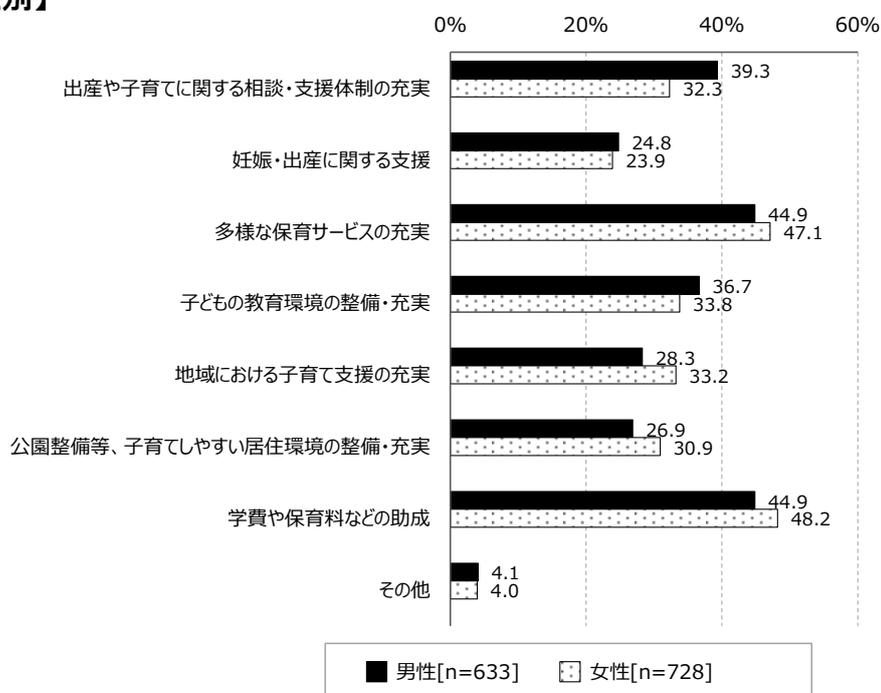
性別で見ると、男性・女性ともに「学費や保育料などの助成」と「多様な保育サービスの充実」を重視していることがわかります。

### 子育てしやすいまちへの効果的な取組

#### 【全体】



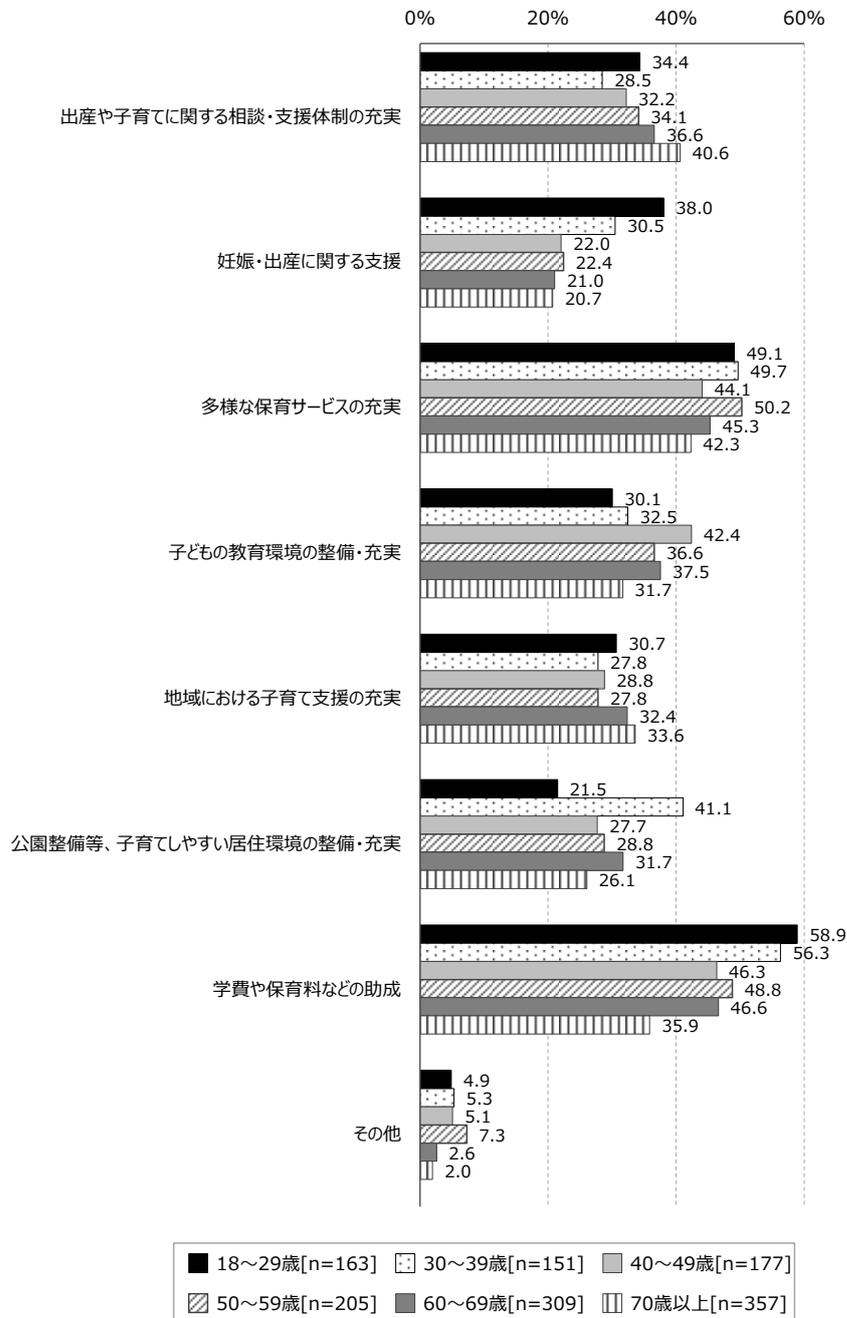
#### 【性別】



子育てしやすいまちへの効果的な取組を年齢別でみると、20歳代以下の58.9%、30歳代の56.3%が「学費や保育料などの助成」と回答しています。若い世代が公的な助成を重視する傾向がみられます。

## 子育てしやすいまちへの効果的な取組

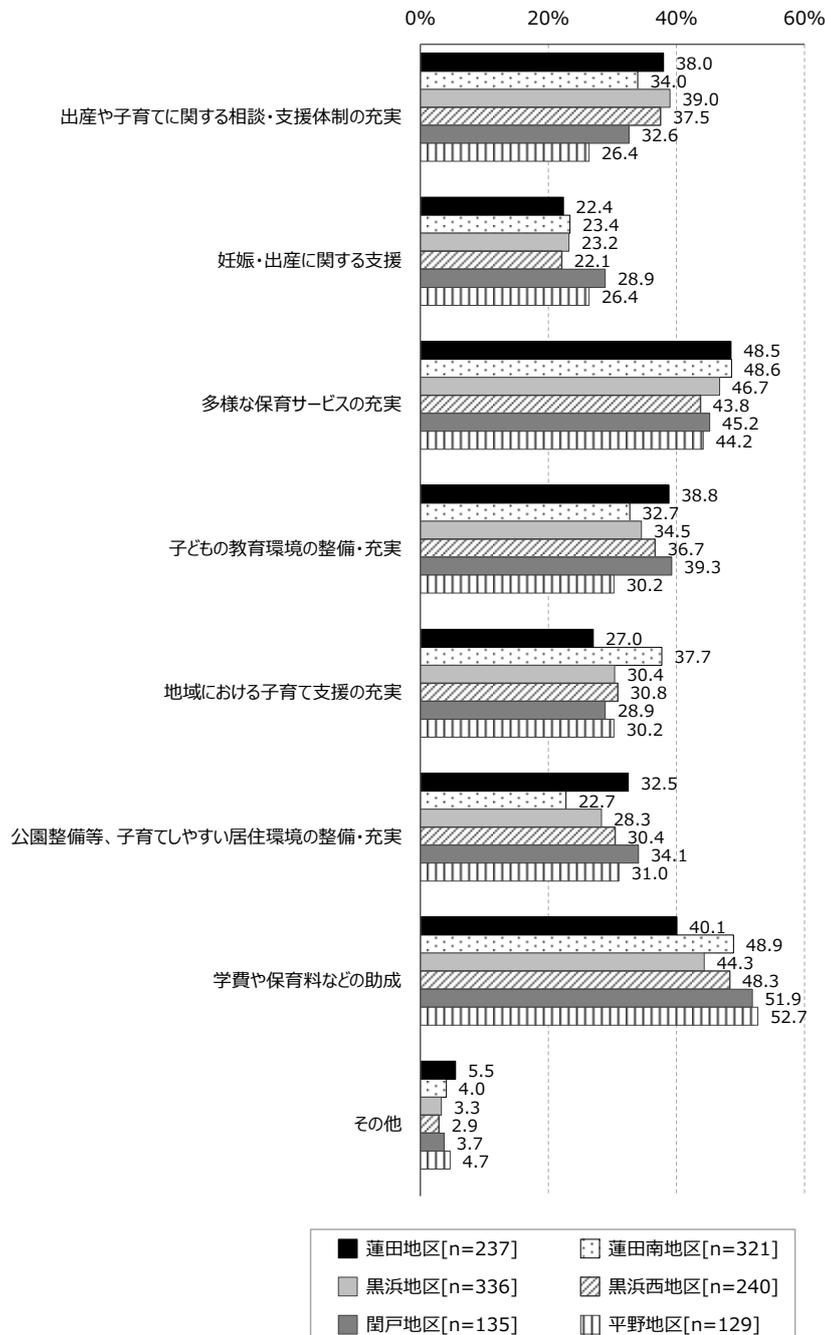
### 【年齢別】



子育てしやすいまちへの効果的な取組を地区別で見ると、平野地区の「学費や保育料などの助成」が52.7%で最も多くなっています。

## 子育てしやすいまちへの効果的な取組

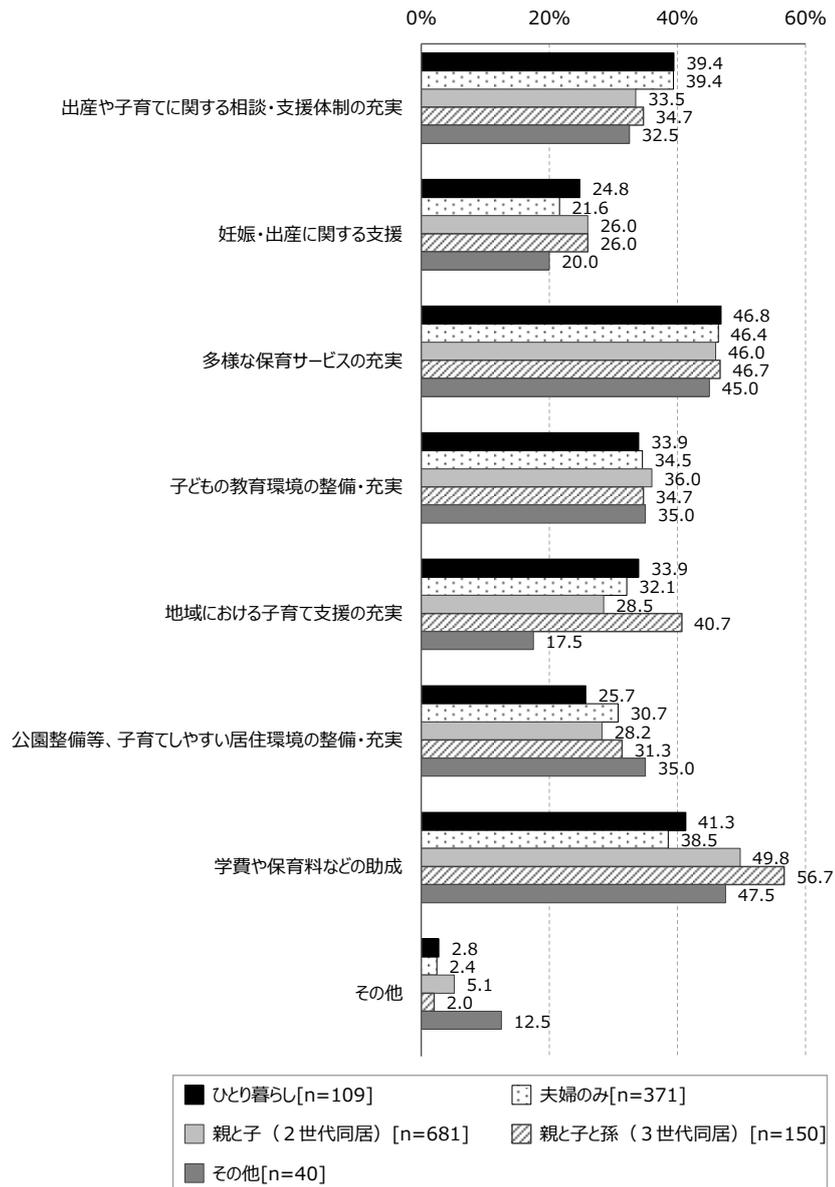
### 【地区別】



子育てしやすいまちへの効果的な取組を家族構成別でみると、親と子と孫（3世代同居）の「学費や保育料などの助成」が56.7%で最も多くなっています。

## 子育てしやすいまちへの効果的な取組

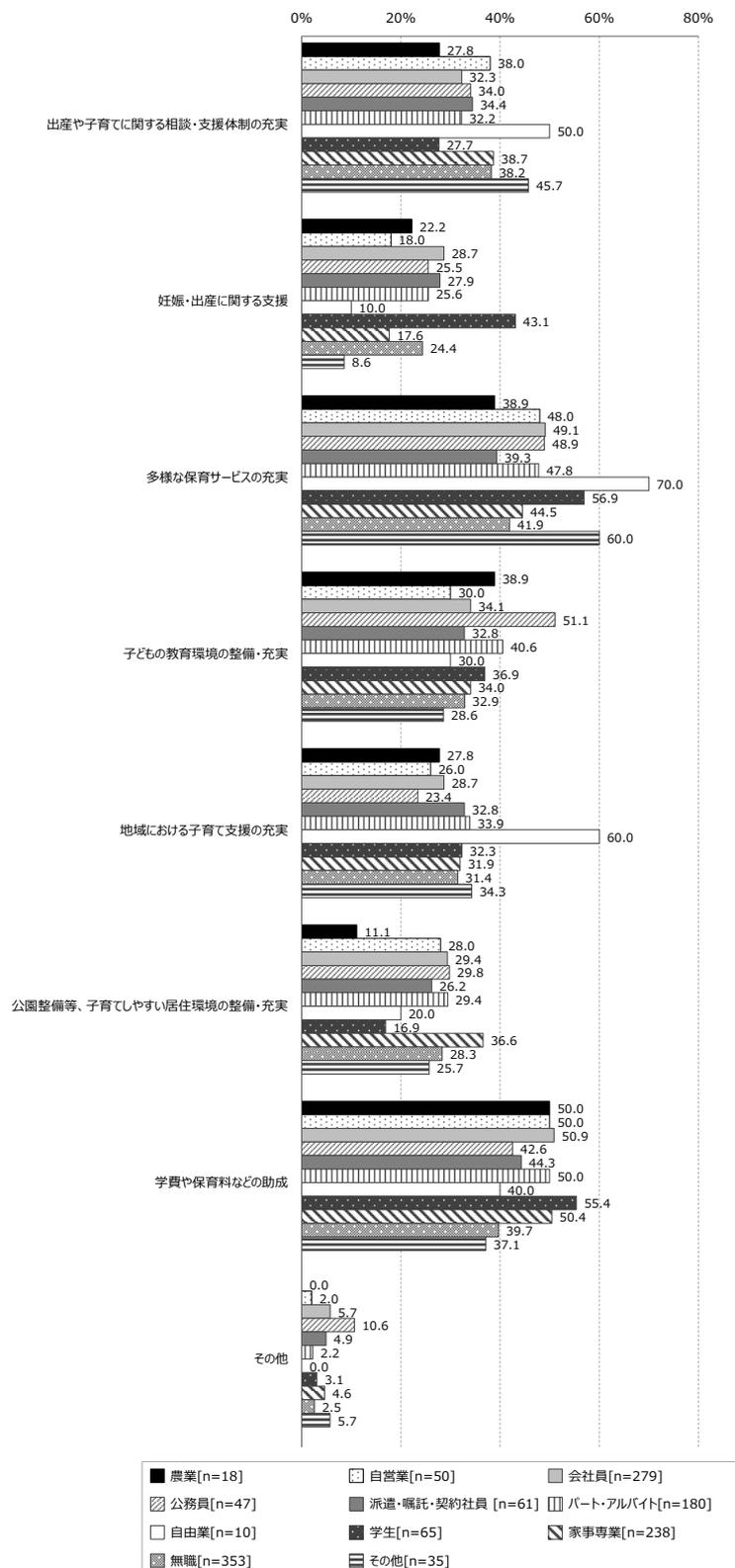
### 【家族構成別】



子育てしやすいまちへの効果的な取組を職業別でみると、自由業の「多様な保育サービスの充実」が70.0%で最も多くなっています。

## 子育てしやすいまちへの効果的な取組

### 【職業別】



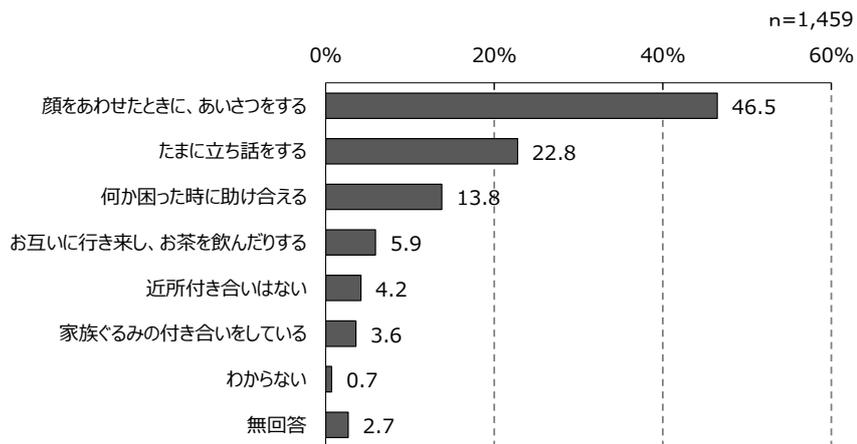
## 市政への市民参加や関わり方についてうかがいます。

### 問 21 あなたは日頃となり近所と、どの程度の付き合いをしていますか。

「顔をあわせたときに、あいさつをする」が46.5%で最も多く、次いで「たまに立ち話をする」が22.8%、「何か困った時に助け合える」が13.8%となっています。

#### 近所との付き合いの程度

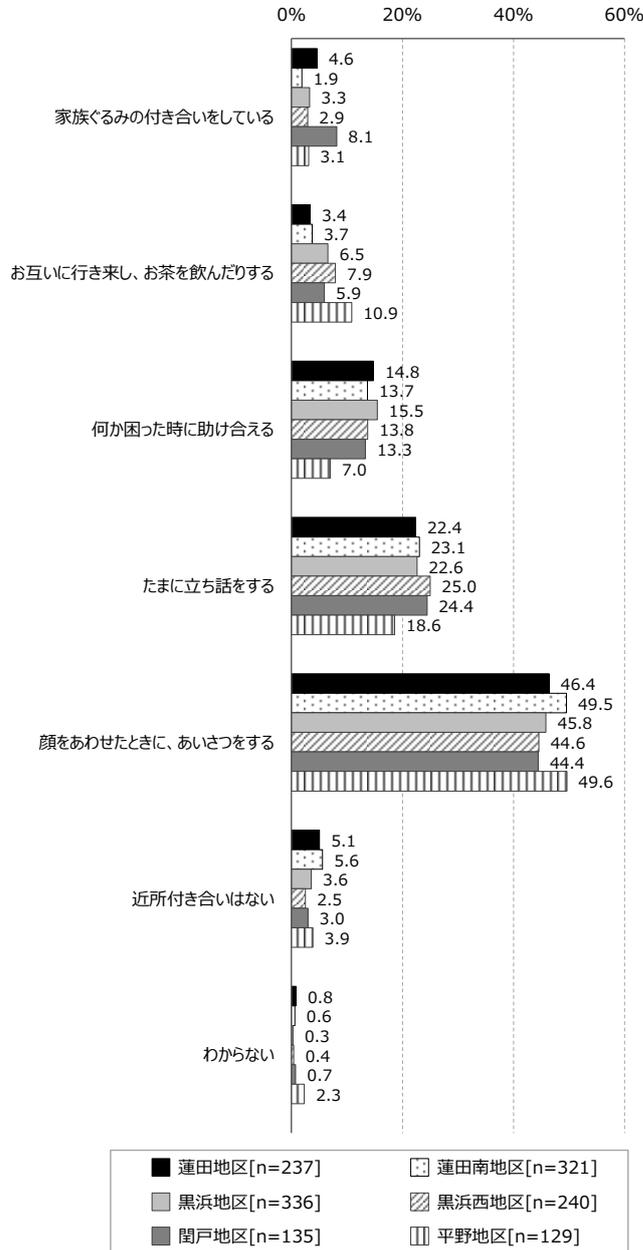
##### 【全体】



近所との付き合いの程度について地区別でみると、いずれの地区でも「顔をあわせたときに、あいさつをする」が最も多く、中でも平野地区の49.6%が最も多くなっています。

## 近所との付き合いの程度

### 【地区別】



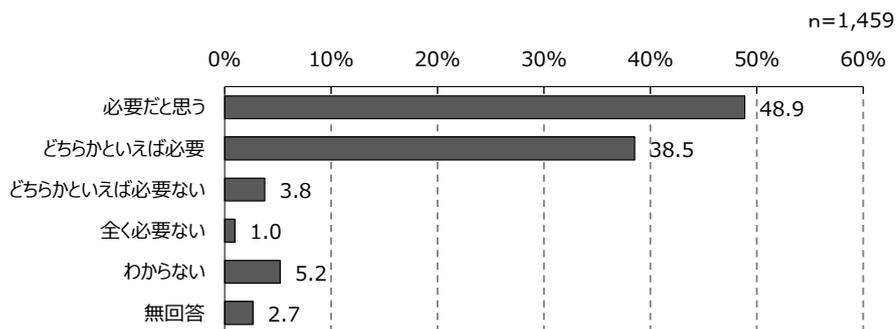
問 22 あなたは近所付き合いや地域のまちづくり活動について、どのようにお考えですか。  
(1つに〇)

「必要だと思う」が48.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば必要」が38.5%、「わからない」が5.2%となっています。

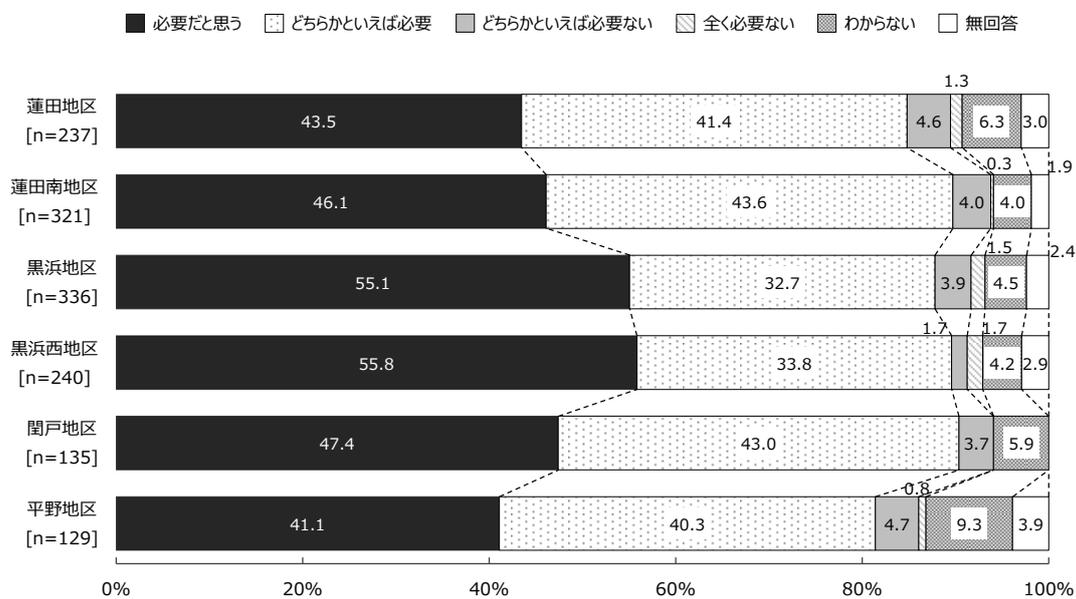
地区別でみると、黒浜西地区の「必要だと思う」が55.8%で最も多くなっています。

**地域活動の必要性**

**【全体】**



**【地区別】**

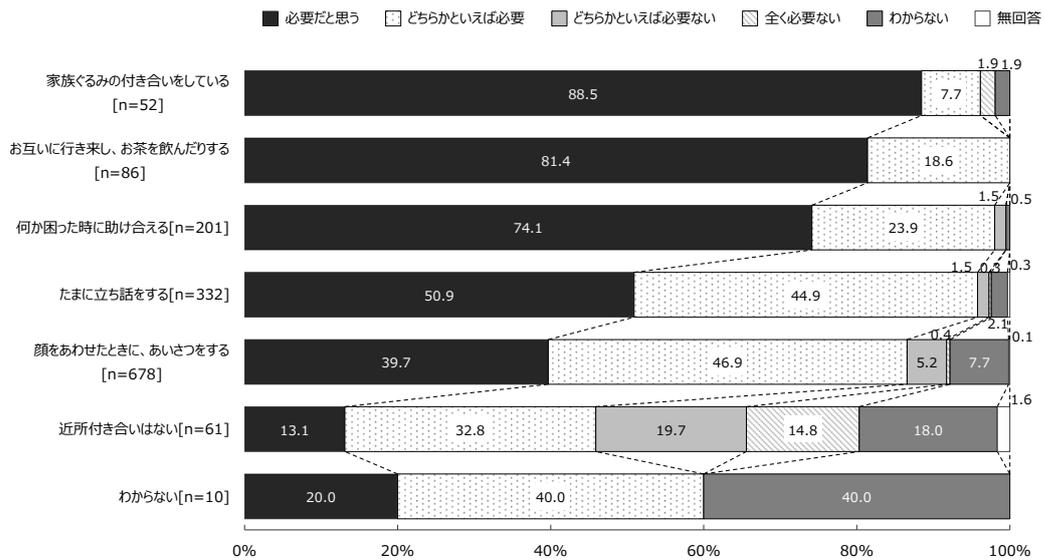


地域活動の必要性について、近所付き合いの程度別でみると「必要だと思う」層では、『家族ぐるみの付き合いをしている』が88.5%で最も多く、次いで『お互いに行き来し、お茶を飲んだりする』が81.4%、『何か困った時に助け合える』が74.1%となっています。

近所付き合いが緊密なほど、「必要だと思う」割合が高くなっています。

## 地域活動の必要性

### 【近所付き合いの程度（問 21）別地域活動の必要性（問 22）】



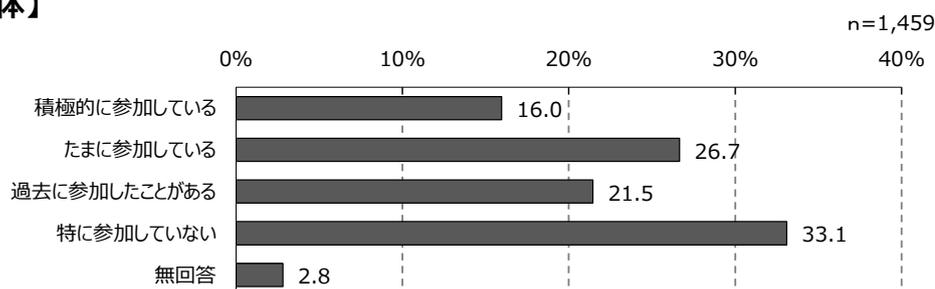
## 問 23 あなたは、地域活動(自治会、子ども会、老人会、市民ボランティア、NPO（非営利組織）などの活動)に参加していますか。

「特に参加していない」が33.1%で最も多く、次いで「たまに参加している」が26.7%、「過去に参加したことがある」が21.5%となっています。

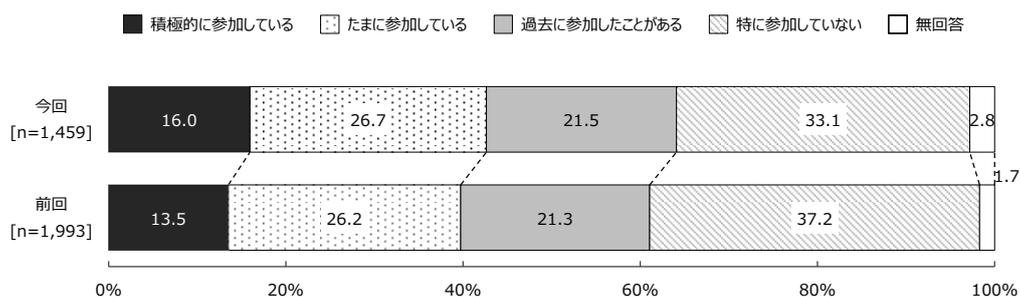
前回調査との比較では、「積極的に参加している」が2.5ポイント、「たまに参加している」が0.5ポイント、「過去に参加したことがある」が0.2ポイント増加しています。また、「特に参加していない」が4.1ポイント減少しています。

### 地域活動の参加の有無

#### 【全体】



#### 【前回比較】

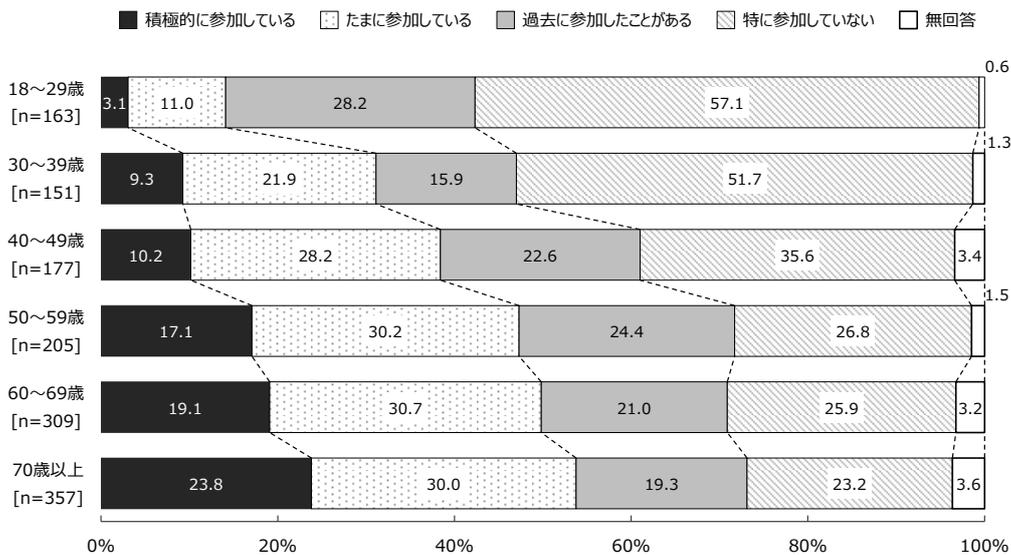


地域活動の参加の有無を年齢別にみると、全般的に年代が上がるにつれて、地域活動への参加は増加する傾向が見られます。「積極的に参加している」と回答した層では、70歳以上の23.8%が最も多く、次いで60歳代が19.1%、50歳代が17.1%となっています。

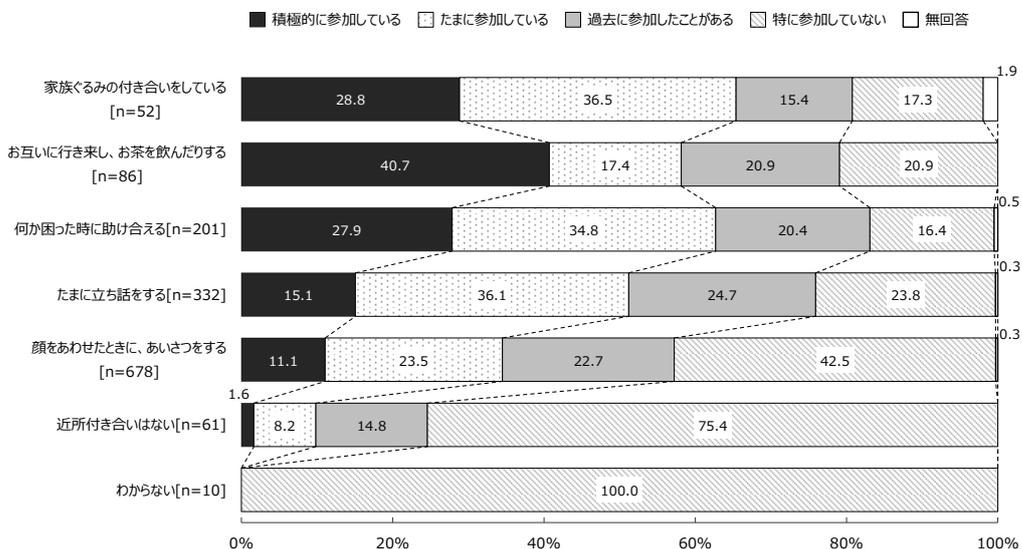
近所付き合いの程度別でみると、「積極的に参加している」層では、『お互いに行き来し、お茶を飲んだりする』が40.7%で最も多く、次いで『家族ぐるみの付き合いをしている』が28.8%、『何か困った時に助け合える』が27.9%となっています。一方で「特に参加していない」層のうち『近所付き合いはない』と回答した人は、75.4%となっています。

## 地域活動の参加の有無

### 【年齢別】



### 【近所付き合いの程度（問 21）別地域活動の参加の有無（問 23）】

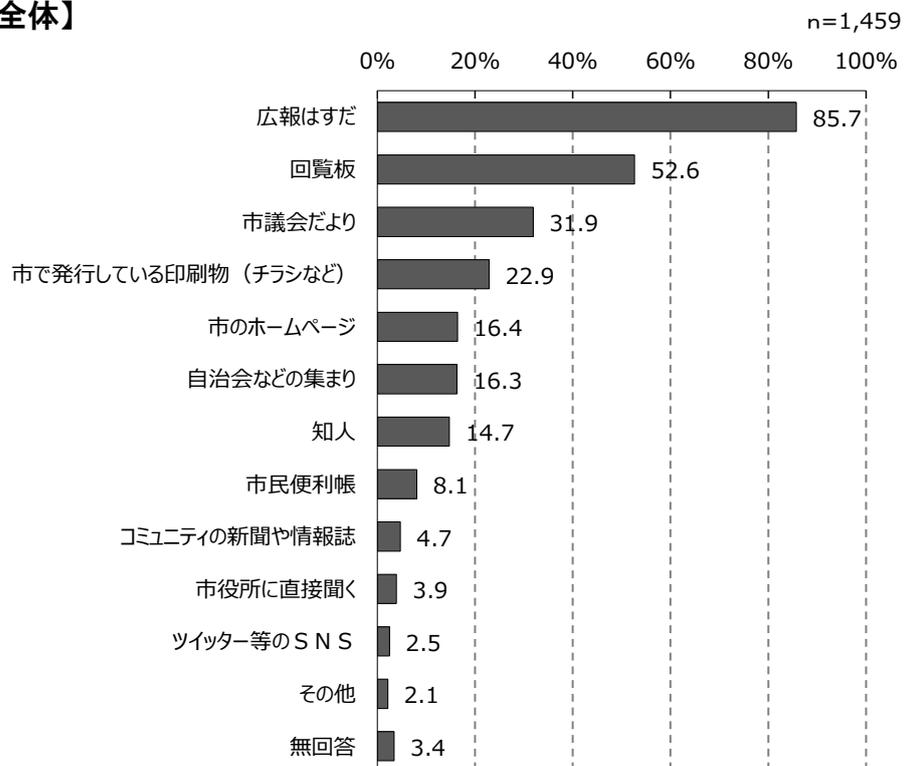


## 問 24 あなたは市政に関する情報をどのようなものから得ていますか。(複数回答)

「広報はすだ」が85.7%で多数を占め、次いで「回覧板」が52.6%、「市議会だより」が31.9%となっています。

### 市政情報の入手の手段

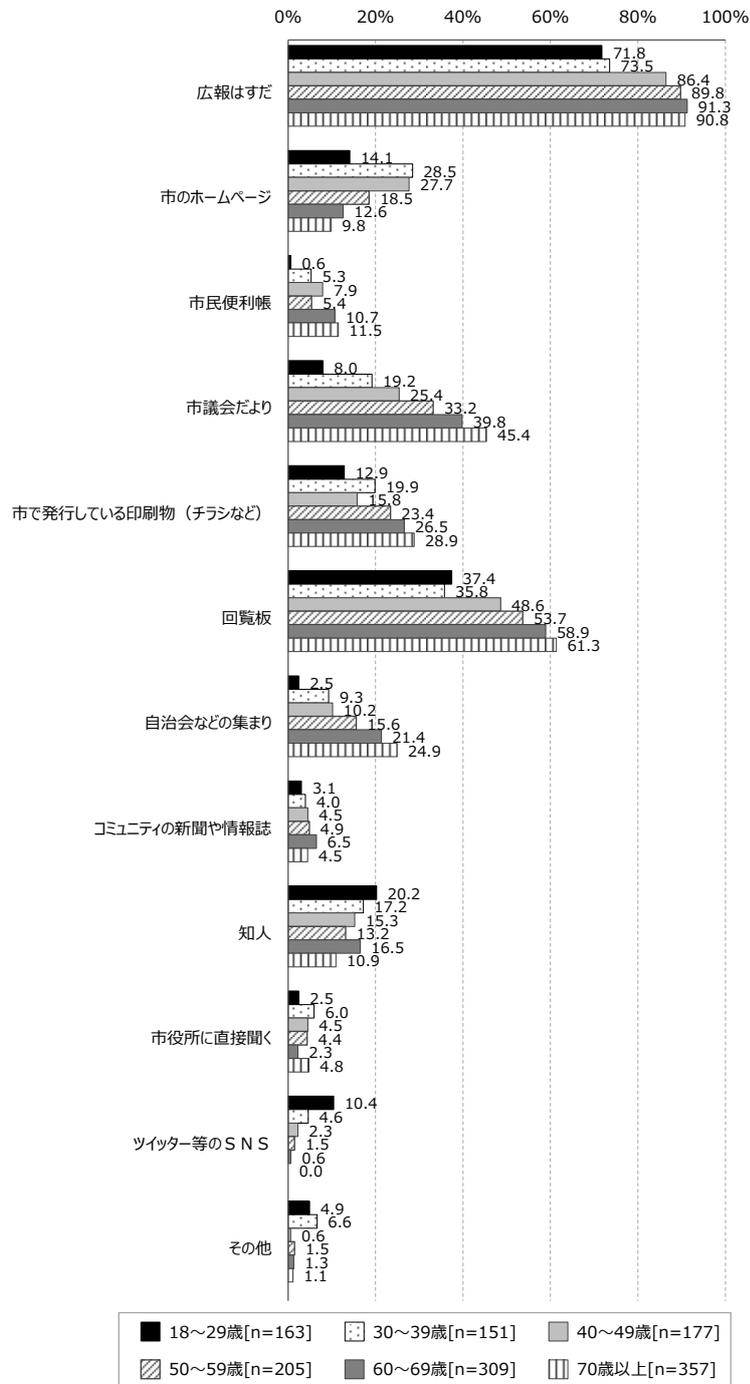
#### 【全体】



市政情報の入手の手段について年齢別でみると、60歳代の「広報はすだ」が91.3%と最も多くなっています。また、ほかの年代も同様に「広報はすだ」を重視していることがわかります。

## 市政情報の入手の手段

### 【年齢別】

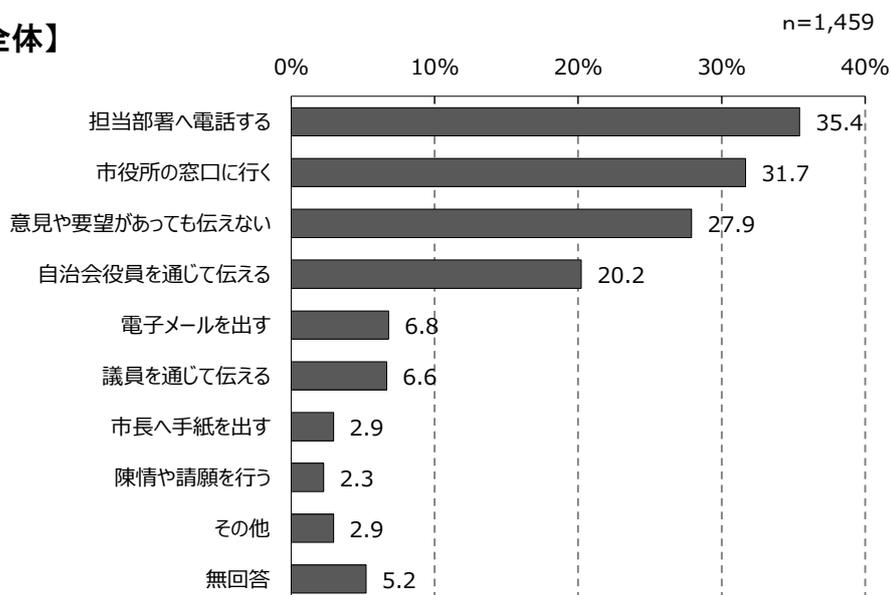


問 25 あなたは、市へ意見や要望を伝える場合、どのような方法で伝えますか。  
(複数回答)

「担当部署へ電話する」が 35.4%で最も多く、次いで「市役所の窓口に行く」が 31.7%、「意見や要望があっても伝えない」が 27.9%となっています。

**意見・要望の伝達方法**

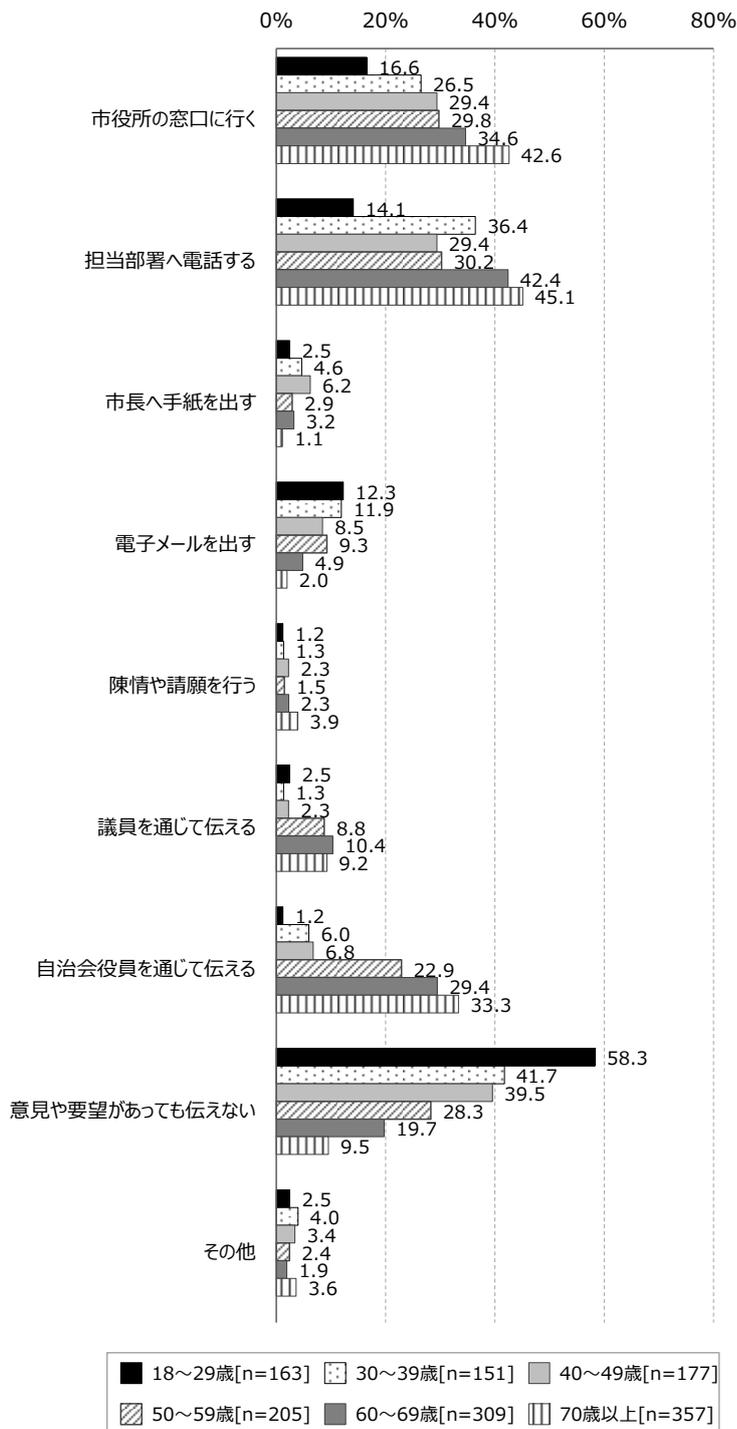
【全体】



意見・要望の伝達方法を年齢別でみると、20歳代以下の「意見や要望があっても伝えない」が58.3%で最も多くなっています。一方で、「市役所の窓口に行く」と「担当部署へ電話する」と回答した年代は、70歳代と60歳代が多くなっています。

## 意見・要望の伝達方法

### 【年齢別】



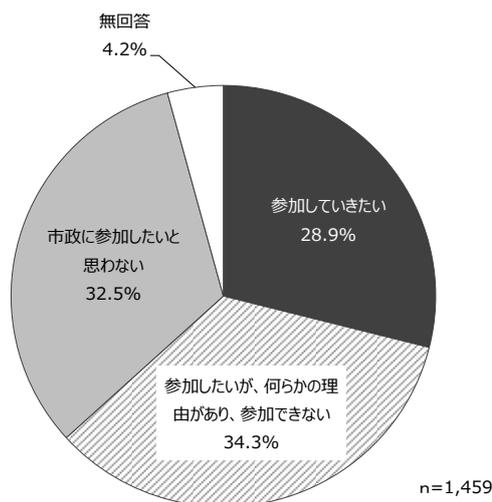
## 問 26 あなたは、今後、市政に参加（市の計画づくりや市の事業などへの参加）していき たいと思いますか。

「参加したいが、何らかの理由があり、参加できない」が 34.3%で最も多く、次いで「市政に参加したいと思わない」が 32.5%、「参加していきたい」が 28.9%となっています。

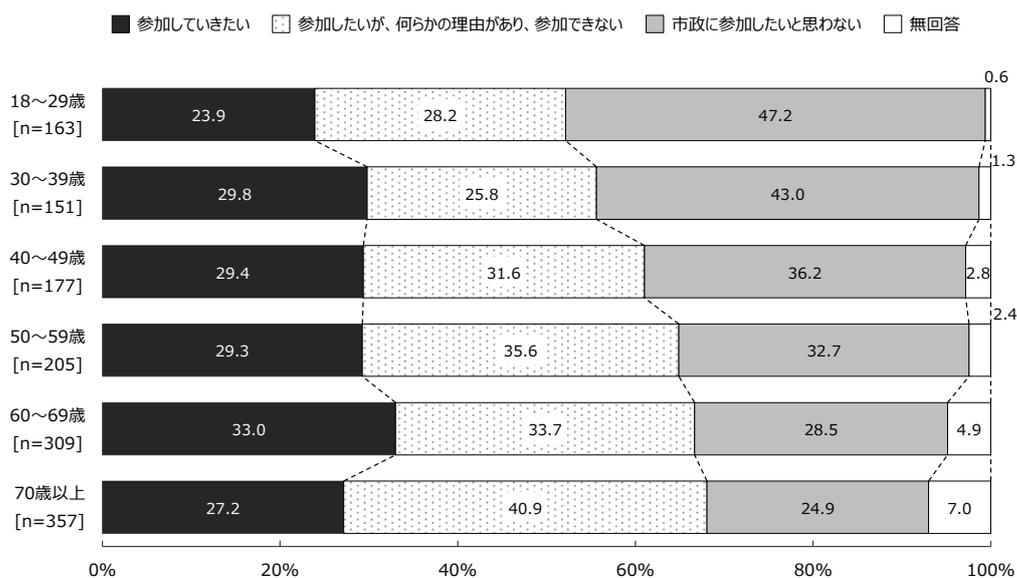
年齢別でみると、「参加していきたい」では 60 歳代の 33.0%が最も多くなっています。一方で「市政に参加したいと思わない」では 20 歳代以下が 47.2%と最も多くなっています。

### 市政への参加意向

#### 【全体】



#### 【年齢別】



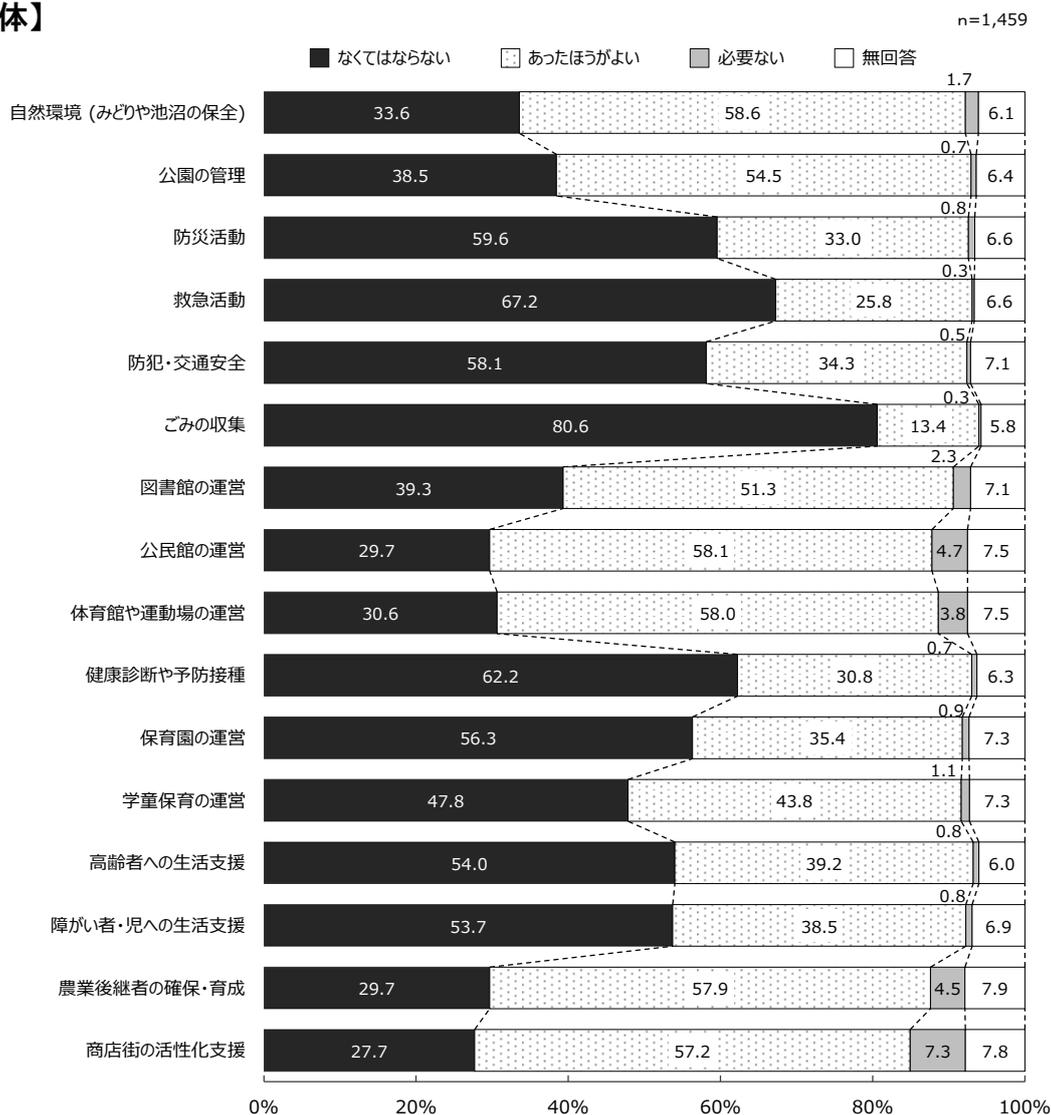
## 問 27 市民生活に関わるサービスと費用負担のあり方についての考えをお聞かせください。

「なくてはならない」では『ごみの収集』が80.6%で最も多く、次いで『救急活動』が67.2%、『健康診断や予防接種』が62.2%となっています。

一方で「必要ない」では『商店街の活性化支援』が7.3%で最も多く、次いで『公民館の運営』が4.7%、『農業後継者の確保・育成』が4.5%となっています。

### A サービスの必要性

#### 【全体】

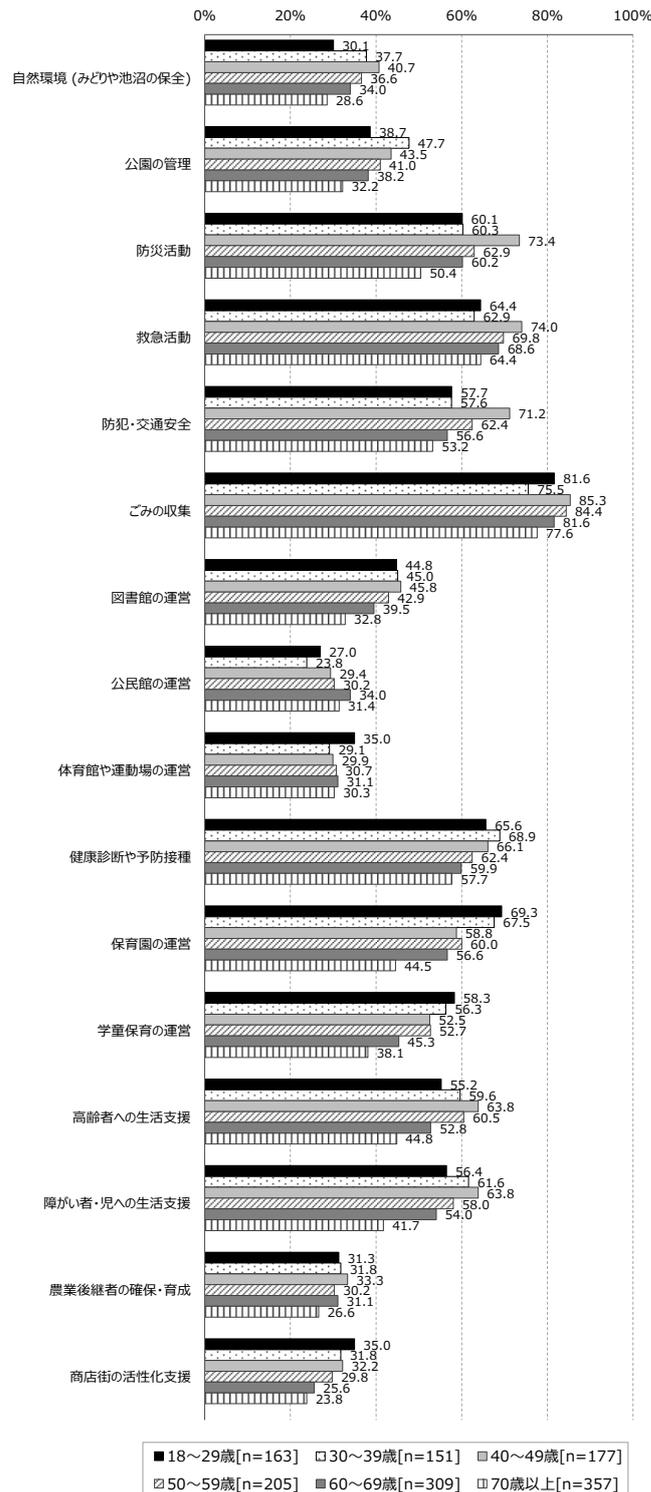


なくてはならないサービスを年齢別で見ると、40歳代の「ごみの収集」が85.3%で最も多くなっています。

## A サービスの必要性

### 【年齢別】

#### ① なくてはならない

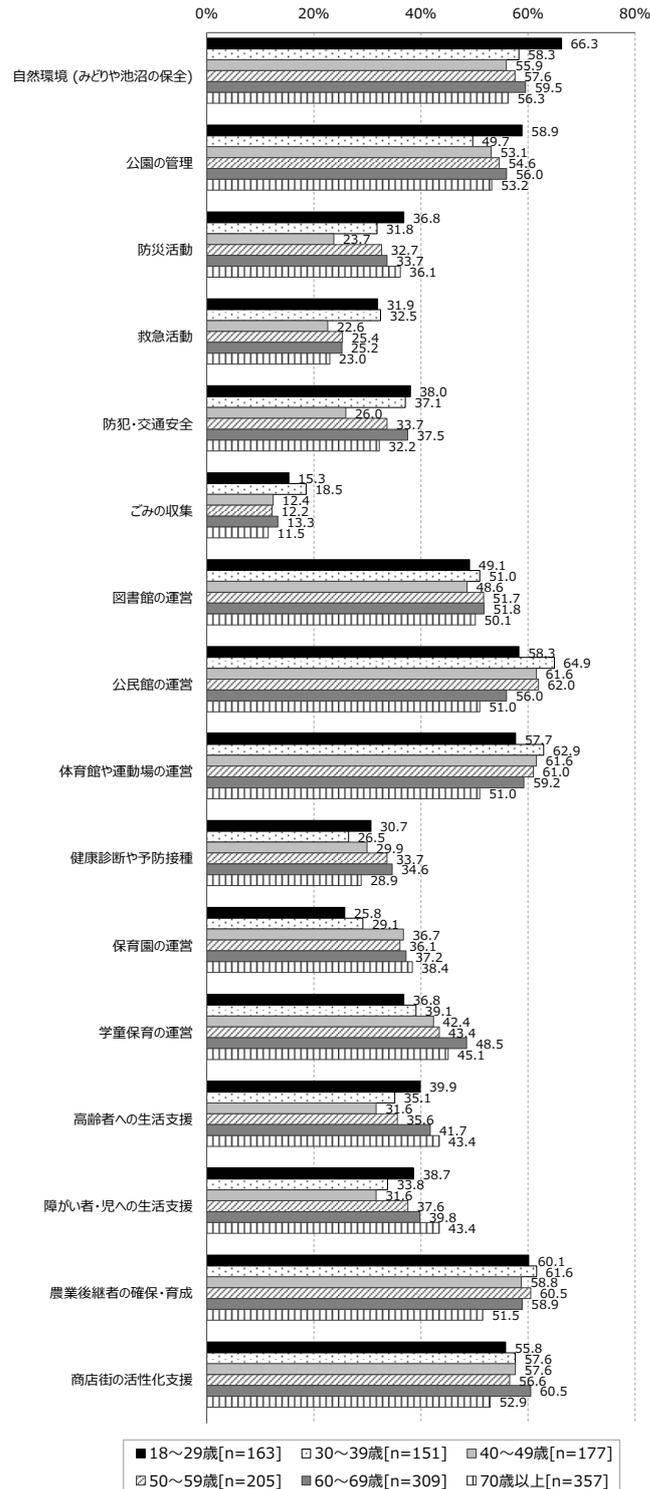


あったほうがよいサービスを年齢別で見ると、20歳代以下の「自然環境(みどりや池沼の保全)」が66.3%で最も多くなっています。

## A.サービスの必要性

### 【年齢別】

#### ② あったほうがよい

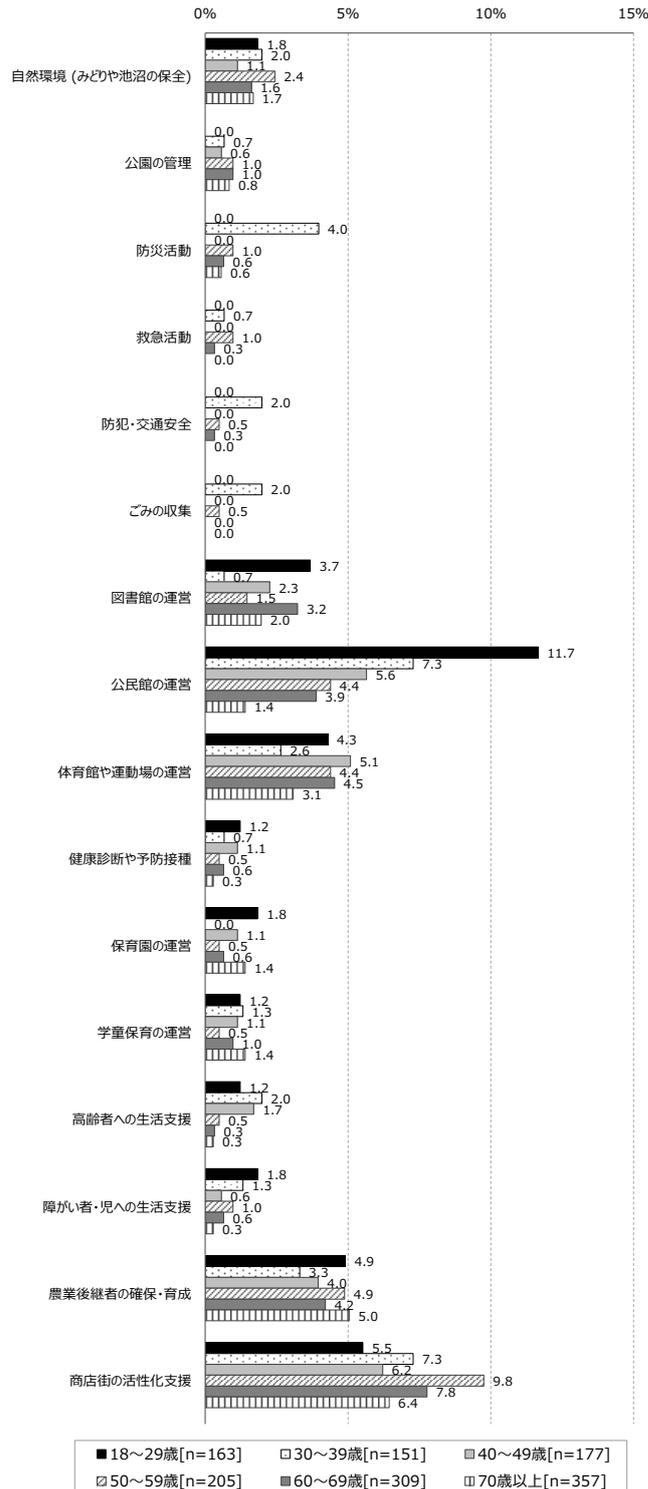


必要ないサービスを年齢別でみると、20歳代以下の「公民館の運営」が11.7%で最も多くなっています。

## A.サービスの必要性

### 【年齢別】

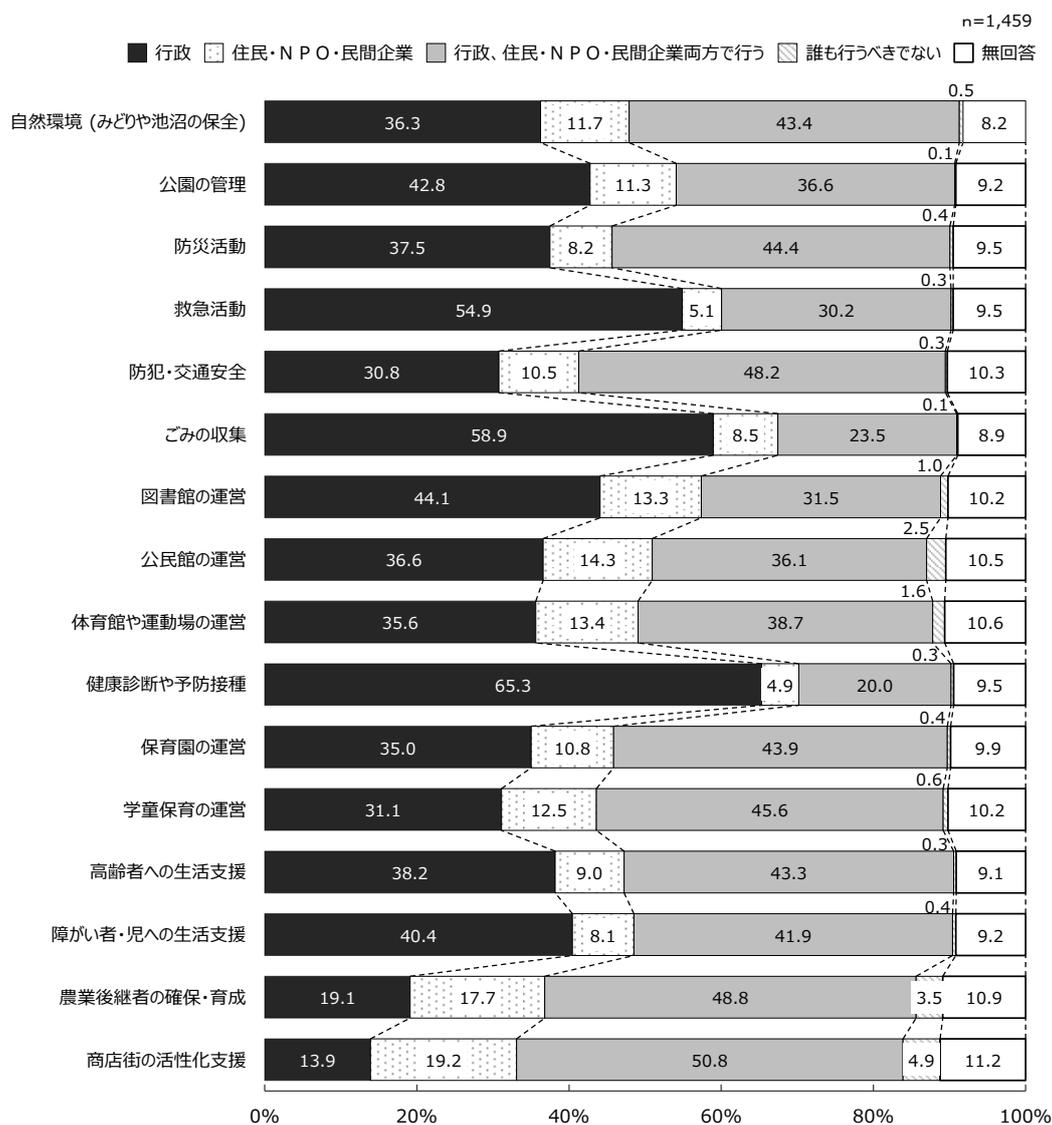
#### ③必要ない



「行政」がサービスの実行主体となるものとしては『健康診断や予防接種』が65.3%で最も多く、次いで『ごみの収集』が58.9%、『救急活動』が54.9%となっています。一方で「誰も行うべきではない」ものとしては『商店街の活性化支援』が4.9%で最も多く、次いで『農業後継者の確保・育成』が3.5%、『公民館の運営』が2.5%となっています。

## B サービスの実行主体

### 【全体】

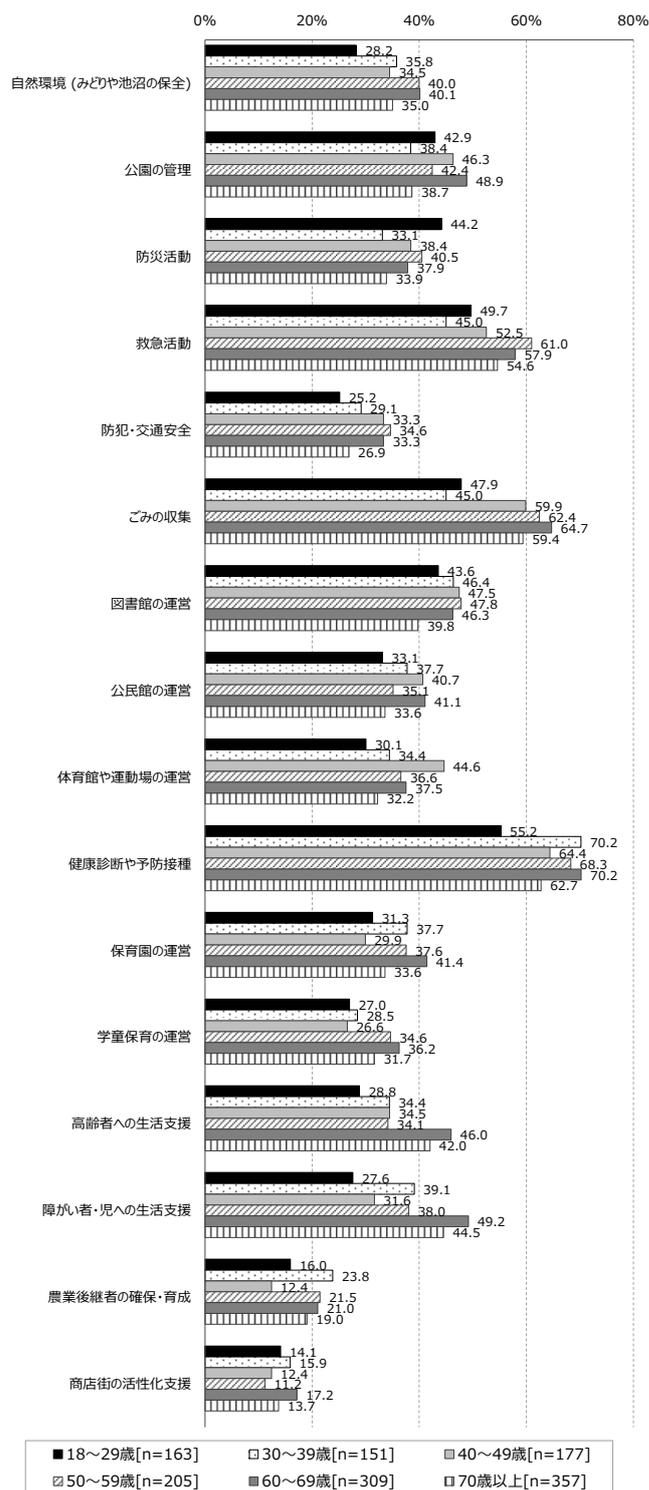


行政が実行主体となるべきサービスを年齢別で見ると、30歳代と60歳代の「健康診断や予防接種」が70.2%と同率で最も多くなっています。

## B サービスの実行主体

### 【年齢別】

#### ① 行政

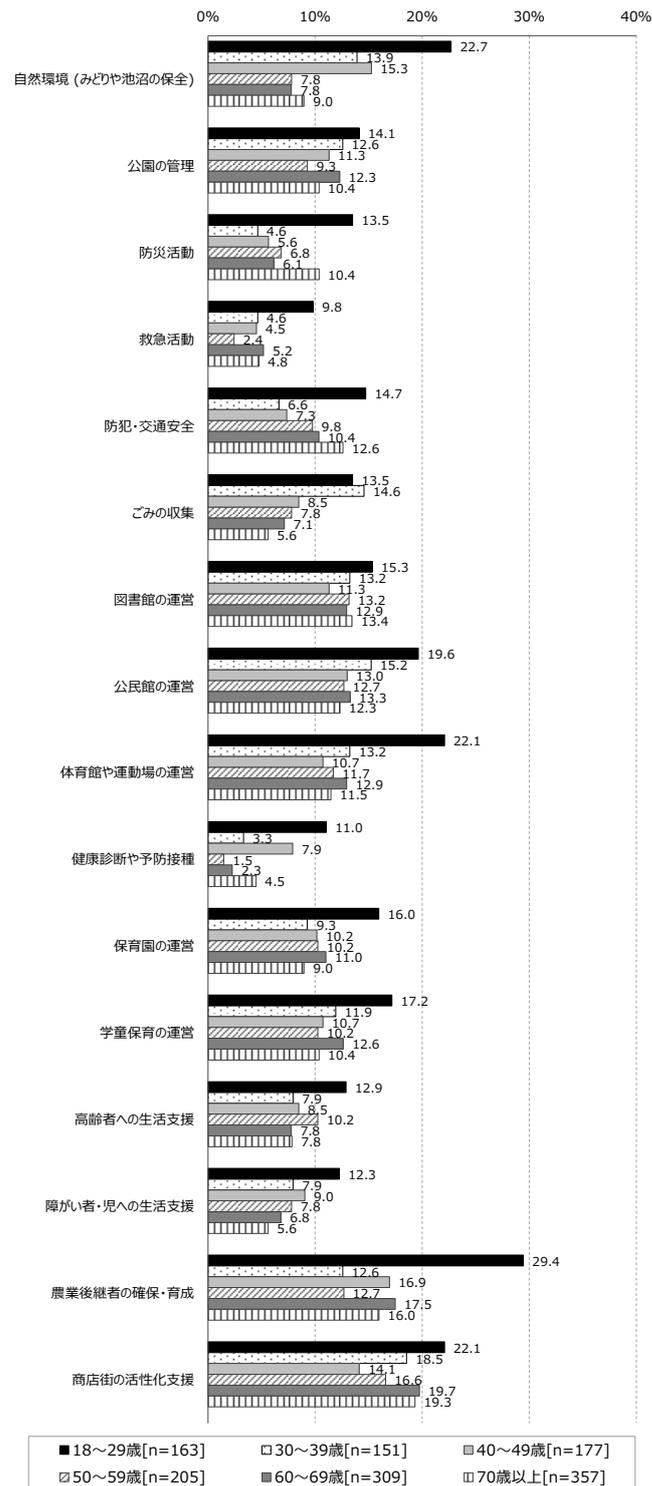


住民・NPO・民間企業が実行主体となるべきサービスを年齢別で見ると、20歳代以下の「農業後継者の確保・育成」が29.4%で最も多くなっています。

## B サービスの実行主体

### 【年齢別】

#### ② 住民・NPO・民間企業

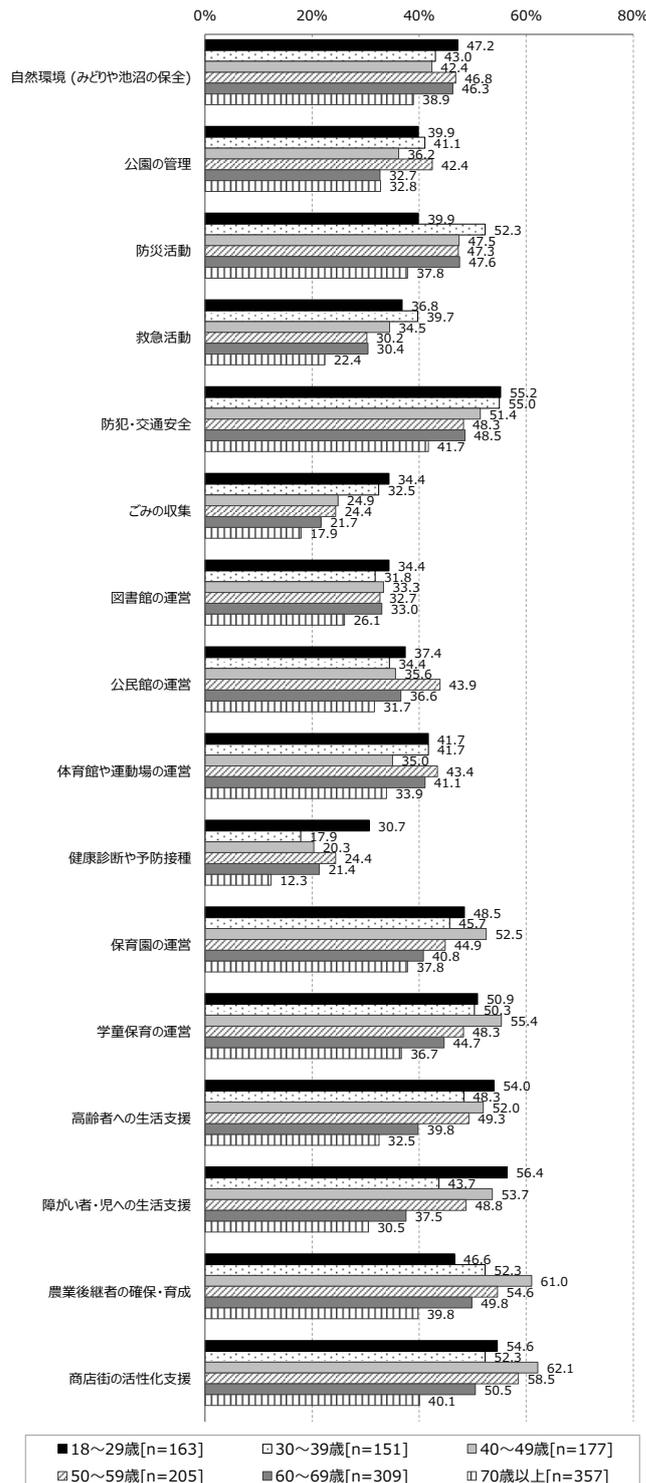


行政、住民・NPO・民間企業両方で行うべきサービスを年齢別で見ると、40歳代の「商店街の活性化支援」が62.1%で最も多くなっています。

## B サービスの実行主体

### 【年齢別】

#### ③ 行政、住民・NPO・民間企業両方で行う

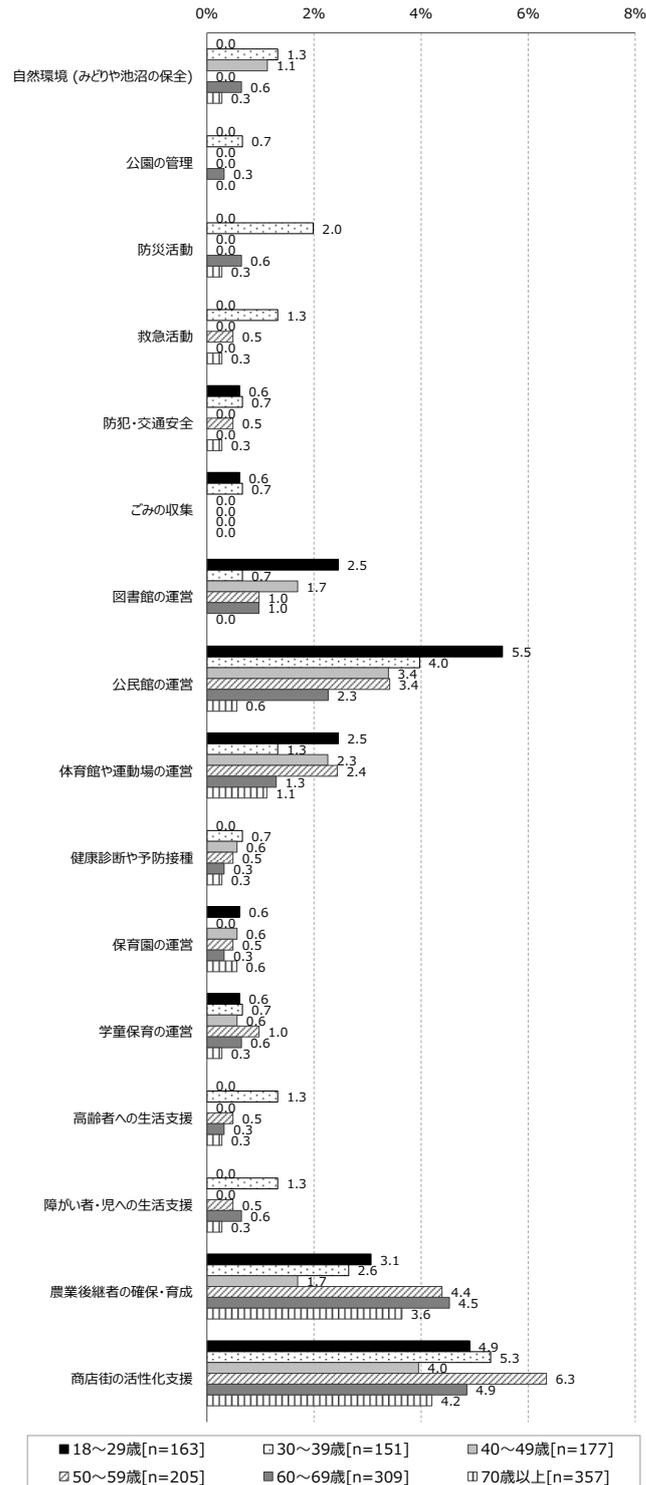


誰も行うべきでないとするサービスを年齢別で見ると、50歳代の「商店街の活性化支援」が6.3%で最も多くなっています。

## B サービスの実行主体

### 【年齢別】

#### ④ 誰も行うべきでない

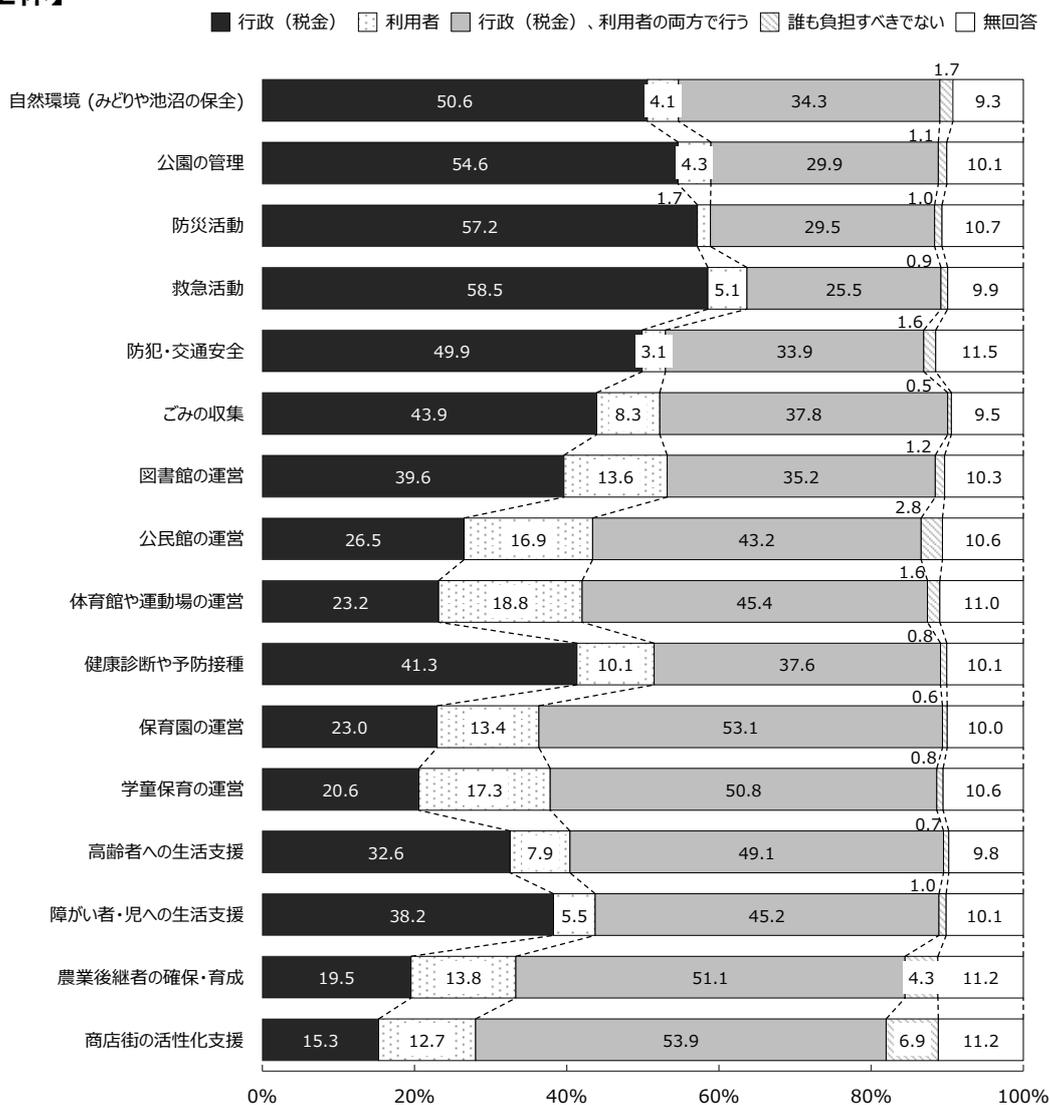


「行政（税金）」で負担するものとしては、『救急活動』が58.5%で最も多く、次いで『防災活動』が57.2%、『公園の管理』が54.6%となっています。一方で「誰も負担すべきでない」ものとしては『商店街の活性化支援』が6.9%で最も多く、次いで『農業後継者の確保・育成』が4.3%、『公民館の運営』が2.8%となっています。

## C サービスの費用負担

### 【全体】

n=1,459

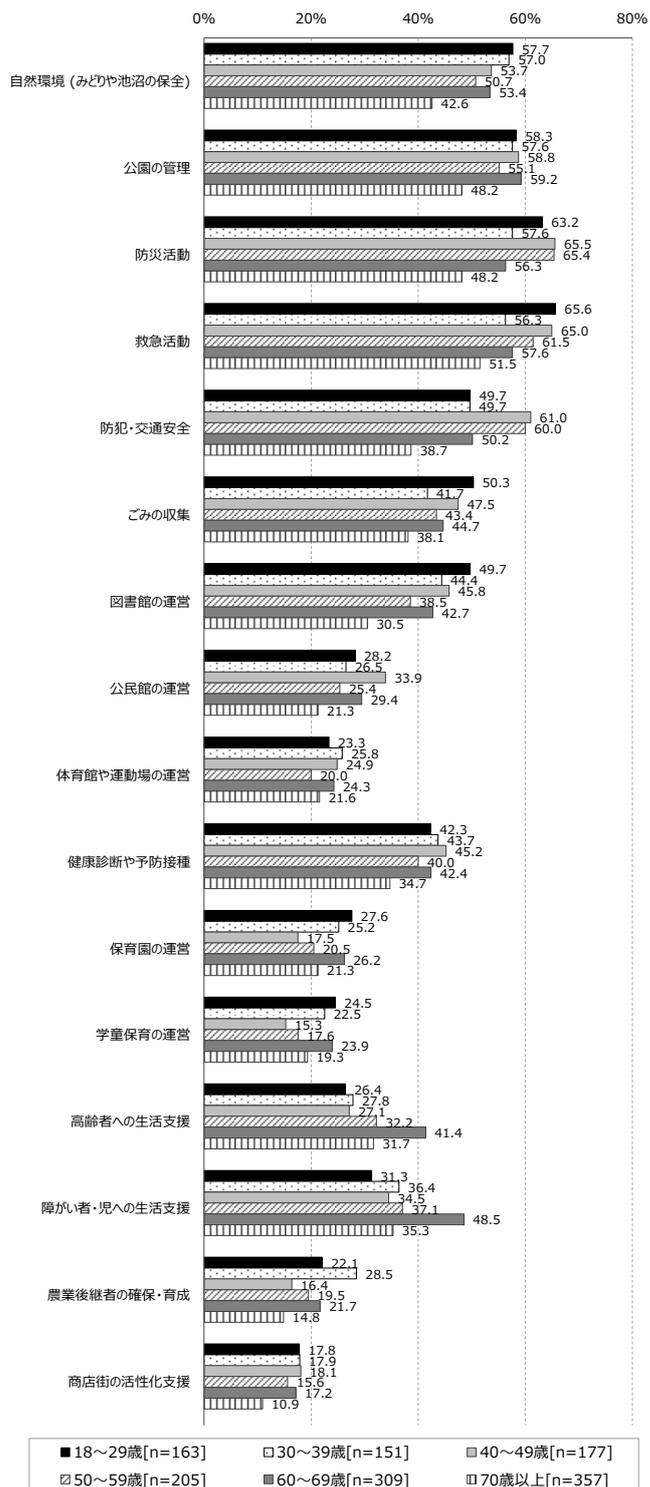


行政（税金）が費用負担をするべきと考えるサービスを年齢別でみると、20歳代以下の「救急活動」が65.6%で最も多くなっています。

## C サービスの費用負担

### 【年齢別】

#### ① 行政（税金）

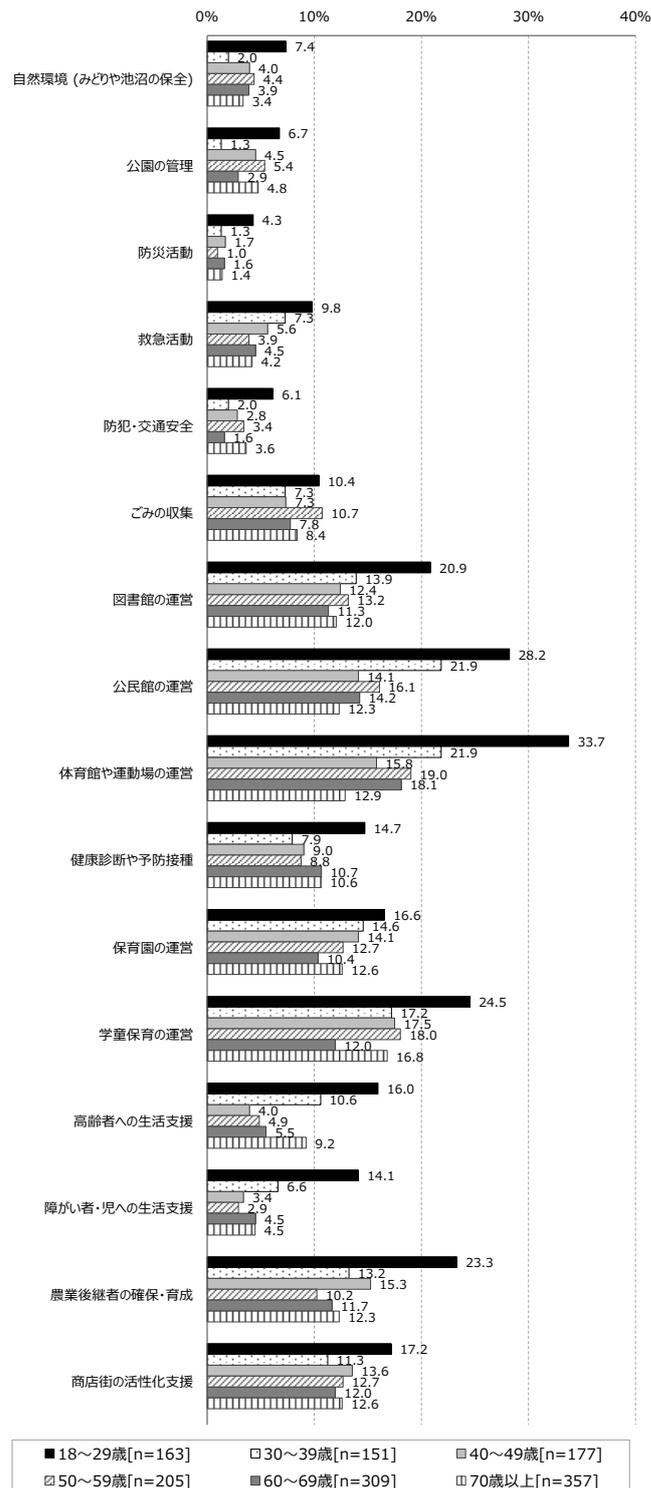


利用者が費用負担をするべきと考えるサービスを年齢別でみると、20歳代以下の「体育館や運動場の運営」が33.7%で最も多くなっています。

## C サービスの費用負担

### 【年齢別】

#### ② 利用者

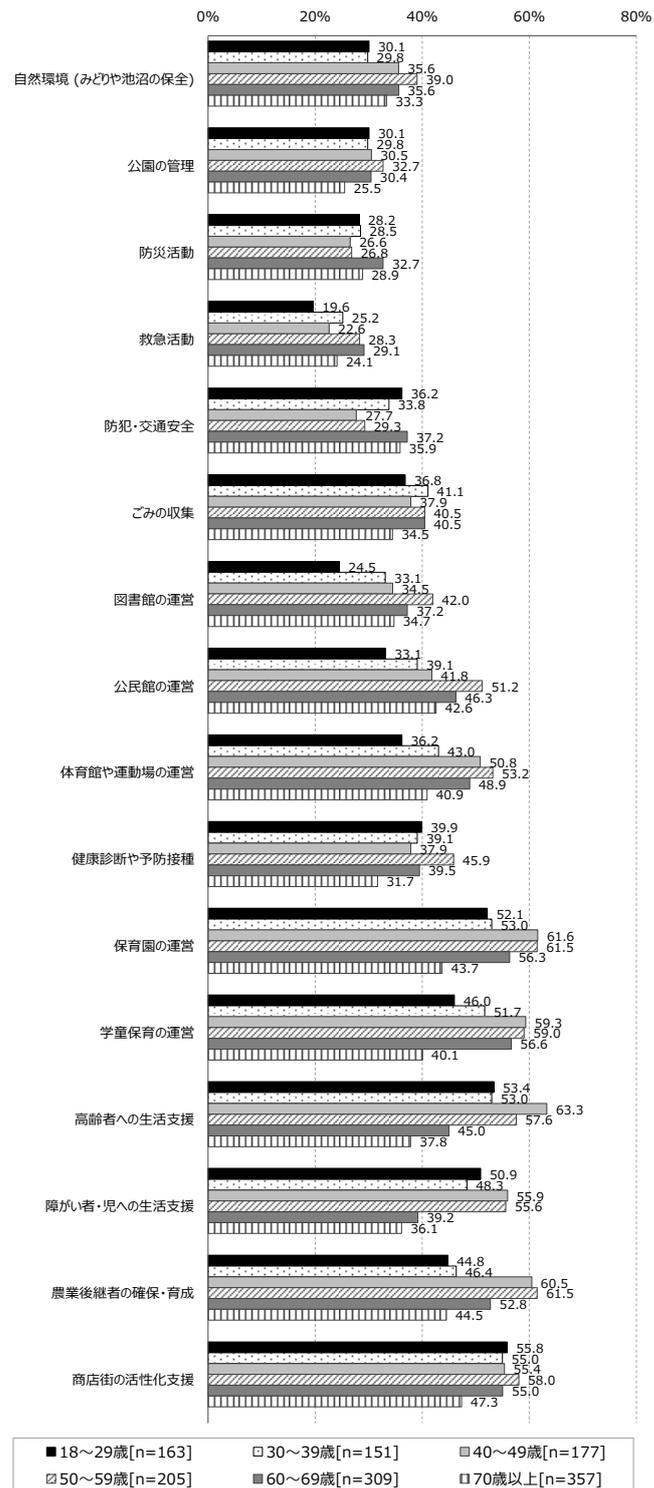


行政（税金）、利用者の両方で行うと考えるサービスを年齢別でみると、40歳代の「高齢者への生活支援」が63.3%で最も多くなっています。

## C サービスの費用負担

### 【年齢別】

#### ③ 行政（税金）、利用者の両方で行う

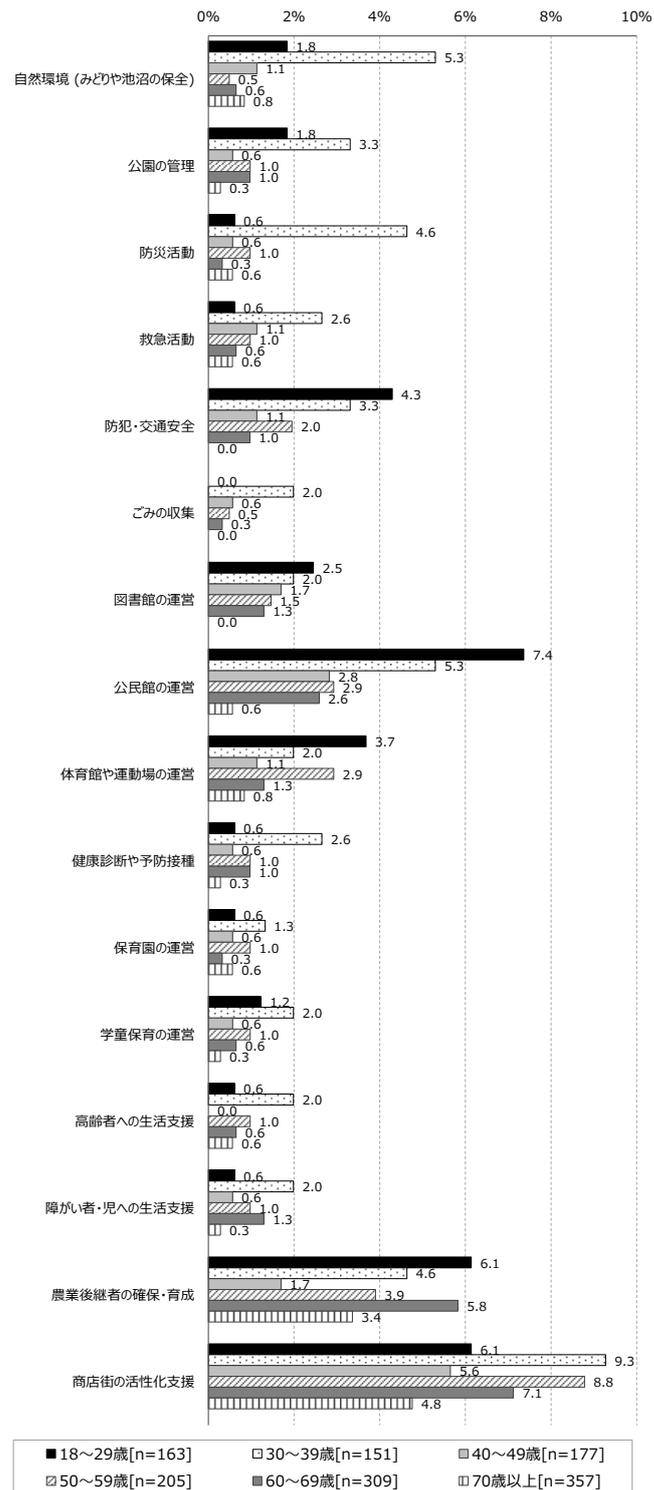


誰も負担すべきでないとするサービスを年齢別で見ると、30歳代の「商店街の活性化支援」が9.3%で最も多くなっています。

## C サービスの費用負担

### 【年齢別】

#### ④ 誰も負担すべきでない



# 防災対策についてうかがいます。

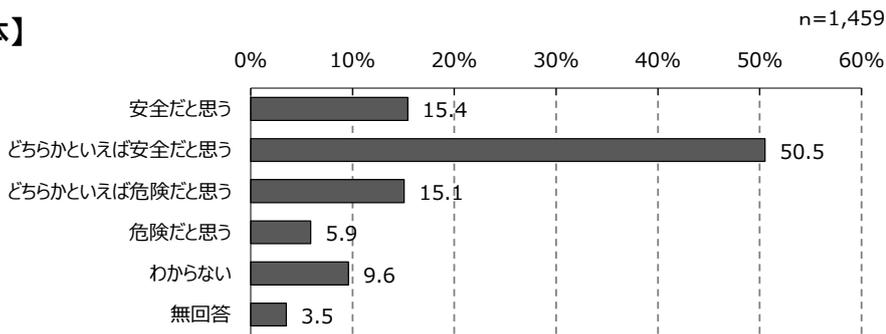
## 問 28 あなたのお住まいの地域は、災害に対し安全だと思いますか。

「どちらかといえば安全だと思う」が 50.5%で最も多く、次いで「安全だと思う」が 15.4%、「どちらかといえば危険だと思う」が 15.1%となっています。

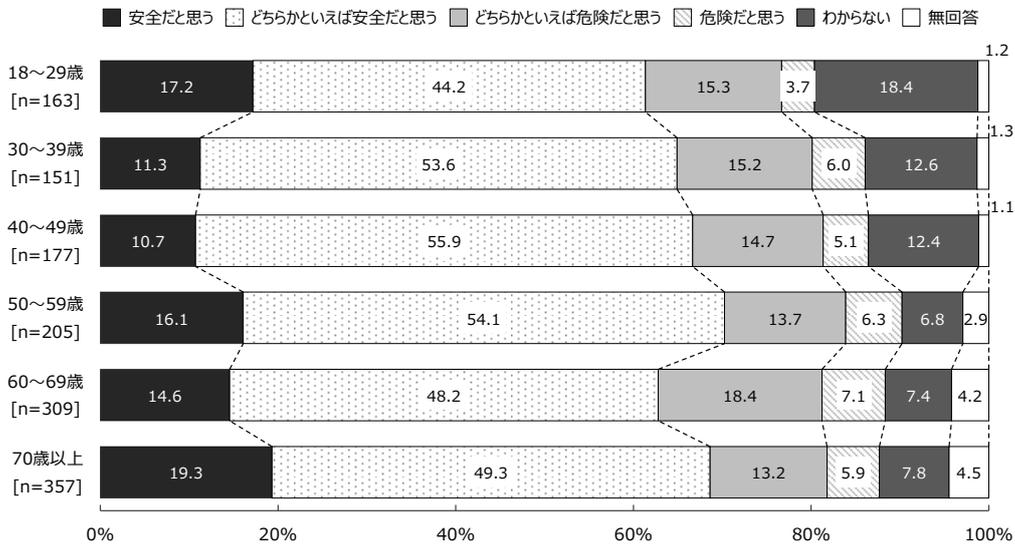
年齢別でみると、50 歳代の「安全だと思う」と「どちらかといえば安全だと思う」を合わせた“安全”が 70.2%で最も多くなっています。

### 居住地の安全性

#### 【全体】



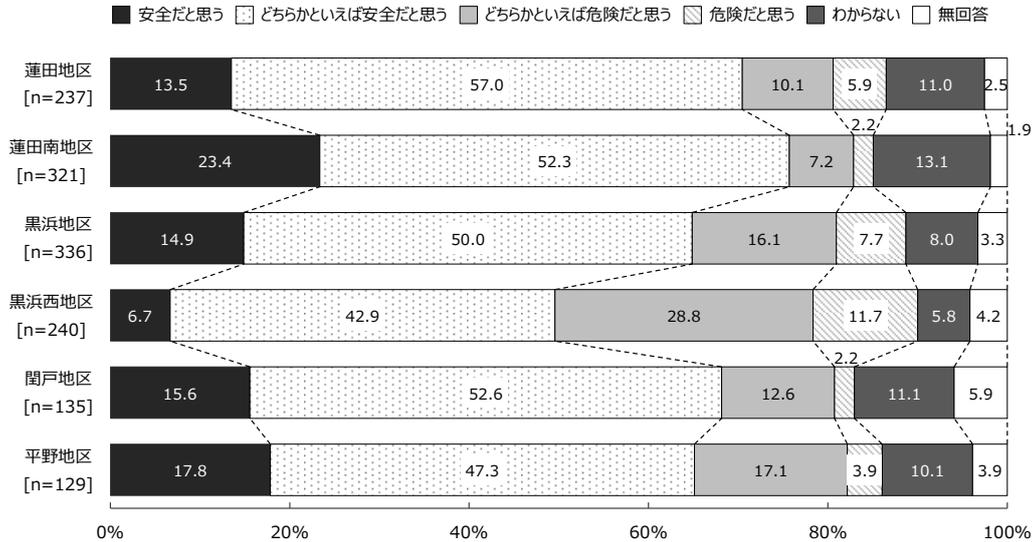
#### 【年齢別】



居住地域の安全性について地区別で見ると、蓮田南地区の「安全だと思う」が23.4%で最も多くなっている一方、黒浜西地区では「どちらかといえば危険だと思う」と「危険だと思う」を合わせた“危険”が40.5%で最も多くなっています。

## 居住地域の安全性

### 【地区別】



### 問 28-1 問 28 の選択肢を選んだ理由は何ですか。(主な意見)

1. 安全だと思う	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 50年以上住んでいるが今まで災害に遭ったことがないため</li> <li>■ 海川山が近くないから／家が高台にあるため安心できる</li> <li>■ 地盤がしっかりしているから</li> <li>■ 公園内に防災用具が用意しており、防災訓練もしているため</li> <li>■ 日頃から災害に備えているため／地域内で対策を協力して行っている</li> <li>■ 災害対策は常に話し合っている</li> </ul>
2. どちらかといえば安全だと思う	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 土地が高台にあり、今までほとんど災害はなかったから</li> <li>■ 他の地域に見られるような災害がないから</li> <li>■ 今のところ危険だと思うような目にあっていないから</li> <li>■ この数年間にあった大地震、大型台風の時も特に大きな被害はなかったから</li> <li>■ 地盤に特段の問題はなく、水害の心配もさほど高くないため</li> <li>■ 自治会が防災活動に積極的だから</li> </ul>
3. どちらかといえば危険だと思う	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 元荒川沿いの地域で洪水や液状化現象が懸念されるため</li> <li>■ 台風時など豪雨になると冠水し、道路が通れなくなり避難したくてもできないから</li> <li>■ 建築物が古く、耐震性に不安があるから</li> <li>■ 防災無線がよく聞こえないから</li> <li>■ 道路が狭く、緊急車両が出入りしにくいから</li> <li>■ 街灯が少なく、街そのものが暗いため</li> <li>■ 綾瀬川活断層があるため、不安はある</li> </ul>

4. 危険だと思う	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 集中豪雨や台風により、路上冠水、床下浸水の心配がある。</li> <li>■ 昔と比べて土手が崩れているため、補強が必要</li> <li>■ 近所に数十年手付かずの空家があり、地震での崩落や不審火による火災などがとても不安</li> <li>■ 街灯が少なく日が暮れたら外に出たくないため</li> <li>■ 基本的なパトロール体制や組織づくりが見えないため</li> </ul>
5. わからない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実施しているのかもしれないが、防災についての訓練や勉強会などを地域で行っているのを目にしたことがないから</li> <li>■ 元荒川と綾瀬川がほど近い。空家が増え、高齢者も多く、なんとなく心配であるため</li> <li>■ 地域の防災のことをあまりよく知らない。1年1回くらい地域ごとに訓練などがあってもいい</li> <li>■ 自宅と駅しか利用していないため、周囲の環境を把握できていない</li> <li>■ 避難場所は分かるがその後の流れを全く知らないから</li> </ul>

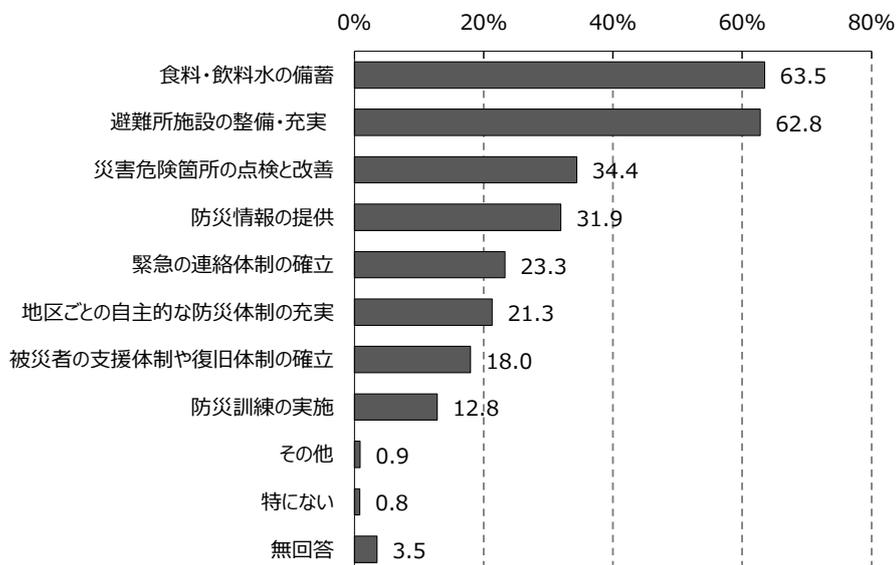
## 問 29 あなたは、災害への備えにはどんなことが必要だと思いますか。(複数回答)

「食料・飲料水の備蓄」が63.5%で最も多く、次いで「避難所施設の整備・充実」が62.8%、「災害危険箇所の点検と改善」が34.4%となっています。

### 災害への備えに必要なこと

【全体】

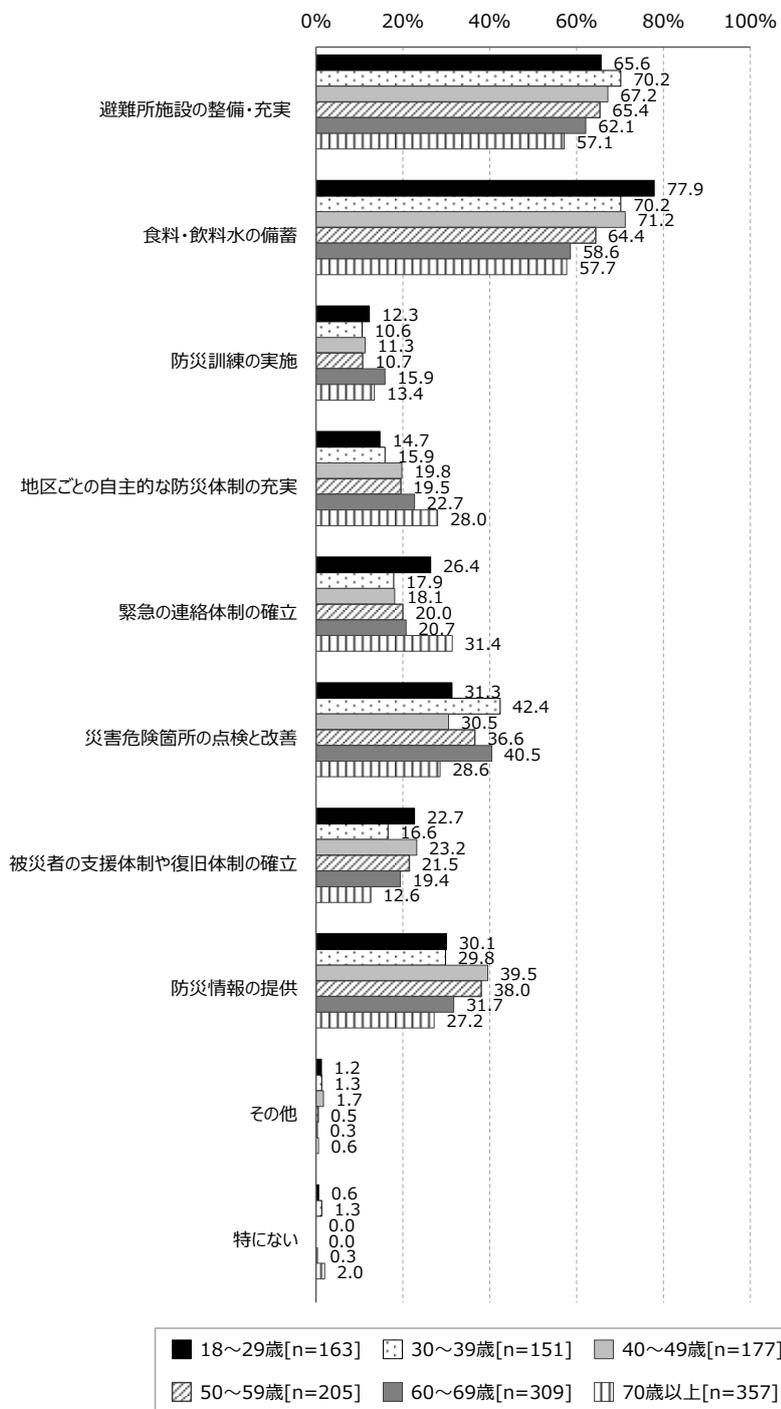
n=1,459



災害への備えに必要なことを年齢別でみると、20 歳代以下の「食料・飲料水の備蓄」が 77.9% で最も多くなっています。

## 災害への備えに必要なこと

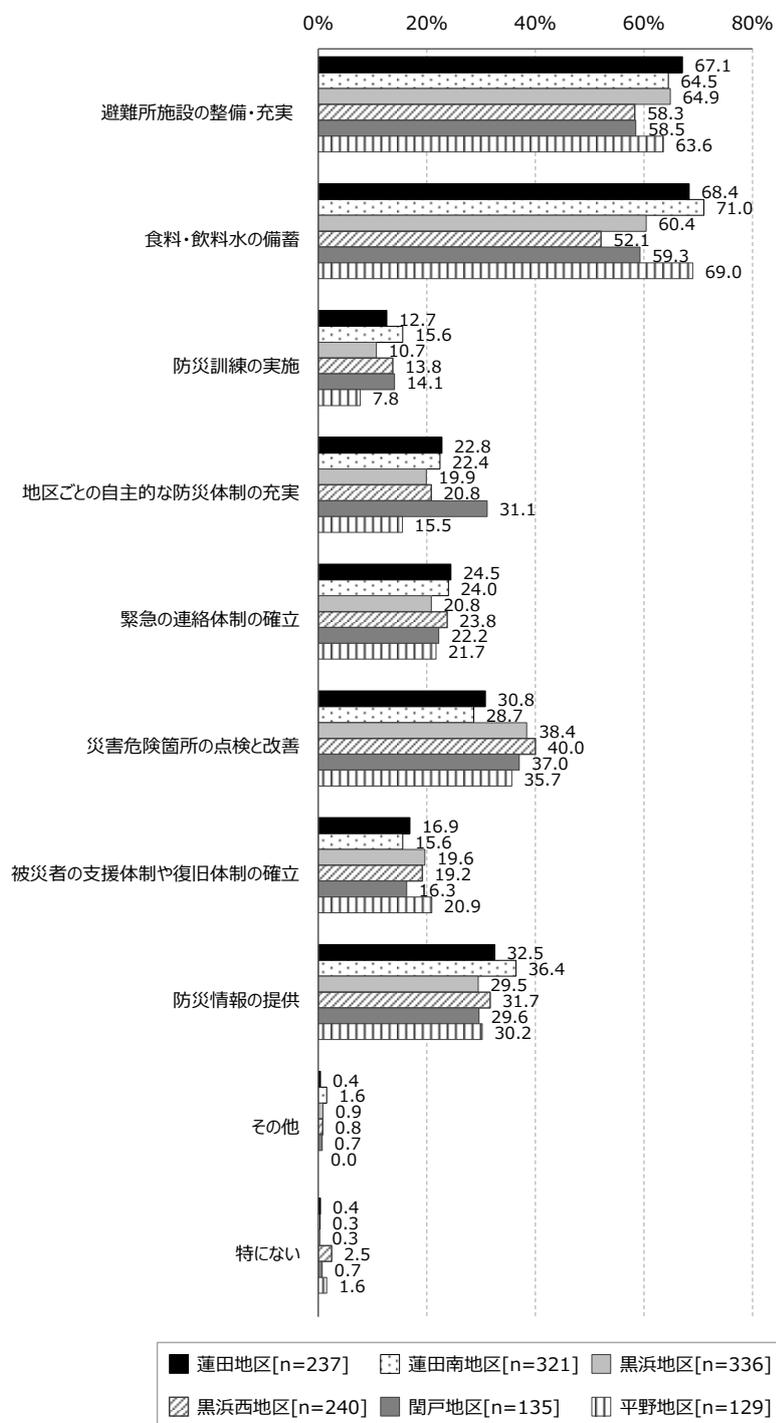
### 【年齢別】



災害への備えに必要なことを地区別でみると、蓮田南地区の「食料・飲料水の備蓄」が71.0%で最も多くなっています。

## 災害への備えに必要なこと

### 【地区別】



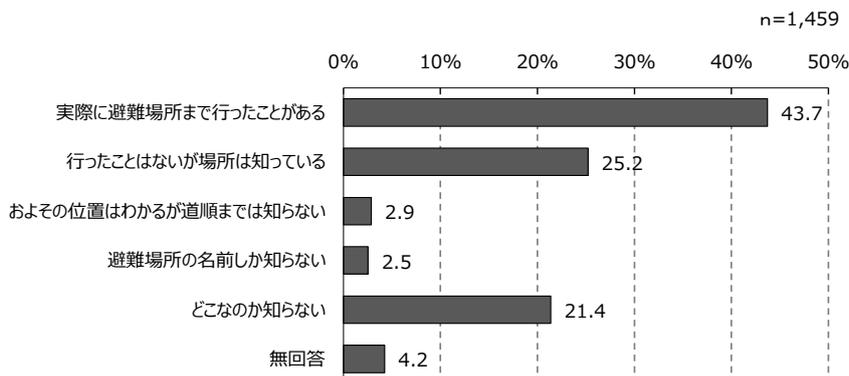
### 問 30 あなたは、地震などが起こった場合の避難場所を知っていますか。

「実際に避難場所まで行ったことがある」が43.7%で最も多く、次いで「行ったことはないが場所は知っている」が25.2%、「どこなのか知らない」が21.4%となっています。

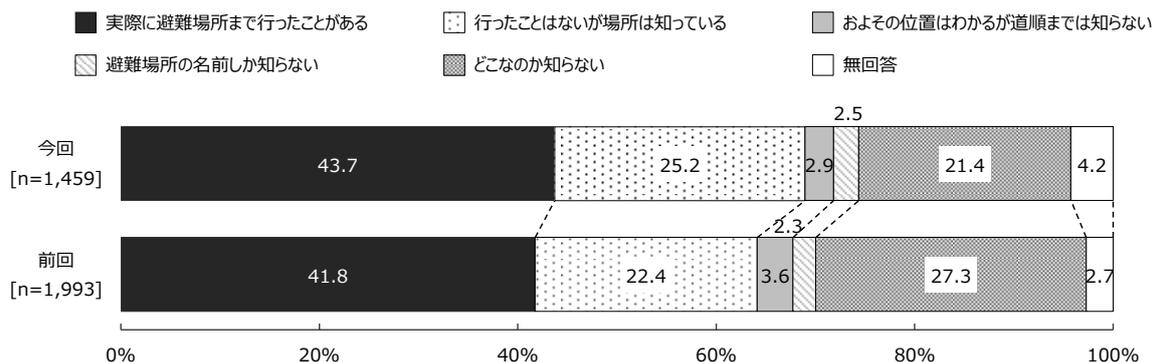
前回調査との比較では、「行ったことはないが場所は知っている」が2.8ポイント、「実際に避難場所まで行ったことがある」が1.9ポイント増加しています。一方、「どこなのか知らない」が5.9ポイント減少しています。

#### 避難場所の認知度

##### 【全体】



##### 【前回比較】

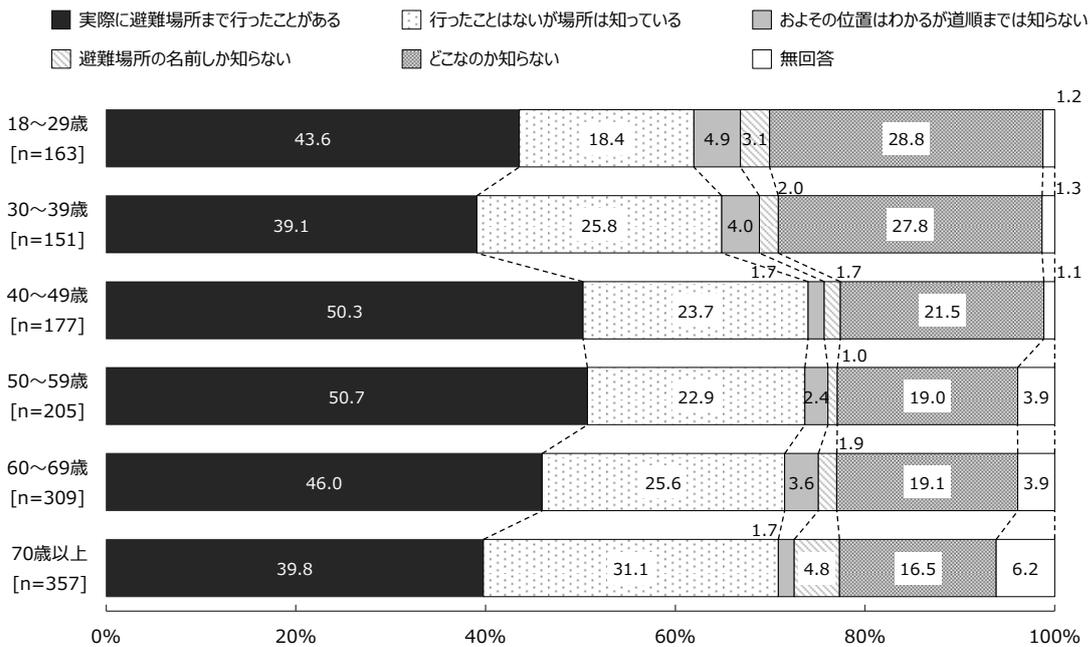


年齢別でみると、50歳代の「実際に避難場所まで行ったことがある」が50.7%で最も多くなっています。

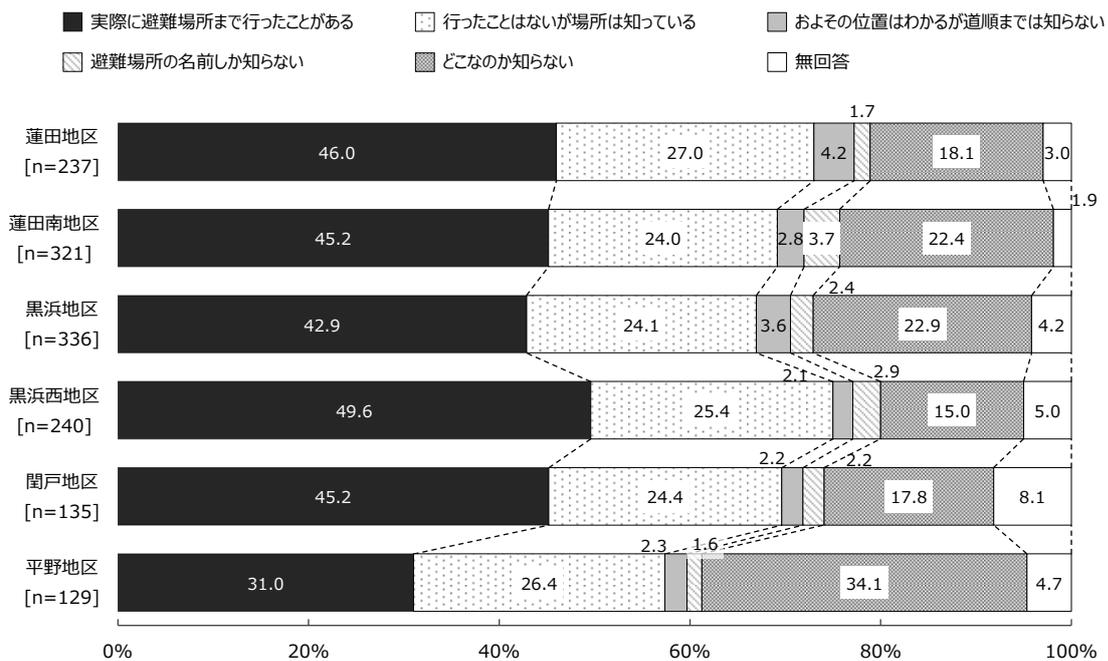
地区別でみると、黒浜西地区の「実際に避難場所まで行ったことがある」が49.6%で最も多くなっています。

## 避難場所の認知

### 【年齢別】



### 【地区別】

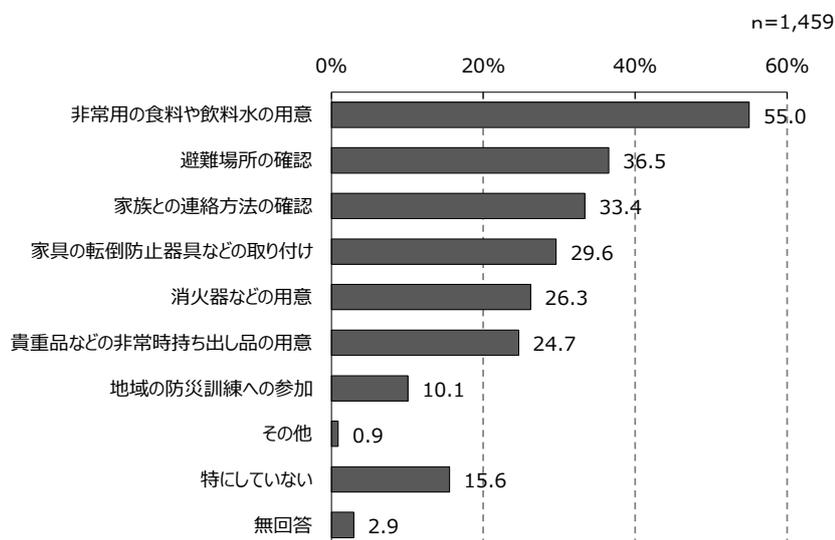


問 31 あなたは、地震などの災害に備えてどのような準備をしていますか。  
(複数回答)

「非常用の食料や飲料水の用意」が55.0%で最も多く、次いで「避難場所の確認」が36.5%、「家族との連絡方法の確認」が33.4%となっています。

**災害に備え行っている準備**

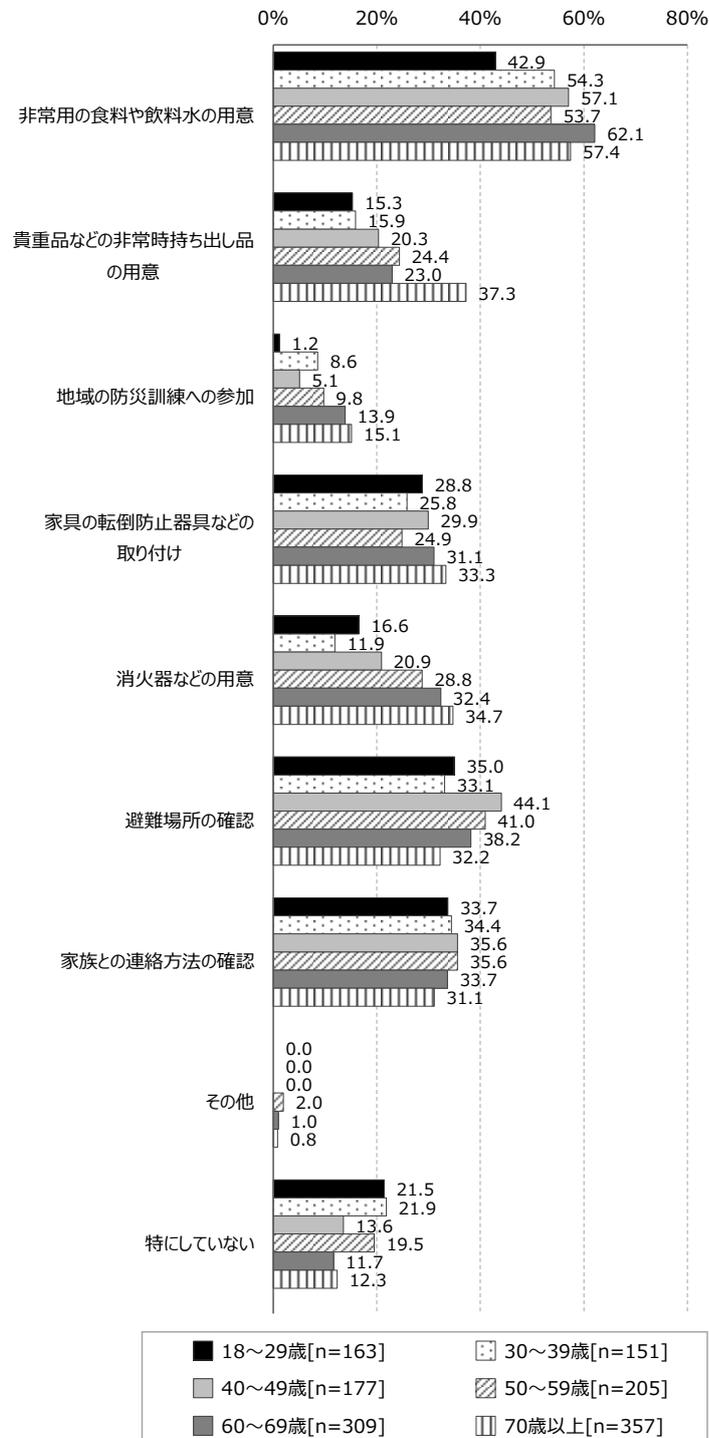
**【全体】**



災害に備え行っている準備を年齢別でみると、60歳代の「非常用の食料や飲料水の用意」が62.1%で最も多くなっています。

## 災害に備え行っている準備

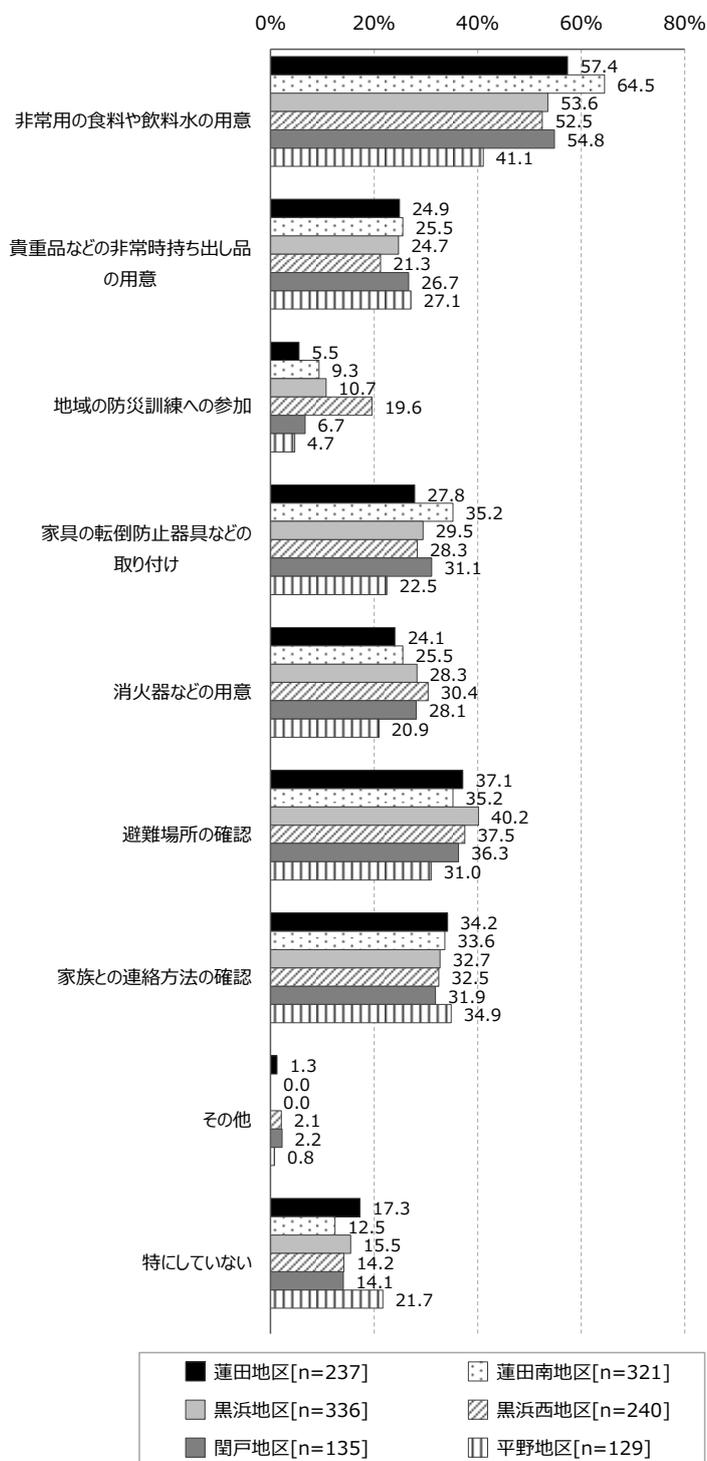
### 【年齢別】



災害に備え行っている準備を地区別でみると、蓮田南地区の「非常用の食料や飲料水の用意」が64.5%で最も多くなっています。

## 災害に備え行っている準備

### 【地区別】

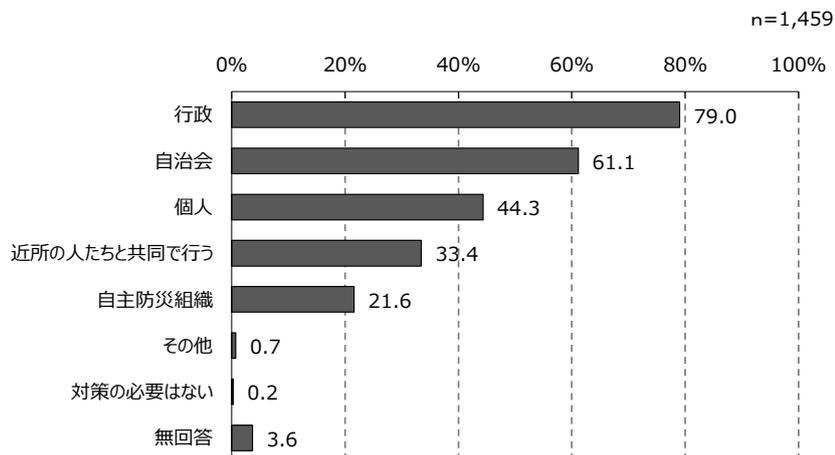


問 32 地域の防災対策は誰が、もしくはどの組織が担うべきだと思いますか。  
(複数回答)

「行政」が79.0%で最も多く、次いで「自治会」が61.1%、「個人」が44.3%となっています。

**防災対策の担い先**

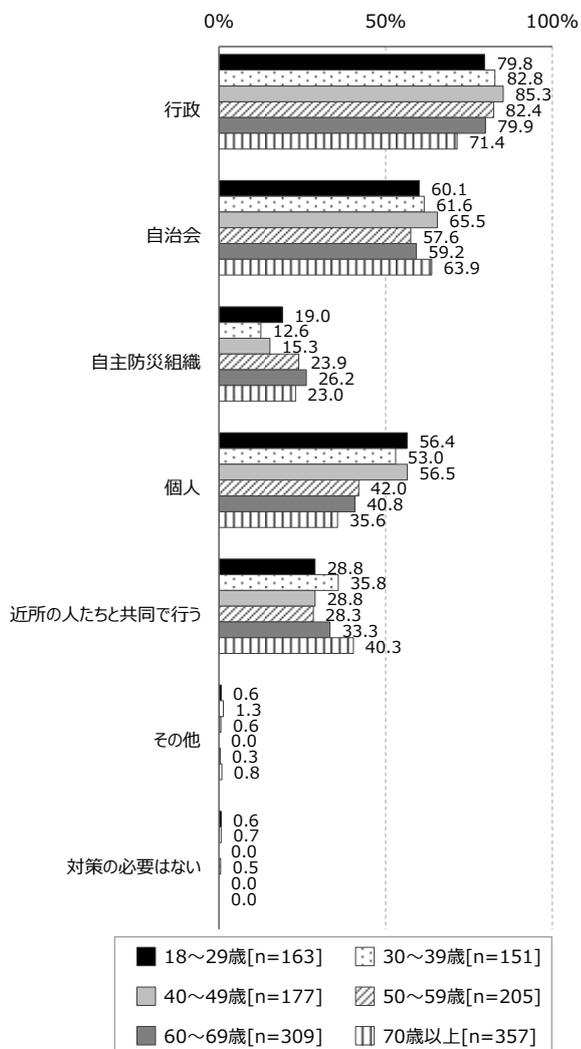
**【全体】**



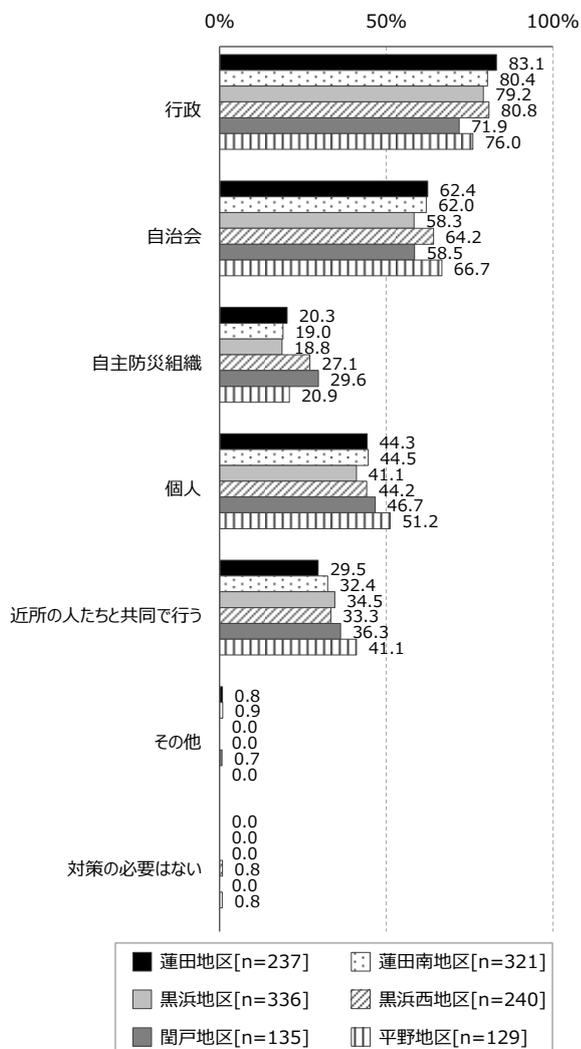
防災対策の担い先を年齢別で見ると、40歳代の「行政」が85.3%で最も多くなっています。  
また、地区別で見ると、蓮田地区の「行政」が83.1%で最も多くなっています。

## 防災対策の担い先

【年齢別】



【地区別】



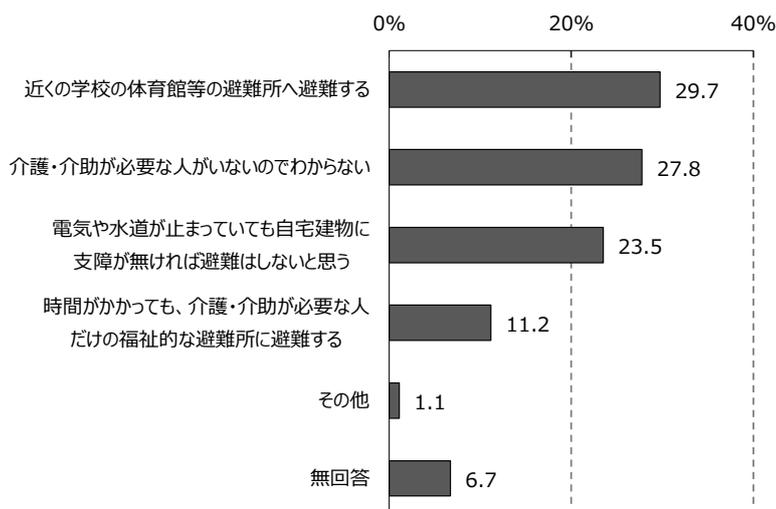
**問 33 災害発生直後の避難が必要な時、あなた自身や同居している家族に介護・介助が必要な人、障がいのある人がいる場合、避難所についてどのようにお考えですか。**

「近くの学校の体育館等の避難所へ避難する」が 29.7%で最も多く、次いで「介護・介助が必要な人がいないのでわからない」が 27.8%、「電気や水道が止まっても自宅建物に支障が無ければ避難はしないと思う」が 23.5%となっています。

**家族に手助けが必要な人がいる場合の避難**

**【全体】**

n=1,459

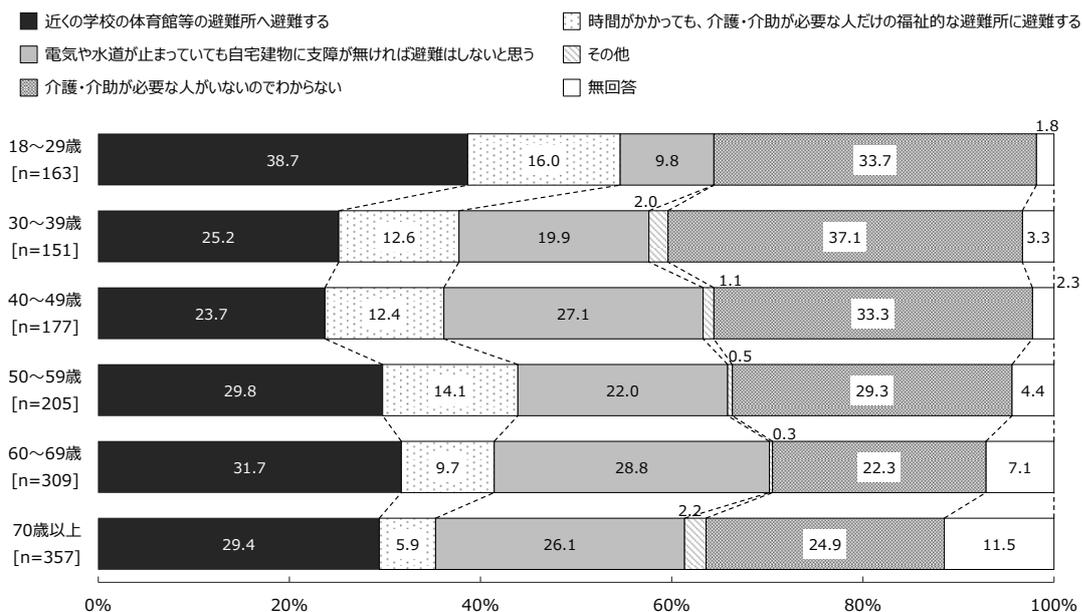


家族に手助けが必要な人がいる場合の避難について年齢別でみると、20歳代以下の「近くの学校の体育館等の避難所に避難する」が38.7%で最も多くなっています。

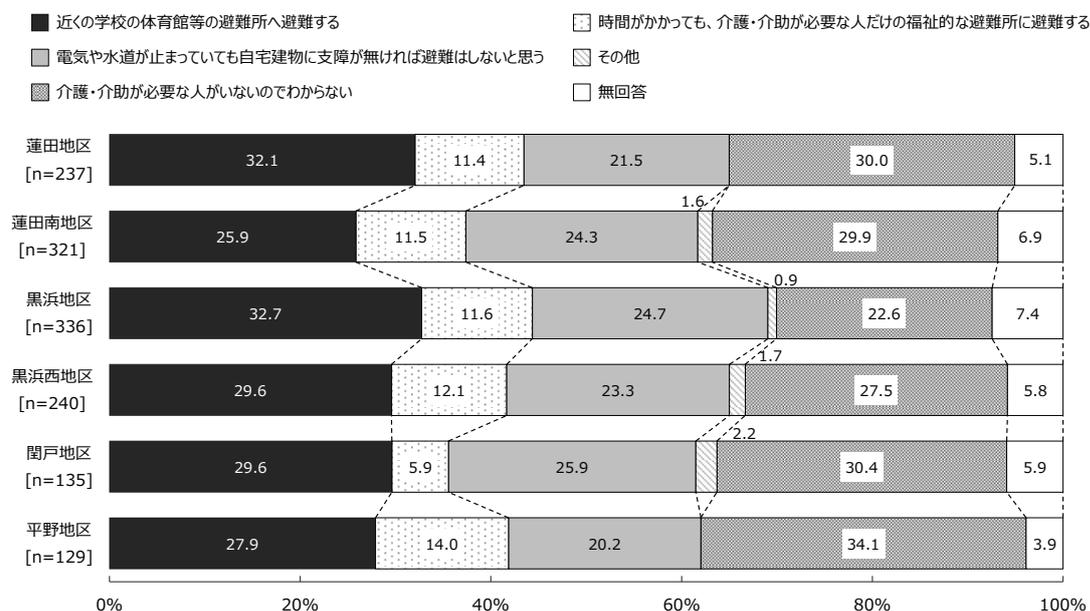
また、地区別でみると、平野地区の「介護・介助が必要な人がいないのでわからない」が34.1%で最も多くなっています。

## 家族に手助けが必要な人がいる場合の避難

### 【年齢別】



### 【地区別】

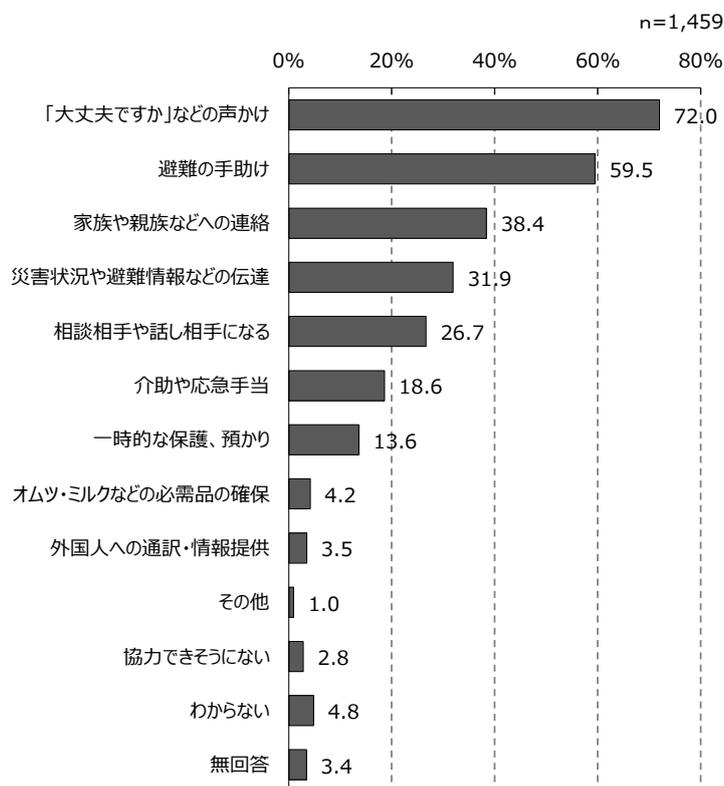


### 問 34 避難時に家族以外の手助けが必要な人に対して、どのような協力ができそうだと思いますか。(複数回答)

『「大丈夫ですか」などの声かけ』が72.0%で最も多く、次いで「避難の手助け」が59.5%、「家族や親族などへの連絡」が38.4%となっています。

#### 手助けが必要な人への避難時の協力

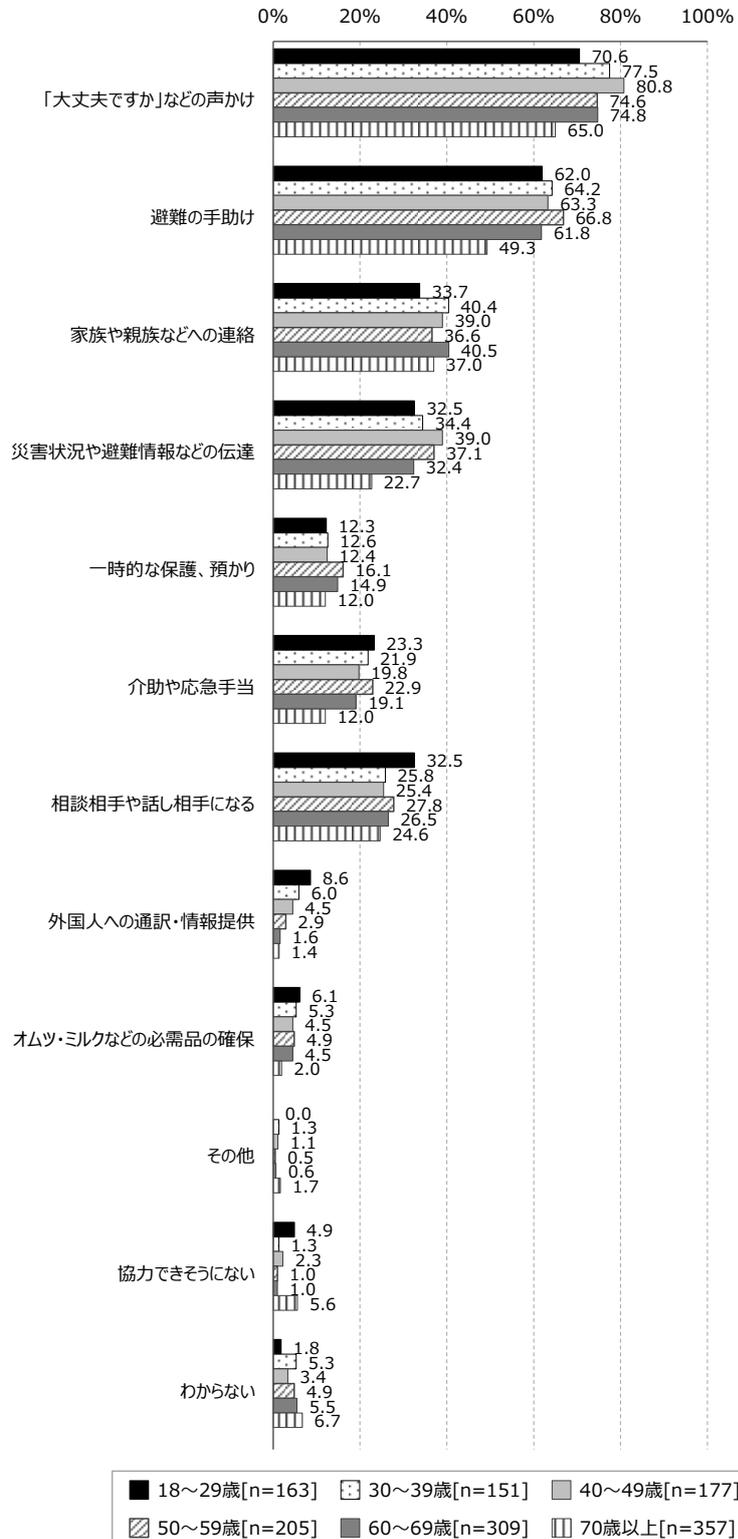
##### 【全体】



手助けが必要な人への避難時の協力について年齢別でみると、40歳代の『「大丈夫ですか」などの声がけ』が80.8%で最も多くなっています。

## 手助けが必要な人への避難時の協力

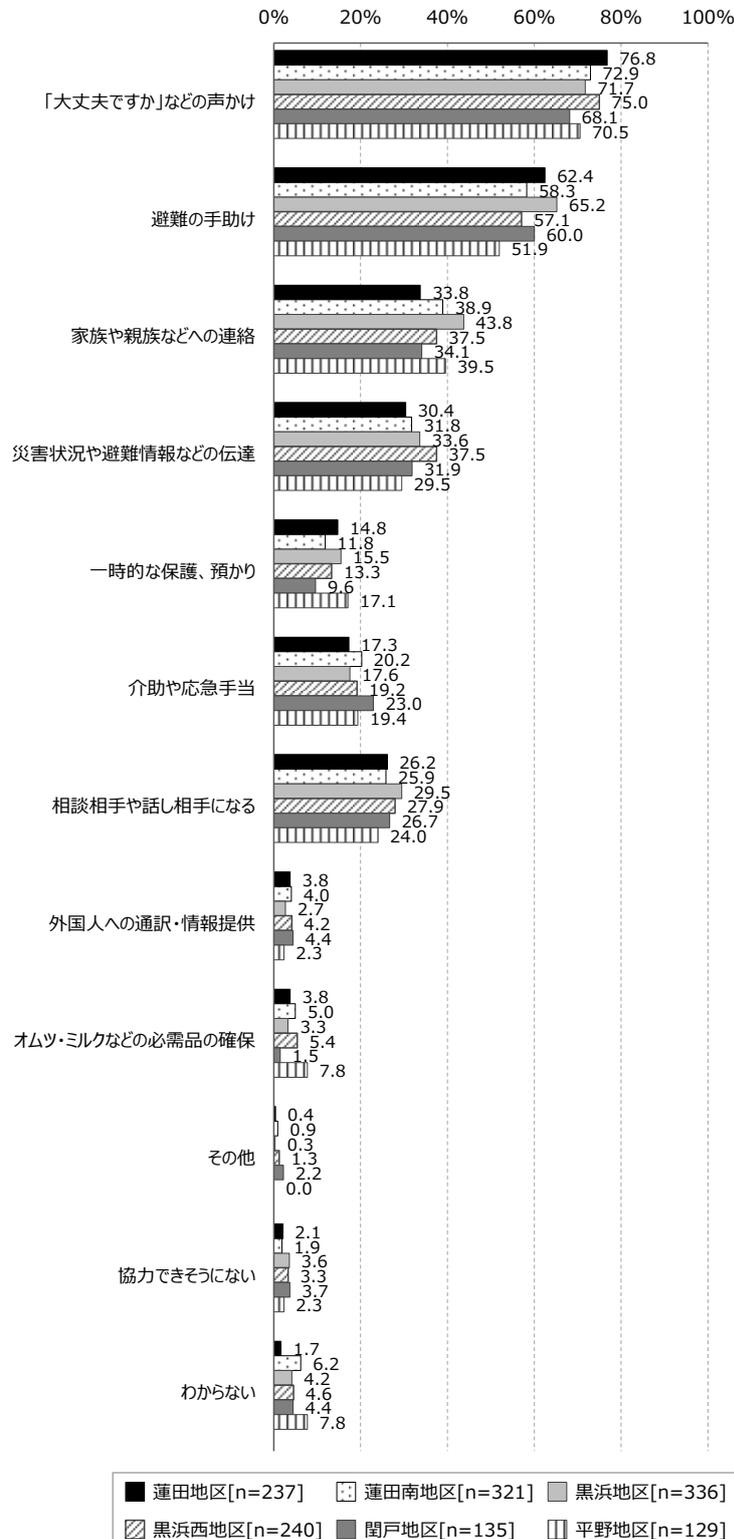
### 【年齢別】



手助けが必要な人への避難時の協力について地区別でみると、蓮田地区の『「大丈夫ですか」などの声かけ』が76.8%で最も多くなっています。

## 手助けが必要な人への避難時の協力

### 【地区別】

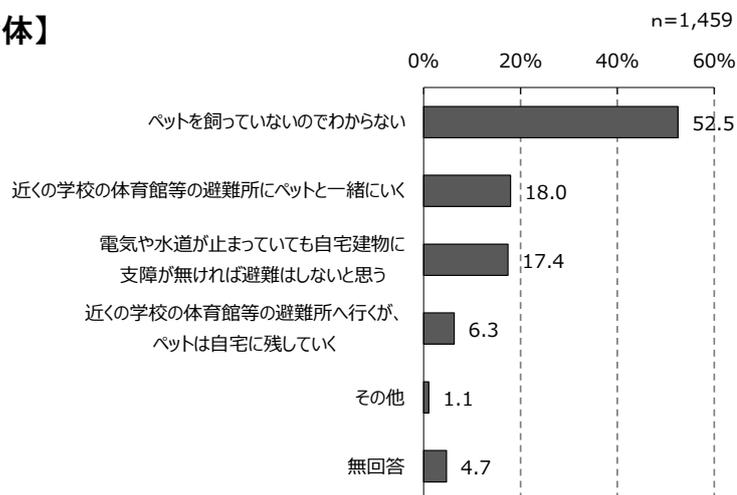


### 問 35 避難が必要な際のペットについてどのようにお考えですか。

「ペットを飼っていないのでわからない」が 52.5%で最も多く、次いで「近くの学校の体育館等の避難所にペットと一緒にいく」が 18.0%、「電気や水道が止まっても自宅建物に支障が無ければ避難はしないと思う」が 17.4%となっています。

#### ペットの避難

##### 【全体】

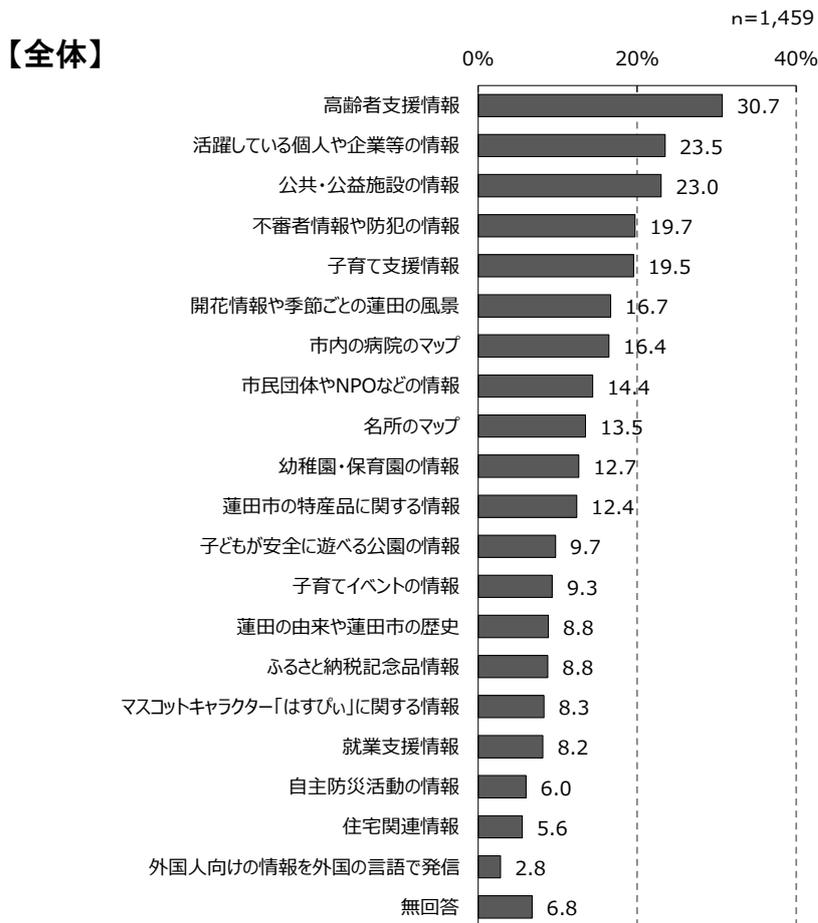


## 市の広報（シティセールス）についてうかがいます。

問 36 あなたは、市を PR するために、広報はすだや市のホームページ、ツイッターなどでどのような情報を充実させたらよいと思いますか。（複数回答）

「高齢者支援情報」が 30.7%で最も多く、次いで「活躍している個人や企業等の情報」が 23.5%、「公共・公益施設の情報」が 23.0%となっています。

### 市の PR のために充実させたらよい情報



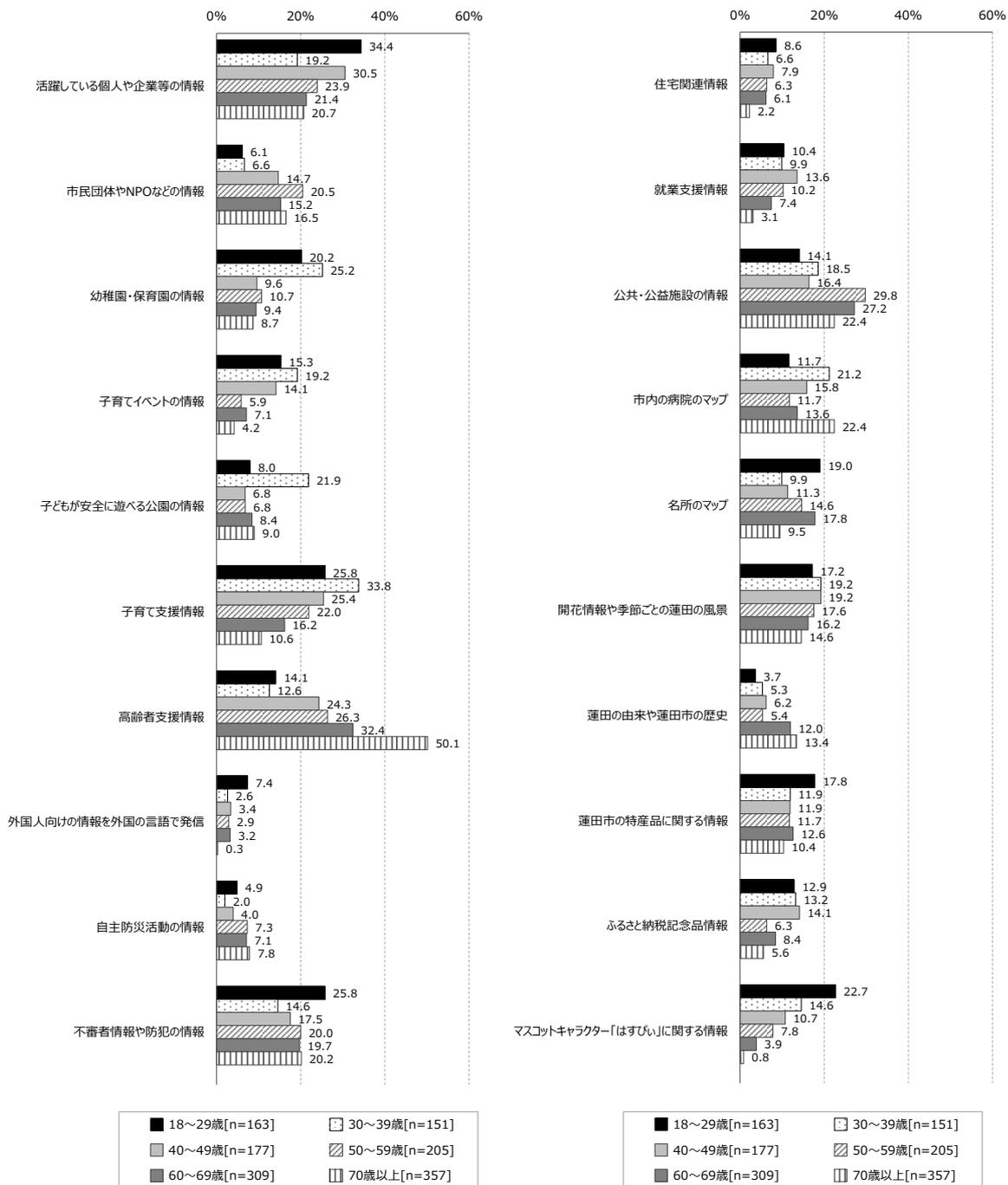
### ■上記以外に充実させたらよいと考えるものの主な意見

- ・「住みやすさ」を前面に出した PR 情報（都心へのアクセスも良く、安全で静かな地域であることなど）
- ・「子育てに適したまち」という PR 情報（教育水準が高く、災害が少ないなど）
- ・関東屈指の鉄道撮影地として知られる「ヒガハス（JR 東大宮→蓮田区間の撮影スポット）」についての情報
- ・花見ウォーク、雅楽谷の森など、独自イベントの情報
- ・開発事業の進捗状況に関する情報
- ・企業誘致に関する情報

市の PR のために充実させたらよい情報を年齢別でみると、70 歳以上の「高齢者支援情報」が 50.1%で最も多くなっています。

## 市の PR のために充実させたらよい情報

### 【年齢別】

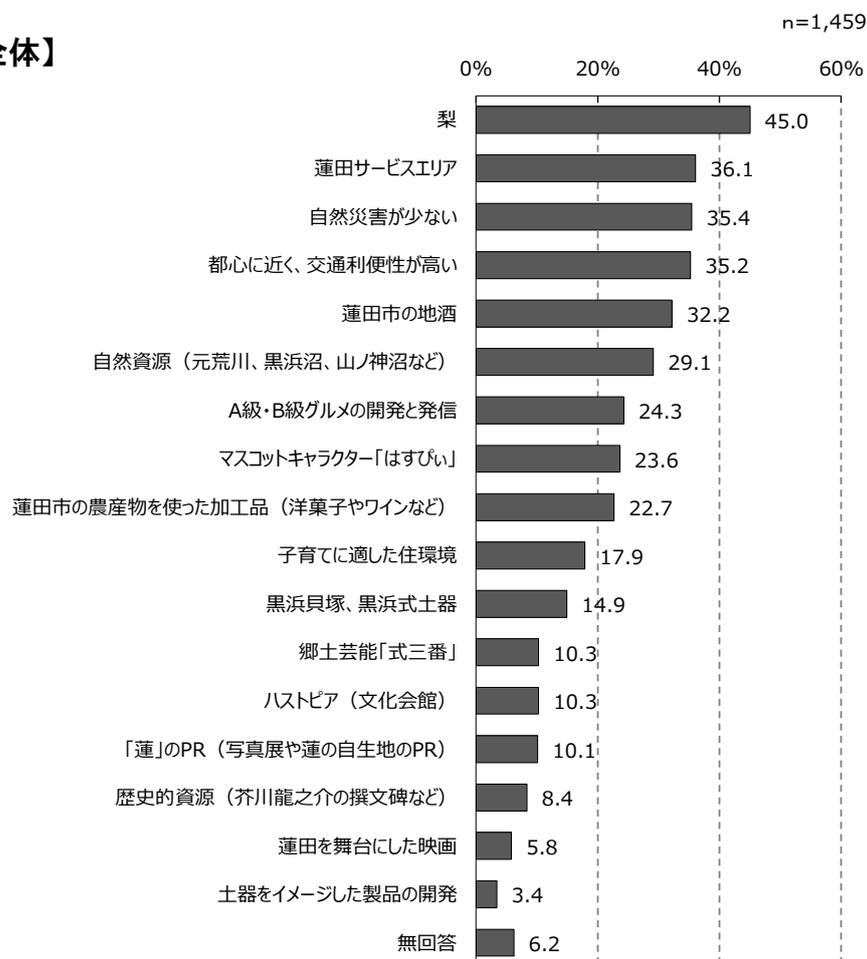


問 37 あなたは、市を PR するための蓮田ブランドや地域資源として、どのようなものがふさわしいと考えますか。(複数回答)

「梨」が 45.0%で最も多く、次いで「蓮田サービスエリア」が 36.1%、「自然災害が少ない」が 35.4%となっています。

**蓮田ブランドにふさわしい地域資源**

【全体】



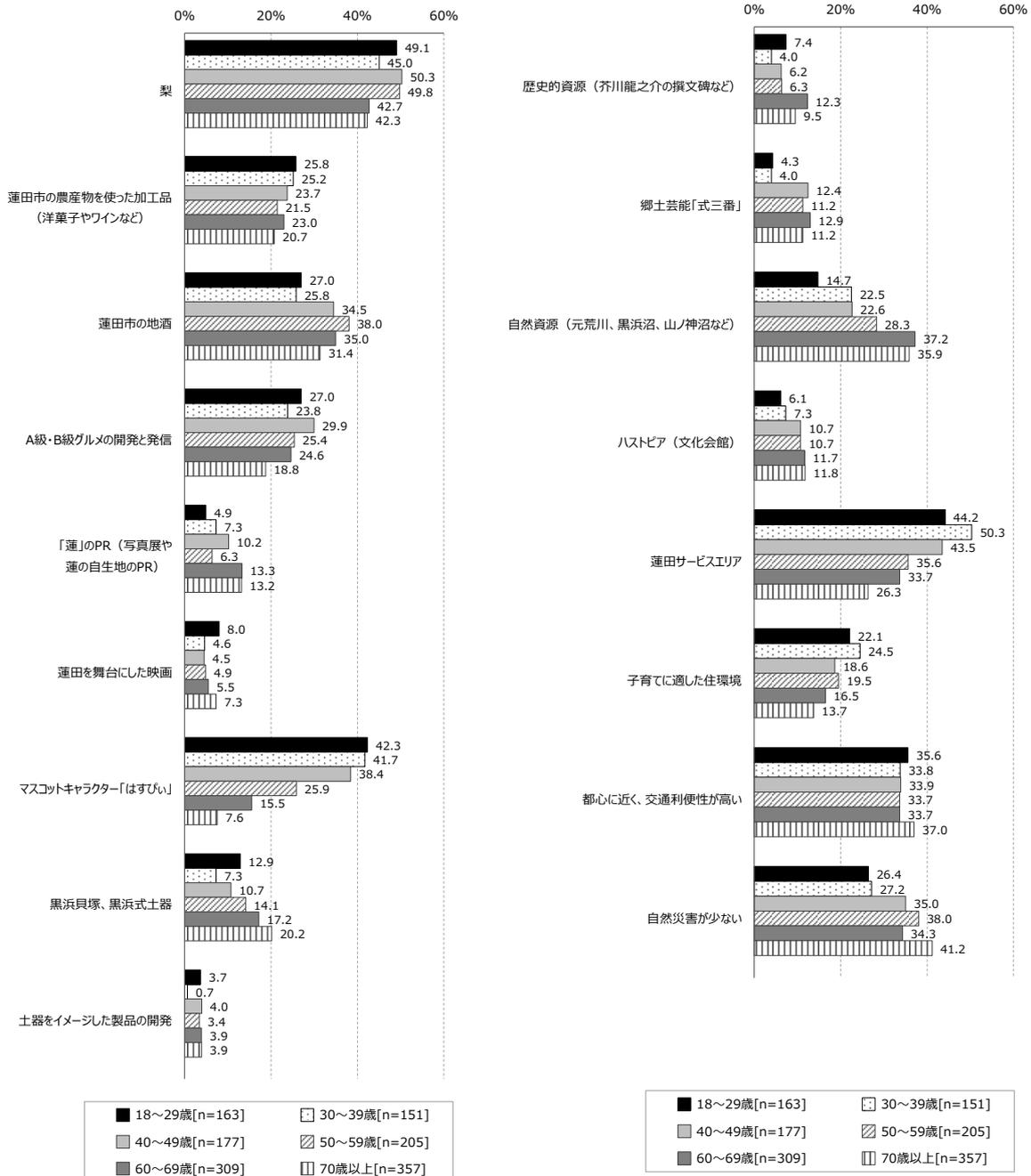
■上記以外にふさわしいと考えるものの主な意見

- ・「ヒガハス (JR 東大宮→蓮田区間の撮影スポット) 」と鉄道の街・大宮を連携させて、全国の鉄道ファンにアピール
- ・元荒川を観光資源として活用 (四季折々の木や花を植えるなど、親水性の高い水辺空間の創出を誘導)
- ・川沿いを整備して、マラソン、ウォーキング、サイクリングの愛好者たちを県外からひきつける
- ・魅力的な新サービスエリアを構築し、そこを拠点としたレンタサイクル事業を展開。観光スポットを巡るルートをつくる
- ・歴史ある蓮田駅の活用
- ・地酒に加え、クラフトビール(蓮田ビール)を開発

蓮田ブランドにふさわしい地域資源を年齢別で見ると、40歳代の「梨」と30歳代の「蓮田サービスエリア」がともに50.3%で最も多くなっています。

## 蓮田ブランドにふさわしい地域資源

### 【年齢別】

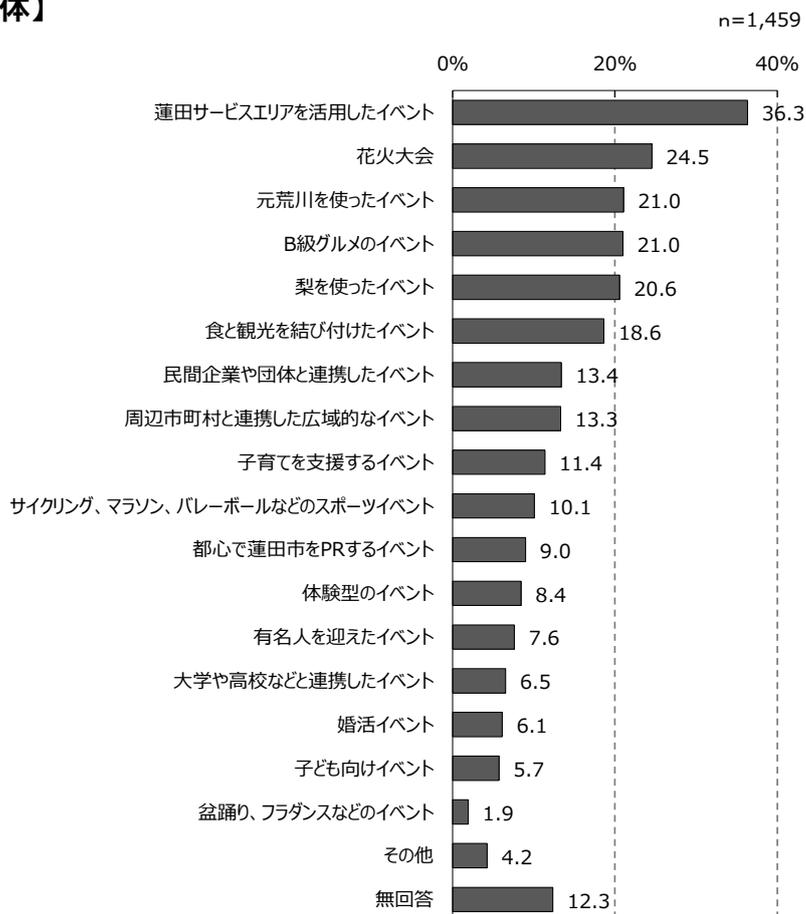


問 38 あなたは、市を PR するためにどのようなイベントが必要と考えますか。  
(複数回答)

「蓮田サービスエリアを活用したイベント」が 36.3%で最も多く、次いで「花火大会」が 24.5%、「元荒川を使ったイベント」と「B 級グルメのイベント」が同率で 21.0%となっています。

市の PR のために必要なイベント

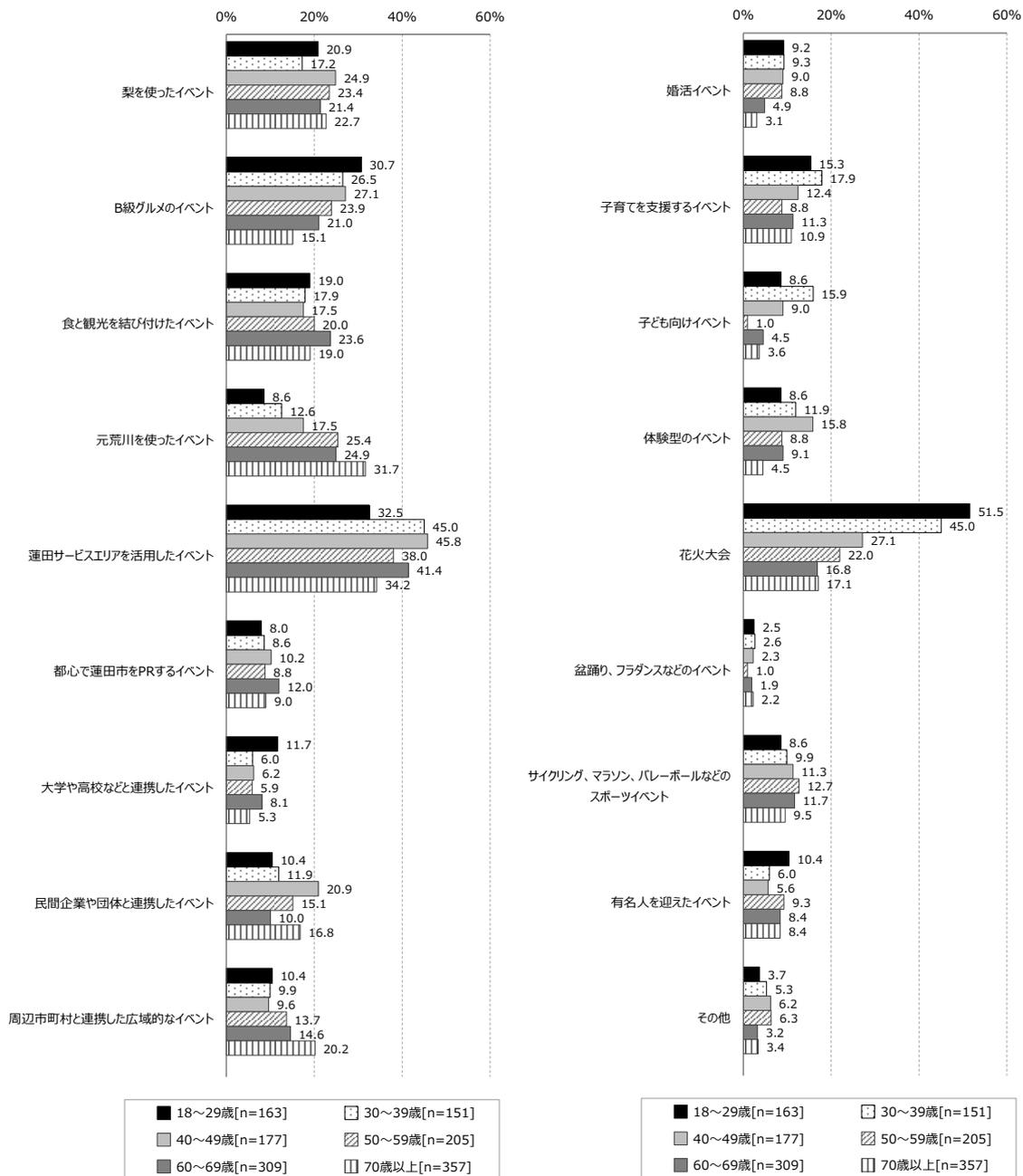
【全体】



市のPRのために必要なイベントを年齢別でみると、20歳代以下の「花火大会」が51.5%で最も多くなっています。

## 市のPRのために必要なイベント

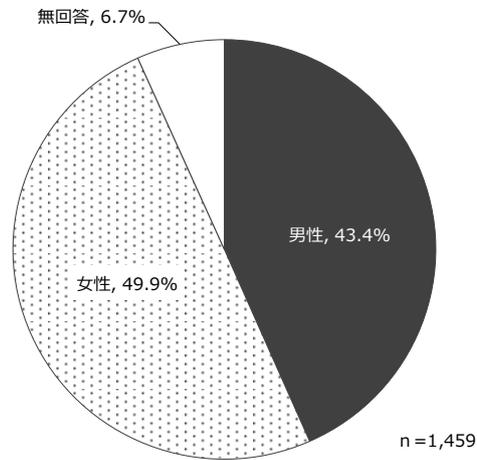
### 【年齢別】



調査を統計的に整理するため、あなたのことについてうかがいます。

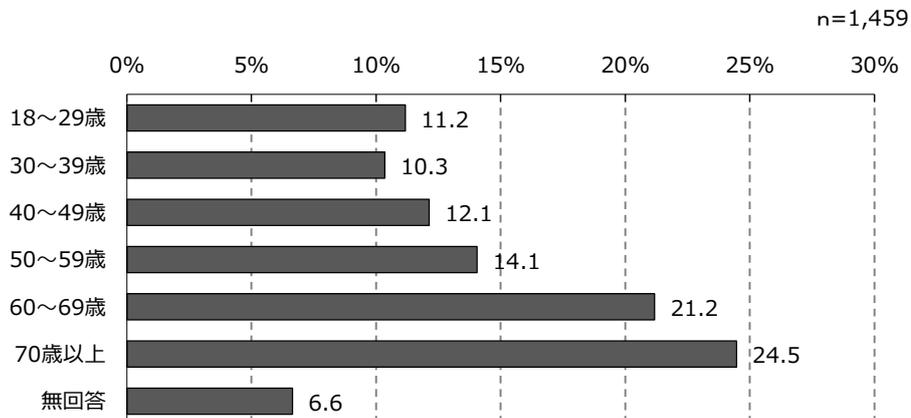
### 問 39 あなたの性別は。

「男性」が43.4%、「女性」が49.9%となっています。



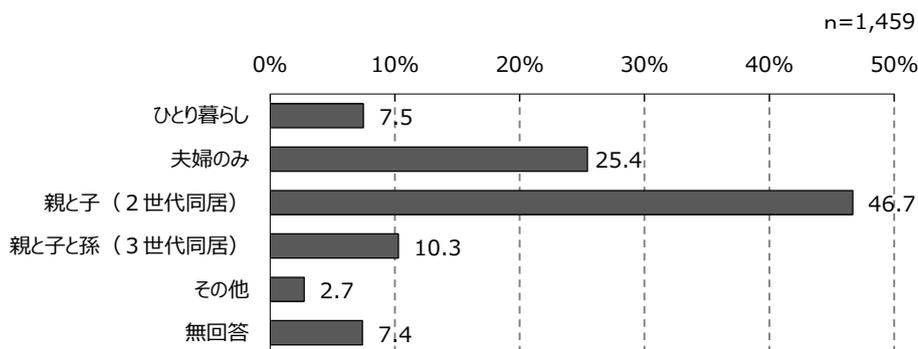
### 問 40 あなたの年齢は。

「70歳以上」が24.5%で最も多く、次いで「60～69歳」が21.2%、「50～59歳」が14.1%となっています。



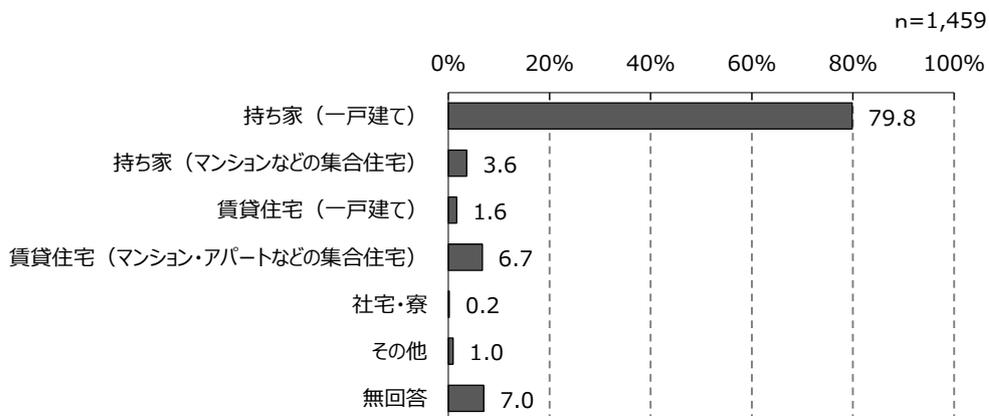
#### 問 41 現在一緒に住んでいる家族は。

「親と子（2世代同居）」が 46.7%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が 25.4%、「親と子と孫（3世代同居）」が 10.3%となっています。



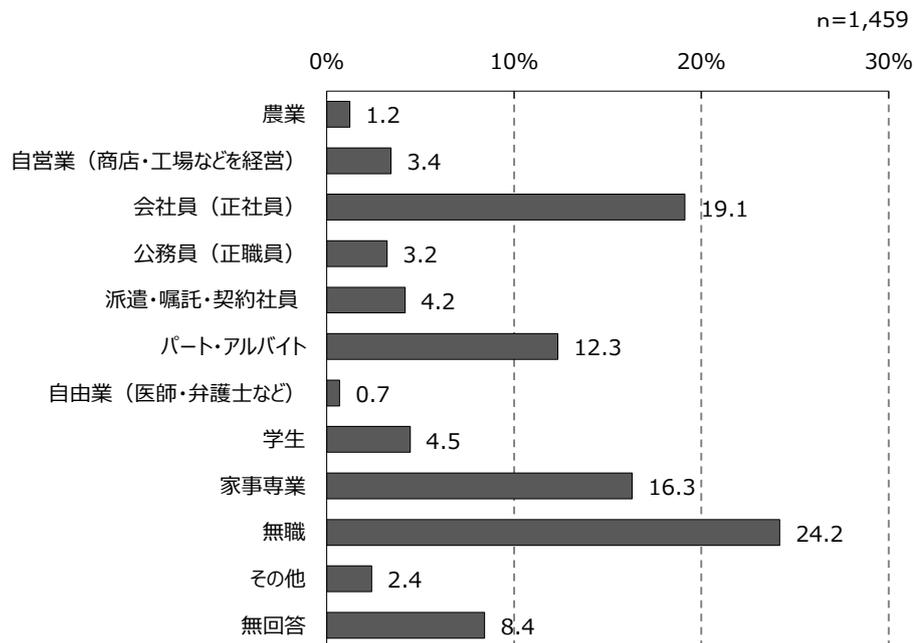
#### 問 42 あなたが現在お住まいの住宅の種類は。

「持ち家（一戸建て）」が 79.8%で最も多く、次いで「賃貸住宅（マンション・アパートなどの集合住宅）」が 6.7%、「持ち家（マンションなどの集合住宅）」が 3.6%となっています。



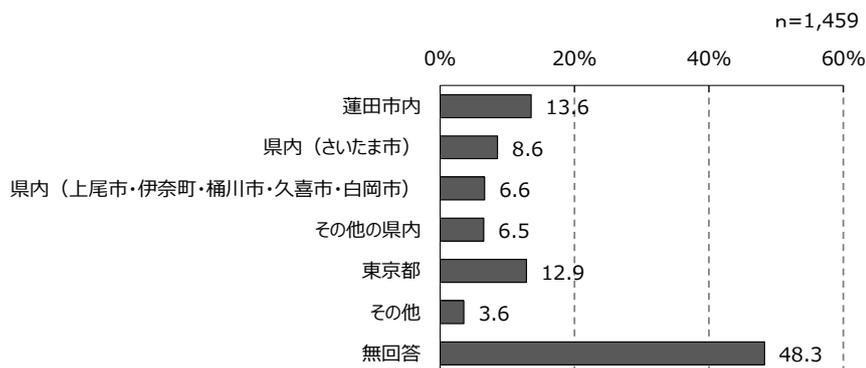
### 問 43 あなたの現在のお勤め（学生・家事専業を含む）は。

「無職」が 24.2%で最も多く、次いで「会社員（正社員）」が 19.1%、「家事専業」が 16.3%となっています。



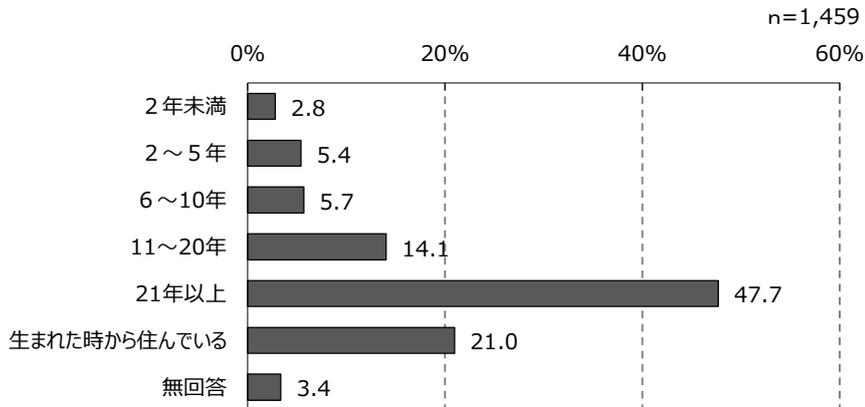
### 問 44 あなたのお勤めしている所・通学先は。

「蓮田市内」が 13.6%で最も多く、次いで「東京都」が 12.9%、「県内（さいたま市）」が 8.6%となっています。



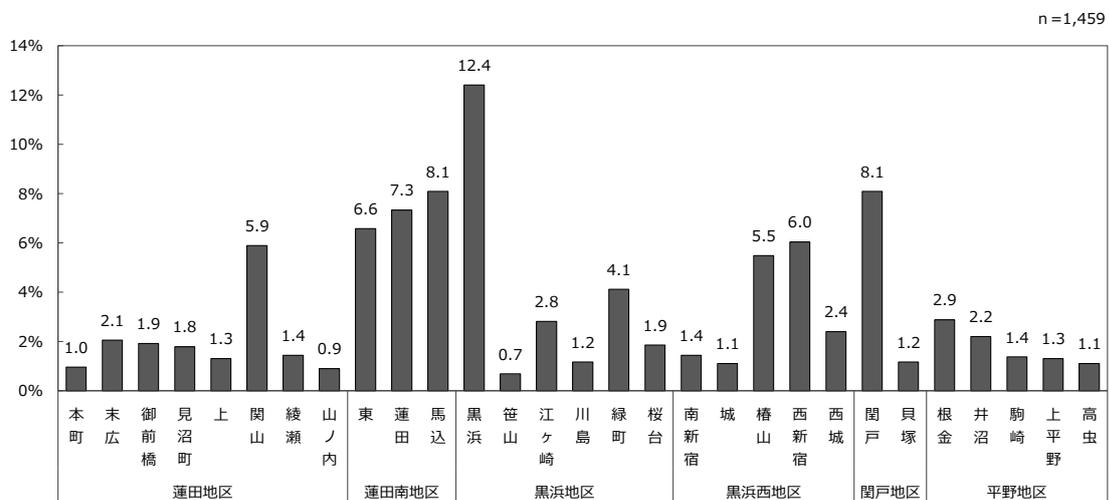
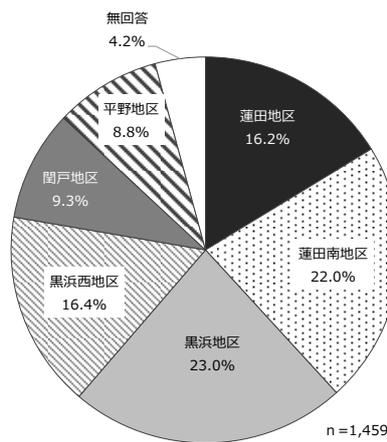
### 問 45 あなたは蓮田市に住んでどのくらいになりますか。

「21年以上」が47.7%で最も多く、次いで「生まれた時から住んでいる」が21.0%、「11～20年」が14.1%となっています。



### 問 46 あなたのお住まいの地区はどちらですか。

「黒浜」が12.4%で最も多く、次いで「馬込」と「閩戸」が同率で8.1%となっています。



# 自由意見



最後に今後10年程度を見通し、蓮田市のまちづくりに対するご意見等ございましたらご自由にお書きください。

この項目では、市民意識調査において自由意見として寄せられた主な意見を以下の区分別に集計し、表にしました。

なお、ひとつの意見の中で複数の区分がまたがるものについては、重複して数えています。

区分	意見数（件）
地方創生－まちの活性化	23
地方創生－経済の活性化	21
地方創生－生活環境の充実	63
地方創生－シティセールス	41
地方創生－蓮田市の良さを維持	28
地域コミュニティ	29
市民活動	20
行財政改革	74
福祉	70
医療	36
子育て支援	66
教育－総合	40
教育－子ども向け施設	21
教育－通学路	11
教育－文化・スポーツ施設	31
まちづくり－総合	181
まちづくり－駅周辺	102
環境－生活	73
環境－自然、川、緑	55
環境－下水道	18
環境－道路、交通	164
産業－総合	35
産業－農業	17
産業－商業	62
防災	30
防犯	19

次ページからは、各区分から主な意見を抜粋し掲載しています。

## ◇地方創生－まちの活性化

---

### 【お祭りやイベントを元気あるものに】

- 夏まつりや桜まつり等、正直昔より活気がなくなっているように思います。規模が縮小されては折角のイベント開催も勿体ないものになってしまうように感じますので、すぐ、という訳ではないですが徐々に規模を昔のような所まで戻して頂ければと思います。(18～29歳 女性)
- 20年前くらいの市民祭りはにぎやかでよかった。そのような盛り上がりのあるイベントがまた行われると良いと思う。(18～29歳 女性)
- 市外から人を呼び込めるような物がこの蓮田市には無いので、大型ショッピングモールやテーマパークの様な物や、ジャズフェスティバルのようなイベントなどを作る事が必要だと思います。(50歳代 男性)

### 【他の自治体との合併】

- 蓮田市がどこかと合併をしてもらえれば活性化するのではと思っています。若い方が市を離れていく為、街に活気がないと思います。宜しくお願いします。(50歳代 男性)
- 基盤強化のために、近隣市町との合併。近未来を考えても、合併が最優先すべき事項と考えます。(70歳以上 男性)

### 【その他の意見】

- 市役所の時計塔に掲示されている「夜になったらおうちへGO」は、ポケモンGOの話題に乗っていて面白いと思いました。そうした話題に乗った掲示を見るだけでも、町が明るく見えて良いと思います（市の職員が楽しんで話題に乗っているように見えた為）。(18～29歳 男性)
- 埼玉県 No1 の町ではなく、埼玉県内での唯一の町（市）として発展していくことを望みます。(40歳代 男性)

## ◇地方創生－経済の活性化

---

### 【蓮田市独自の特産品、名物】

- なし園は減少している。新たな特産を考えるべき。(40歳代 女性)
- 子供から高齢者まで、楽しく生活できる安定した基盤を造ってほしい。そのためにも、蓮田市独自の産業や文化が必要と考える。(50歳代 男性)
- 今ある蓮田市に蓮田市の産業（梨、地酒、セキスイハイム等）育成をはかると共に、住みやすい、安全・安心な住宅都市としていくべきだと思います。蓮田には素晴らしい自然（元荒川、緑が多い）があります。それを生かして、システム（住んでよかったという行政サービス、コミュニティ）を構築することである（それが難しいですけど）。素晴らしい蓮田市にしてください。(60歳代 男性)

### 【その他の意見】

- 産業や教育などで人が流入してくるようにならないかと考えます。(40歳代 男性)
- 新蓮田サービスエリア上りを元気ある市の顔の一つに商・工・農で協力して、出来たらいいと思います。(60歳代 女性)

## ◇地方創生－生活環境の充実

---

### 【若者が住みやすいまち】

- 若い世代を増やすための分譲地の実現。(30歳代 男性)
- 蓮田市は都心やのアクセス等交通手段は便利な方で、都心へのベッドタウンとと思っていましたが、埼玉県の市町村の中でもトップクラスの高齢化率だと知って驚きました。若い層をいかに市内へ取り込むかが、今後の課題だと思います。特に教育環境の向上に期待します。(40歳代 女性)
- 具体的には何とも言えないのですが、若い世代（特に女性）がその街に住んでみたいと思うような魅力的なまちづくりが絶対に必要です。現在の蓮田は、友人達を県外から呼んでも、何も自慢できるものがない状態です。(50歳代 男性)

### 【就職がしやすい、買い物がしやすい】

- さらなる高齢化が進んでいくなかで子どもが成長し社会人となってもずっと住んでいきたいと考えるまちとして、就職などもできて、買い物が便利であったり他の地域に行かなくても良いまちになったらと思います。(18～29歳 男性)
- 駅周辺に商業施設がもう少しあった方が、引越して来る人が増えると思います。(30歳代 女性)

### 【その他の意見】

- 生涯学習の充実、産官学連携などが近隣市町よりも遅れていると思います。もっと積極的に進めた方がよいのではないのでしょうか？ 街の魅力につながると思います。(30歳代 女性)
- 桜の時期、都内の友人を元荒川に連れて行った。「昨日、目黒川に行ってきたけど、こっちの方が川が広くてすごい」と皆喜んでくれた。蓮田の人も散歩しやすくなると健康になって医療費も減ると思う。歩けない道だから商店街にも行けない、お店も儲からない。車でマーケットに行くだけだ。歩かないと病気になる。(60歳代 女性)

## ◇地方創生－シティセールス

---

### 【有名人によるイベント】

- 文化会館が出来るということで有名人などを呼んでイベントをしたらもっと沢山の人が蓮田に来てくれると思います。(18～29歳 女性)
- ハストピアをつくったからには、都心、芸能界等にアピールし、利用者が絶えることのない様に交通の便利性などを今後、考えハストピアをPRの題材としてほしい。(50歳代 女性)

### 【交通機関の利便性をアピール】

- 東京から横浜に電車で行くのと東京から蓮田に行くのがあまり時間がかからないのに横浜が土地の値段が高いのに比べて蓮田は安いのをPRする。(18～29歳 女性)
- 交通の利便性が良い所なのだから、東京オリンピック時には、民泊できるシステムをとり、それ以降もロコミで蓮田の魅力ある何かを発信できるようになればよいと思う(ちなみに、ショッピングモールは、近隣に多くあり、飽和状態なので、不要)。(40歳代 女性)

### 【子育てに適したまちをアピール】

- 蓮田市のような特に観光資源もなく、中核都市でもない市町村にとっては、人を引き寄せる魅力ある政策を打ち出すのは極めて難しいかもしれません。しかし、幸いなことにサービスエリアがありますので、その施設を使った蓮田市の案内をしてはいかがでしょうか。サービスエリアの一角に市の施設が設けられるかどうかは知りませんが、もし可能であれば、全国の人に知ってもらう良い機会になると思います。展示の内容は、子育て世代に関心を持たれるような内容にし、例えば、保育所、幼稚園、学校、病院、都内からの通勤時間、家賃や地代の安さ、緑の多さ等、住環境にやさしい町づくりを目指している旨、わかりやすく、目につくように案内ができれば、安い費用で、効果的な宣伝ができると思います。(70歳以上 男性)

### 【サービスエリアを活用してアピール】

- 蓮田サービスエリアは都民でも名前を知っている。東京から出て初めのサービスエリアであり、ここを利用しない手はない。(40歳代 男性)
- 直近では蓮田SAが新しくなるので、羽生PAのようにマスコミに取り上げられるような蓮田SAにしてほしい。県外の人を知っているのはSAとしての蓮田の名前は知っているようです。(50歳代 男性)

### 【はすぴいをPR】

- “はすぴい”の有効活用。イベントへの参加。グッズも可愛いのもっと積極的にPRしたら良いのでは？(40歳代 男性)
- はすぴいを来年以降もゆるキャラグランプリに参加させてほしい。(50歳代 女性)

### 【その他の意見】

- 少子化は避けられないと思うので、蓮田市の人口増に寄与した世代の人を対象にした事業に重点を置き、「成熟した街」というイメージを持たせるのもいいかもしれない。(40歳代 男性)
- 最後に蓮田市は「アピール性」が弱いので、もっともっと色々なものに乗かってアピールすべきだと思う。(50歳代 女性)
- 蓮田には、市外から客を呼べるような美しい所が少ない。桜並木はあっても春の一時的なもの。しだれ桜と山桜とか、他の珍しい品種を植えていったらどうか。(70歳以上 女性)

## ◇地方創生－蓮田市の良さを維持

---

### 【のどかでゆったり、自然が豊か】

- 町の発展や充実化をどうすればできるかは分かりませんが、蓮田はのどかでゆったりとした時間が流れるのが良いところだと思います。(18～29歳 女性)
- 小さな頃からこの街で暮らしながら、色々な街を旅して感じた蓮田の良さがあります。それは、自然と人、お年寄りと子どもたち、産業と人々の暮らしなど、他の場所なら自然と分かれてしまうようなものが、とても自然な形で融和して存在していることです。それは、いい意味で力が抜けていて、いい意味でかっこ悪いことを受け入れていて、その要素全てが心地よくいられるように、というこの街の人たちの無意識の生き方が、育み、培ってきたものだと感じます。(30歳代 女性)
- 蓮田はまだ緑が多く誇れる街と思うが、この緑が減らないよう力を入れて欲しい。(70歳以上 男性)

### 【災害がない安全なまち】

- 蓮田は災害もなくいいところと言われていますが、「災害もないかわりに名物も何もない街」というのがお決まりのフレーズとなっているので、何かしら自慢できるようなモノがあればいいと思います。(18～29歳 女性)
- 蓮田市一番の特色は自然災害が少ない事だと思います。しかし近年今までに無い災害が各地で発生し蓮田市も絶対安全とは言えないと思うので、発火初期の拠点となる消防の充実・被害者の避難場所の確保・避難後の生活やメンタルフォロー等を他のどの街より充実させその部分をPRしていくのも良いと思います。(50歳代 男性)

### 【今の蓮田を大切に】

- 蓮田が持っているものを活かした、温かな癒しの街づくりを望み、行動します。(30歳代 女性)
- 他の市町村が行っているお金ばかりかけているような町おこしをしないで蓮田にある田んぼ、梨畑、閑静な住宅街を大切にしていきながら、蓮田って住むのに良い街だよなって思われるような街を作っていくって下さい。(40歳代 女性)
- よく友人に「蓮田はどんな所」と聞かれた時、「良い所はなにもないけど悪いところもなにもない」と答えています。自然災害の心配が少ない長所、産業がないから税金が高い短所、すべてふくめて蓮田が好きです。(60歳代 女性)

### 【その他の意見】

- 私が強制疎開で蓮田に住んで約70年になります。蓮田が大好きです。孫達もこの町に移り住んで3年になりました。その子供達が蓮田から逃げ出さないよう、素晴らしい教育とあたたかい町に共に成長してほしいと願っております。(70歳以上 女性)

## ◇地域コミュニティ

---

### 【住民同士の交流の場】

- 少子高齢化社会に向けて、子どもと高齢者が気軽にすごせる場所があったら、良いのでは、ないでしょうか？ 児童館と老人施設が、合わさったような感じで、公民館のように、常に職員がいる施設です。(40歳代 女性)
- 蓮田にも地元の方、東京に仕事に行く人等が混在しているので何かでつながる手段・コミュニケーションの場(普段いる主婦の活動・コミュニケーションできる場も)。(50歳代 男性)

### 【自治会】

- 自治会に入っていないなくても市民税を払っているのだから、差別なく保障してほしい。(18～29歳 男性)
- 現在、「広報はすだ」が、月なかば頃、各町の自治会を通して配布され、それを読むことによって、蓮田市の取り組んでいることや、活動などが分かります。しかし、5～6年自治会から脱退する人が多くいます。(特に高齢者が多いです。)いちばん心配なのは、脱退した家庭には、毎年3月に配布される、蓮田白岡環境センターからの「ごみの分け方・出し方」が届かないことです。実際、ごみ集積所へ出すごみの分け方を周知していない為か、間違った出し方をして、近隣住人としては、迷惑を感じています。集積所には、一応、ごみの分別方法の掲示が貼られていましたが、文字の小さいことや、すぐに風や雨で飛ばされてなくなっています。(60歳代 女性)

- まちづくりに関係ないが、高齢になり自治会の役員等が出来ないため自治会を退会したら、市からの情報が一切受けられない状況になった。市と各自治会の関係もあるはず。蓮田市の市民であるのがまず第1なのに自治会に入っていないと何の情報も得られない事は、市民である事を無視している事と思う。大変不満である。(70歳以上 男性)

#### 【その他の意見】

- 見渡せばたくさんの方が問題が見つかるけれど、人が良く、人情があり、また、自然に本当に守られて暮らしている蓮田の人々はその問題など問題とならないくらい、自分たちで新しいコミュニティを育む力があると感じます。(30歳代 女性)
- 住民どうしの横繋がりがなさすぎると思います。あいさつをしない方も多いです。(50歳代 女性)

### ◇市民活動

---

- 市民が参加できるイベントの開催、広報をもう少し力を入れて行ってほしいです。参加したいとは思っても、どのようなことが行われているかなど、わからないので。(18~29歳 女性)
- 自発的に人のためになることを担う人々のいる街であることを、もっと活かして下さい。(30歳代 女性)
- 小学生の子供が就学・就職し、市外に出た時、「蓮田はとても良い場所、蓮田で育つことができ良かった」と思える温かい地域になるとうれしいです。意見や志を持った方はたくさんいると思うので、貴重な意見を吸い上げられる体制が整うことを願います。仕事などで都心や市外に出ている方こそ「蓮田に足りない部分」に気付くと思いますし、HPからメールやフォーマットでもっと気楽にまちづくりに参加できる雰囲気だと良いと思います。(40歳代 男性)
- 地域参加する機会が少ない為、意見を伝えることができていない住民は多いと思います。そういった世代の住民の発想や考えは、貴重だと思いますし、意見を言える場がもっとあればよいと思います。(40歳代 女性)

### ◇行財政改革

---

#### 【税金の使い道】

- 市民のほとんどが使用しないであろう文化会館の建設などに多額の費用をかけるくらいなら、駅周辺のショッピングモールの誘致、新蓮田SA建設の加速、スマートIC（上り出口、下り入口）の整備など、多くの市民が恩恵を受けるお金の使い方をしてもらいたい。(18~29歳 男性)
- 税金払うのはいいけど使途不明。ホームページで確認しろという態度が気に入らない。(40歳代 女性)
- 現在、水道料金は他より安いですが、もう少し値上げていいから、高いサービスを提供したらどうか。なんとなく市の財政がケチケチでやっているようなイメージがあり、安かろう悪かろうという印象を受ける。これでは縮小するだけで将来に向けての希望がもてない。(50歳代 女性)

#### 【市政情報が知りたい】

- 「どんなことが今市の課題で、市ではどんなことをやっています。どんなことの対策がとれず困っています」という内容を市民誰が見てもわかるように発信してほしい（子供でもわかるように）。課題を市民で共有化して初めて市全体で取りくめる体制が整うと思う。(30歳代 男性)

- アパート住まいですが市の広報などは入ってこないために、全く知らずに終わることも多いので、アプローチの仕方や広報の配布など徹底してほしいです。小さいからこそ何か一つでも特化するだけで変わると思います。(30歳代 女性)
- ホームページが見られない高齢者もたくさんいます。自治会に協力いただき、誰もがわかる市であればよいと思います。(40歳代 女性)
- 行政として行った、実績、今後の課題と計画等が全く見えない。もっと内容を具体的に情報公開すべきと考えます。市長は何をやっているのか全く見えない。誰がやっても何も変わらないのはなぜか？(60歳代 男性)

#### 【市民の声への対応】

- 行政の対応が悪すぎる。もっと市民に対して困って相談に行くのに相談してガッカリした。(50歳代 女性)
- 市役所の市民の声を聞く姿勢がもう少し謙虚であってほしいです。(60歳代 女性)
- 相模原からこちらに来て3年になります。72万人の都市と比べて市役所職員の対応がとても親切で驚いています。どんな質問にも自分のことのように心配して下さりとても嬉しいです。(70歳以上 女性)

#### 【ゴミ袋が高い】

- 指定のごみ袋や側溝のふたの自費等、市民の負担が多い。(30歳代 男性)
- ゴミ袋が高すぎです。せめて300円くらいかと思います。スーパーで肉をビニール袋に入れてトレイをゴミ袋に捨てる人をよくみかけます。家のゴミは減らせても業務用は増えるでしょう(全ての人がトレイをリサイクルしてるとは限りません)。(60歳代 女性)

#### 【その他の意見】

- 継続的に連携をとる必要のある福祉課などについては担当を短期間で異動させないでほしい(情報の引継ぎなどがうまくいっていないと感じることがあります)。(30歳代 女性)
- 私はまずは市の職員ひとりひとりが自分のまち、蓮田のビジョンを描くことが必要だと思う。例えば職員ひとりひとりが1階のロビーの壁に(もちろん紙を貼って)やってみたいことを自由に書いてみる。それを市民に公開してツイッターなどで意見を聞いてみる。できるかできないかは問わず。そんな手法がビジネス書にありました。何か心を自由にしないと楽しい、新しいまちづくりは生まれて来ない気がします。(60歳代 女性)
- 警察署や税務署を創設。県との調整が必要と思いますが、蓮田にはそういった行政機関がなく大変不便です。関係機関との調整、働きかけを積極的に行なって頂きたい。(60歳代 女性)

### ◇福祉

#### 【高齢者向けの交通手段の整備】

- マイカーが無くても生活できる交通サービスを。乗りあいタクシー的なミニバンを走らせるなど。高齢ドライバーを減らし、交通事故を減らし、高齢者が引きこもらずに外出を気軽にできるように。車を運転したくない若者層にも魅力的だと思う。(40歳代 女性)
- 高齢になっても車の運転をしなければいけなく、免許証を返すことができないので、市内を廻るバスがあれば買物も病院に行くにも便利なのでは。(60歳代 女性)
- 高齢化に伴い運転免許保有者が減少し、公共交通利用者が増える。白岡市と合せた交通システムの構築が必要。(70歳以上 男性)

### 【福祉・介護サービス支援】

- ヘルパーさん、市の職員が、手話が使える、コミュニケーションがスムーズにできる、蓮田を希望。今回のアンケートの質問に役所に行きたかったが、通訳もないのであきらめた。文章が長く、質問項目が多く、10日間程では全部答えられなかったのが残念だ。(50歳代 男性)
- 安心して過ごせる老人ホームを創って欲しい。特技を生かして日常を過ごせる場所になるようなホーム。(60歳代 女性)
- 2025年の超高齢社会に向かって行くにあたり、社協で実施しています、訪問介護サービスを今後も継続して頂きたいと切にお願い致します。民間の事業所もありますが、重度の障害のある方は、なかなか安心、安全で質の高いサービスを行って下さる事業所を探す事は、大変な状況です。(70歳以上 女性)

### 【高齢者が参加しやすいイベントの実施】

- 近所の方々等、少しずつ高齢の方が増えているという感じがします。元気なシニアの方がたくさんいらっしゃるの、街づくりに参加してもらえるようにするのも良いと思います。(40歳代 男性)
- 今後、高齢者が増加すると思います。高齢者が参加しやすいようなスポーツ、講習会、イベント等、公民館、体育館、文化会館を利用した取り組みが必要と思われます。他の市では、健康体操、ヨガ、卓球等々3ヶ月くらいの講習会がよく行われます。(50歳代 女性)

### 【福祉コミュニティの設置】

- 高齢者の遊べる(?)施設の設置を。高齢者同士のコミュニティとしても健康サポートとしても。(18~29歳 女性)
- 西口開発において市民が利用しやすい公共施設を作して下さい。例えば「駅前ビル」として、行政、福祉、医療、教育、商店街などを含む、複合~総合的なビルの建設を切に期待しています。子ども~老人までみんなが利用できるものを望んでいます。(70歳以上 女性)

### 【その他の意見】

- 以前より高齢者の施設が増え、サービスも充実しているかと思いますが、認知症に対する考え方をもっと知っておくべきだと思います。高齢者と一緒に住む家族の負担をもっと楽にさせていただけるようお願いします。(30歳代 女性)
- 高齢化はどこの町でも問題となることだと思いますが、どこでどんな支援を受けられるか、どのような資格をもったプロフェッショナルな人材が存在するかなど、地域連携しやすい情報を見える化していくと助かります。(40歳代 女性)
- 昨年からはまった介護予防事業(はずびい元気体操)は、時代を見据えた画期的な事業と思います。確実に予防効果が期待出来る事業として、各地域への普及に努めてもらいたい。(70歳以上 男性)

## ◇医療

---

### 【医療の充実】

- 子供も老人も安心して住めるよう医療機関が充実しているまちづくりを目指すべきだと思う。(40歳代 女性)

- 病院を建設してほしいと思います。私の兄弟が住む町は大学病院やその他たくさんの病院があります。他県ですが、年を取ったら住むのに本当に安心だなあ、引っ越すのもありかなと思います。(50歳代 女性)

#### 【病気の予防事業や教育の実施】

- 長野県や埼玉県熊谷市が実施しているような健康に関する予防事業や教育（例えば3大疾病、骨粗鬆症）、医療、地域施設との連携がスタートしていて、市民の健康寿命が改善し、医療、介護にかかる財源を少しでも、教育（文化歴史なども含め）と環境整備へシフトできていたら良いのではないかと思います。(30歳代 女性)
- 蓮田市は県内でも高齢化率が上位と聞いています。今後ますます医療や福祉に関わる負担が増えることは明らかです。私は高齢者の健康寿命を延ばす事が最大の節税に繋がると考えます。その為に市内に多くの安全な遊歩道を整備して、埼玉県一番のウォーキング人口率を目指して、様々な講習、イベントを開催する事を提案したいと思います。(60歳代 男性)

#### 【その他の意見】

- 家をこの町、蓮田に買ってしまったので、簡単に引っ越すなどできないので、住むしかありませんが、子供の救急や福祉に対して、とても遅れていると思います。他の人にいい顔する前に、住んでいる人々に、もっと住みよい環境を、お願いします。(30歳代 女性)
- 急病による救急搬送の時、病院までの時間が長く掛かるので短くして欲しい。(70歳以上 男性)

### ◇子育て支援

---

#### 【保育所など子育て支援施設の増設】

- 新しい保育園など作る機会があるのでしたら設計の段階で現場の保育士さんの意見（子ども、先生の動線、何をどこに収納するのか等）を聞き、反映させていただけたらと思います。(30歳代 女性)
- 不便で残念な街の印象だらけです。ママさんたちのカフェを企業に誘致して作ってもらったり、鮮度が大切な情報の書籍は新しくするなど福祉、教育に力を入れてもらうことで蓮田はよりよくなると感じます。(30歳代 女性)
- 都心への通勤圏、ベッドタウンなので、若い世代が住みやすくするため、保育所の増設・整備が必要。(50歳代 女性)

#### 【子育て世代の呼び込み】

- 周辺には大型ショッピングセンターも複数あり、今後、人口が減少していくなかで、子育て世代が住みたいと思える要素が多くあるので、もっと積極的に子育ての支援を行うべきだと感じる（妊娠～保育園までを特に)。(18～29歳 男性)
- さいたま市や上尾市に比べ規模が小さく予算もあまりないとは思いますが、親に頼れない人たちの家族が安心して子育てが出来、定住してもらえるしくみを考え、充実させてほしいです。(30歳代 女性)
- 市外からも子育て世代の家族に移り住んでもらえるような、安心、安全な街作りを行う。中国のように“若者が働き、年配者（高齢者）が子育てをするような社会作り”は理想だと思います。(40歳代 女性)

### 【仕事と子育てが両立できる環境づくり】

- 温泉を掘り、施設を作って、病院ではなく、温泉に通ってもらい、健康寿命を延ばしてもらい、子育て等に参画してもらう制度をつくる。子育てに参画してもらう結果、子育て世代は安心して仕事と育児の両立を行い、税収入に貢献する。(40歳代 女性)
- 女子が安心して仕事をつづけながら出産や子育てができる制度を充実。(50歳代 男性)
- 駅近くに保育園があれば働く女性には、通勤の時に預けることができ、時間の短縮になるのでは。(60歳代 女性)

### 【その他の意見】

- 少子高齢化に対する施策。子供たちの将来への明るい希望。地域の活性化など住みやすく魅力あるまちづくりを進めてほしい。そして大きく発信して多方面から注目を集めるまちづくりを目指してほしい。(60歳代 男性)
- 子育てしやすい市のアイデア募集と実施の促進。(70歳以上 男性)

## ◇教育－総合

---

### 【学校設備の向上】

- 学校、体育館も古くなっているので新しい物をつくるのも大切ですが、古い物を直してほしいです。(40歳代 女性)
- 小、中学校にエアコンを付けてほしいです。近隣はもう付いていて、蓮田は動くのが遅いと思います。(50歳代 女性)
- 教育に力を入れている市といいながら、学校施設の設備の予算や学校備品購入の予算が不足しているように思います。(50歳代 女性)

### 【生涯教育の充実】

- 生涯学習の充実、産官学連携などが近隣市町よりも遅れていると思います。もっと積極的に進めた方がよいのではないのでしょうか？ 街の魅力につながるのだと思います。(30歳代 女性)
- ITを使った生涯教育の場。人を呼びこみ活性化することが一番。職(食)・住・遊・憩・学の市を目指して下さい。(50歳代 男性)

### 【学校の校庭や体育館の休日開放】

- 土、日、長期学校休校時の学校の開放。(40歳代 女性)
- 小、中学校の運動場、体育館を規則に基づいて開放する。(70歳以上 男性)

### 【図書館の充実】

- 図書館はちっぽけで古い情報のものばかり。(30歳代 女性)
- 図書館は決して管理者指導制度による運営にはしないで欲しい。むしろ専任の司書を雇用し、安定したサービスを提供して欲しい。(武雄市の逆を行って全国から注目されるくらいの気概で！)。(40歳代 女性)
- ミニ図書館、移動図書館をつくる。本の返却、貸し出しなど休日、時間外でもよいことにする。できれば駅周辺に設置する。予約受けつけや予約本の配布なども。理由、足が不自由になりがちな高齢者に本をじかに届ける意義が必要だから。病院にも置けたら良い。(60歳代 女性)

### 【その他の意見】

- 生物系の大学にとって蓮田市の環境は適していると思う。豊かな自然に囲まれているのにも拘わらず、このような大学が無いのは非常に勿体無い。田舎のままにするのか、町を近代化させるのかを市民にはっきり教えて下さい。(18~29歳 男性)
- 学童を増やして欲しい。(40歳代 女性)
- 子どもが減って、中学校の部活動にも影響が出ている。部活で育つ人間形成は重要視すべき。各々の学校で部活運営するだけでなく、学校を合同の部にする。専門の指導者を付けて、しっかり技術も身に付ける。小学校から部活は意識しているので、魅力を感じれば子育て世代は集まってくる。(40歳代 女性)
- 戦争体験者が現存している間にどの様な辛い事があったか、苦しいことがあったか。蓮田は農村が多かったと思うので食料を求めて都市部から衣類などと米、野菜を交換したい方達がたくさん来たのではないかと思います。当時の思い出を聞き、記録し、子供や孫達に伝えていかなければならないと思います。戦争は絶対にあってはなりませんから。(70歳以上 男性)

### ◇教育—子ども向け施設

---

#### 【子どもが遊べる場所を増やす】

- 保育園の子ども、地域の子どもが気軽に行けて楽しい公園などがあつたら良いなと思います。(18~29歳 女性)
- 住宅街にある災害用の貯水池を水が入っていない時に、子供達の遊び場として利用出来る、道路で遊ぶ子供が減ると思うので良いと思います。(18~29歳 女性)
- 子供が遊べる公園や、施設が欲しいです。児童館は近くに無く、他市の児童館を利用しています。久しぶりに市の児童館に子供と二人で出向いた時、体育館は複数人でないと入れないと言われました。これでは近所の子だけが利用できる施設で、公平ではありません。友達同士で来ている子だけが使えるなんて、色んな所に行きましたが、初めてです。今の時代、子供が外で思いっきり体を動かす場も少なく、結局習い事頼みになります。でも、それは本来の子供の遊びではありません。子供が蓮田で育って、蓮田でたくさん遊んだという、楽しい体験をできるようなまちづくりをしていただきたいです。(40歳代 女性)

#### 【公園の数の減少、禁止事項が多い】

- 近場の公園(根金公園)が半分の大きさになってしまい、子供達の遊ぶ所がありません。(18~29歳 女性)
- 緑が多くあるわりには、子供と遊べる公園が少ない。(30歳代 男性)
- 公園なのに遊具の減少、ボール遊び禁止……。 (30歳代 女性)

### 【その他の意見】

- 公園内は禁煙にしてほしいです。子供が遊んでいるそばで喫煙されるのは不快です。(30歳代 女性)
- 小学校中学校はどこも古く、暗いイメージがあり、子育て世帯が住む場所を探す時、イメージが悪い。子供に関わる施設は明るいイメージとなるよう、古くても、明るい色づかいにするなど、小ざれいにリノベーションしてもらいたい。(30歳代 女性)
- 私には孫が3人いますが、孫達が安心して遊べる場所がほしいです(私も一緒に遊びたいです)。私みたいな高齢者と子供達が安心して暮らせる町にしていってほしいです。学費の補助も検討していただけたらうれしいです。(60歳代 女性)

## ◇教育－通学路

---

- 通学路となっている道路（歩道）をもう少しきれいに整備して欲しい。側溝のふたが外れていたり壊れたりしている箇所が目立つ気がする。（30歳代 男性）
- 「ゾーン30」の拡充について。住宅街にも関わらず、抜け道になっているため、車の往来が非常に多い道路になっています。近隣には、保育園、学童、寺などがあり、通学路にもなっているため歩行者が多いにも関わらず、猛スピードで駆け抜ける車、クラクションを鳴らしながら走行する車、大型トラックの通行など、とても生活道路とはいえない環境にあります。いつ事故が起きてもおかしくない状況です。速度規制もなく、実際に危険を目にしたことがあります。下記の道路を是非とも「ゾーン30」の実施をお願いします。制限速度を30kmに規制し、路側帯の拡幅、グリーンベルトを設置して、安心・安全な町づくりをお願いします。住民の安全を最優先に実施をお願いします。（30歳代 女性）
- 小学校近くの（黒浜南小）道路に歩道がない所があり、交通量の多い時間は冷々することがよくあります。安全に生活するためにも歩道の設置や交通規制など安心できる環境を望んでいます。（30歳代 女性）

## ◇教育－文化・スポーツ施設

---

### 【イベントなど文化会館ハストピアの活用法】

- 文化会館もできる事から、市民に喜ばれる様なイベント（演劇や映画撮影など）を充実させて行くべきだ。（40歳代 男性）
- NHKのど自慢を誘致して宣伝する（ハストピア開場記念で！）。（60歳代 女性）
- ここに住んで50年以上ですが、ハストピアというすばらしいホールがやっと出来ましたのでこれからは少しは良くなるのではと考えます。（70歳以上 女性）

### 【駅から離れた施設への交通の利便性】

- パルシーや文化会館が駅から離れすぎていて利用しにくいと思う。建て直すことができないので仕方ないけれど、バスなどの利便性を見直すべき。（30歳代 男性）
- 文化会館が体育館の隣に出来た。3.11前ならしようなないが、災害の事を考えるとガッカリした。蓮田の為にも駅上とかに作ってほしかった。駅にあれば仕事帰りに蓮田で降りて寄ってくれる人も知って都心の人もコンサート等に使ってくれたと思う。人が来たら梨など地元の物を売れたと思う。（60歳代 女性）

### 【市民プールの設置】

- 市民プールが小さい頃からほしかったです。（18～29歳 女性）
- 温水プールが無いので、年間を通して使用できる施設が欲しい。仕事が終わってから使えるように、夜10時頃まで開いてもらえれば、利用者が助かります。毎日だと大変ですから、週3日程度。（60歳代 女性）

### 【その他の意見】

- コミセン、トレセン、パルシーなどのトイレをキレイに整備して洋式にしてほしい。（18～29歳 女性）
- 大人も子供も利用できる小さな運動施設をできるだけ多く設置する。（70歳以上 男性）

## ◇まちづくりー総合

---

### 【自然を活かしたまちづくり】

- 元荒川を利用して上尾、さいたま市にはない活気ある町づくりをしてほしい。(50歳代 男性)
- 蓮田市の取り柄は良好な自然環境と都心へのアクセス(湘南新宿ライン、上野東京ライン)が最も大きいと思うので、そこを踏まえた町造りをめざして欲しい。(70歳以上 男性)

### 【住環境を活かしたまちづくり】

- 蓮田市は「住む町」だと思っています。派手さはなくても、赤ちゃんからお年寄りまで安心して楽しく暮していける街づくりを期待しています。(40歳代 女性)
- 都内のベッドタウンとしての価値を上げていく事が必要。(50歳代 女性)
- 空家が増えていますが、行政でも相談等の形で、庭の整備や、ごみ屋敷対策等の指導が必要になって来ます。(50歳代 女性)
- 生活しやすい町。市道は6m道路、電柱は家の敷地の中に入れる。大型店舗、スーパーマーケットが片寄っていて不便な地域もあります。特に高齢者など、困ります。通勤、通学に便利でないと、若者が市外に出ていってしまいます。老人ばかりの所も、でてくるでしょう。住み良い町をめざして下さい。(60歳代 女性)

### 【交通の利便性を活かしたまちづくり】

- 無理に特産物や名物を作らずに、都市から近い点を活用した都市づくりがいいと思います。(30歳代 男性)
- 大きな施設や地下鉄などができて、もっと東京、さいたま市などの都会との行き来が、活発になることを望みます。場所がいいのだから、都市化を目指すべき。(30歳代 男性)
- 蓮田市は一言でいうと中途半端な町である。農学地域、工業地域といえどももちろん住宅専用でもない。特別な名産もない。蓮田の有利な点は自動車の交通網(高速道路側)である。これをいかにいかすかが将来をきめる。自然と共生させながらも工業団地や流通団地等を整備する事が緊急の課題である。(70歳以上 男性)

### 【地区別にみたまちづくり】

- 駅や黒浜が遠いので平野地区の住民は取り残されていると感じることが多いです。(18~29歳 女性)
- 農家が多い為、畑等が多く若い世代は出ていってしまう。現に子供が少なく、小、中学校がほとんどひとクラスになってしまった。駅周辺だけでなく、高虫・上平野・駒崎・井沼を考えてほしい。(40歳代 女性)
- 駅周辺の開発が進んでいますが、駅周辺だけが蓮田ではないので遠隔地へも、もっと目を向けて欲しい。蓮田に居住して約30年ですが、居住周辺はほとんど変わっていません。交通の便も悪いし、買い物場所もなく、病院も少ないです。他にもいろいろありますが、要は蓮田市のまちづくりは遠隔地づくりが重要です。農業や梨作りの後継者育成も含め遠隔地の発展が蓮田市全体のまちづくりになると思います。(60歳代 男性)
- 馬込地区は、皆さんの協力による区画整理によってある程度の街並みも良くなりました。(70歳以上 男性)

## 【その他の意見】

- 派手さは不要、着実性に視点を置いて、まちづくりを進めていって欲しい。(30歳代 女性)
- 自然エネルギーを使用した災害時にも安心できるまちをめざす。他市ではやっていないような、先を見越した取り組み。自然と共存した取り組み。これからも（老後も）住んでいたいと思うようなまちになるといいなあ。(40歳代 女性)
- 箱物行政が主でなく、人と人とのふれあいを重視してコミュニケーションを通して、みんなが蓮田市に住んで良かったと思えるまちづくりを推進していってほしいと思います。(60歳代 男性)
- 私は、蓮田に住んで40年近くになりますが、蓮田ではネクタイ1本も買った事はありません。不動産を買っても、免許証を更新する時もその手続きは蓮田では出来ません。本当に何にもなくて、何にも出来ないところだと思っています。地元で何でも片付くところになってほしい。(70歳以上 男性)
- 他の市町村より遅れているのではないかとと思っています。人口が増えるような、住むのに良い環境を作って下さい。土地があり大きな工場が増えればそれにつれて人口も多くなっていくのではないのでしょうか？(70歳以上 女性)

## ◇まちづくり－駅周辺

---

### 【駅周辺の活性化、賑わい不足】

- 東京都に1本で通じている路線や都内に近いという意味で、また都会と田舎の間くらいで住み心地もよくこの街が大好きである、が数年前にマックが駅前から無くなったり、レンタルビデオ店、スタバなどのカフェ、ファミマだらけ、と若干不便で物足りないという印象。バイトの時給も全体的に上がったらいいのに！(18～29歳 女性)
- 駅前の賑わいは企業との連携が大事。(50歳代 男性)
- 市の顔は蓮田駅前の整備だと思います。駅を降り、活気を感じさせる街づくり（若者が多く集まること）。きれいな街(花などボランティアで)。緑のある街(行政で一般市民にP.R)。やさしい市民。を感じさせる街づくりが大切だと思います。(70歳以上 男性)

### 【西口、東口の開発の遅れ】

- 駅周辺（特に西口）の開発をもっと頑張ってもらいたい。以前から計画しているわりに進行しないままで、蓮田市は他の市（近隣の）より遅れている感が否めない。(30歳代 男性)
- 蓮田駅西口が開発できれいになりますと聞き、県外から引っ越してきて、早28年が過ぎましたが、相変わらず何もない駅前で、活気を感じません。一日も早い開発をお願いします。(50歳代 女性)

### 【駅前施設の建設】

- 駅前の店をもっと充実してほしい。西口に大きなスーパーなどできたら、もっと人が住みやすくなると思います。(30歳代 女性)
- 蓮田に10年住んでいるが、越して来たときよりも活気がなくなっている気がする。もっと良いセンスがほしい。駅前には、お茶ができる店すら数えるほどしかない。西口のロータリーも中途半端で、タクシー乗り場の為のスペースとなっている。そこで、“損して得とれ”の精神で、初めから利益を出そうと考えず、JRに駅周辺を譲渡し、営業を任せてみてはどうだろう。無理やり税金を使って、梨やB級グルメ、マスコットのPRなどしなくても、他の魅力があるモノやコトがあれば、今の時代SNSなどで、世界中から人が来る。(40歳代 女性)

### 【駅前交通の改善】

- 蓮田駅東口と西口の行き来をもっとスムーズにできるようお願い致します。(18～29歳 女性)
- 何かやるにしても市外から人を呼ぶ場合、駅前に人が集まれる施設、場所を作らないとダメだと思う（もしくは無料バスを多く走らせるなど）。駅からさらにバスで移動しないといけない場合、イベントが魅力的でも、行くのをやめる人が多いと思う。(30歳代 男性)
- 早く駅西口開発を進めて、周辺への波及を図る。シティバスを運行し、郊外と市街のアクセスを改善する。(70歳以上 男性)

### 【その他の意見】

- 駅西口に「シティマーケット」を作り、市内で作っている商品や農産物を置く。サラリーマンや訪問客が土産を買って帰ると予想できる。(70歳以上 男性)

## ◇環境－生活

---

- ガスはプロパンではなく都市ガスへ移行してほしい。(18～29歳 男性)
- 新築のアパートを増やして欲しい。(18～29歳 女性)
- 資金が乏しい市だと感じているので、無理な事は言えないと思うが……基本的な事、例えば道路、上下水道、ガス等ライフラインをもっとしっかりしていかななくてはまちづくりもへったくれもないと思う。市役所にも全く活気がなく職員の態度もいい人とひどい人の差がありすぎる。これでは初めて蓮田を訪れる人に不快な気持ちしか与えないと思う。(40歳代 女性)
- 公園の規模が小さいものが多いと思う。都内でいうと、小金井公園ぐらいの大きさの広々とした市立公園がほしい。(40歳代 女性)
- ゴミすてドライバーが多い。看板、ノボリ、啓発方法をシステム化。きれいな街づくり、いやな生活環境は改善すべき（人口の流出防止のため）。(60歳代 男性)
- 荒川土手の場所にトイレ、ベンチ（現3ヶ）ありますが、もう少し多く置いて下さい。できれば、あずまやみたいな日陰がほしいです。(70歳以上 女性)

## ◇環境－自然、川、緑

---

### 【緑の多いまちの維持】

- 無駄な森林伐採はやめて欲しい。(18～29歳 男性)
- 自然環境の充実。便利さよりも緑が多く、癒しのあるまちにする。(60歳代 男性)

### 【元荒川】

- 元荒川の自然を活用した憩の場の整備。(50歳代 男性)
- 蓮田には桜のきれいな川があるので、元荒川沿いに京都の川床のようにお料理を食べて飲めるような施設をつくったらよいと思います。元荒川沿いに、彼岸花やコキアをものすごくたくさん植えても良いと思います。マスコミも取り上げてくれると思います。(50歳代 男性)

### 【道路、空き地、川辺の草刈り・清掃】

- 自治会の負担が大きすぎる。側溝のそうじは行政でやってほしい。そのための費用は徴収してくれてかまいません。できれば草刈りも行政でやってほしい。(40歳代 女性)
- 私宅の北隣に大人の身長ほどの草の土地がありますが地主さんは市の連絡を無視して4年5年になります。市の方からのよい方法はないものかと何年も前からみどり環境課にお願いをしていますが課の手紙は無視だそうです。本当に困っていて心配です(火事が)。(70歳以上 女性)

### 【田んぼ、畑】

- 空地(田・畑)を利用したひまわり畑をもっと大体的にやってほしい。(40歳代 男性)
- 見沼田んぼを残していきたい。それがむずかしい時は公園(西城沼などのような)として、町の人々の憩いの場に残してほしい。(60歳代 女)

### 【その他の意見】

- 緑と商業が合わさった施設があれば、若者も集まりますし、消費といったところも良さそうかなと。変に大きな商業施設とせず、調和のとれた蓮田らしさのある施設となれば注目も集まるかと。(18~29歳 女性)
- 山の神沼が一部私有地との事で木が生い茂り、物が捨てられたりしている(鉄板のガードがあるのですがすまから捨てられている)。(70歳以上 女性)

## ◇環境—下水道

---

- 生活廃水がドブに流れて、ドブの近くを通ると臭い。(18~29歳 女性)
- 閩戸地区、ドブ掃除が2ヶ月に一度あります。早く下水道にしてほしいです。(40歳代 女性)
- 水道管は耐震管に布設替する。急にできないので毎年計画的に行う。東京では平成10年から行っており、他都市も着手している都市が少なくない。(70歳以上 男性)
- 公共下水が早くから使える様になったが利用していない人(家)も大勢いるので早く100%利用する様にしてもらいたい。(70歳以上 女性)

## ◇環境—道路、交通

---

### 【歩道の確保】

- 市役所前の立橋の歩道をベビーカーで通れるようにしてほしいです。(30歳代 男性)
- 荒川橋の歩行者用歩道が狭すぎる。向こうから来た人とすれ違う時、どちらかが車道に降りる必要があり、大変危ない。(40歳代 女性)
- 人と車が安全に通行できる道を確保していけば、今後電動車イスなど増えても安心して暮らせると思います。(60歳代 女性)

### 【道路の整備】

- まだまだ道の広がっていない場所、歩行者と自動車が一緒では怖いです。(30歳代 女性)
- 生活道路についてですが、車が優先的なところが多く歩行者や、自転車にとって危険と思われる場所が多いです。全体的に道路の幅が狭く、車のスピードが速いように感じます。(40歳代 女性)
- 市道の破損状況をチェックして補修する。(70歳以上 男性)

### 【バスの運行量の増加と運行時間の延長】

- 電車やバスは20時以降の本数があまりにも少ないように思います。都心まで出て帰ってくるには少々不便すぎます。(18~29歳 女性)
- 朝日バスは料金がやし、本数が少ないため利用がなかなかできない。蓮田市も、けんちゃんバスのように閨戸や、根金、黒浜方面等市バスが出るとよいと思います。閨戸に住んでいるので暗い夜道はあぶないので家族を駅まで何度も送り迎えの往復の日々が続いています。自転車もトラックが多く大変危険です。122号国道は特に。(50歳代 女性)
- 各病院から送迎用のバスを利用出来る。まちづくりが出来ればよいと思います。(60歳代 男性)

### 【電車の終電、始発時間の見直し】

- 交通機関の最終時間がもっと延びれば蓮田に住む、住み続ける人は増えると思う。(18~29歳 女性)
- 都内で働いているので終電の延長か、都内からの深夜バスをもっと充実してほしい。(40歳代 男性)
- 宇都宮線始発を早め、終電を遅くしてほしい。(50歳代 女性)

### 【その他の意見】

- 江ヶ崎精米所前の交差点はとても見通しが悪く、危険な出方をする車が多いので、手押しでない信号機の設置をお願いしたいです。(18~29歳 女性)
- サービスエリアどちらからも乗れて降りられるようにしてほしい。駅東口、車を止める場所がない。タクシーに怒られる。(40歳代 女性)
- 都心へのベッドタウンということをもふまえて、市内の駅までの交通の便、もしくは、駅を増やすなど、もう少し、蓮田全体、どこに住んでも、ある程度交通の便がいいと良いです。(40歳代 女性)

## ◇産業－総合

---

### 【企業や工場を誘致する】

- 蓮田市内での工業地区の誘致は必要と感じます。蓮田サービスエリアも今後はそういった流通関係でも活用していただきたい。(40歳代 男性)
- 稲荷神社の近くの畑が休耕が多くなってきているので何か商業施設か工業施設などの誘致などを考えてもらいたい。(50歳代 男性)
- 政策、高齢化に伴う休耕田、畑の有効活用に努め、企業用地の確保で中・大企業誘致を積極的に進めることにより人口増加で活気あるまちづくりは出来ないものか？(70歳以上 男性)

### 【その他の意見】

- 地場産を充実し、地産地消が出来る社会。(60歳代 女性)
- とにかく産業を復興しなければ若者は集まらない。若者がいなければ子育てなど問題外となり年寄りだけの町になってしまいます。とにかく地理的条件をいかした産業復興を考え取り組む必要がある。その為には財政をよく考える。不要なものはやめて資源を集中すべきである。(70歳以上 男性)
- メディカル重視のベンチャー企業のフリーゾーンを創り、シリコンバレーのような「ロータスバレー」を創出する。(70歳以上 男性)

## ◇産業－農業

---

### 【休耕田の有効利用】

- 何年も使われていない田んぼを他の目的に使用して欲しい。例えば、イオン、コストコ。(18～29歳 男性)
- 市街化調整区域の見直しを検討して頂きたい。耕作できない農地の維持管理には大変な労力が必要です。売却処分ができるようにして頂きたい。(50歳代 女性)

### 【後継者問題】

- 最近、梨をやめてしまう農家の方が増えています。蓮田の梨が食べられなくなる時が来るのでは、と心配です。後継者等、支援をして欲しいと思います。(18～29歳 女性)
- 農業を続ける組織（会社JA）を作り、そこで雇用することで後継できる様にする。(50歳代 男性)

### 【その他の意見】

- 農地を耕作する組織を作り、農家単位でなく組織（組合は成功していないと思う）で農業を計画的に行う会社組織にする。(50歳代 男性)
- 新しいサービスエリア内に市内農家の産物を道の駅のようにして農業の活性化を望みます。(70歳以上 女性)

## ◇産業－商業

---

### 【商業施設の誘致】

- 蓮田市を活性化させるにはイオンなどの大型ショッピングモールを作ったら良いと思う。国道122号があるので蓮田市自体の交通量が多いが店が少ないため、通りすぎる人が多いように感じる。国道沿いに商業施設をつくれば、さいたま市や白岡・久喜市からも人を呼べるのもっと町が活性化すると思う。(18～29歳 男性)
- もっと、色々な、商業施設や映画館などがあると良いと思います。(30歳代 女性)
- 人口（若い人々）が増えるように商業地を多く誘致して、税金が上がるようにしないと市全体がしぼんでしまう気がします。のくぼ通りも活気ある通りにしたらよいと思います（日中閑散としている状況ではせっかく作った新しい道路がいかされていないです。残念です）。(70歳以上 女性)

### 【商店街の活性化】

- 地元の商店街へ買い物に行きたくなるよう斬新なアイデアで客寄せを考えて欲しいです。少なくとも一部の人達だけが恩恵を受けるような、地域振興券（?）、商品クーポン券の販売は、不公平なのでNGです。(18～29歳 女性)
- 地域ごとにまとまった商店街の充実（駅の周辺では、時間調整のための待合い場所、ちょっとしたカフェを作る等）。(60歳代 女性)

### 【蓮田サービスエリアの活用】

- 蓮田サービスエリアを市民も利用できるようにして頂きたいです（テレビでやきそばがおいしいというのを見たので）。(18～29歳 女性)
- サービスエリアの回りを活発に。蓮田の一大拠点に。(60歳代 女性)

### 【高齢者の買物難民解消】

- これから高齢者が多くなり、買い物などの施設がないので老後不安があります。(50歳代 男性)
- 今買物難民になっています。バスは1時間に1本(以前は3~4本)、スーパーマーケットもコンビニエンスストアも銀行も駅前まで行かないとないのです。(70歳以上 女性)

### 【その他の意見】

- 購入した食品の配達、修理にすぐ伺う街の電気屋さんなど商品のアフターサービス充実。(40歳代 女性)
- 移動スーパーという車の運行。(40歳代 女性)
- 民間企業の高齢者再雇用支援強化(仕事の創出と行政の支援)。(60歳代 男性)

### ◇防災

---

- 災害の被害をいつ受けるか分からないので土地が低い所、水が出やすくすぐ浸水してしまうところの対策をしてほしいです。(18~29歳 女性)
- まちづくりとは関係ないかもしれませんが、蓮田は、地震があった時、いつも震度が低いと思います。揺れに対して、発表がいつも少ないし、近辺の市や区と比べても少ない。地面が固い所に震度計があるのですか？ これに関していつも不満で不信感を抱いています。(40歳代 女性)
- 防災のため、水道がとまった時に利用できる井戸水の場所を市民に知らせてほしい。(50歳代 女性)
- 避難場所での体験学習。年に数回ではなく毎月数回市民全員がいつでも1度は参加できる(土・日・祝日もやる)訓練にすること。早急にやってほしい。理由、シミュレーションすることによって災害がみえてくるから。(60歳代 女性)
- 市の防災無線が聞きづらいし、聞きとれないことが多い。(70歳以上 男性)

### ◇防犯

---

- 夜安全に家に帰れるようにパトロールの強化が必要だと思います。(18~29歳 男性)
- 外灯も、もっともっと増やしていただきたいです。防災上、とても危険です。明るいとかなり安全性が確保できると思いますし、空巢なども減ると思います。(40歳代 女性)
- 防犯をどのようにすればいいのかももう少し詳細な広報がほしい。(70歳以上 男性)

## 蓮田市市民意識調査 報告書

---

発行年月：平成 28 年 12 月

発行：蓮田市  
編集：蓮田市役所 総合政策部政策調整課  
住所：埼玉県蓮田市大字黒浜 2799 番地 1  
電話：048-768-3111 内線 283  
F A X：048-765-1700